

第10回 広島県CALS/EC連絡協議会 次第

平成20年3月26日(水) 14:00～16:00
鯉城会館5階サファイア(広島市中区大手町1-5-3)

1 開 会

2 議 事

(1) 情報開示・電子入札等システムについて

- ・ 平成19年度の実施状況
- ・ 平成20年度の実施計画等

(2) 電子納品について

- ・ 平成19年度の実施状況
- ・ 平成20年度の実施計画等
- ・ 広島県電子納品実施要領の改訂(案)

(3) CALS/ECに関する研修等について

(4) その他

3 閉 会

【配布資料】

資料 1 平成19年度広島県の電子入札の実施状況について

資料 2 平成20年度の情報開示及び電子入札等システムの実施計画について

資料 3 平成19年度電子納品成果及びアンケート結果について

資料 4 平成20年度の電子納品実施について(案)

資料 5 広島県電子納品実施要領の改訂について(案)

資料 5-1 [業務委託編]平成20年 月(案) 資料 5-2 [工事編]平成20年 月(案)

資料 5-3 [建築設計業務編]平成20年 月(案) 資料 5-4 [営繕工事編]平成20年 月(案)

資料 5-5 [電気通信・機械設備業務委託編]平成20年 月(案)

資料 5-6 [電気通信設備編]平成20年 月(案) 資料 5-7 [機械設備工事編]平成20年 月(案)

資料 6 広島県CALS/EC研修会について

資料 7 広島県CALS/EC連絡協議会規約

資料 8 第10回 広島県CALS/EC連絡協議会 出席者名簿・配席図

平成19年度広島県の電子入札の実施状況について

平成19年度の電子入札の実施状況は次のとおりである。

1 対象案件

総務部、農林水産部、土木部、都市部及び空港港湾部が所管する事業で、建設工事及び測量・建設コンサルタント等業務に係る入札

(1) 平成19年9月30日まで

区分	入札方式	実施範囲	紙入札の廃止
建設工事	一般競争入札 (原則設計金額1億円以上)	原則全て	設計金額1億円以上
	指名競争入札	設計金額2,500万円以上	—
業 務	指名競争入札	原則全て	設計金額500万円以上

(2) 平成19年10月1日から

区 分	入札方式	実施範囲	紙入札の廃止
建設工事	一般競争入札 (設計金額1,000万円以上)	原則全て	原則全て
	指名競争入札	—	—
業 務	指名競争入札	原則全て	設計金額500万円以上

2 実施状況

区 分		一般競争	指名競争	計
建設工事	土木関係3部	214	267	481
	農林水産部	38	76	114
	総務部	37	10	47
小 計		289	353	642
業 務	土木関係3部	—	564	564
	農林水産部	—	97	97
	総務部	—	19	19
小 計		—	680	680
総 計		289	1,033	1,322

※ 平成20年3月21日現在で契約済の件数

(参考)

○共同利用参加の県内市町の電子入札の実施状況

電子入札等システムを共同利用している市町のうち、平成17年2月に三次市を最初に、福山市、東広島市、呉市、安芸高田市、竹原市、廿日市市、尾道市、三原市、庄原市の10市で、実案件により電子入札を実施している。

平成20年度の情報開示及び電子入札等システムの実施計画について

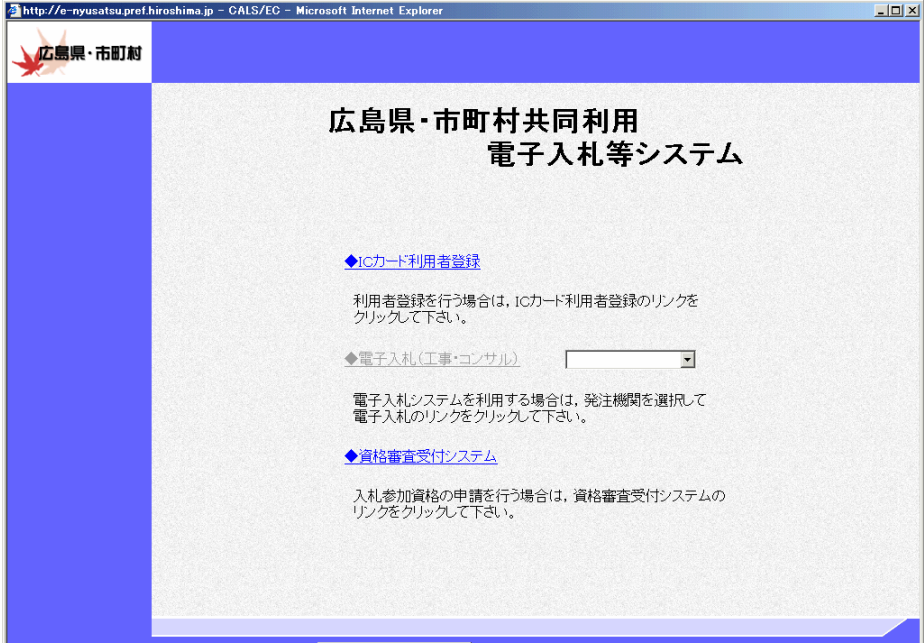
広島県土木部総務管理局技術指導室

1 事業の概要

情報開示システムによる公表情報の充実，電子入札等システムの普及の拡大を推進する。
広島県においては，6月以降，建設工事及び測量・建設コンサルタント等業務について，競争入札により発注する案件は原則として電子入札により実施することとしているため，県内受注者への普及促進と円滑な実施に重点を置いて取り組むこととしている。



情報開示システム



電子入札等システム

発注計画，入札公告，入札結果等の各種情報を一元集約し，「調達情報のページ」で公開
→<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

電子入札と入札参加資格申請の電子受付を行う
県・市町の共同利用システム
→<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/nyusatsu/>

2 実施内容

区 分	実 施 内 容	備 考
調達情報の開示	・ 県の調達情報のホームページの内容の一層の充実 ・ 公募案件の県・市町統合検索システム参加市町拡大 ・ 仕様書の電子閲覧を拡大	
入札参加資格の電子受付	・ H21・22 入札参加資格審査の当初受付の実施 ・ システム共同利用市町拡大（19市町から22市町へ）	11月に予定
電子入札	・ 電子入札の対象案件の拡大及び紙入札の原則廃止（広島県） ・ システム共同利用市町拡大（16市町から19市町へ）	

3 県内業者への普及促進

広島県の入札契約制度の改正等の説明を行う「建設業関係説明会」を5月に県内5箇所で開催し，電子入札の実施計画の周知を図る。

4 県内市町の共同利用の参加促進

電子入札等システムの県内市町との共同利用については，広島県電子自治体推進協議会の電子入札運営部会を中心に推進しており，市町毎の個別相談の実施等により全ての市町の早期参加を促進する。

CALS/ECの取組経緯と今後の計画について

【区分（類型）と経緯】

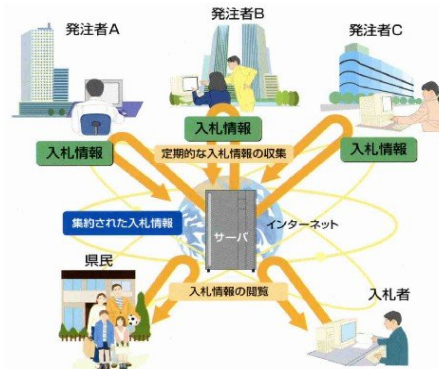
【実現イメージ】

【今後の取組計画】

情報開示

調達関連情報のインターネット公表の推進

- ＜サイト開設等＞
- ・H16.4～「広島県の調達情報」
 - ・H16.7～「広島県のCALS/EC」
 - ・H16.8～「広島県と県内市町村の入札契約手続の電子化」
 - ・県内公募案件の統合検索試行開始
 - ・H19.6～電子閲覧の実施 49 件



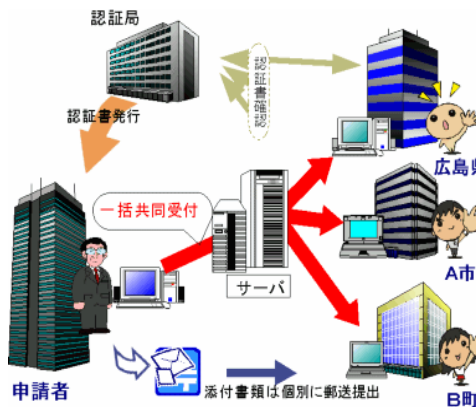
- ・公表情報の充実推進
電子閲覧の実施対象の拡大予定

- ・公募案件統合検索の拡充
参加市町の拡大
(呉市、尾道市、福山市、東広島市、安芸高田市が参加中)

発注手続（市町共同運営）

入札参加資格審査申請の電子受付

- ＜共同運営体制等構築＞
- ・H15.12～
広島県電子自治体推進協議会に電子入札運営部会を設置
 - ・H16.11～試行実施
- ＜システム形態＞
- ・県・市町一括共同受付
 - ・H17.12～受付対象業者の拡大
 - ・H19・20入札参加資格の審査から全面实施（18市町参加）
計 1,273 者（全申請者の28%）



- ・県・市町一括受付の試行予定

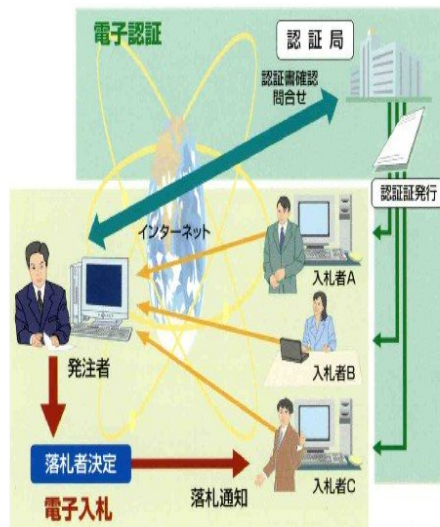
H20：庄原市、海田町、北広島町が参加予定

- ※ 平成19年度（19市町）
呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、熊野町、坂町、安芸太田町、大崎上島町、世羅町・神石高原町

※電子入札等システム：使用には、まず利用開始申請が必要（20.3.21現在 3,802社が申請済）

電子入札

- ＜共同運営体制等構築＞
- ・同上
- ＜基本システム＞
- ・電子入札システム採用（国・他県等と同一システム）
 - ・現行の全入札方式使用可
 - ・H17.1～県模擬入札開始
 - ・H17.11～県実案件の開始（45件実施）
 - ・H18.9～
対象案件の拡大（249件実施）
 - ・H19.9～
工事：2,500万円以上
業務：指名競争の原則全て
 - ・H19.10～
工事：設計金額1,000万円以上（一般競争入札）



- ・電子入札対象の拡大
【工事】一般・指名競争：原則全て
【業務】指名競争：原則全て（工事の一般競争及び業務は、原則紙入札を廃止）
- ・共同利用市町の拡大
入札システムの共同利用の拡大
H20：府中市、海田町、北広島町が参加予定

- ※ 平成19年度（16市町）
呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、三次市、庄原市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、坂町、安芸太田町、大崎上島町、神石高原町

実施手続

電子納品・情報共有（工事・業務成果品）

- ・H16.1～広島県 CALS/EC 連絡協議会を設置
- ・H16.7 電子納品実施要領制定
- ・H17.2～部分実施開始（H16：37件、H17：105件）
- ・H18.8～対象案件の拡大（283件実施）
- ・H19.6～対象案件の拡大（273件実施）
- ・H19.9～情報共有等システム実証実験（7機関、8件）



- ・電子納品部分実施の拡大（予定）
業務：設計金額 300万円以上
工事：設計金額5,000万円以上
その他：前プロセスが電子納品であるもの

- ・情報共有等システムの実証実験

- ・電子納品保管管理システムの構築予定

電子入札の拡大について

1 趣 旨

I T技術の活用による事務の効率化を一層促進するため、**電子入札の実施対象を拡大する。**

2 内 容

(1) 対象案件

原則として、**建設工事及び測量・建設コンサルタント等業務**（以下「業務」という。）とする。

(2) 実施時期

平成20年6月1日以降に公告又は指名通知を行う入札から施行

(3) 建設工事

一般競争入札（事前審査型及び事後審査型）又は指名競争入札による案件は、**原則全て電子入札の対象とする。**

請負対象設計金額が1,000万円以上の一般競争入札による案件については、**原則として書面での入札（以下「紙入札」という。）を認めないものとする。**

なお、総合評価方式により発注する案件は、当分の間、電子入札の対象としない。

区 分	入札方式	実施範囲	紙入札の廃止
建設工事	一般競争入札 (事前審査型及び事後審査型)	原則全て	原則全て
	指名競争入札	原則全て	紙入札併用

(対象部局：総務局，農林水産局，土木局，都市局，企業局)

(4) 業務

指名競争入札による案件は、**原則全て電子入札の対象とする。**

電子入札による案件は、**一部を除き、原則として紙入札を認めないものとする。**

区 分	入札方式	実施範囲	紙入札の廃止
業 務	指名競争入札	原則全て	原則全て

(対象部局：総務局，農林水産局，土木局，都市局，企業局)

3 平成21年度の電子入札の拡大

建設工事及び業務について、**競争入札による案件は原則全て電子入札の対象とし、原則として紙入札は廃止する。**

区分	入札方式	実施対象	紙入札の廃止
建設工事	一般競争入札 (事前審査型及び事後審査型)	原則全て	原則全て
	指名競争入札		
業 務	指名競争入札		

(対象部局：総務局，農林水産局，土木局，都市局，企業局)

1 県内地域別の電子入札システムへの対応状況

◎建設工事

建設(支)局	対応業者数	全業者数	対応率
廿日市	70	82	85%
広島	691	1,243	56%
呉	165	296	56%
芸北	57	71	80%
東広島	158	204	77%
竹原	51	70	73%
尾三	243	342	71%
福山	532	583	91%
備北	94	103	91%
庄原	56	61	92%
県内計	2,117	3,055	69%
県外	530	757	70%
総計	2,647	3,812	69%

※ 平成20年3月21日現在の電子入札対応業者

◎コンサルタント

建設(支)局	対応業者数	全業者数	対応率
廿日市	13	16	81%
広島	157	245	64%
呉	7	23	30%
芸北	0	0	0%
東広島	20	37	54%
竹原	6	8	75%
尾三	21	34	62%
福山	53	59	90%
備北	10	14	71%
庄原	8	8	100%
県内計	295	444	66%
県外	303	406	75%
総計	598	850	70%

2 県内業者の業種・ランク別対応状況

◎ 建設工事

業種 ランク	A			B			C			D			全体		
	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率
土木	30	30	100%	398	402	99%	646	749	86%	412	690	60%	1,486	1,871	79%
建築	30	31	97%	135	151	89%	268	353	76%	214	309	69%	647	844	77%
とび土工	62	65	95%	103	108	95%	390	457	85%	446	693	64%	1,001	1,323	76%
法面	20	20	100%	18	18	100%	101	103	98%	101	159	64%	240	300	80%
ほ装	41	41	100%	107	106	101%	426	461	92%	502	679	74%	1,076	1,287	84%
合計	183	187	98%	761	785	97%	1,831	2,123	86%	1,675	2,530	66%	4,450	5,625	79%

◎コンサルタント

分野 ランク	A			B			C			全体		
	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率
測量	31	31	100%	31	31	100%	73	88	83%	135	150	90%
建築	22	25	88%	63	70	90%	57	94	61%	142	189	75%
地質	20	20	100%	22	24	92%	49	52	94%	91	96	95%
土木	38	38	100%	35	35	100%	69	78	88%	142	151	94%
補償	24	24	100%	37	37	100%	44	57	77%	105	118	89%
その他										84	176	48%
合計	135	138	98%	188	197	95%	292	369	79%	699	880	79%

※ 1 平成20年3月21日現在の電子入札対応状況

2 建設工事は、主要5業種を抜粋している。

平成 19 年度電子納品成果及びアンケート結果について

土木部総務管理局技術指導室
都市部都市事業局下水道室
農林水産部農林整備局農林整備管理室
総務部財務局財産管理室

1 平成 19 年度の電子納品実施件数

	土木・都市・ 空港港湾部	農林水産部	総務部 (営繕等)*1	合計
業務委託	128 件	31 件	14 件	173 件
工事	50 件	29 件	18 件	97 件
合計	178 件	60 件	32 件	270 件

*1 住宅室の業務委託 2 件も含まれる

2 成果品 (C D) の集約数 (3 月 10 日集計)

	集約数 (率)	
業務委託 (173 件)	28 件	16%
工事 (97 件)	11 件	11%
合計 (270 件)	39 件	22%

3 アンケート集約数・率 (3 月 10 日集計)

	受注者		発注者	
業務委託 (173 件)	33 件	19%	35 件	20%
建設工事 (97 件)	9 件	9%	12 件	13%
合計 (270 件)	42 件	16%	47 件	17%

4 平成 19 年度の成果品 C D のチェック結果

各発注機関へ提出された C D について、副 1 部を本庁に集約し、電子納品の要となる管理ファイルについて電子納品チェックツール (Isms) でチェックを実施した。

	チェック C D 数	エラーなし		エラーあり	
業務委託 (173 件)	28 件	25 件	89%	3 件	11%
工事 (97 件)	11 件	11 件	100%	0 件	0%
合計 (270 件)	39 件	36 件	92%	3 件	8%

平成 19 年 5 月から電子納品チェックツールをホームページで公開したことから、昨年度に比べて、エラーのある電子納品が大幅に減っている。ただし、チェックツール上のエラーではないが、C D - R のルート上に電子納品ファイルがなく、D I S K 1 フォルダの中に電子納品ファイルが保存されているケースや、管理ファイルの記載内容に誤記入等が多く見られる。

ケースのタイプ、表記についても、平成 19 年度の要領に従っていないケースも多い。

5 アンケート結果から見る問題点

電子納品担当者アンケートから次の点について、基本事項の問題があった。

今後、各種講習会や研修等で周知を図っていく。

(1) 着手前事前協議 (発注者)

電子納品の作成途中での手戻りを防ぐ意味で非常に重要であるにもかかわらず、実施していないケースがある。ただし、昨年度に比べて大幅に改善している。

事前協議 (発注者)	業務委託		工事	
実施 (40 件)	29 者	94%	11 者	92%
未実施 (3 件)	2 者	6%	1 者	8%
計 (43 件)	31 者	100%	12 者	100%

(2) C A DデータのS X Fブラウザによる目視確認

C A DデータについてS X F (S F C) 形式に変換して納品する場合，S X F ブラウザで図面チェックし，文字化けがないか等の確認行為を行うこととなっているが，未確認の案件があった。

6 電子納品の今後の進め方（アンケート結果より）

電子納品の今後の進め方（受注者）

受注者へ電子納品の今後の進め方について，アンケートを行った結果は次のとおり。

要望事項を踏まえた推進を平成20年度以降も図ることとする。

積極的及び現行のまま取組みを進めるべき項目

業務委託	7	押印書類のスキャン電子化
	6	国の基準。要領類への準拠（県ルールの削減）
	5	段階的な電子納品の拡大（3～4年で全件対象）
建設工事	6	情報共有システム導入による押印書類の電子化（電子決裁）
	5	情報共有システムの導入
	3	【カタログ】紙書類（現行取扱い）のまま
	3	国の基準。要領類への準拠（県ルールの削減）

取組みを回避すべき項目

業務委託	14	SXFと他の主要なCADファイル形式との二重納品
	13	CAD製図基準（案）等への適合検査厳格化
	9	紙と電子の二重提出
	5	早期（1～2年）な全案件の電子納品対象化
	4	紙書類（現行取扱い）のまま
	4	国の基準。要領類への準拠（県ルールの削減）
建設工事	4	押印書類のスキャン電子化
	4	【カタログ】カタログ類等の紙流通が主流な書類のスキャン電子化
	4	紙と電子の二重提出

自由意見（受注者）

受注者の自由意見としては次のとおり。

- ・ 電子納品要領がもう少しわかりやすくないか（ファイル名に日本語が使えない）
- ・ チェックシートは使いやすかった
- ・ 電子納品の検査時に高性能なデスクトップパソコンが必要ではないか
- ・ 国の要領との差が少ないので，対応が楽であった
- ・ 電子納品作成費を計上してほしい
- ・ チェックソフトでエラー表示が出てもOKなケースがあることを理解（勉強）してほしい
- ・ 県との電子データがやり取りはメールでしかできないので，大容量ファイルの交換が難しい
- ・ 広島県のチェックシステムでは，国の省庁をまたいだチェックができない（電子納品全体は国土交通省ルールであるが，図面のみ農水省といったケース）ので不便である
- ・ 林道事業については，国土交通省のC A D製図基準案を適用してほしい
- ・ Eメールを活用した書類のやり取りをお願いしたい
- ・ 電子納品には賛成であるが，発注機関の様式を統一してほしい

7 まとめ

チェックツールの公開により，エラーの発生が大幅に減っているが，記載内容のチェックについては，職員の目視確認が必要であることから，今後，各種講習会や研修等で周知を図っていく。

受注者からは，電子納品要領は国準拠が望ましいとの意見が多いことから，今後の要領改訂において留意する必要がある。

大容量ファイルのやり取りや，Eメールでの文書のやり取りの改善策としては，工事施工中情報共有等システムの導入が考えられる。

紙文書のスキャン電子化については，コンサルタントでは前向きであるが，工事業者では回避すべき意見が多い。

押印書類の電子化についても，工事施工中情報共有システムの活用が考えられる。

平成 20 年度の電子納品実施について（案）

土木部総務管理局技術指導室
都市部都市事業局下水道室
農林水産部農林整備局農林整備管理室
総務部財務局財産管理室

1 要旨

広島県電子納品実施要領（平成 20 年度版）を制定するとともに、引き続き電子納品対象・案件数の拡大を行う。

電子納品保管管理等システムの調達・開発を行うとともに、情報共有等システムの実証実験（継続）を実施する。

平成 21 年度以降の電子納品実施計画を制定・公表する。

2 平成 20 年度の実施内容（案）

(1) 平成 19 年度の検証結果等を踏まえ、既存の電子納品実施要領（7 編）を改訂（資料 5 参照）

[業務委託編]，[工事編]，[建築設計業務編]，[営繕工事編]，
[電気通信・機械設備業務委託編]，[電気通信設備編]，[機械設備工事編]

(2) 事前登録の継続受付（別紙 1 参照）

平成 17 年 7 月から受付を開始した電子納品事前登録を継続し、随時受け付けを行う。

(3) 部分的・段階的な実施

電子納品の対象選定は、各発注機関が案件概要や受注者対応状況等を勘案し行い、新規発注案件からの選定を基本とする。ただし、事前登録の状況によっては、契約後に電子納品対象への切り替えも可能とするが、受注者に無理のない対応を行う。

（ 目 標 ）

土木・都市・空港港湾部	H 17	全体 93 件 （建設局等 各係 1 件程度）	H 18	全体 212 件 （各担当者 1 件程度）	H 19	全体約 238 件 ・業務委託 159 件： 7 百万円以上 ・工事 79 件： 上半期 5 億円以上 下半期 1 億円以上	H 20	全体約 1000 件 ・業務委託： 3 百万円以上 ・工事： 5 千万円以上 ・前プロセスが電子納品であった場合は原則電子納品対象とする。原則発注案件以外でも個別状況により電子納品対象（特記仕様書に明記）とすることがある。
		全体 12 件 （業務委託 各農林局 2 件程度）		全体 49 件 （農林局 各係 1 件程度）				
建築設計業務			H 18	全体 12 件	H 19	14 件	H 20	全体約 30 件
営繕工事				全体 10 件		18 件		全体約 30 件
電気通信設備（工事）					H 19	1 件	H 20	約 1 件
機械設備工事						1 件		約 1 件

(4) 電子納品保管管理等システムの調達・開発

ライフサイクルサポートを実施するうえで重要なシステムとなる「電子納品保管管理等システム」の調達・開発を行い、平成 21 年度より運用を開始（予定）する。

(5) 情報共有等システムの実証実験の実施

国土交通省で取組まれている情報共有等システムについて、平成 19 年度（7 事務所 8 件実施）に引き続き、一部の案件（11 事務所 各数件程度）により実証実験を行う。

システム利用による受発注者への効果、必要性及びその構築形態等を検証・検討する。

(6) 電子閲覧の部分実施

土木関係 3 部

平成 19 年度（業務委託 25 件，工事 24 件の実施）に引き続き部分実施を行う。平成 20 年度の対象案件は次のとおり。

- ・ 業務委託 : 設計金額 500 万円以上 (1)
- ・ 工 事 : 設計金額 5000 万円以上 (ただし，図面が電子データであるもの) (1 , 2)

1 : 随意契約については対象外とする。

2 : 上記の案件を持たない担当は，設計金額，電子データの有無によらず，1 件以上実施する。

なお，スキャナーによる電子化も可とする。図面の電子化は，平面図，縦断面図，標準横断面図及び主要構造図を基本とし，必要に応じて他の図面も電子化を行うこととする。(抜粋版)

農林水産部

平成 19 年度の試行実施（仮想案件）につづき，平成 20 年度より実案件で実施する。(各事業係 2 件程度)

3 平成 21 年度以降の電子納品実施計画（案）（別紙 2 参照）

平成 21 年度以降の円滑かつ本格導入のため，設計金額の区分による年次計画を策定し，早期の公表・周知を図り，更なる推進を図ることとする。

4 平成 20 年度のスケジュール（予定）

	～ H20.3	4	5	6	7～9	10～12	1～3	H21.4～
電子納品実施要領	実施結果反映 改訂作業		平成 20 年度 実施要領制定・公表				実施結果反映 改訂作業	
事前登録受付	事前登録受付(随時受付)							
電子納品実施 H21 以降計画公表	電子納品の実施							
			平成 20 年度 案件選定・発注・実施 平成 21 年度以降の実施計画公表				結果検証	
情報共有等 システム 実証実験			案件選定 発注・研修				結果 取りまとめ 次年度反映	
					実施・検証			
電子納品 保管管理等 システム調達・開発			公募プロポーザル 契約締結			テスト 研修		システム 利用開始
					システム開発			
電子閲覧 部分実施			案件選定 実施				結果 取りまとめ 次年度反映	
					実施・検証			

5 平成 20 年度における普及啓発その他周知手法

各種講習会の機会を捉え，説明等を行うとともに，広島県 CALS/EC ホームページ，業界紙及び関係業者団体の長への通知等により情報提供を行っていく。

普及促進支援団体である財団法人広島県建設技術センターが受注者向けに CALS/EC 普及促進研修を開催予定である。

電子納品事前登録について

土木部総務管理局技術指導室

1 要旨

平成 17 年 7 月から受付を開始している電子納品事前登録を継続し、随時受け付けを行う。

工事の入札については、平成 19 年 10 月より 1 千万以上は一般競争入札を導入したことから、電子納品対象案件工事で一般競争入札の場合、公告等に「電子納品対象案件」を明示し、電子納品事前登録の有無は問わないこととする。

2 目的

事前登録は、次の事項を目的に電子納品の全面導入まで実施する。

- ・ 受注者側における電子納品対応状況の把握（導入展開検討資料）
- ・ 電子納品実施案件の確実な履行確保（結果のフィードバック）
- ・ 発注事務の円滑化（実施案件の指名等基礎資料）

3 事前登録の具体内容

(1) 登録の資格

県発注の建設工事、測量及び建設コンサルタント等業務の入札参加資格を有し、最終成果物を広島県電子納品実施要領に従い「電子納品」ができる者

(2) 登録単位

建設工事・・・建設業許可番号単位

業務委託・・・測量及び建設コンサルタント業者登録番号単位（8 で始まる 8 桁の県独自の登録番号）

本店・支店単位や業種業務単位の登録は行わない。

(3) 登録窓口及び受付期間等について

項 目	内 容
申請先(受付窓口)	土木部総務管理局技術指導室 IT 推進グループ
登録申請様式	広島県 CALS / EC のページからダウンロード 事前登録申請書...様式第 1 号（別紙参照）
申請締切	登録受付開始から随時受け付け
登録の変更	変更は登録の取下げ（削除）のみとします。 申 広島県 CALS / EC のページからダウンロード 請 事前登録取下げ申請書...様式第 2 号 書 登録後の状況変化により、電子納品履行が不可能となった場合に登録を削除するための申請書
登録の有効期間	入札参加資格を有する機関において、登録申請を受領し登録を完了した日から電子納品が全面導入（事前登録を廃止）或いは登録の取下げを申請するまで。

注：事前登録は電子納品実施案件の指名等を確認するものではありません。

(4) 登録の確認

事前登録申請者が登録の有無を確認できるよう広島県 CALS/EC のホームページへ登録者の一覧を掲載する。ただし、掲載は建設業許可番号と測量及び建設コンサルタント業者登録番号（8 で始まる 8 桁の県独自の登録番号）で行う。

4 電子納品対象案件発注における留意事項

電子納品対象案件の発注に際しては次のとおり取り扱うこととなるので、十分検討のうえ、事前登録及び電子納品対象案件の受注を行う必要がある。

履行の確保（履行の義務化）	契約書類である特記仕様書へ記載し、契約上の義務とする。（不履行は契約違反）
業者の選定 （履行の確実化）	<u>指名競争入札</u> 事前登録業者リストから指名選考する。 <u>一般競争入札</u> 入札公告、特記仕様書へ「電子納品対象案件」である旨を記載。電子納品事前登録の有無は問わない。

5 その他

- ・ 「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の施行により、事前登録も受注者の技術的能力を確認することとし、申請書へ電子納品への対応状況（予定）の記載欄を設け、状況確認を行う事とした。その記載内容により、対応が未整備（無計画）と考えられる申請があれば問い合わせを行い、登録の可否を判断する。
- ・ 事前登録の様式及び広島県電子納品実施要領等は、広島県 CALS / EC のホームページに掲載中。
（ URL：<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/cals/> ）

広島県知事 様

所在地
商号又は名称
代表者氏名

印

電子納品に係る事前登録申請書

広島県が発注する電子納品対象案件において、広島県電子納品実施要領に基づいた電子納品が実施可能であることから、事前登録を申請します。

また、電子納品対象案件を受注した場合、広島県電子納品実施要領に基づいた電子納品を確実に履行することを誓約します。

なお、電子納品の実績及び作成環境は次 () のとおりです。

登録希望分野 (登録希望分野へ)		建設工事	大臣・ 県知事許可 号
		測量及び建設 コンサルタント	8 (8で始まる8桁の県独自の登録番号)

電子納品作成実績案件数

	国	地方自治体 (自治体名)
平成 15 年	件	件 ()
平成 16 年	件	件 ()
平成 17 年	件	件 ()
平成 18 年	件	件 ()

県外業者は実績範囲を中国地方に限定する。
地方自治体は、実績の多いところを記載する。
電子納品実績は、国の基準・要領に従い管理ファイルを作成し、資料 (資料は一部でも可・図面は SXF 形式) 整理を行なったもので、完了 (発注者受領済) 分を対象とする。

電子納品作成環境等

		電子納品作成 (管理ファイル作成・各種ファイル整理 等)				電子図面 (CAD) 作成			
利用 ソフト 情報	ソフト特性		電子納品作成支援ソフト ・ その他ソフト				OCF 検定認証有・OCF 検定認証無		
	メーカー								
	ソフト名称								
	所有 (購入) 者		会社・個人・その他 ()				会社・個人・その他 ()		
	購入 (予定) 時期		平成 年 月頃				平成 年 月頃		
外部 委託 情報	委託先 (予定)	名称 (商号等)							
		所在地							
	委託先への 委託実績	H16年度	件				件		
		H17年度							
		H18年度	件				件		
	委託範囲		書類作成	書類整理	管理ファイル作成	CD-R作成	新規図面作成	図面修正	基準類への適合検査
			その他・・・				その他・・・		

電子納品作成が自社作成の場合は利用ソフト情報、外部委託の場合は外部委託情報へ、両方該当する場合は両方へ記載を行う。

問合せ先 (電子納品への対応状況等説明が可能な担当者)

住所	〒 -	電話	
		F A X	
所属・役職・氏名		E-mail	

(注意事項)

必ず代表者印を押印してください。
電子納品対象案件を受注した場合、電子納品の履行が契約上の義務となり、電子納品不履行の場合、必要な措置を講ずることとなりますので、十分検討のうえ、事前登録申請を行ってください。
この事前登録は、今年度以降の電子納品対象案件の指名等を確約するものではありません。
電子納品実績案件数は、参考に伺うものであり、この登録自体及び登録後の取扱いに影響するものではありません。

電子納品事前登録の状況について

県内地域別の電子納品事前登録の状況について(H20.3.21現在)

測量・コンサルタント業務等

地方機関名称	対応業者数	全業者数 (*1)	対応率
広島地域事務所建設局	53	245	22%
広島地域事務所建設局廿日市支局	0	16	0%
呉地域事務所建設局	4	23	17%
芸北地域事務所建設局	0	0	0%
東広島地域事務所建設局	8	37	22%
東広島地域事務所建設局竹原支局	2	8	25%
備北地域事務所建設局	2	14	14%
備北地域事務所建設局庄原支局	1	8	13%
尾三地域事務所建設局	9	34	26%
福山地域事務所建設局	12	59	20%
県内計	91	444	20%
県外	53	406	13%
総計	144	850	17%

*1:H19・20コンサル 資格者情報

建設工事

地方機関名称	対応業者数	全業者数 (*2)	対応率
広島地域事務所建設局	130	1,243	10%
広島地域事務所建設局廿日市支局	21	82	26%
呉地域事務所建設局	12	296	4%
芸北地域事務所建設局	36	71	51%
東広島地域事務所建設局	18	204	9%
東広島地域事務所建設局竹原支局	6	70	9%
備北地域事務所建設局	27	103	26%
備北地域事務所建設局庄原支局	21	61	34%
尾三地域事務所建設局	40	342	12%
福山地域事務所建設局	26	583	4%
県内計	337	3,055	11%
県外	52	757	7%
総計	389	3,812	10%

*2 H19・20建設工事 資格者情報

主要業種別 電子納品事前登録の状況について (H20.3.21現在)

平成17年7月1日から受付を開始した受注者等の自主申請による電子納品事前登録について、平成20年3月14日までの登録状況を取りまとめている。

	測量・コンサルタント等			建設工事		
全体	144	/	850	16.9%	389	/ 3,812 10.2%

測量・コンサルタント等業務

業種 \ ランク		A			B			C			全体		
		対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率
測量	県内	28	31	91%	19	31	62%	18	88	21%	65	150	43%
	県外	43	135	32%	4	51	8%	1	44	3%	48	230	21%
	合計	71	166	43%	23	82	29%	19	132	15%	113	380	30%
土木建設コンサル	県内	31	38	82%	21	35	60%	11	78	15%	63	151	42%
	県外	47	233	21%	3	59	6%	0	24	0%	50	316	16%
	合計	78	271	29%	24	94	26%	11	102	11%	113	467	24%
地質調査	県内	19	20	95%	19	24	80%	15	52	29%	53	96	55%
	県外	40	113	36%	6	35	18%	0	4	0%	46	152	30%
	合計	59	133	45%	25	59	43%	15	56	27%	99	248	40%
建築建設コンサル	県内	10	25	40%	16	70	23%	12	94	13%	38	189	20%
	県外	24	109	23%	10	45	23%	1	20	5%	35	174	20%
	合計	34	134	26%	26	115	23%	13	114	12%	73	363	20%

建設工事

業種 \ ランク		A			B			C			D			全体		
		対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率
土木一式	県内	27	30	90%	184	402	46%	81	749	11%	12	690	2%	304	1,871	16%
	県外	35	71	50%	8	145	6%	3	100	3%	0	2	0%	46	318	15%
	合計	62	101	62%	192	547	36%	84	849	10%	12	692	2%	350	2,189	16%
舗装	県内	32	41	79%	61	106	58%	121	461	27%	38	679	6%	252	1,287	20%
	県外	12	39	31%	23	75	31%	0	21	0%	0	2	0%	35	137	26%
	合計	44	80	55%	84	181	47%	121	482	26%	38	681	6%	287	1,424	21%
法面	県内	12	20	60%	12	18	67%	33	103	33%	12	159	8%	69	300	23%
	県外	8	20	40%	13	39	34%	1	6	17%	0	0		22	65	34%
	合計	20	40	50%	25	57	44%	34	109	32%	12	159	8%	91	365	25%
とび・土工・コンクリート	県内	32	65	50%	45	108	42%	99	457	22%	37	693	6%	213	1,323	17%
	県外	37	131	29%	2	57	4%	2	33	7%	0	6	0%	41	227	19%
	合計	69	196	36%	47	165	29%	101	490	21%	37	699	6%	254	1,550	17%
建築一式	県内	20	31	65%	33	151	22%	58	353	17%	26	309	9%	137	844	17%
	県外	28	80	35%	4	71	6%	1	26	4%	0	11	0%	33	188	18%
	合計	48	111	44%	37	222	17%	59	379	16%	26	320	9%	170	1,032	17%

平成 2 1 年度以降の電子納品実施計画について（案）

土木部総務管理局技術指導室
農林水産部農林整備局農林整備管理室
総務部財務局財産管理室

1 要旨

電子納品の円滑かつ計画的な導入を推進するため、平成 2 1 年度以降の計画を策定する。

2 実施計画の基本的な考え方

- (1) 設計金額による段階的な実施計画とする。
- (2) 電子納品事前登録状況等を勘案した実施計画とする。
- (3) これまでに実施状況を勘案した実施計画とする。

3 実施計画

(1) 電子納品実施計画について

平成 2 1 年度以降の実施計画は次のとおりとする。

平成 2 3 年度以降の実施計画については、電子納品の実施状況及び電子納品事前登録状況等を勘案し、平成 2 0 年度以降に決定し、公表する。

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度以降
業務委託	原則全件実施		
建設工事	請負対象設計金額 2,500万円以上	請負対象設計金額 1,000万円以上	
建築設計業務	設計金額 300万円以上	設計金額 200万円以上	
営繕工事	請負対象金額 3500万円以上	請負対象金額 2500万円以上	

ただし、次の案件は、設計金額区分に該当しない場合でも電子納品を実施する。

発注者があらかじめ電子納品対象案件に指定する案件（前のプロセスが電子納品である場合等）

受注者から電子納品の申し出があり、受発注者双方の合意により電子納品対象とする案件

(2) 実施件数（想定）

平成 1 8 年度の発注件数を基礎とした平成 2 1 ・ 2 2 年度の電子納品実施件数（想定）は次のとおり。

分 類	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
業務委託	約 1,800 件	約 1,800 件
建設工事	約 900 件	約 1,600 件
合 計	約 2,700 件	約 3,400 件

4 電子納品対象案件の入札方法

(1) 指名競争入札

電子納品対象とする場合は、原則、事前登録業者から指名を行うこととする。

(2) 一般競争入札

電子納品対象とする場合は、公告文へ電子納品対象案件（電子納品が条件）であることを明記し入札参加希望者を募ることとする。（事前登録の有無を問わない）

広島県電子納品実施要領の改訂について（案）

[業務委託編][工事編][建築設計業務編][営繕工事編]
[電気通信・機械設備業務委託編]
[電気通信設備編][機械設備工事編]

土木部総務管理局技術指導室
農林水産部農林整備局農林整備管理室
総務部部財務局財産管理室

1 要旨

平成19年度の電子納品実施結果等を踏まえて、「広島県電子納品実施要領（7編）」を改訂する。

2 広島県電子納品実施要領の改訂概要

今年度、国土交通省等の要領・基準・ガイドラインに改訂等がなかったことから、平成19年度の電子納品の実施結果等を踏まえ、受発注者の理解促進等を図るための記載の変更、追加等を行った。

なお、電子納品対象書類の範囲等の基本的な運用（別紙1参照）に関しては、特段の改訂は行わない。

3 改訂内容に関する検討状況

- 平成20年3月4日：第10回電子納品分科会（電気通信・機械設備部門）にて[電気通信・機械設備業務委託編][電気通信設備編][機械設備工事編]の改訂内容を議論し、承認
- 平成20年3月13日：第11回電子納品分科会（営繕等部門）にて[建築設計業務編][営繕工事編]改訂内容を議論し、承認
- 平成20年3月18日：第12回電子納品分科会（土木・農林部門）にて[業務委託編][工事編]の改訂内容を議論し、承認

4 [業務委託編][工事編]の主な改訂内容

項 目	改 訂 の 主 な 内 容	業務委託	工事
P D F	・PDFバージョンはAcrobat5.0を基本とする（改定）	P8	P8
S F C	・SFCのバージョンはVer2.0,レベル2とする（追加）	P8	P8
ファイルの作成	・ワード等に画像を貼り付ける際の留意事項（追加）	P13	P12
測量成果	・測量成果のPDF等はSURVEYフォルダに格納（改定：準拠）	P14	-
C A Dファイルの工種	・林道事業で使用するC A Dの基準をCAD製図基準（案）へ変更（改定）	P24	P21
CADファイルの交換	・C A Dファイルの履歴管理の具体例を記載（改定）	P25	P24
電子媒体の納品部数	・納品部数は3部（正，副2）（改定）	P27	P26
電子成果品の確認	・成果品の確認方法を記載（追加）	P31	P30
管理項目 設計書コード 工事番号	・ハイフンの(-)の記入を取りやめ（改定）	P34	P34
着手前協議 チェックシート等	・より実務に沿った内容に見直し（改定）	P39	P43

5 [建築設計業務編] [営繕工事編] の主な改訂内容

項 目	改 訂 の 主 な 内 容	建築設計	営繕工事
図面ファイル形式	建築工事で主に使用されている JW-CAD において、SXF (SFC)での保存が可能であることと、国土交通省と基準を合わせることで、電子納品チェックソフト等での紛らわしいエラー表示がなくなることもあり、CAD 図面保存形式を SXF (SFC)とした。(認証されていない CAD ソフトで作成された SXF (SFC) でも当面認める)	P8	P8
図面のファイル名	原則として広島県建築 CAD 図面作成要領及び建築設備 CAD 図面作成要領によりファイル名を命名するとなっていたが、これに従うと図面番号等との関連性がなく、見辛くなる。また、電子納品作成支援ソフトによっては、要領どおりの命名は対応困難な場合もあり、当面の対応として図面のファイル名は協議により決定することとした。	P8	P8

6 [電気通信・機械設備業務委託編] [電気通信設備編] [機械設備工事編] の主な改訂内容

項 目	改 訂 の 主 な 内 容	業務委託	電気通信 機械設備
P D F	・ PDF バージョンは Acrobat5.0 を基本とする (改定)	P9	P9 P9
S F C	・ SFC のバージョンは Ver2.0, レベル 2 とする (追加)	P9	P9 P9
ファイルの作成	・ ワード等に画像を貼り付ける際の留意事項 (追加)	P14	P13 P13
測量成果	・ 測量成果の PDF 等は SURVEY フォルダに格納 (改定：準拠)	P15	-
C A D ファイルの工種	・ 下水道事業が準用する工種 下水道施設 CAD 製図基準 (案) (改定)	P26	P25 P31
CAD ファイルの交換	・ C A D ファイルの履歴管理の具体例を記載 (改定)	P27	P28 P34
電子成果品の確認	・ 成果品の確認方法を記載 (追加)	P33	P34 P40
管理項目 設計書コード 工事番号	・ ハイフォンの (-) の記入を取りやめ (改定)	P36, 39	P38 P44
着手前協議 チェックシート等	・ より実務に沿った内容に見直し (改定)	P42	P48 P60

7 平成 19・20 年度比較対照表 (案)
詳細な比較対照表は別紙 2 のとおり

広島県電子納品実施要領の基本事項について

1 平成20年度版広島県電子納品実施要領の基本構成について

広島県電子納品実施要領の基本的な考え方及び構成は次のとおりであり、変更はない。

(1) 基本的な考え方

電子化範囲の明確化	国土交通省の基準類で電子化対象である事項について、県レベル(県担当、受注業者)でそぐわないものについて電子化対象を再検討
県の実態反映	国土交通省と県との事務実態の差等により、国土交通省基準に追加・補足して取決めるべき事項がある場合には明記
担当者の理解促進	関係する基準の量(頁)は多い上に、実務に携わる担当者は多岐に渡るため、電子納品に対する理解を促進するため、内容説明を追記

(2) 基本的な構成

広島県電子納品実施要領 H20(業務委託編) ・電子納品の定義等・電子納品実施項目 ・フォルダ構成・ファイル形式、命名 ・電子媒体・検査実施 ・参考:フロー、チェックリスト	(個別の国基準・要領～準拠)	
	CAD製図基準(案) H16.6	
広島県電子納品実施要領 H20(工事編) ・電子納品の定義等・電子納品実施項目 ・フォルダ構成・ファイル形式、命名 ・電子媒体・検査実施 ・参考:フロー、チェックリスト	デジタル写真管理情報基準(案) H18.1	
	測量成果電子納品要領(案) H16.6	
	地質・土質調査成果電子納品要領(案) H16.6	
	CAD図面作成要領(案) H17.3	
	電子化図面データの作成要領(案) H17.4	
国の電子納品要領(案)、電子納品運用ガイドライン(案)に相当する内容をまとめて記述		

2 平成20年度広島県電子納品実施要領の基本運用(土木・都市・空港港湾・農林水産部共通)

区分	基本運用	考 え 方
(1) 要領の取扱い	電子納品の実施における受発注者の基本的な対応を明記	電子納品の実施で、心構えとして必要な事項を明記。
(2) CADフォーマット (業務委託・工事)	SXF(SFC)とする	標準形式である SXF のうち、ファイルサイズが小さく取扱いが比較的容易で、SXF(P21)との互換性が保たれている。
(3) オリジナルファイル (業務委託・工事)	CAD以外のオリジナルファイル作成ソフトは、ワード・エクセルを基本とする。 *対象データ 業務: 報告書オリジナルファイル 工事: 打合せ簿・履行報告等・各オリジナルファイル	県の使用ソフトであり、データ活用が可能となるため。(比較的汎用的なソフトでもある)
(4) PDF (業務委託・工事)	国と同様に作成(必要な設定等も準拠)。基本的には、オリジナルファイルからPDFファイルを作成する。 管理資料等作成ソフトにPDF出力機能があれば、県標準ファイルと同様に電子納品を認める。	検索機能を活用及び過度な負担を避けるため、スキャナによるPDF化は行わない。
(5) 電子媒体 (業務委託・工事)	・再度書き込みが不可能な方法で書き込めるCD-Rで納品する。 ・部数については、正1部副2部(計3部)	・電子納品物の原本性を担保する措置。 ・正副: 各発注機関、副: 技術指導室(県内電子納品データの総括管理用)
(6) 納品形態 (検査)	・業務委託 簡易製本による紙媒体を一部提出。受注者に対する過度の負担を避けるため、図面については縮小版とする。 ・工事 写真ダイジェスト版は従来どおり紙で提出する。	検査は、全体を俯瞰する作業を紙で、詳細部分を電子データにより確認する方法を想定。検査事務等円滑化のための当面の措置

広島県電子納品実施要領[業務委託編] 平成19・20年度比較対照表(案)

章	節	項	目	平成19年度		平成20年度		改訂
				頁	内容	頁	内容	
1			全項目	全頁		全頁		再構成 ・実施要領本文の書式・様式の統一化等の再構成
2	1	3	要領・基準 国土交通省と広島県との差異	P1	・表1.2 国土交通省と広島県との差異 測量成果の図面ファイル以外の取り扱い	P3	・表1.2 国土交通省と広島県との差異 測量成果の図面ファイル以外の取り扱い 削除	削除 ・測量成果の図面ファイル以外の取り扱いの項目を削除、国の基準に合わせ
3	1	3	要領・基準 国土交通省と広島県との差異	P2	・表1.2 国土交通省と広島県との差異 納品物 CD-R 2部	P3	・表1.2 国土交通省と広島県との差異 納品物 CD-R 3部(正 1部, 副 2部)	改正 ・県の実情に合わせる
4	2	3 (4)	要領・基準 下水道事業の取扱い	P4	・広島県の運用 広島県の下水道事業の取扱い	P6	・表2.3 下水道事業の取扱い(参考) 下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月	追加 ・下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月が日本下水道事業団より策定されたため追加した
5	3	1 (2)ウ	機器及びソフトウェア PDF作成ソフト	P6	・ソフト類 PDF作成ソフトのバージョンは、PDF1.2以上(=日本語版)とする	P8	・ソフト類 PDF作成ソフトのバージョンは、 Acrobat5.0(PDF1.4)日本語版を基本とする	改正 ・PDFのバージョンの目安を記述した
6	3	1 (3)ア	機器及びソフトウェア CADソフトについて	P6	・CADソフト	P8	・本要領で対象とするSXF(SFC)形式のバージョンとレベルは、Ver2.0, レベル2とする	追加 ・SXF(SFC)のバージョンについて広島県の取り扱いについて記述した
7	3	2	特記仕様書 特記仕様書の記載例	P6	・第 一条(成果品の提出) 委託成果品は、…… 2部提出する	P9	・第 一条(成果品の提出) 委託成果品は、…… 3部(正 1部, 副 2部)提出	改正 ・県の実情に合わせる
8	5	1 (10)	電子データ 電子データ作成の基本的な考え方			P13	・ファイルの作成 Word, Excel ファイル作成時の留意点	追加 ・ファイル容量が大きくならないように留意する事項を追記
9	5	2	電子データ 電子成果品作成の対象書類	P10	・5.2 業務委託成果品の電子化(電子納品)対象書類	P14	・表5.2 電子成果品の対象範囲 SURVEYフォルダ内にTXT・PDFの格納必須	改正 ・国の基準に準ずる
10	5	7	CADファイル 農林水産部所管事業が準用する工種	P21	・表5.7 農林水産部所管事業が準用する工種 林道事業, 電子化図面データの作成要領(案), 林道事業	P24	・表5.8 農林水産部所管事業が準用する工種 林道事業, CAD製図基準(案), 道路	改正 ・林道事業は, CAD製図基準に準拠する
11	5	7	CADファイル 下水道事業が準用する工種	P21	・表5.8 下水道事業が準用する工種	P24	・表5.9 下水道事業が準用する工種 下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月	追加 ・下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月が日本下水道事業団より策定されたため追加した
12	5	8	CADファイル CADファイル命名規則の履歴	P21	・表5.9 CADファイル命名参考例	P25-26	・表5.10, 表5.11 CADファイル命名参考例	改正 ・ファイルの履歴管理の例をより具体的に記載した
13	5	9	電子媒体仕様及び納品 納品する電子媒体数	P22	・5.8.1 使用媒体仕様等 納品時には, CD-R2部	P27	・5.9 電子媒体仕様及び納品 納品時には, CD-R3部(正 1部, 副 2部)	改正 ・県の実情に合わせる
14	5	11	電子媒体納品書 電子媒体の全体枚数	P25	・図5.9 電子媒体納品書の記載(例) 枚×2部	P30	・図5.9 電子媒体納品書の記載(例) 枚×3部	改正 ・県の実情に合わせる
15	5	12	電子成果品の確認 発注者が行う電子成果の確認			P31	・5.12電子成果品の確認	追加 ・納品された電子成果品について発注者が実際に行う具体的内容を記述した
16	7	2	業務管理項目 設計書コード	P29	・表7.1 工事管理項目(1/2) 設計書コード 契約図書の施工番号(14桁)を記入	P34	・表7.1 工事管理項目(1/2) 設計書コード 契約図書の施工番号(12桁)を記入	改正 ・データ表現が半角英数字の取り扱いのため, ハイフン(-)の記入を取りやめた
17	資1		着手前(変更)協議チェックシート	P33-37	・参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート	P39-43	・参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート 修正	改正 ・より実務に沿った内容にするため見直した
18	資2		検査前協議チェックシート	P38	・参考資料2 検査前協議チェックシート	P44	・参考資料2 検査前協議チェックシート 修正	改正 ・より実務に沿った内容にするため見直した
19	資3		納品時チェックシート	P39-40	・参考資料3 納品時チェックシート	P45-46	・参考資料3 納品時チェックシート 修正	改正 ・より実務に沿った内容にするため見直した

広島県電子納品実施要領[工事編] 平成19・20年度比較対照表(案)

章	節	項	目	平成19年度		平成20年度		改訂	
				頁	内容	頁	内容		
1			全項目	全頁		全頁		再構成	・実施要領本文の書式・様式の統一化等の再構成
2	1	3	要領・基準 国土交通省と広島県との差異	P2	・表1.2 国土交通省と広島県との差異(2/2) CADファイル命名規則の整理番号	P3	・表1.2 国土交通省と広島県との差異 整理番号は設計変更回数等を記入	改正	・整理番号に設計変更回数以外の情報を記入できるようにした
3	1	3	要領・基準 国土交通省と広島県との差異	P2	・表1.2 国土交通省と広島県との差異(1/2) 納品物 CD-R 2部	P4	・表1.2 国土交通省と広島県との差異 納品物 CD-R 3部	改正	・県の実情に合わせる
4	2	3(4)	要領・基準 下水道事業の取扱い	P4	・広島県の運用 広島県の下水道事業の取扱い	P6	・表2.3 下水道事業の取扱い(参考) 下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月	追加	・下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月が日本下水道事業団より策定されたため追加した
5	3	1(2)ウ	機器及びソフトウェア PDF作成ソフト	P6	・ソフト類 PDF作成ソフトのバージョンは、PDF1.2以上(=日本語版)とする	P8	・ソフト類 PDF作成ソフトのバージョンは、 Acrobat5.0(PDF1.4)日本語版を基本とする	改正	・PDFのバージョンの目安を記述した
6	3	1(3)ア	機器及びソフトウェア CADソフトについて	P6	・CADソフト	P8	・本要領で対象とするSXF(SFC)形式のバージョンとレベルは、Ver2.0、レベル2とする	追加	・SXF(SFC)のバージョンについて広島県の取り扱いについて記述した
7	3	2	特記仕様書 特記仕様書の記載例	P6	・第 条(成果品の提出) 成果品は、…… 2部提出する	P9	・第 条(成果品の提出) 成果品は、…… 3部提出する	改正	・県の実情に合わせる
8	5	1(10)	電子データ 電子データ作成の基本的な考え方			P12	・ファイルの作成 Word,Excelファイル作成時の留意点	追加	・ファイル容量が大きくなるように留意する事項を追記
9	5	5	ファイル形式 各フォルダに格納するファイル形式	P13	・「MEET-ORG」フォルダに格納するファイル形式は Word, Excel, PDF	P16	・「MEET-ORG」フォルダに格納するファイル形式に SXF(SFC)を追加	追加	・出来高管理資料等に図面を取り扱えるようにした
10	5	6(4)	CADファイル CADファイルの命名規則	P17	・解説 CADファイルの命名規則 変更設計の回数を半角英数字で1文字を記入する	P20	・整理番号(変更回数等)を半角英数字で記入する	改正	・整理番号に設計変更回数以外の情報を記入できるようにした
11	5	7	CADファイル 農林水産部所管事業が準用する工種	P19	・表5.7 農林水産部所管事業が準用する工種 林道事業, 電子化図面データの作成要領(案), 林道事業	P21	・表5.5 農林水産部所管事業が準用する工種 林道事業, CAD製図基準(案), 道路	改正	・林道事業は, CAD製図基準に準拠する
12	5	7	CADファイル 下水道事業が準用する工種	P19	・表5.5 下水道事業が準用する工種	P21	・表5.6 下水道事業が準用する工種 下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月	追加	・下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月が日本下水道事業団より策定されたため追加した
13	5	8	CADファイル 発注図の作成について		・新規追加	P22-23	・5.8 発注用ファイル(発注図)の作成	追加	・発注者が作成する発注図について具体的に定めた
14	5	9	CADファイル 請負・発注者間でのCADファイルの交換	P19	・表5.6 CADファイル命名参考例	P24-25	・表5.7, 表5.8 CADファイル命名参考例	改正	・ファイルの履歴管理の例をより具体的に記載した
15	5	10	電子媒体仕様及び納品 納品する電子媒体数	P20	・5.8.1 使用媒体仕様等 納品時には, CD-R2部	P26	・5.10 電子媒体仕様及び納品 納品時には, CD-R3部	改正	・県の実情に合わせる
16	5	12	電子媒体納品書 電子媒体の全体枚数	P23	・図5.10 電子媒体納品書の記載(例) 枚×2部	P29	・図5.10 電子媒体納品書の記載(例) 枚×3部	改正	・県の実情に合わせる
17	5	13	電子成果品の確認 発注者が行う電子成果の確認			P30	・5.13電子成果品の確認	追加	・納品された電子成果品について発注者が実際に行う具体的内容を記述した
18	7	2	工事管理項目 工事管理項目	P27	・表7.1 工事管理項目(1/2) 工事番号 契約図書の施工番号(14桁)を記入	P34	・表7.1 工事管理項目(1/2) 工事番号 契約図書の施工番号(12桁)を記入	改正	・データ表現が半角英数字の取り扱いのため, ハイフオン(-)の記入を取りやめた

広島県電子納品実施要領[工事編] 平成19・20年度比較対照表(案)

	章	節	項 目	平成19年度		平成20年度		改訂	
				頁	内容	頁	内容		
19	資1		着手前(変更)協議チェックシート	P36-38	・参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート	P43-45	・参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート 修正	改正	・より実務に沿った内容にするため見直した
20	資2		検査前協議チェックシート	P39	・参考資料2 検査前協議チェックシート	P46	・参考資料2 検査前協議チェックシート 修正	改正	・より実務に沿った内容にするため見直した
21	資3		納品時チェックシート	P40-41	・参考資料3 納品時チェックシート	P47-48	・参考資料3 納品時チェックシート 修正	改正	・より実務に沿った内容にするため見直した

広島県電子納品実施要領[建築設計業務編] 平成19・20年度比較対照表(案)

章	節	項	目	平成19年度		平成20年度		改訂	
				頁	内容	頁	内容		
1	1	4	国土交通省の基準等との差異とその取扱いの広島県の内容欄 CADファイルの形式 CADファイル命名規則 納品物	P2	原則として、SXF(SFC)とするが、JW-CADも認める。 原則として、県基準による 納品物CD-R 3部	P2	原則として、SXF(SFC)とする 受発注者協議により決定 納品物CD-R 2部	変更	・JW-CAD形式を削除した。 ・CADファイル命名規則を変更した。 ・納品物CD-R 3部から2部に変更した。
2	1	4	国土交通省の基準等との差異とその取扱いの広島県の内容欄 図面オリジナルファイル	P2	要(県基準による)	P2		削除	不要項目を削除した。
3	3	2	発注時の特記仕様書への記載	P5	(電子納品) 本業務は、電子納……「広島県電子納品実施要領[建築設計業務編]」平成19年5月版(以下、…) (成果品の提出) 電子成果物(電子納品) 3部	P5	(電子納品) 本業務は、電子納……「広島県電子納品実施要領[建築設計業務編]」平成20年 月版(以下、…) (成果品の提出) 電子成果物(電子納品) 2部	変更	・適用実施要領の変更 ・提出部数を3部から2部に変更した。
4	5	1	(6) CAD図面のファイル形式	P8	CAD図面のファイル形式の運用については、次のとおりとする。	P8	電子納品の図面ファイル形式は、SXF(SFC)とする	変更	CADファイル形式をSXF(SFC)のみに変更した。
5	5	1	(6) CAD図面ファイルの取り扱い	P8	電子納品の図面ファイル形式は……	P8		削除	不要項目を削除した。
6	5	2	委託成果品の電子化(電子納品)対象書類	P9	電子納品対象データは、次の図書を基準とし、契約に係る書類(特記仕様書を除く)については対象外とし、平成19年度は次のとおり実施する。	P9	電子納品対象データは、次の図書を基準とし、契約に係る書類(特記仕様書を除く)については対象外とし、次のとおり実施する。	変更	不要箇所を削除した。
7	5	4	広島県の標準ファイル形式 図面ファイル	P10	図面ファイルのファイル形式については、5.1(6)CAD図面のファイル形式によるものとする。	P10	図面ファイルのファイル形式については、原則としてSXF(SFC)形式とする。	変更	CADファイル形式の取扱を変更した。
8	5	5	1 図5.1 フォルダ構成 (図面フォルダ) (オリジナルファイルフォルダ)	P11	5.5.2 フォルダに格納するファイル形式を参照	P11		削除	不要箇所を削除した。
9	5	5	2 フォルダへ格納するファイル形式 1について	P12	レイヤリストファイルは、国の「建築CAD図面作成要領(案)」に参考例として示されている。本県の運用としては、県の5.6.2 建築CAD図面作成要領 及び5.6.3 建築設備CAD図面作成要領に基づくこととする。	P12	レイヤリストファイルは、国の「建築CAD 図面作成要領(案)」に参考例として示されている。本県の運用としては、県の5.6.2 建築CAD図面作成要領 及び5.6.3 建築設備CAD図面作成要領に基づくこととする。なお、これにより難しい場合は、受発注者協議により決定するものとする。	変更	レイヤリストファイルの取扱を変更した。
10	5	5	2 フォルダへ格納するファイル形式 2, 3について	P12	図面ファイル形式は、5.1(7) CAD 図面のファイル形式参照のこと。 図面フォルダ(DRAWING)に、JW-CADを格納する場合は、オリジナルファイルの作成は不要である。	P12		削除	図面は原則SXF(SFC)形式としたので、注釈は不要になり、削除した。
11	5	6	ファイルの命名規則 ファイル名	P13	図面のファイル名については、5.6.2 建築CAD図面作成要領 及び5.6.3 建築設備CAD図面作成要領 によることとする。図面以外のファイル名については、原則として、5.6.4 図面以外のファイル名により名称を設定するものとする。	P13	図面のファイル名については、5.6.2 建築CAD図面作成要領 及び5.6.3 建築設備CAD図面作成要領 の命名規則を参考にし、受発注者協議によるものとする。図面以外のファイル名については、5.6.4 図面以外のファイル名により名称を設定するものとする。	変更	ファイル名の取扱を変更した。

広島県電子納品実施要領[建築設計業務編] 平成19・20年度比較対照表(案)

	章	節	項	目	平成19年度		平成20年度		改訂	
					頁	内容	頁	内容		
12	5	6	1	(2)ファイル名の取扱い	P13	CAD図面のファイル名は、県で策定している5.6.2建築CAD図面作成要領及び5.6.3建築設備CAD図面作成要領に基づくこととし、現行の基準とおりとする。図面以外のファイル名については、原則として、5.6.4 図面以外のファイル名により名称を設定するものとする。	P13	CAD図面のファイル名は、県で策定している5.6.2建築CAD図面作成要領及び5.6.3建築設備CAD図面作成要領の命名規則を参考にし、請負・発注者間協議により決定する。図面以外のファイル名については、5.6.4 図面以外のファイル名により名称を設定するものとする。	変更	ファイル名の取扱いを変更した。
13	5	7	1	使用媒体仕様等	P18	・納品時には、CD-R3部……	P18	・納品時は、CD-R_2部とする。	変更	納品物(CD-R)の部数を変更した。
14				参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート 参考資料2 検査前協議チェックシート	P26 ～ P29		P26 ～ P29	内容変更	変更	様式を今回の改正に合わせ変更した。

広島県電子納品実施要領[営繕工事編] 平成19・20年度比較対照表(案)

章	節	項	目	平成19年度		平成20年度		改訂	
				頁	内容	頁	内容		
1	1	4	国土交通省の基準等との差異とその取扱いの広島県の内容欄 CADファイルの形式 CADファイル命名規則 納品物	P2	原則として、SXF(SFC)とするが、JW-CADも認める。 原則として、県基準による 納品物CD-R 3部	P2	原則として、SXF(SFC)とする 受発注者協議により決定 納品物CD-R 2部	変更	・JW-CAD形式を削除した。 ・CADファイル命名規則を変更した。 ・納品物CD-R 3部から2部に変更した。
2	1	4	国土交通省の基準等との差異とその取扱いの広島県の内容欄 図面オリジナルファイル	P2	要(県基準による)	P2		削除	不要項目を削除した。
3	3	2	発注時の特記仕様書への記載	P5	電子納品 本工事は、電子納品・・・「広島県電子納品実施要領[営繕工事編]」平成19年5月版(以下、・・・) 完成時の提出書類等 電子成果品(電子納品) 3部	P5	電子納品 本工事は、電子納品・・・「広島県電子納品実施要領[営繕工事編]」平成20年 月版(以下、・・・) 完成時の提出書類等 電子成果品(電子納品) 2部	変更	・適用実施要領の変更 ・提出部数を3部から2部に変更した。
4	5	1	(6) CAD図面のファイル形式 CAD図面ファイルの取り扱い	P8	電子納品の図面ファイル形式は、SXF(SFC)形式を基本とする。ただし、広島県の営繕・設備等部門では、これまで「建築CAD 図面作成要領」及び「建築設備CAD 図面作成要領」に基づき、ファイル形式をJW-CAD 形式に指定してきたことから、次の取扱いを認めることとし、段階的にSXF(SFC)形式へ移行を図ることとする。	P8	電子納品の図面ファイル形式は、原則としてSXF(SFC)形式とする。ただし、広島県の営繕・設備等部門では、これまで「建築CAD 図面作成要領」及び「建築設備CAD 図面作成要領」に基づき、ファイル形式をJW-CAD 形式に指定してきたことから、発注者から提供する図面はJW-CAD 形式となることがある。	変更	CADファイル形式をSXF(SFC)のみに変更した。
5	5	1	(6) CAD図面のファイル形式 CAD図面ファイルの取り扱い(表) 営繕工事(ケース2)の項目 納品時の図面ファイル形式	P8	JW-CAD	P8	SXF(SFC)	変更	CADファイル形式の取扱を変更した。
6	5	1	(6) CAD図面のファイル形式 CAD図面ファイルの取り扱い(表) 業務委託の項目	P8	無し - SXF(SFC), JW-CAD	P8		削除	不要項目を削除した。
7	5	4	広島県の標準ファイル形式 図面ファイル	P10	図面ファイルのファイル形式については、5.1(6)CAD 図面のファイル形式によるものとする。	P10	図面ファイルのファイル形式については、原則としてSXF(SFC)形式とする。	変更	CADファイル形式の取扱を変更した。
8	5	5	1 図5.1 フォルダ構成 (完成図フォルダ) (オリジナルファイルフォルダ)	P14	5.5.2 フォルダに格納するファイル形式を参照	P14		削除	不要箇所を削除した。
9	5	5	2 フォルダへ格納するファイル形式 1について	P16	レイヤリストファイルは、国の「建築CAD図面作成要領(案)」に参考例として示されている。本県の運用としては、県の5.6.2 建築CAD図面作成要領及び5.6.3建築設備CAD図面作成要領に基づくこととする。	P16	レイヤリストファイルは、国の「建築CAD図面作成要領(案)」に参考例として示されている。本県の運用としては、県の5.6.2建築CAD図面作成要領及び5.6.3建築設備CAD図面作成要領に基づくこととする。これにより難しい場合は、請負・発注者協議により決定するものとする。	変更	レイヤリストファイルの取扱を変更した。
10	5	5	2 フォルダへ格納するファイル形式 2, 3について	P16	図面ファイル形式は、5.1(7) CAD 図面のファイル形式参照のこと。 図面フォルダ(DRAWING)に、JW-CADを格納する場合は、オリジナルファイルの作成は不要である。	P16		削除	図面は原則SXF(SFC)形式としたので、注釈は不要になり、削除した。

広島県電子納品実施要領[営繕工事編] 平成19・20年度比較対照表(案)

章	節	項	目	平成19年度		平成20年度		改訂	
				頁	内容	頁	内容		
11	5	6	ファイルの命名規則 ファイル名	P18	図面のファイル名については、5.6.2 建築CAD図面作成要領 及び5.6.3 建築設備CAD図面作成要領 によるものとする。図面以外のファイル名については、原則として、5.6.4 図面以外のファイル名により名称を設定するものとする。	P18	図面のファイル名については、5.6.2 建築CAD図面作成要領 及び5.6.3 建築設備CAD図面作成要領 の命名規則を参考にし、受発注者協議によるものとする。図面以外のファイル名については、5.6.4 図面以外のファイル名により名称を設定するものとする。	変更	ファイル名の取扱を変更した。
12	5	6	1 (2)ファイル名の取扱い	P18	CAD図面のファイル名は、県で策定している5.6.2建築CAD図面作成要領及び5.6.3建築設備CAD図面作成要領 に基づくこととし、現行の基準どおりとする。図面以外のファイル名については、原則として、5.6.4 図面以外のファイル名 により名称を設定するものとする。	P18	CAD図面のファイル名は、県で策定している5.6.2建築CAD図面作成要領及び5.6.3建築設備CAD図面作成要領 の命名規則を参考にし、請負・発注者協議によるものとする。図面以外のファイル名については、5.6.4 図面以外のファイル名 により名称を設定するものとする。	変更	ファイル名の取扱を変更した。
13	5	7	1 使用媒体仕様等	P23	・納品は、CD - R 3部とする。	P23	・納品は、CD - R 2部とする。	変更	納品物(CD-R)の部数を変更した。
14	7	1	工事管理項目 工事番号の広島県摘要欄	P31	契約図書の施行番号(14文字)を記入 10136-419-0620	P31	契約図書の施行番号(12文字)を記入 101364200620	変更	記載方法を変更した。
15			参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート 参考資料2 検査前協議チェックシート	P33 ~ P38		P33 ~ P38	内容変更	変更	様式を今回の改正に合わせ変更した。

広島県電子納品実施要領[電気通信・機械設備業務委託編] 平成19・20年度比較対照表(案)

章	節	項	目	平成19年度		平成20年度		改訂	
				頁	内容	頁	内容		
1			全項目	全頁		全頁		再構成	・実施要領本文の書式・様式の統一化等の再構成
2	1	3	要領・基準 国土交通省と広島県との差異	P1	・表1.2 国土交通省と広島県との差異 測量成果の図面ファイル以外の取り扱い	P3	・表1.2 国土交通省と広島県との差異 測量成果の図面ファイル以外の取り扱い	削除	・国の基準に順ずる
3	2	3	(4) 要領・基準 下水道事業の取扱い	P4	・広島県の運用 広島県の下水道事業の取扱い	P6	・表2.3 下水道事業の取扱い(参考) 下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月	追加	・下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月が日本下水道事業団より策定されたため追加した
4	3	1	(2)カ 機器及びソフトウェア PDF作成ソフト	P7	・ソフト類 PDF作成ソフトのバージョンは、PDF1.2以上(=日本語版)とする	P9	・ソフト類 PDF作成ソフトのバージョンは、 Acrobat5.0(PDF1.4)日本語版を基本とする	改正	・PDFのバージョンの目安を記述した
5	3	1	(3)ア 機器及びソフトウェア CADソフト	P7	・CADソフト	P9	・CADソフトについて 本要領で対象とするSXF(SFC)形式のバージョンとレベルは、Ver2.0、レベル2とする	追加	・使用するSXF(SFC)のバージョンを明確にした
6	5	1	(2) 電子データ 電子データ作成の基本的な考え方			P14	・ファイルの作成 Word,Excelファイル作成時の留意点	追加	・ファイル容量が大きくなるように留意する事項を追記
7	5	2	電子データ 電子成果品作成の対象書類	P11	・5.2 業務委託成果品の電子化(電子納品)対象書類	P15	・表5.2 電子成果品の対象範囲 SURVEYフォルダ内にTXT・PDFの格納必須	改正	・国の基準に準ずる
8	5	7	CADファイル 下水道事業が準用する工種	P24	・表5.7 下水道事業が準用する工種	P26	・表5.8 下水道事業が準用する工種 下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月	追加	・下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月が日本下水道事業団より策定されたため追加した
9	5	8	CADファイル CADファイル命名規則の履歴	P24	・表5.8 CADファイル命名参考例	P27-28	・表5.9、表5.10 CADファイル命名参考例	改正	・ファイルの履歴管理の例をより具体的に記載した
10	5	12	電子成果品の確認 発注者が行う電子成果の確認			P33	・5.12電子成果品の確認	追加	・納品された電子成果品について発注者が実際に行う具体的内容を記述した
11	7	2	業務管理項目 電気通信設備	P31	・表7.1 業務管理項目 電気通信設備(1/2) 設計書コード 契約図書の施工番号(14桁)を記入	P36	・表7.1 業務管理項目 電気通信設備(1/2) 設計書コード 契約図書の施工番号(12桁)を記入	改正	・データ表現が半角英数字の取り扱いのため、ハイフン(-)の記入を取りやめた
12	7	4	業務管理項目 機械設備工事	P34	・表7.1 業務管理項目 機械設備工事(1/2) 設計書コード 契約図書の施工番号(14桁)を記入	P39	・表7.1 業務管理項目 機械設備工事(1/2) 設計書コード 契約図書の施工番号(12桁)を記入	改正	・データ表現が半角英数字の取り扱いのため、ハイフン(-)の記入を取りやめた
13	資1		着手前(変更)協議チェックシート	P37-41	・参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート	P42-46	・参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート 修正	改正	・より実務に沿った内容にするため見直した
14	資2		検査前協議チェックシート	P42	・参考資料2 検査前協議チェックシート	P47	・参考資料2 検査前協議チェックシート 修正	改正	・より実務に沿った内容にするため見直した
15	資3		納品時チェックシート			P48-49	・参考資料3 納品時チェックシート	追加	・発注者が行う電子成果品のチェックを内容を具体的にシートにした

広島県電子納品実施要領[電気通信設備] 平成19・20年度比較対照表(案)

章	節	項	目	平成19年度		平成20年度		改訂
				頁	内容	頁	内容	
1			全項目	全頁		全頁		再構成 ・実施要領本文の書式・様式の統一化等の再構成
2	1	3	要領・基準 国土交通省と広島県との差異	P2	・表1.2 国土交通省と広島県との差異(1/2) CADファイル命名規則の整理番号	P4	・表1.2 国土交通省と広島県との差異 整理番号は設計変更回数等を記入	改正 ・整理番号に設計変更回数以外の情報を記入できるようにした
3	1	3	要領・基準 国土交通省と広島県との差異	P2	・表1.2 国土交通省と広島県との差異(1/2) 納品物 完成写真帳1部	P4	・表1.2 国土交通省と広島県との差異 納品物 写真帳(ダイジェスト版)1部	改正 ・土木と同じ取り扱いにした
4	2	3(4)	要領・基準 下水道事業の取扱い	P4	・広島県の運用 広島県の下水道事業の取扱い	P7	・表2.3 下水道事業の取扱い(参考) 下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月	追加 ・下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月が日本下水道事業団より策定されたため追加した
5	3	1(2)ウ	機器及びソフトウェア PDF作成ソフト	P6	・ソフト類 PDF作成ソフトのバージョンは、PDF1.2以上(=日本語版)とする	P9	・ソフト類 PDF作成ソフトのバージョンは、 Acrobat5.0(PDF1.4)日本語版を基本とする	改正 ・PDFのバージョンの目安を記述した
6	3	1(3)ア	機器及びソフトウェア CADソフト	P6	・CADソフト	P9	・CADソフトについて 本要領で対象とするSXF(SFC)形式のバージョンとレベルは、Ver2.0、レベル2とする	追加 ・使用するSXF(SFC)のバージョンを明確にした
7	5	1(2)	電子データ 電子データ作成の基本的な考え方			P13	・ファイルの作成 Word,Excelファイル作成時の留意点	追加 ・ファイル容量が大きくならないように留意する事項を追記
8	5	5	ファイル形式 各フォルダに格納するファイル形式	P14	・「MEET-ORG」フォルダに格納するファイル形式はWord, Excel, PDF	P18	・「MEET-ORG」フォルダに格納するファイル形式にSXF(SFC)を追加	追加 ・出来高管理資料等に図面を取り扱えるようにした
9	5	6(4)	CADファイル CADファイルの命名規則	P20	・解説 CADファイルの命名規則 変更設計の回数を半角英数字で1文字を記入する	P23 P24	・整理番号(変更回数等)を半角英数字で記入する	改正 ・整理番号に設計変更回数以外の情報を記入できるようにした
10	5	7	CADファイル 下水道事業が準用する工種	P21	・表5.5 下水道事業が準用する工種	P25	・表5.6 下水道事業が準用する工種 下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月	追加 ・下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月が日本下水道事業団より策定されたため追加した
11	5	8	CADファイル 発注図の作成について			P25	・5.8 発注用ファイル(発注図)の作成	追加 ・発注者が作成する発注図について具体的に定めた
12	5	9	CADファイル CADファイル命名規則の履歴	P21	・表5.6 CADファイル命名参考例	P28- 29	・表5.7, 表5.8 CADファイル命名参考例	改正 ・ファイルの履歴管理の例をより具体的に記載した
13	5	10	電子媒体の仕様及び納品 納品する電子媒体数	P22	・5.10 電子媒体 納品物 完成写真帳1部	P30	・5.10 電子媒体 納品物 写真帳(ダイジェスト版)1部	改正 ・土木と同じ取り扱いにした
14	5	13	電子成果品の確認 発注者が行う電子成果の確認			P34	・5.13電子成果品の確認	追加 ・納品された電子成果品について発注者が実際に行う具体的内容を記述した
15	7	2	工事管理項目 電気通信設備	P29	・表7.1 工事管理項目(1/2) 設計書コード 契約図書の施工番号(14桁)を記入	P38	・表7.1 工事管理項目(1/2) 設計書コード 契約図書の施工番号(12桁)を記入	改正 ・データ表現が半角英数字の取り扱いのため、ハイフン(-)の記入を取りやめた
16	資1		着手前(変更)協議チェックシート	P39- 41	・参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート	P48- 50	・参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート 修正	改正 ・より実務に沿った内容にするため見直した
17	資2		検査前協議チェックシート	P42	・参考資料2 検査前協議チェックシート	P51	・参考資料2 検査前協議チェックシート 修正	改正 ・より実務に沿った内容にするため見直した
18	資3		納品時チェックシート			P52- 54	・参考資料3 納品時チェックシート	追加 ・発注者が行う電子成果品のチェックを内容を具体的にシートにした

広島県電子納品実施要領[機械設備工事編] 平成19・20年度比較対照表(案)

章	節	項	目	平成19年度		平成20年度		改訂	
				頁	内容	頁	内容		
1			全項目	全頁		全頁		再構成	・実施要領本文の書式・様式の統一化等の再構成
2	1	3	要領・基準 国土交通省と広島県との差異	P2	・表1.2 国土交通省と広島県との差異(2/2) CADファイル命名規則の整理番号	P4	・表1.2 国土交通省と広島県との差異 整理番号は設計変更回数等を記入	改正	・整理番号に設計変更回数以外の情報を記入できるようにした
3	1	3	要領・基準 国土交通省と広島県との差異	P2	・表1.2 国土交通省と広島県との差異(1/2) 納品物 完成写真帳1部	P4	・表1.2 国土交通省と広島県との差異 納品物 写真帳(ダイジェスト版)1部	改正	・土木と同じ取り扱いにした
4	2	3(4)	要領・基準 下水道事業の取扱い	P4	・広島県の運用 広島県の下水道事業の取扱い	P7	・表2.3 下水道事業の取扱い(参考) 下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月	追加	・下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月が日本下水道事業団より策定されたため追加した
5	3	1(2)ウ	機器及びソフトウェア PDF作成ソフト	P6	・ソフト類 PDF作成ソフトのバージョンは、PDF1.2以上(=日本語版)とする	P9	・ソフト類 PDF作成ソフトのバージョンは、 Acrobat5.0(PDF1.4)日本語版を基本とする	改正	・PDFのバージョンの目安を記述した
6	3	1(3)ア	機器及びソフトウェア CADソフト	P6	・CADソフト	P9	・CADソフトについて 本要領で対象とするSXF(SFC)形式のバージョンとレベルは、Ver2.0, レベル2とする	追加	・使用するSXF(SFC)のバージョンを明確にした
7	5	1(2)	電子データ 電子データ作成の基本的な考え方			P13	・ファイルの作成 Word,Excelファイル作成時の留意点	追加	・ファイル容量が大きくならないように留意する事項を追記
8	5	6(4)	CADファイル CADファイルの命名規則	P26	・解説 CADファイルの命名規則 変更設計の回数を半角英数字で1文字を記入する	P30	・整理番号(変更回数等)を半角英数字で記入する	改正	・整理番号に設計変更回数以外の情報を記入できるようにした
9	5	7	CADファイル 下水道事業が準用する工種	P27	・表5.6 下水道事業が準用する工種	P31	・表5.7 下水道事業が準用する工種 下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月	追加	・下水道施設CAD製図基準(案)平成19年8月が日本下水道事業団より策定されたため追加した
10	5	8	CADファイル 発注図の作成について			P32	・5.8 発注用ファイル(発注図)の作成	追加	・発注者が作成する発注図について具体的に定めた
11	5	9	CADファイル CADファイル命名規則の履歴	P27	・表5.7 CADファイル命名参考例	P34-35	・表5.8, 表5.9 CADファイル命名参考例	改正	・ファイルの履歴管理の例をより具体的に記載した
12	5	10	電子媒体の仕様及び納品 納品する電子媒体数	P28	・5.10 電子媒体 納品物 完成写真帳1部	P36	・5.10 電子媒体 納品物 写真帳(ダイジェスト版)1部	改正	・土木と同じ取り扱いにした
13	5	13	電子成果品の確認 発注者が行う電子成果の確認			P40	・5.13電子成果品の確認	追加	・納品された電子成果品について発注者が実際に行う具体的内容を記述した
14	7	2	工事管理項目 機械設備工事	P35	・表7.1 工事管理項目(1/3) 設計書コード 契約図書の施工番号(14桁)を記入	P44	・表7.1 工事管理項目(1/3) 設計書コード 契約図書の施工番号(12桁)を記入	改正	・データ表現が半角英数字の取り扱いのため、ハイフン(-)の記入を取りやめた
15	資1		着手前(変更)協議チェックシート	P51-53	・参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート	P60-62	・参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート 修正	改正	・より実務に沿った内容にするため見直した
16	資2		検査前協議チェックシート	P54	・参考資料2 検査前協議チェックシート	P63	・参考資料2 検査前協議チェックシート 修正	改正	・より実務に沿った内容にするため見直した
17	資3		納品時チェックシート			P64-66	・参考資料3 納品時チェックシート	追加	・発注者が行う電子成果品のチェックを内容を具体的にシートにした

広島県 CALS/EC 研修会について(受注者向け)

財団法人広島県建設技術センター

1 平成 19 年度の実施状況

(1) 広島県 CALS/EC 研修会(基礎編)

- ア 開催日等 平成 19 年 6 月 5 日(西部会場：広島県立総合体育館中会議室)
 平成 19 年 6 月 19 日(東部会場：福山市市民参画センター)
 平成 19 年 6 月 21 日(北部会場：広島県立三次公園視聴覚室)

イ 参加人数 184 名(コンサルタント 47 名, 建設業者 137 名)

ウ 研修内容

- (ア) 「広島県 CALS/EC」について概要説明
 (イ) 「広島県電子納品実施要領」の解説

(2) 広島県 CALS/EC 研修会(専門編)

ア 開催日等 平成 19 年 7 月 2 日～6 日, 13 日(広島ソフトウェアセンター)

イ 参加人数 135 名(コンサルタント 41 名, 建設業者 94 名)

ウ 研修内容

- (ア) 「広島県電子納品実施要領」の解説
 (イ) 「電子納品の元データ作成時の注意点」解説
 (ウ) 「デジタル写真データの作成」演習
 (エ) 「CAD データの作成について」演習
 (オ) 「電子納品(成果品)の作成について」演習
 (カ) 「電子納品(成果品)の検査時の操作」演習

(3) 広島県 CALS/EC 研修会(電子入札システム操作編)

ア 開催日等 平成 19 年 7 月 9 日～12 日 (広島ソフトウェアセンター)

イ 参加人数 188 名

ウ 研修内容

- (ア) 「電子入札の拡大について」の解説
 (イ) 「電子入札システム操作」演習

2 平成 20 年度の実施予定

(1) 広島県 CALS/EC 研修会(土木 基礎～専門編)

ア 開催時期

平成 20 年 7 月 6 日間

イ 対象者及び人数

建設業者及びコンサルタント 25 人/回 × 6 回開催 = 150 人

ウ 研修内容

- (ア) 「広島県 CALS/EC」について概要説明
 (イ) 「広島県電子納品実施要領」の解説
 (ウ) 「電子納品の元データ作成時の注意点」の解説
 (エ) 「デジタル写真データの作成について」演習
 (オ) 「CAD データの作成について」演習
 (カ) 「電子納品(成果品)の作成について」演習
 (キ) 「電子納品(成果品)検査時の操作」演習

平成20年度電子納品研修の実施について（県職員向け）

広島県土木部総務管理局技術指導室

1 要旨

平成20年度は電子納品の対象案件がさらに増えることから、電子納品の実施に即した研修等を開催する。

2 電子納品に必要となる研修項目

(1) 電子納品の基礎（広島県電子納品実施要領及びその運用）

広島県における電子納品実施の基本ルールである。国の要領類に準拠しながら、県独自の取扱いや理解促進のための解説等を記載したもの。

(2) 電子納品関連ツール（電子納品閲覧チェックツール及び電子図面閲覧・編集ソフト(CAD)）

電子納品閲覧チェックツールは受注者から提出される電子納品の内容について、各種要領等に適合しているかの確認検査を自動処理し、更にその内容の閲覧等を実施するソフトであり、事務量の軽減を図ることが可能なソフト。CADは電子化された図面データを閲覧し、編集するソフト。

3 研修実施の基本スタンス

- (1) 講習会による受講機会の確保・・・多くの受講を可能とするため、地方機関で多く開催する。
- (2) ツール研修の発展・・・基礎・応用・実務編の継続と電子納品編を新規開催する。
- (3) ツール研修の反復受講・・・習熟を深めるために、反復の受講を認める。
- (4) 地方機関優先受講・・・基本的には本庁・地方機関の区分は無いが希望が多い場合は、電子納品実施を行う地方機関を優先する。
- (5) 定期開催・・・実施案件数の増加に伴い、定期開催を継続する。

4 具体の研修計画

(1) 全関係職員の受講への取組み

9月までに、多くの研修を開催し、早期習熟を図る。実務編及び電子納品編（新規）を開催することによる実務上のスキル向上を推進する。

		H17	H18	H19	H20 (予定)	備 考
電子納品講習会	人数	全技術職員 対象	全技術職員 対象	全技術職員 対象	全技術職員 対象	要領改訂及び段階的な取組み等について、年度毎の周知が必要。
	回数	11回	16回	12回	12回	
ツール研修	人数	367名	368名	362人	約520名	基礎・応用・実務編を引き続き開催するとともに、電子納品編を新規開催する。
	回数	15回	26回	26回	26回	
検査監研修	人数	15名	15名	16名	検査監＋ 希望者	検査監及び課長等の検査執行者の研修。（必要に応じ追加開催）
	回数	1回	1回	1回	1回	

(2) 平成20年度の研修開催予定

平成20年度は、次の研修内容・回数を予定している。

実務・電子納品編を多く開催し、実務上のスキルアップを図る。

		内 容	回数	開催予定時期
電子納品講習会		電子納品実施に必要な知識・実務作業の習得	11回 1回	5月～6月(巡回) 6月(本庁)
ツール研修	基礎編	ツールの基礎操作の習得	4回	6・7月
	応用編	ツールの応用操作の習得	6回	6・7月
	実務編	ツールの実務での利用手法の習得	9回	6～9月
	電子納品編	電子納品実務の流れでの利用手法の習得	7回	6～9月
検査監研修		ツール操作及び検査手法の習得	1回	5月(状況に応じ追加開催)

5 その他

(1) 研修の企画・運営等

技術指導室が企画・運営等を行うが、講師についてはCALS/EC普及促進支援団体である（財）広島県建設技術センター及びツール開発会社へ依頼し、効果・効率的な研修実施に努める。

(2) アンケートの実施

研修内容及び電子納品に対する意見等を広く募り、今後に反映する。

広島県CALS/EC連絡協議会規約

(名称)

第1条 本会は、広島県CALS/EC連絡協議会と称する。

(目的)

第2条 本県において、公共事業執行のIT化であるCALS/ECを受発注者一体となつて推進するため、意見交換や必要な調整を行いながら、それぞれの取組の方向性や内容について整合を図るとともに、CALS/ECの着実な浸透を目指した普及促進活動を行う。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1)本県におけるCALS/ECに関する受発注者の意見交換及び連絡調整
- (2)本県におけるCALS/ECの普及促進

(会員)

第4条 会員は別表1のとおりとする。

(役員)

第5条 本会に、次の役員を置く。

- (1)会長 1名
- (2)副会長 1名

(役員の選任)

第6条 会長は、広島県土木部技監をもって充てる。

2 副会長は、財団法人広島県建設技術センター理事長をもって充てる。

(役員の職務)

第7条 会長は、本会を代表して会務を統轄する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。

(会議)

第8条 会議は、必要に応じ会長が召集する。

(電子納品分科会)

第9条 本会の電子納品に関連した業務について、より詳細な調整を行うため、電子納品分科会を置く。

- 2 電子納品分科会は別表2の機関から、各機関の長が推薦した者により構成する。
- 3 分科会に、会を統轄する班長を置く。

(事務局)

第10条 本会及び分科会の事務局は広島県土木部総務管理局技術指導室に置く。

附 則

この規約は、平成16年 1月20日から施行する

附 則

この規約は、平成16年 7月 8日から施行する

附 則

この規約は、平成17年 6月16日から施行する

附 則

この規約は、平成18年 4月 1日から施行する

附 則

この規約は、平成18年11月 7日から施行する

広島県CALS/E C連絡協議会会員

会 長	広島県土木部技監
副 会 長	財団法人広島県建設技術センター理事長
会 員 (県)	広島県総務部財務局営繕室長
	広島県農林水産部農林整備局農林整備管理室長
	広島県土木部総務管理局建設産業室長
	広島県都市部都市事業局下水道室長
会 員 (市 町)	広島市都市整備局指導部技術管理課長
	呉市土木建設部土木課長
	福山市建設局建設管理部技術検査課長
	坂町産業建設課長
	北広島町建設課長
会 員 (外 郭)	広島県道路公社建設課長
	広島高速道路公社企画調査部技術管理課長
会 員 (受 注 者)	社団法人広島県建設工業協会情報化担当役員
	広島県建設業協会連合会情報化担当役員
	社団法人広島県管工事業協会情報化担当役員
	社団法人広島県造園建設業協会情報化担当役員
	社団法人広島県法面協会情報化担当役員
	社団法人広島県リフォーム建設協会情報化担当役員
	社団法人広島県浄化槽協会情報化担当役員
	社団法人広島電業協会情報化担当役員
	広島県土地改良事業団体連合会情報化担当役員
	社団法人建設コンサルタント協会中国支部情報化担当役員
	社団法人広島県測量設計業協会情報化担当役員
	社団法人中国地質調査業協会広島県支部情報化担当役員
	社団法人広島県建築士事務所協会情報化担当役員
	社団法人全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部情報化担当役員
	社団法人日本下水道施設業協会中国支部情報化担当役員
会 員 (アドバイザー)	国土交通省中国地方整備局企画部技術管理課課長補佐
事 務 局	財団法人日本建設情報総合センター中国地方センター長
	広島県土木部総務管理局技術指導室長

電子納品分科会構成員 所属機関

班 長	広島県土木部総務管理局技術指導室
	広島県都市部都市事業局下水道室
	広島県総務部財務局営繕室
	広島県農林水産部農林整備局農林整備管理室
	財団法人広島県建設技術センター
	呉市土木建設部
	社団法人広島県建設工業協会
	広島県建設業協会連合会
	社団法人広島県管工事業協会
	社団法人広島電業協会
	広島県土地改良事業団体連合会
	社団法人広島県測量設計業協会
	社団法人広島県建築士事務所協会
	社団法人全国上下水道コンサルタント協会中国四国支部
	社団法人日本下水道施設業協会中国支部

第10回 広島県CALS/EC連絡協議会 出席者名簿

区分	所 属	職名	会員名	出席者	備 考
県関係	広島県土木部	技監	中川 道弘	中川 道弘	
	広島県土木部総務管理局建設産業室	室 長	延藤 照章	延藤 照章	
	広島県都市部都市事業局下水道室	室 長	松田 博行	代理出席 石田 高夫	
	広島県農林水産部農林整備局農林整備管理室	室 長	原 和生	代理出席 赤間 章	同席 池部 俊之 三浦 岳宏
	広島県総務部財務局営繕室	室 長	林 康文	林 康文	
市町関係	広島市都市整備局指導部技術管理課	課 長	石井 昭	代理出席 竹林 俊明	
	呉市土木建設部土木課	課 長	福井 利彦	欠席	
	福山市建設局建設管理部技術検査課	課 長	松浦 昭夫	欠席	
	坂町産業建設課	課 長	三宅 信治	三宅 信治	
	北広島町建設課	課 長	山本 哲男	代理出席 大本 賢一郎	
外郭関係	財団法人広島県建設技術センター	理事長	大野 宏之	代理出席 余川 順三	
	広島県道路公社事業部	部長	正田 伸二	代理出席 河野 達也	
	広島高速道路公社企画調査部技術管理課	課 長	松永 悟	松永 悟	
受注者関係	社団法人広島県建設工業協会	情報化担当役員	柴田 修三	柴田 修三	
	広島県建設業協会連合会	情報化担当役員	田村 安孝	田村 安孝	
	社団法人広島県管工事業協会	情報化担当役員	斎藤 全	斎藤 全	
	社団法人広島県造園建設業協会	情報化担当役員	正本 大	正本 大	
	社団法人広島県法面協会	情報化担当役員	藤本 哲朗	藤本 哲朗	
	社団法人広島県リフォーム建設協会	情報化担当役員	池田 武	池田 武	
	社団法人広島県浄化槽協会	情報化担当役員	児玉 義昭	児玉 義昭	
	社団法人広島県電業協会	情報化担当役員	村上 誠	代理出席 竹丸 太	
	広島県土地改良事業団体連合会	情報化担当役員	小笠原 繁哉	代理出席 嶽 政広	
	社団法人建設コンサルタンツ協会中国支部	情報化担当役員	大田 一夫	代理出席 亀田 雄二	
	社団法人広島県測量設計業協会	情報化担当役員	縫部 勝彌	縫部 勝彌	
	社団法人中国地質調査業協会広島県支部	情報化担当役員	住岡 宣博	北田 憲嗣	
	社団法人広島県建築士事務所協会	情報化担当役員	大木 一郎	大木 一郎	同席 小笠原 聡
	社団法人全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部	情報化担当役員	鳥越 敏文	鳥越 敏文	
	社団法人日本下水道施設業協会中国支部	情報化担当役員	中島 浩	中島 浩	
アドバイザー 関係	国土交通省中国地方整備局企画部技術管理課	課長補佐	角田 真一	角田 真一	
	財団法人日本建設情報総合センター-中国地方センター	中国地方センター長	齋藤 実	齋藤 実	
事務局	広島県土木部総務管理局技術指導室	室 長	木船 浩二	木船 浩二	

第10回 広島県CALS / EC連絡協議会

配 席 図

技監 広島県土木部
中川 道弘

財団法人広島県建設技術センター
理事長 大野 宏之

社団法人広島県建設工業協会
情報化担当役員 柴田 修三

広島県建設業協会連合会
情報化担当役員 田村 安孝

社団法人広島県管工事業協会
情報化担当役員 斎藤 全

社団法人広島県造園建設業協会
情報化担当役員 正本 大

社団法人広島県法面協会
情報化担当役員 藤本 哲朗

社団法人広島県リフォーム建設協会
情報化担当役員 池田 武

社団法人広島県浄化槽協会
情報化担当役員 児玉 義昭

社団法人広島電業協会
情報化担当役員 村上 誠

広島県土地改良事業団体連合会
情報化担当役員 小笠原 繁哉

社団法人建設コンサルタンツ協会中国支部
情報化担当役員 大田 一夫

社団法人広島県測量設計業協会
情報化担当役員 縫部 勝彌

社団法人中国地質調査業協会広島県支部
情報化担当役員 住岡 宣博

社団法人広島県建築士事務所協会
情報化担当役員 大木 一郎

社団法人広島県建築士事務所協会
小笠原 聡

社団法人全国上下水道コンサルタント協会
中国・四国支部
情報化担当役員 鳥越 敏文

社団法人日本下水道施設業協会中国支部
情報化担当役員 中島 浩

広島県土木部総務管理局建設産業室
室長 延藤 照章

広島県都市部都市事業局下水道室
室長 松田 博行

広島県農林水産部農林整備局農林整備管理室
室長 原 和生

広島県農林水産部農林整備局農林整備管理室
主任 池部 俊之

広島県農林水産部農林整備局農林整備管理室
主任 三浦 岳宏

広島県総務部財務局営繕室
室長 林 康文

広島市都市整備局指導部技術管理課
課長 石井 昭

呉市土木建設部土木課
課長 福井 利彦

福山市建設局建設管理部技術検査課
課長 松浦 昭夫

坂町産業建設課
課長 三宅 信治

北広島町建設課
課長 山本 哲男

広島県道路公社事業部
部長 正田 伸二

広島高速道路公社企画調査部技術管理課
課長 松永 悟

国土交通省中国地方整備局企画部技術管理課
課長補佐 角田 真一

財団法人日本建設情報総合センター中国地方センター
中国地方センター長 齋藤 実

広島県土木部総務管理局技術指導室
室長 木船 浩二

(事務局)

報道関係者

入口

(案)

広島県電子納品実施要領 [業務委託編]

平成 20 年 月

広 島 県

- 目 次 -

1	広島県電子納品実施要領 [業務委託編] の位置付け	2
1.1	はじめに	2
1.2	適用	2
1.3	国土交通省等の要領・基準等との差異とその取扱い	3
1.4	問合せ	4
2	電子納品の定義と適用	5
2.1	電子納品の定義	5
2.2	広島県の電子納品適用範囲	5
2.3	適用基準	6
3	電子納品実施に必要な環境・準備	8
3.1	機器及びソフトウェア	8
3.2	発注時の特記仕様書への記載	9
4	電子納品の手順・事前協議	10
4.1	電子納品手順	10
4.2	事前協議	11
5	電子成果品の作成	12
5.1	広島県の電子データ作成の基本的な考え方	12
5.2	業務委託成果品の電子化(電子納品)対象書類	14
5.3	データの管理	14
5.4	フォルダ構成	15
5.5	ファイル形式	16
5.6	ファイルの命名規則	20
5.7	CAD ファイルに関する工種の選定	24
5.8	受発注者間での CAD ファイルの交換	25
5.9	電子媒体仕様及び納品	27
5.10	電子媒体の標記規則	28
5.11	電子媒体の原本性の確保	30
5.12	電子成果品の確認	31
6	完了検査	32
6.1	完了検査	32
7	成果品の管理項目	33
7.1	成果品の管理項目	33
7.2	業務管理項目	34
7.3	報告書管理項目	36
7.4	図面管理項目	37
参考資料 1	着手前協議チェックシート(広島県様式)	39
参考資料 2	検査前協議チェックシート(広島県様式)	44
参考資料 3	納品時チェックシート(広島県様式)	45
参考資料 4	境界座標の記入	47
参考資料 5	CD-R が複数枚になる場合の処置	48

1 広島県電子納品実施要領〔業務委託編〕の位置付け

1.1 はじめに

「広島県電子納品実施要領〔業務委託編〕」(以下、「本要領」という。)は、広島県が実施する設計業務委託における電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものである。

【解説】

本要領は、既存の国土交通省等の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。

広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおりに電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが受発注者双方にとって非効率的である場合については、適宜、受発注者間において協議するものとする。

電子納品の実施にあたっては、受発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえで、発注者としては受注者に過度の負担を強いることなく、受注者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとることとする。

1.2 適用

本要領は、設計業務委託契約書および設計図書において定められる成果品を電子的手段により引き渡す場合に適用する。なお、測量作業、地質、土質調査等に関する業務についてもこれに準じた扱いとする。

【解説】

本要領は、表 1.1 共通仕様書及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称	備 考
測量業務共通仕様書 広島県	
地質及び土質調査共通仕様書 広島県	
設計業務委託共通仕様書 広島県	

1.3 国土交通省等の要領・基準等との差異とその取扱い

本要領は、受注者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省等が策定した要領・基準等を準拠している。しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。

【解説】

本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

表 1.2 国土交通省と広島県との差異

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
CAD 図面に関する基準類	・ CAD 製図基準(案) ・ CAD 図面作成要領(案)	・ CAD 製図基準(案) ・ CAD 図面作成要領(案) ・ 電子化図面データの作成要領(案)	2.3
オリジナルファイルの形式	受発注者間で協議し決定	原則、次の形式による Word・Excel・JPEG・TIFF・PDF	5.1(2)
CAD 図面のファイルの形式	原則として、SXF(P21)	原則として、 SXF(SFC)	5.1(3)
有効画素数(デジタル写真)	100 万画素程度	100 万画素以上かつ、CD 枚数が増えないように、協議して決定する。	5.1(4)
CAD ファイル命名規則の整理番号	受発注者間で協議し決定	整理番号は設計変更回数 の数値を記入 電子化図面データの作成要領(案)を適用する場合は整理番号を設定	5.6
納品物	CD-R 2部	CD-R 3部(正 1部,副 2部) 簡易製本版 1部	5.9
電子媒体等の標記	8 項目について記載	10 項目について記載 「路線河川名等」「委託業務の場所」を追加 受発注者の署名欄は不要	5.10
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.11
管理ファイルの記載内容	「7 成果品の管理項目」記載例参照		7.2~7.4

1.4 問合せ

電子納品に関する問い合わせは、事前に国土交通省の Web サイト「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」の Q&A ページを参照すること。
また、本要領及び電子納品の運用等に関する問い合わせは、電子納品担当主管室へ行うこと。

【解説】

- (1) 国土交通省の Web サイトには次のとおり、これまでに寄せられた電子納品に関する質問・回答が掲載してある。
- ア 「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト
http://www.cals-ed.jp/
 - イ 「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト Q&A ページ
http://www.cals-ed.jp/qa_sys/admin/q_a_index.htm
- (2) 本要領及び電子納品実施上の運用等に関する問い合わせ先は、次のとおり。

表 1.3 広島県の電子納品運用等に関する問合せ先

土木部・都市部・空港港湾部 所管事業		農林水産部所管事業	
土木部総務管理局技術指導室		農林水産部農林整備局農林整備管理室	
IT 推進グループ		技術管理グループ	
TEL	082-513-3861	TEL	082-513-3635
FAX	082-223-3593	FAX	082-223-3583
E-mail	dogishidou@pref.hiroshima.lg.jp	E-mail	nouseibi@pref.hiroshima.lg.jp

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

委託成果品の電子納品(以下、「電子納品」という。)とは、設計業務委託の成果品を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省等が策定している各種の電子納品要領(案)、基準(案)に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。
ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。
発注者が発注図を CAD ファイル(SXF(SFC))で保有しているもの。
受注者より電子納品の申し出があったもの(部分的な電子納品含む)及び受発注者間で協議が整ったものの。

【解説】

電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。
「広島県電子納品」Web サイト
https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/cals/nouhin/nouhin.html

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

【解説】

- (1) 国土交通省等の要領・基準等の改訂の取扱い
本要領が準拠する国土交通省等の要領・基準等が年度途中に改訂されることがあるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。
- (2) 本要領に準拠する要領・基準等は、次のとおり。

表 2.1 広島県が準拠する要領・基準等

種別	要領・基準等	策定年月	策定者
全般	土木設計業務等の電子納品要領(案)	平成 16 年 6 月	国土交通省
	地質・土質調査成果電子納品要領(案)	平成 16 年 6 月	
	測量成果電子納品要領(案)	平成 16 年 6 月	
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成 18 年 1 月	
図面	CAD 製図基準(案)	平成 16 年 6 月	国土交通省港湾局
	CAD 図面作成要領(案)	平成 17 年 3 月	
	電子化図面データの作成要領(案)	平成 17 年 4 月	農林水産省農村振興局

- (3) 国土交通省等がまとめたガイドラインは次のとおり。

表 2.2 電子納品関連ガイドライン

名 称	策定年月	策定者
電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】	平成 17 年 8 月	国土交通省
電子納品運用ガイドライン(案)【地質・土質調査編】	平成 18 年 9 月	
電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】	平成 18 年 9 月	
電子納品に関する手引き【業務編】 中国地方整備局	平成 17 年 5 月	
地方整備局(港湾空港関係)の事業における 電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】	平成 18 年 3 月	国土交通省 港湾局
地方整備局(港湾空港関係)の事業における 電子納品運用ガイドライン(案)【資料編】	平成 18 年 3 月	
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)	平成 17 年 8 月	国土交通省
電子化図面データ作成運用ガイドライン(案)	平成 19 年 2 月	農林水産省 農村振興局

- (4) 下水道事業の取扱い

国土交通省が策定している要領・基準等の CAD 製図に関する項目について、下水道事業への適用が困難であり、受発注者事前協議により、その取り扱いを定めるものとする。

表 2.3 下水道事業の取扱い(参考)

名 称	策定年月	策定者
CAD 製図基準(案)水処理施設編	平成 17 年 3 月	(社)全国上下水道工務技術協会
下水道施設 CAD 製図基準(案)	平成 19 年 8 月	日本下水道事業団

(5) 要領・基準等及び電子納品成果(フォルダ)等の関連イメージ

図 2.1 は、国土交通省等が策定した要領・基準及びガイドラインから電子納品の基本事項を抜粋し、広島県の実践の考え方・運用を示したものである。
広島県における電子納品は本要領に基づき実施することとし、記載する内容を確認のうえ、要領・基準及びガイドラインに準拠して電子納品を作成すること。

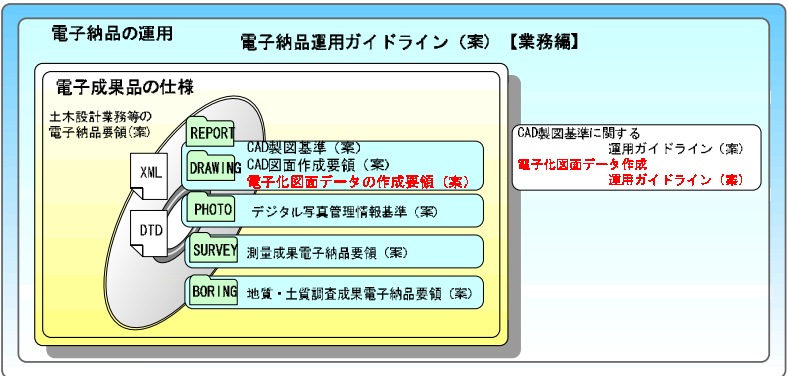


図 2.1 要領・基準等の関係イメージ図

国の要領・基準等の概要

- 電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】
業務委託の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載したもの。(受発注者間の協議、電子成果品作成、検査等)
- 土木設計業務等の電子納品要領(案)
業務委託の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。
- CAD 製図基準(案)、CAD 図面作成要領(案)、電子化図面データの作成要領(案)
CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。
- デジタル写真管理情報基準(案)
写真等の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたもの。
- CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)、電子化図面データ作成運用ガイドライン(案)
CAD データの取扱いについて、発注者及び受注者が留意すべき事項及び参考となる事項を示し、統一的な運用を図ることを目的に作成したもの。

- (6) 国土交通省等の要領・基準及びガイドラインは、次の各ホームページからダウンロードできます。
- 国土交通省 H P <http://www.cals-ed.jp>
国土交通省港湾局 H P <http://www.ysk.nilim.go.jp/cals/index.htm>
農林水産省 H P <http://www.nncals.jp/>

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類	ソフト類	
・ パソコン	・ ワープロソフト	・ ウィルスチェックソフト
・ プリンタ	・ 表計算ソフト	・ 電子納品作成支援ソフト
・ CD-R ドライブ	・ CAD ソフト(SXF 対応)	・ 圧縮解凍ソフト
・ デジタルカメラ	・ PDF 作成ソフト	

【解説】

- (1) 機器類
- ア デジタルカメラについては、100 万画素以上とすること。
(黒板の文字が確認できることを指標とする。)
- イ その他は、特に仕様を設けない。
- (2) ソフト類
- ア ワープロ及び表計算ソフトは、Word、Excel とする。
- イ CAD ソフトは、SXF 対応のものとする。
- ウ PDF 作成ソフトのバージョンは、Acrobat5.0(PDF1.4)日本語版を基本とする。
- エ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及びLZH とする。
- オ その他は、特に仕様を設けない。
- (3) CAD ソフトについて
- ア 本要領で対象とする SXF(SFC)形式のバージョンとレベルは、Ver2.0、レベル2 とする。
- イ SXF 対応の CAD ソフトは、オープン CAD フォーマット評議会のホームページを参照すること。
<http://www.ocf.or.jp/>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

発注者は、対象とする業務委託の特記仕様書に電子納品に関する事項を記載することとする。

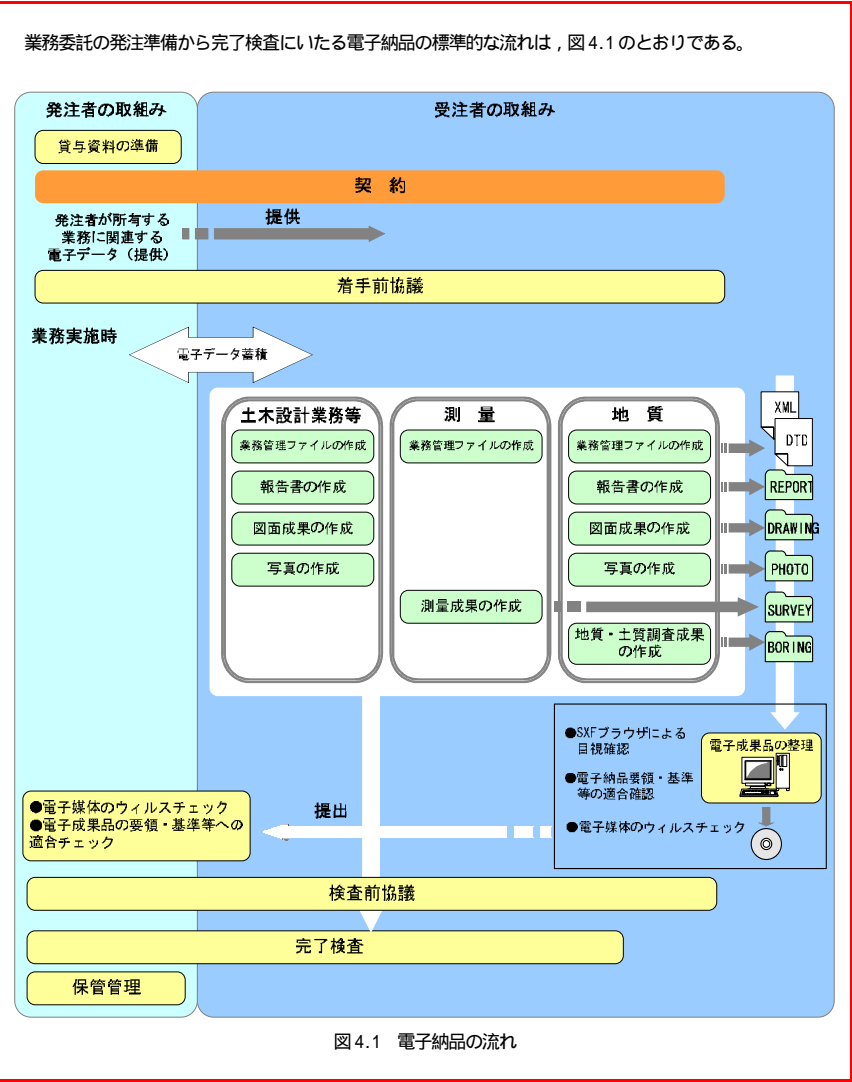
【解説】

電子納品を実施するにあたって、電子納品に関する事項を特記仕様書に記述しておく必要がある。次に特記仕様書の記載例を示す。

- 第 条(電子納品)
- 本業務は、電子納品対象業務とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領〔業務委託編〕平成 20 年 月版(以下、「要領」という。)」に基づいて作成されたものを指す。
- 第 条(成果品の提出)
- 委託成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で 3 部(正 1 部、副 2 部)提出する。「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は調査職員と協議の上、電子化の是非を決定する。
- なお、「紙」による報告書の提出は調査職員と協議の上、決定する。
- また、成果品提出の際には、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順



4.2 事前協議

委託期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、受発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。

また、電子成果に係る検査方法及び円滑な検査進行等の観点から、検査前にも再度協議するものとする。

なお、事前協議については、業務打合せ簿により協議すること。

【解説】

本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ受発注者間で取り決めておくこと(事前協議)が必要である。

事前協議は、業務履行中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。

なお、業務履行中等に疑義が生じた場合は、随時、受発注者間で確認・協議を行うこととする。

- (1) 着手前協議
- 着手前協議は、「参考資料 1 着手前(変更)協議チェックシート」に基づいて協議を行うものとする。
- なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。
- ア 電子納品の対象範囲
 - イ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
 - ウ 電子化が困難な書類の取扱い
 - エ CAD 作図の工種に関する作図基準及び適用工種(サブフォルダの有無及びファイル命名等含む)
 - オ 基準にない項目の取扱い
- (2) 検査前協議
- 検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、「参考資料 2 検査前協議チェックシート」に基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。
- ア 検査日時・場所
 - イ 検査に使用する機器の準備
 - ウ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
 - エ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

成果品のファイル形式は次のとおりとする。

業務管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

- ・ 業務管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

報告書ファイル及び報告書オリジナルファイル

- ・ 報告書ファイル

報告書ファイルのファイル形式は、PDF 形式とする。

- ・ 報告書オリジナルファイル

報告書オリジナルファイルのファイル形式は、基本的に、Word ファイル、Excel ファイル、画像ファイル(JPEG、TIFF)とする。

図面ファイル

- ・ 図面ファイルのファイル形式は、SXF(SFC)形式とする。

写真ファイル

- ・ 写真ファイルのファイル形式は、JPEG とする。

ただし、参考図ファイルのファイル形式は、JPEG 又は TIFF 形式とする。

地質データファイル

- ・ 地質データファイルのファイル形式は、「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」に従う。

測量データファイル

- ・ 測量データファイルのファイル形式は、「測量成果電子納品要領(案)」に従う。

【解説】

- (1) 業務管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

業務管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

- (2) 報告書ファイル及び報告書オリジナルファイル

ア オリジナルファイルのファイル形式は次のとおりとする。

ワープロソフト Word ファイル

表計算ソフト Excel ファイル

画像ファイル JPEG、TIFF

イ 用紙サイズは、A4 縦を基本とする。

ウ PDF へのフォントの埋めこみは行わない。また、特殊なフォントは用いない。

エ PDF 形式の目次である「しおり(ブックマーク)」を報告書の目次と同じ章、節、項(見出しレベル 1～3)を基本として作成する。また、当該ファイル以外の別のファイルへのリンクとなるしおりに関しては、大項目(章)に関してのみ作成する。

オ セキュリティの設定は行わない。

カ 特殊アプリケーションを用いたものは、原則として紙での提出とする。しかし、PDF に変換できるものは、PDF による提出も可とする。

キ 発注者・受注者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。(ファイル形式等は各フォルダの規定に従う。)

ク 押印された書類は従来どおり紙納品する。

ケ 電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。

コ スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。

サ 報告書ファイルに含まれている現地踏査等の写真は、デジタル写真管理情報基準(案)の適用外とする。

シ Word、Excel のオリジナルファイルは、容量の縮小に努めること。

画像ファイルを Word、Excel ファイルに貼り付けた場合、ファイルの容量が大きくなる傾向がある。容量が大きくなると、CD-R の枚数が増える要因となることから、画像を貼り付けるファイル作成には次の点に留意をすること。

(ア) 画像の貼り付けは、コピー貼り付けでは行わず、ファイルの挿入で行うこと。

(イ) 画像ファイルは、トリミング、画素数の縮小、画像サイズの縮小及び圧縮率の変更等を行い、画像ファイルの容量を小さくして報告書ファイルに挿入すること。ただし、写真の内容に係る修正は認めない。

- (3) 図面ファイル

ア SXF(SFC)形式とする。

イ SXF 形式とは、CAD データ交換仕様に基づくファイル形式で、P21 形式と SFC 形式があるが、広島県では SFC 形式を採用する。

ウ 各種 CAD ソフトで作成された図面を SXF(SFC)形式に変換して納品する場合、SXF ブラウザにて必ず図面チェックし、文字化けがないか等の確認行為を行うこと。

- (4) 写真ファイル

黒板の文字等が確認できることを指標とし、100 万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。

ただし、地質のコア写真は、200 万画素以上とする。

また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。

なお、写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画 素 数			容 量 / 枚	備 考	
				通常写真	地質コア写真
80 万画素	1024	× 768	200KB 程度	× 不可	× 不可
120 万画素	1280	× 960	300KB 程度		× 不可
200 万画素	1600	× 1200	500KB 程度		
300 万画素	2048	× 1536	800KB 程度		

5.2 業務委託成果品の電子化(電子納品)対象書類

委託成果品の電子化範囲は、**確定測量(農林水産部所管)**を除くすべてとする。

【解説】

表 5.2 電子成果品の対象範囲

項 目	作 成 者	フォルダ	電子納品対象
業務管理ファイル	受注者	-	必須
報告書	受注者	REPORT	必須
図面	受注者	DRAWING	必須
写真	受注者	PHOTO	必須
測量	受注者	SURVEY	必須
図面ファイル(SXF 形式, DM)			必須
上記以外(TXT・PDF)	受注者	BORING	必須
地質調査			必須

5.3 データの管理

電子データは定期的にバックアップを行うこと。

【解説】

電子納品対象の電子データは、業務着手から納品までの長期間にわたり、受注者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。

このようなトラブルからデータを守るため、定期的に電子媒体等(MO、CD-RW、DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこととする。

5.4 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「REPORT」、「DRAWING」、「PHOTO」、「SURVEY」、「BORING」のフォルダ及び業務管理ファイルを置く。
また「REPORT」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。
ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

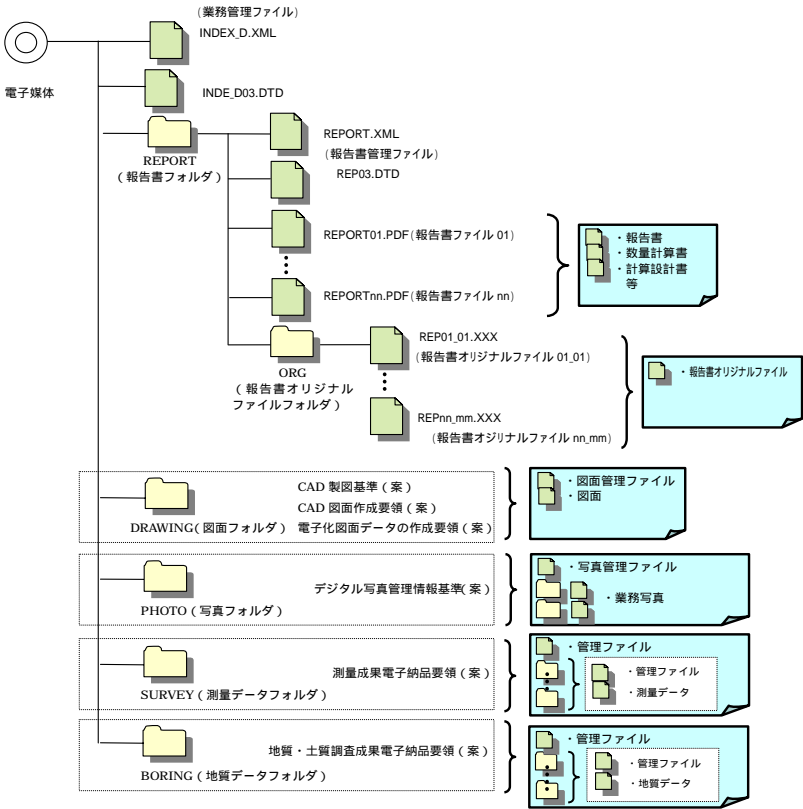


図 5.1 フォルダ構成

5.5 ファイル形式

電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。
設計業務委託に係る「報告書フォルダ」「図面フォルダ」「写真フォルダ」

表 5.3 設計業務委託におけるフォルダ及び格納するファイル形式等

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
《ROOT》		業務管理ファイル	XML , DTD	  INDEX_D.XML INDEX_D03.DTD
報告書 (REPORT)	REPORT	報告書管理ファイル	XML , DTD	  REPORT.XML REPO3.DTD
		・ 報告書	PDF	 PDF ファイル
	(ORG) ORG	・ 報告書	Word , Excel	 オリジナルファイル
図面 (DRAWING)	DRAWING	図面管理ファイル	XML , DTD	  DRAWING.XML DRAWING3.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	 SXF(SFC)ファイル
写真 (PHOTO)	PHOTO	写真情報管理ファイル	XML , DTD	  PHOTO.XML PHOTO04.DTD
	(PIC) PIC	・ 写真	JPEG	 JPEG ファイル
	(DRA) DRA	・ 参考図	JPEG , TIFF	 JPEG・TIFF ファイル

設計業務委託に係る「測量データフォルダ」「地質データフォルダ」

表 5.4 測量及び地質調査におけるフォルダ及び格納するファイル形式等(1/2)

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
《ROOT》				
測量データ (SURVEY)	SURVEY	測量情報管理ファイル	XML , DTD	  SURVEY.XML SURVEY02.DTD
	(KITEN) KITEN	測量成果管理ファイル	XML , DTD	  SURV_KTN.XML SURV_D02.DTD
		WORK DATA OTHERS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。	
	(SUIJUN) SUIJUN	測量成果管理ファイル	XML , DTD	  SURV_SJN.XML SURV_D02.DTD
		WORK DATA OTHERS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。	
	(CHIKI) CHIKI	測量成果管理ファイル	XML , DTD	  SURV_CHI.XML SURV_D02.DTD
		WORK DATA OTHERS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。	
	(ROSEN) ROSEN	測量成果管理ファイル	XML , DTD	  SURV_RSN.XML SURV_D02.DTD
		WORK DATA OTHERS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。	
	(KASEN) KASEN	測量成果管理ファイル	XML , DTD	  SURV_KSN.XML SURV_D02.DTD
		WORK DATA OTHERS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。	
	(YOUCHI) YOUCHI	測量成果管理ファイル	XML , DTD	  SURV_YCH.XML SURV_D02.DTD
		WORK DATA OTHERS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。	
	(DOC) DOC	・ 特記仕様書 ・ 協議書 ・ 実施報告書	PDF Word , Excel	  PDF ファイル オリジナルファイル

- WORK : 測量記録を格納
- DATA : 測量成果を格納
- OTHERS : 各種証明書, 説明書等その他データを格納

表 5.5 測量及び地質調査におけるフォルダ及び格納するファイル形式等(2/2)

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
《ROOT》				
地質データ (BORING)		地質情報管理ファイル	XML, DTD	 BORING.XML BRG0150.DTD
	(DATA) DATA	ボーリング交換用 データファイル	XML, DTD	 BED0001.XML ~ BEDNNNN.XML BED0210.DTD
	(LOG) LOG	・ 電子柱状図	PDF	 PDF ファイル
	(DRA) DRA	・ 電子簡略柱状図	SXF(SFC)	 CAD(SXF(SFC)) ファイル
	(PIC) PIC	コア写真管理ファイル	XML, DTD	 COREPIC.XML CPI00110.DTD
		・ デジタルコア写真 ・ デジタルコア写真整理結果	JPEG	 画像(JPEG) ファイル
	(TEST) TEST	土質試験及び 地盤調査管理ファイル	XML, DTD	 GRNDTST.XML GTST0120.DTD
		土質試験結果一覧表 管理ファイル	XML, DTD	 STLIST.XML ST0210.DTD
		・ 電子土質試験結果一覧表	PDF	 PDF ファイル
		BRGNNNA SITNNNN BRGNNNN	サブフォルダを作成し、土質試験及び地盤調査データを格納する。	
	(OTHR) OTHR	その他の地質・土質調査 成果フォルダ	XML, DTD	 OTHRFLS.XML OTHR0110.DTD

- : ボーリング孔を利用した原位置試験,または、ボーリング孔を利用した資料による室内試験の電子データシート・データ交換用データを格納
- : 当該調査以外のボーリング孔(既設孔)を利用した試験による電子データシート・データ交換用データを格納
- : 上記以外(サイト)による電子データシート・データ交換用データを格納

【解説】

CD-R 及び各フォルダの格納・整理イメージを参考として次に示す。

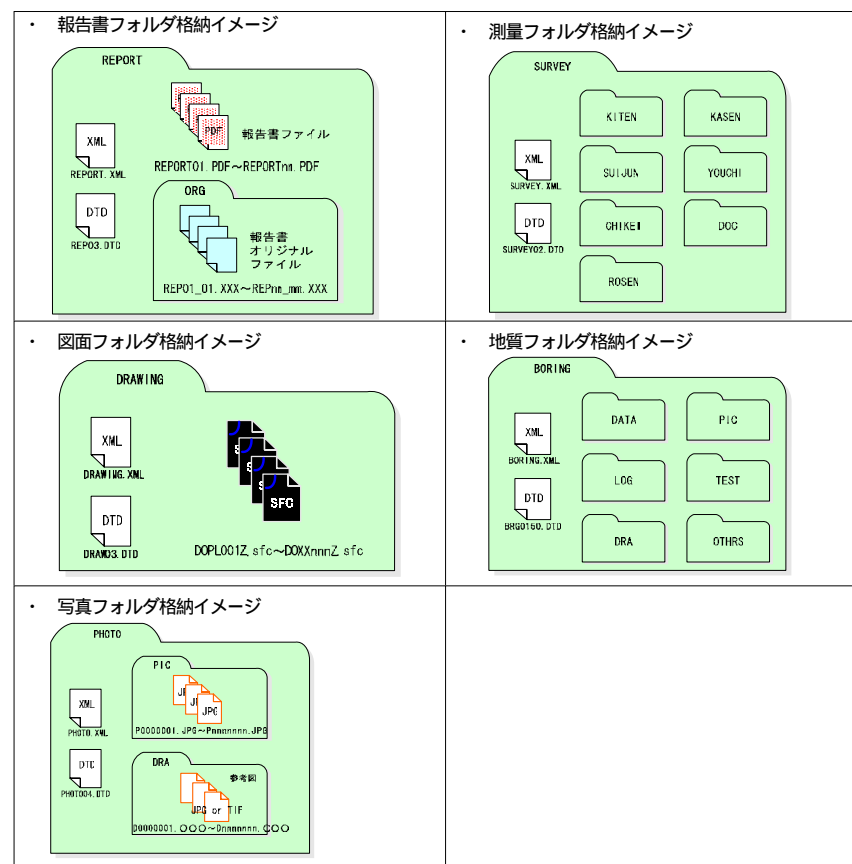
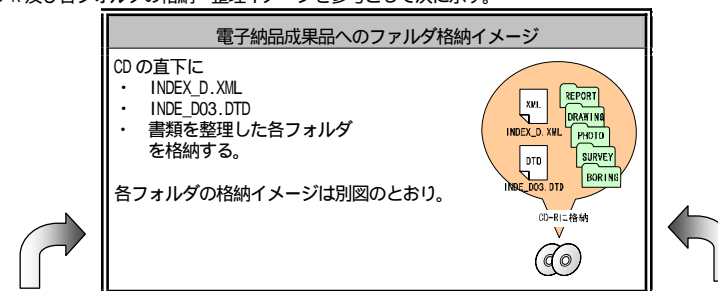


図 5.2 フォルダ構成 CD-R 及び各ファイルの格納・整理イメージ

5.6 ファイルの命名規則

ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。

ファイル名は8文字以内、拡張子は3文字以内とする。

業務管理ファイルは「INDEX.D.XML」とし、業務管理ファイルのDTDは「INDE_D03.DTD」(03は版番号)とする。

報告書管理ファイルは「REPORT.XML」とし、DTDは「REP03.DTD」(03は版番号)とする。

図面管理ファイルは「DRAWING.XML」とし、DTDは「DRAW03.DTD」(03は版番号)とする。

写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とし、DTDは「PHOTO04.DTD」(04は版番号)とする。

測量管理ファイルは「SURVEY.XML」とし、DTDは「SURVEY02.DTD」(02は版番号)とする。

地質情報管理ファイルは「BORING.XML」とし、DTDは「BRGO150.DTD」(150は版番号)とする。

報告書ファイルの命名規則は次のとおりとする。

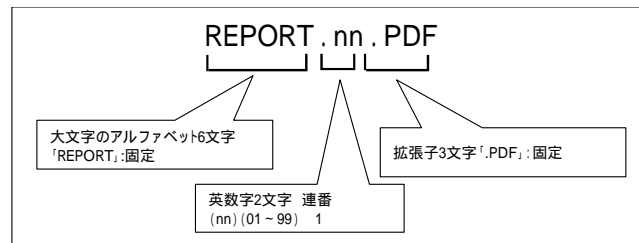


図 5.3 報告書ファイルの命名規則(土木設計業等の電子納品要領(案))

報告書オリジナルファイルの命名規則は次のとおりとする。

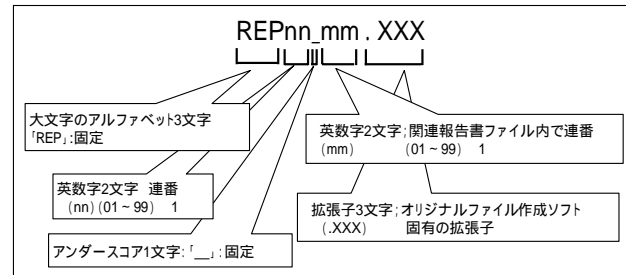


図 5.4 報告書オリジナルファイルの命名規則(土木設計業等の電子納品要領(案))

写真ファイルの命名規則は次のとおりとする。

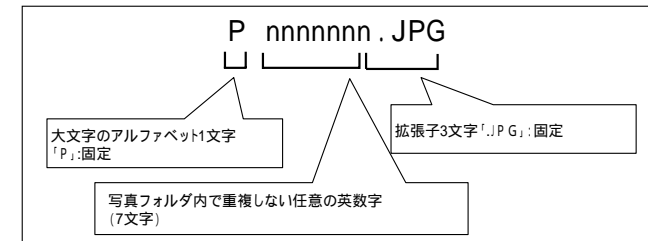


図 5.5 写真ファイルの命名規則(デジタル写真情報基準(案))

参考図ファイルの命名規則は次のとおりとする。

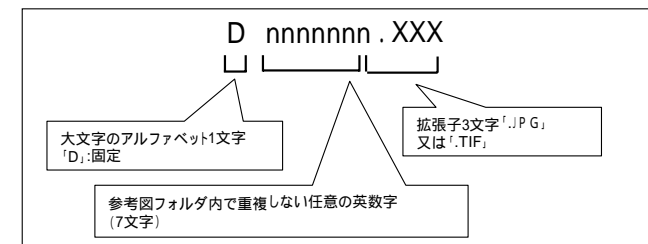


図 5.6 参考図ファイルの命名規則(デジタル写真情報基準(案))

CAD ファイルの命名規則は次のとおりとする。

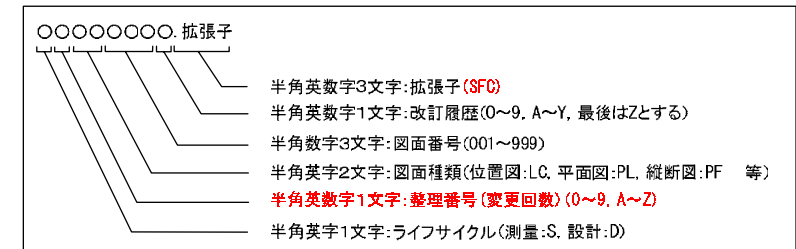


図 5.7 CAD ファイルの命名規則(CAD 製図基準(案))

- 【解説】

(1) 共通規則

ファイル名の文字数は、半角(1 バイト文字)で8文字以内、拡張子3文字以内とする。ファイル名に使用する文字は、半角(1 バイト文字)で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。

オリジナルファイルの通し番号は、業務委託の経緯がわかるように日付昇順に付番号することを基本とする。

「ORGnnn」サブフォルダに格納するファイル名は、5.6 オリジナルファイル命名規則に準じ、発注者と協議する。

(2) 報告書オリジナルファイル

報告書の文書は、複数のオリジナルファイルから構成されることがある。この場合、文書の構成が想定できるように、オリジナルファイルの 01(例：図 5.5 報告書オリジナルファイルの命名規則「mm」)からの連番により、ファイルを区別することを基本とする。なお、欠番があっても構わない。

例) ワープロソフトファイル：REP01_01.doc
ワープロソフトファイル：REP01_02.doc
表計算ソフトファイル：REP01_03.xls

(3) 連番の扱い（1について）

連番が100を超える場合は、以下のようにアルファベットを用いる。

例) 100～109の場合…A0～A9 110～119の場合…B0～B9
120～129の場合…C0～C9

(4) CAD ファイルの命名規則

例) 第1回変更の場合

D

1

PL

003

0

.SFC

拡張子：原則 SFC とする

改訂履歴：0 から順に履歴をつける(Z は最後を意味する)

表題欄の図面番号(表題の図面番号を記入)

図面の種類をアルファベットで記入

整理番号(変更回数)を記入

ライフサイクル(測量：S，設計：D)を記入

ア 拡張子は、広島県の CAD 図面のフォーマット形式である「SFC」となる。

イ 改訂履歴は、成果品の提出時最後を意味する「Z」となる。また、受発注者間でファイルのやりとりをする場合は、「0」から順に履歴をつけて行うこと。

ウ 表題欄の図面番号は、CD-R に格納する図面の通し番号を記入する。通し番号「葉之内 3」であれば、半角数字3文字「003」の記入となる。

エ 図面種類は、CAD 製図基準(案)に記載されているとおり、半角英字2文字で記入する。(位置図：LC，平面図：PL，縦断面図：PF 等)

オ 整理番号は、変更回数を半角英数字で記入する。変更設計の回数を記入は、設計変更回数 1 文字を記入する。変更設計とは、契約上の変更設計(第1回変更の場合は、「1」となる)を意味する。

ただし、電子化図面データの作成要領(案)を適用する場合は別途、整理番号を規定(表 5.5 参照)

カ ライフサイクルは、ライフサイクルを表す半角英字1文字を記入する。業務委託の場合は、「測量：S」,「設計：D」のいずれかとなる。

(5) 電子化図面データの作成要領(案)を適用する場合のファイル命名規則

電子化図面データの作成要領(案)を適用する場合、CAD ファイルの命名規則の整理番号を次表のとおりとする。
- 表 5.6 電子化図面データの作成要領(案)を適用する CAD ファイル命名規則(整理番号)
- | 番号 | 適用 | 番号 | 適用 |
|-----|---------------------|-----|-------------------|
| 0 | 区別の必要がない場合 | C | 詳細設計(実施設計)の電気工事 |
| 1 | 設計過程の構想設計 | D | 同上の 建築工事 |
| 2 | 同上の 基本設計 | E | 同上の 建築付帯設備工事 |
| 3～9 | 同上の 協議により区分を別途決するもの | F | 同上の 建築付帯電気工事 |
| A | 詳細設計(実施設計)の一般土木工事 | G～Z | 同上の 協議により別途区分するもの |
| B | 同上の 機会工事 | | |
- 22
- 23

5.7 CAD ファイルに関する工種の選定

原則として要領・基準等の工種から該当するものを選定する。
また、該当工種がない場合は、類似した工種を準用することとし、準用する要領・基準および工種を事前協議において決定するものとする。

【解説】
工種の選定については、原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。

表 5.7 CAD ファイルに関する要領・基準とその工種一覧

要領・基準名称	対 象 工 種
CAD 製図基準(案)	道路(道路・地下構造物・地下駐車場) , 構 造(トンネル構造物・橋梁) 河川海岸砂防(河川構造物・海岸構造物・砂防構造物・ダム本体構造物) 都市施設(宅地開発・公園・下水道)
CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物
電子化図面データの作成要領(案)	農林水産部所管事業【農業農村整備関係事業】 (頭首工・ポンプ場,用水路(開水路),水路ﾄﾎｲ,排水路,パイプライン,農道,農道橋,ほ場整備,地すべり,ため池改修)

上記以外の農林水産部所管事業が準用する工種は、原則として次によることとする。

表 5.8 農林水産部所管事業が準用する工種

事業(工種)種別	適 用	
	要領・基準等	工 種
農業農村整備事業(農地海岸)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(海岸構造物)
治山事業(森林整備を除く)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(砂防構造物)
林道事業	CAD 製図基準(案)	道路
漁港・漁場整備事業	CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物

下水道事業の取扱い は、受発注者協議により定めるものとするが、参考として表 5.9 を示す。

表 5.9 下水道事業が準用する工種

事業(工種)種別	適 用	
	要領・基準等	工 種
下水道事業	CAD 製図基準(案) 水処理施設編	下水道事業(処理施設)
	下水道施設 CAD 製図基準(案)	

5.8 受発注者間での CAD ファイルの交換

受発注者間で CAD ファイルの交換・共有を行う場合等は、表 5.10 及び表 5.11 CAD ファイル命名参考例を参考にして、履歴管理を適切に行うこと。

【解説】
表 5.10 CAD ファイル命名 参考例(道路設計)1/2

前のプロセスで別の電子成果(測量業務等)がある場合

当初

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納 フラグ	作成者
	DGPL0010.SFC	設計	0	平面図	1/4	0	当初作成図面	-	発注者
	DOC0020.SFC	設計	0	横断面	2/4	0	当初作成図面		
	DOC0030.SFC	設計	0	横断面	3/4	0	当初作成図面		
	DOLS0040.SFC	設計	0	小構造物	4/4	0	当初作成図面		

・業務打合せ、図面改訂

図面改訂その1

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納 フラグ	作成者
-1	DGPL0013.SFC	設計	0	平面図	1/4	3	3回の図面改訂	-	発注者 受注者
-1	DOC0022.SFC	設計	0	横断面	2/4	2	2回の図面改訂		
-1	DOC0032.SFC	設計	0	横断面	3/4	Z	打合せにより、図面の 削除(CD-R)には格納し ない。		
	DOLS0040.SFC	設計	0	小構造物	4/4	0	図面改訂なし		

・業務打合せ、図面改訂

表 5.11 CAD ファイル命名 参考例(道路設計)2/2

<p style="text-align: center;">・業務打合せ、図面改訂</p> <p>図面改訂その2（第1回契約変更後）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>図面区分番号</th><th>ファイル名</th><th>ライフサイクル</th><th>整理番号</th><th>図面種類</th><th>表題欄の図面番号</th><th>改訂履歴</th><th>解 説</th><th>格納ファイル</th><th>作成者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-2</td><td>D1PL0015.SFC</td><td>設計</td><td>0</td><td>平面図</td><td>1/4</td><td>5</td><td>第1回契約変更後、2回の図面改訂</td><td rowspan="4">DRAWING</td><td rowspan="4">発注者 受注者</td></tr> <tr> <td>-2</td><td>D1CS0023.SFC</td><td>設計</td><td>0</td><td>横断面図</td><td>2/4</td><td>3</td><td>第1回契約変更後、1回の図面改訂</td></tr> <tr> <td></td><td>D1CS0030.SFC</td><td>設計</td><td>0</td><td>横断面図</td><td>3/4</td><td>0</td><td>第1回契約変更後、新規に図面作成</td></tr> <tr> <td></td><td>D1LS0040.SFC</td><td>設計</td><td>0</td><td>小構造図</td><td>4/4</td><td>0</td><td>図面改訂なし</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">・業務打合せ、図面改訂</p> <p>完成図</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>図面区分番号</th><th>ファイル名</th><th>ライフサイクル</th><th>整理番号</th><th>図面種類</th><th>表題欄の図面番号</th><th>改訂履歴</th><th>解 説</th><th>格納ファイル</th><th>作成者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-3</td><td>D1PL001Z.SFC</td><td>設計</td><td>1</td><td>平面図</td><td>1/4</td><td>Z</td><td>完成図を作成</td><td rowspan="4">DRAWING</td><td rowspan="4">受注者</td></tr> <tr> <td>-3</td><td>D1CS002Z.SFC</td><td>設計</td><td>1</td><td>横断面図</td><td>2/4</td><td>Z</td><td>完成図を作成</td></tr> <tr> <td>-1</td><td>D1CS003Z.SFC</td><td>設計</td><td>1</td><td>横断面図</td><td>3/4</td><td>Z</td><td>完成図を作成</td></tr> <tr> <td>-1</td><td>D1LS004Z.SFC</td><td>設計</td><td>1</td><td>小構造図</td><td>4/4</td><td>Z</td><td>完成図を作成</td></tr> </tbody> </table> <p>図面番号は完成図作成時に通し番号を付け直す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>納品するCD-R DRAWINGファイル内訳</p> <p>DRAWING.XML</p> <p>DRAW03.DTD</p> <p>-3 D1PL001Z.SFC</p> <p>-3 D1CS002Z.SFC</p> <p>-1 D1CS003Z.SFC</p> <p>-1 D1LS004Z.SFC</p> </div>										図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納ファイル	作成者	-2	D1PL0015.SFC	設計	0	平面図	1/4	5	第1回契約変更後、2回の図面改訂	DRAWING	発注者 受注者	-2	D1CS0023.SFC	設計	0	横断面図	2/4	3	第1回契約変更後、1回の図面改訂		D1CS0030.SFC	設計	0	横断面図	3/4	0	第1回契約変更後、新規に図面作成		D1LS0040.SFC	設計	0	小構造図	4/4	0	図面改訂なし	図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納ファイル	作成者	-3	D1PL001Z.SFC	設計	1	平面図	1/4	Z	完成図を作成	DRAWING	受注者	-3	D1CS002Z.SFC	設計	1	横断面図	2/4	Z	完成図を作成	-1	D1CS003Z.SFC	設計	1	横断面図	3/4	Z	完成図を作成	-1	D1LS004Z.SFC	設計	1	小構造図	4/4	Z	完成図を作成
図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納ファイル	作成者																																																																																								
-2	D1PL0015.SFC	設計	0	平面図	1/4	5	第1回契約変更後、2回の図面改訂	DRAWING	発注者 受注者																																																																																								
-2	D1CS0023.SFC	設計	0	横断面図	2/4	3	第1回契約変更後、1回の図面改訂																																																																																										
	D1CS0030.SFC	設計	0	横断面図	3/4	0	第1回契約変更後、新規に図面作成																																																																																										
	D1LS0040.SFC	設計	0	小構造図	4/4	0	図面改訂なし																																																																																										
図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納ファイル	作成者																																																																																								
-3	D1PL001Z.SFC	設計	1	平面図	1/4	Z	完成図を作成	DRAWING	受注者																																																																																								
-3	D1CS002Z.SFC	設計	1	横断面図	2/4	Z	完成図を作成																																																																																										
-1	D1CS003Z.SFC	設計	1	横断面図	3/4	Z	完成図を作成																																																																																										
-1	D1LS004Z.SFC	設計	1	小構造図	4/4	Z	完成図を作成																																																																																										

5.9 電子媒体仕様及び納品

委託成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

CD-R の使用を原則とする。

CD-R は、ISO9660 フォーマット(レベル1)を標準とする。

基本的には、1 枚の CD-R に格納する。

複数枚の CD-R に格納する場合には、国土交通省の電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】に従う。

納品時には、CD-R 3 部(正 1 部、副 2 部)を納品するほか、CD-R に格納された書類データを紙に印刷したものを 1 部(簡易製本とする)併せて納品する。

【解説】

(1) 使用する媒体

ア 電子媒体に格納する成果品の真正性、見読性及び保存性を確保するため、CD-R を原則とする。

イ 本県においては、媒体(CD-R)で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。

(2) CD-R の論理フォーマット

CD-R の論理フォーマットは、ISO9660(レベル1)を標準とする。「ISO9660」は、汎用性が高い CD-R/RW 用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じてレベル1～3 が規定されている。最も多くの OS に対応可能なレベル1 は、ファイル名 8 文字 + 拡張子 3 文字、使用できる文字は半角の英数字(A～Z, 0～9)及び、_(アンダースコア)のみと、制限が厳しくなっている。

(3) CD-R の枚数

CD 枚数が増えないように、写真の画素数等を協議して決定すること。

(4) 複数枚の CD-R

提出する CD-R が複数枚になった場合は、参考資料 5 を参考にして作成すること。

(5) 簡易製本の提出

ア 簡易製本版は市販のチューブファイル等に綴じたものとし、金文字黒表紙様式の製本は行わない。

イ チューブファイルの背表紙には、年度、委託名及び受注業者名を明記し、報告書等の書類は両面刷り(A4 版)、図面は縮小版(A3 版)を基本とする。

ウ その他、特に紙による納品の必要があるものについては、受発注者で協議するものとする。

5.10 電子媒体の標記規則

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。
媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 委託業務の名称
- ・ 路線河川名等
- ・ 委託業務の場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 受注者名
- ・ ウィルス対策ソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式：ISO9660(レベル1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 委託業務の名称
- ・ 路線河川名等

【解説】

(1) 項目の説明

- ア 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載(発注者から通知)
イ 「委託業務の名称」 契約図書に記載されている業務委託の名称を記載
ウ 「路線河川名等」 契約図書に記載されている路線河川名等を記載
エ 「委託業務の場所」 契約図書に記載されている委託業務の場所を記載
オ 「作成年月」 履行期間の至の年月を記載
カ 「何枚目 / 全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載
キ 「発注者名」 発注者の名称を記載(標記例参照)
ク 「受注者名」 受注者の名称を記載(標記例参照)

(2) 留意事項

- ア CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成する。
イ CD-R は、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。
ウ CD-R へ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-R に損傷を与えることがあるので使用しないこと。
エ CD-R ケースは、薄型ケースは使用しないこと。(標準厚さのケースを使用すること)
オ CD-R ケースの底面は、CD-R を光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。
カ CD-R ケースの背表紙には、1 行で書けるところまで記入し、委託業務の名称等が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入すること。

(3) 標記例



CD-R ケースへの標記(例)

(通 常)	10136-420-0620(1/3) 道路詳細設計業務 一般県道 線
(長い場合)	10136-420-0620(1/3) 道路詳細設計業務 一般県道

図 5.8 CD-R 表面及び CD-R ケースへの標記(例)

5.11 電子媒体の原本性の確保

受注者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

【解説】

受注者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日

電 子 媒 体 納 品 書

地域事務所長 様

受注者 (所在地) 市 区 丁目
(商号又は名称) 株式会社 印

次のとおり電子媒体を納品します。

施行番号	10136-420-0620
委託業務の名称	道路詳細設計業務
路線河川名等 (地区名)	一般県道 線
委託業務の場所	市 区 丁目
履行期間	自 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日
電子媒体の全体枚数	枚 × 3部(正 1部, 副 2部)
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日
備考	1/3 : REPORT, DRAWING を格納 2/3 : PHOTO, SURVEY を格納 3/3 : BORING を格納

電子媒体は、CD-R(フォーマット「ISO9660」)のみとする。

図 5.9 電子媒体納品書の記載(例)

5.12 電子成果品の確認

発注者は、電子成果品(CD-R)が広島県電子納品実施要領に従って正しく管理項目等が作成されているか、電子納品の対象書類が漏れなく格納されているかを電子媒体受領時に確認すること。
電子成果品(CD-R)の確認に当たっては、参考資料3 納品時チェックシートを使用し、チェックを行うこと。
また、納品時チェックシートは電子成果品と合わせて保管すること。

【解説】

- (1) 電子媒体の外観確認
発注者は、電子媒体に破損のないこと、ラベルが正しく作成されていることを目視で確認すること。
- (2) ウィルスチェック
発注者は、電子媒体に対しウィルスチェックを行うこと。
最新のウィルスも検出できるようにウィルスチェックソフトは常に最新のデータに更新（アップデート）しておくこと。
- (3) 電子成果品の基本構成の確認
発注者は、電子成果品の基本的な構成が「広島県電子納品実施要領」に基づき作成されていることを、広島県のチェックシステムにより確認すること。
確認事項は次のとおり。
ア フォルダ構成（画面上での確認）
イ 業務管理ファイルについて、施行番号、委託業務名等の業務の基本的な情報の確認
- (4) 電子成果品の内容の確認
発注者は、電子成果品の内容を確認すること。確認事項は次のとおり。
ア CAD データの確認
CAD データの電子成果品は、SXF(SFC)形式で納品するため、変換によるデータ欠落や表現の違いが生じることはないよう、目視確認及び広島県の CAD チェックシステムによるデータチェックを行うこと。
発注者は、受取った CAD データが事前に確認した図面の内容と同じであることを確認すること。
イ CAD データ以外の確認
CAD データ以外の電子成果品について確認を行うこと。
打合せ事項と電子成果品の内容との比較等を行い、内容に相違がないか確認すること。

6 完了検査

6.1 完了検査

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。

電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、受発注者間の協議により取り決めるものとする。

書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

【解説】

業務完了検査では、業務成果品について、契約書、設計図書と照合して検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。

(1) 記録写真

写真データは、受注者の持つデータで検査を行ってもよいものとする。

(2) 業務報告書等

図面等を検査する際には、受注者がCADデータをA3版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。

業務計画書、協議簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。

(3) 機器の操作

検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として受注者が行う。受注者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。また、検査を効率的に行うために受注者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を調査職員との協議により準備する。

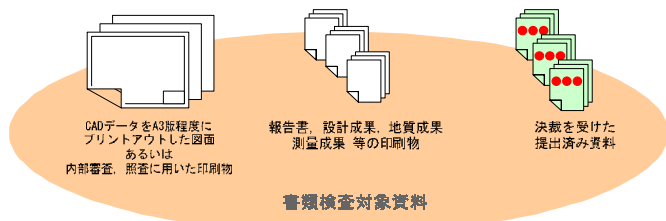


図6.1 対象資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

7.1 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される基礎情報、ソフトウェア情報、業務情報からなる各管理項目を記入する。

ただし、一部広島県が定めた事項があるため、各管理項目の記入には留意すること。

【解説】

各管理項目(基礎情報、業務情報)を次頁以降に示す。

(1) 記入者

- TECRIS から出力される CSV ファイルから取り込むことが可能な項目 (TECRIS 情報の記入に当たって、TECRIS の規則に従うこと)
- 電子媒体作成者が記入する項目
- 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

(2) 必要度

- 必須記入項目(必ず記入する)
- 条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
- 任意記入項目(原則として空欄・特記すべき事項があれば記入する)

(3) 摘要の記述

空欄 = 国土交通省と同じ見解

斜字 = 国土交通省の記載事項の具体的な説明

太字下線 = 広島県が定めた事項

(4) 記入上の注意

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角1文字に相当する。

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては次のルールに従う。

ア 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。

例) 082-228-2111・・・・・・
0 8 2 - 2 2 8 - 2 1 1 1・・・・・・x

イ 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。

例) 契約図書：広島市中区基町 10 番 52 号・・・・・・
広島市中区基町 10-52・・・・・・x
広島市中区基町 1 0 番 5 2 号・・・・・・x

ウ 年月日の間にハイフン()を挿入すること。

例) 2007-03-26・・・・・・
20070326・・・・・・x

7.2 業務管理項目

電子媒体に格納する業務管理ファイル(INDEX_D.XML)に記入する業務管理項目は、表 7.1 及び表 7.2 に示すとおりとする。

表 7.1 業務管理項目(1/2)

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
基礎 情報	メディア番号	提出した媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。	1		半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した媒体の総枚数を記入する。	2		同上	8		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「土木200406-01」で固定)を記入する。(分野:土木, 西暦年:2004, 月:06, 版:01)	土木200406-01		全角文字 半角英数字	30		
	報告書フォルダ名	報告書を格納するために「REPORT」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「REPORT」で固定)を記入する。	REPORT		半角英数 大文字	127		
	報告書オリジナル ファイルフォルダ名	報告書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称「REPORT/ORG」で固定)を記入する。	REPORT/ORG		同上	127		
	図面フォルダ名	図面を格納するために「DRAWING」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「DRAWING」で固定)を記入する。	DRAWING		同上	127		
	写真フォルダ名	写真を格納するために「PHOTO」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「PHOTO」で固定)を記入する。	PHOTO		同上	127		
	測量データフォルダ名	測量データを格納するために「SURVEY」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「SURVEY」で固定)を記入する。	SURVEY		同上	127		
	地質データフォルダ名	地質データを格納するために「BORING」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「BORING」で固定)を記入する。	BORING		同上	127		
	業務実績システムバージョン 番号	管理項目の記入で参照しているTECRISのマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。	4.0		半角数字	12		
	業務実績システム登録番号	TECRISセンターが発行する受領書に記載される番号を記入する。TECRIS登録番号がない業務は「0」を記入する。	0123456789		半角英数字	11		
	設計書コード	各発注者機関で業務1件につき固有の番号として付されるもので、発注機関の指示に従い記入する。	101364200620	契約図書の旅行番号12桁を記入	同上	30		
	業務名称	設計図書に記載されている契約上の正式な業務名称を記入する。	一般国道 号橋梁 詳細設計委託		全角文字 半角英数字	127		
	住所 情報	住所コード	該当地域の住所コードをTECRISの表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。(複数記入可)	34203	半角数字	5		
		住所	該当地域の住所を記入する。(複数記入可)	必ず「広島県」を記入後、契約図書の業務場所を記入 広島県広島市中区基町1丁目	全角文字 半角英数字	127		
	履行期間・着手	契約上の履行期間の着手年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数 MM:月 DD:日) 例)平成16年1月1日→2004-01-01	2007-10-20		半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	履行期間・完了	契約上の履行期間の完了年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数 MM:月 DD:日) 例)平成16年12月3日→2004-12-03	2008-02-28		半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.2 業務管理項目(2/2)

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
場所 情報	測地系	日本測地系、世界測地系(日本測地系2000)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(日本測地系2000)は「01」を記入する。	01		半角数字	2		
	対象水系路線コード	水系・路線コードをTECRISの表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。	3261		同上	5		
	対象水系路線名	対象水系路線名の情報がある場合に記入する。	一般国道 線		全角文字 半角英数字	127		
	現道・旧道区分	「現道:1」、「旧道:2」、「新道:3」、「未調査:0」のいずれかを記入する。	1		半角数字	1		
	対象河川コード	「河川コード仕様書」に準拠し発注者が指示する河川コードを記入する。	原則として空欄		同上	10		
	左右岸上下線コード	河川の左岸・右岸の別または道路の上下線の別を示す左右岸上下線コードを記入する。(複数記入可)	原則として空欄		同上	2		
	測点 情報	起点側測点-n	(自)n+m nを4桁で記入する。	0015	同上	4		
		起点側測点-m	(自)n+m mを3桁で記入する。	008	同上	3		
		終点側測点-n	(至)n+m nを4桁で記入する。	0018	同上	4		
		終点側測点-m	(至)n+m mを3桁で記入する。	005	同上	3		
		起点側距離標-n	(自)n+m nを3桁で記入する。	原則として空欄	同上	3		
		起点側距離標-m	(自)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄	同上	3		
		終点側距離標-n	(至)n+m nを3桁で記入する。	原則として空欄	同上	3		
		終点側距離標-m	(至)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄	同上	3		
	境界 座標 情報	西側境界座標緯度	対象領域の最西端の外側境界の緯度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-(HYPHEN-MINUS)」を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料4により記入 1322710	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
		東側境界座標緯度	対象領域の最東端の外側境界の緯度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-(HYPHEN-MINUS)」を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料4により記入 1323510	同上	8		
		北側境界座標緯度	対象領域の最北端の外側境界の緯度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「-(HYPHEN-MINUS)」を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料4により記入 0342400	同上	8		
		南側境界座標緯度	対象領域の最南端の外側境界の緯度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「-(HYPHEN-MINUS)」を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料4により記入 0342000	同上	8		
	施設 情報	施設名称	施設名称を記入する。	橋	全角文字 半角英数字	127		
発注者 情報	発注者機関コード	発注者機関コードをTECRISコード表から選択し記入する。	12345678		半角数字	8		
	発注者機関事務所名	発注機関、事務所の名称を記入する。	広島県 地域事務所建設局		全角文字 半角英数字	127		
	受注者名	企業名(正式名称)を記入する。	設計株式会社		同上	127		
	受注者コード	TECRISセンターから通知されるコードを記入する。受注者コードを持たない発注者は「0」を記入する。	12345678		半角英数字	10		
業務 情報	主な業務の内容	TECRISコード表より、主な業務の内容を「1.調査設計」「2.地質調査」「3.測量」「4.その他」から選択し番号を記入する。	1		半角数字	1		
	業務分類コード	業務分野コードをTECRISコード表より選択し記入する。(複数記入可)	1234567		半角英数字	7		
	業務キーワード	TECRIS業務キーワード集より選択し記入する。(複数記入可)	深基杭		全角文字 半角英数字	10		
	業務概要	業務の概要を記入する。業務の要点が理解しやすいように簡潔かつ正確に記入する。	本業務は、……		同上	300		
予備		特記事項がある場合に記入する。(複数記入可)			同上	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			同上	127		

7.3 報告書管理項目

電子媒体に格納する報告書管理ファイル(REPORT.XML)に記入する報告書管理項目は、表 7.3 に示すとおりとする。

表 7.3 報告書管理項目

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
報告書 ファイル 情報	報告書名	報告書ファイルの内容が分かるよう報告書名を記入する。		一般国道 号橋梁詳細設計委託	全角文字 半角英数字	127		
	報告書副題	報告書名が漠然としている場合は内容が分かる程度の副題を記入する。		A1橋台設計計算書	同上	127		
	報告書ファイル名	報告書ファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		REPORT01.PDF	半角英数 大文字	12		
	報告書ファイル日本語名	報告書ファイルに関する日本語名を記入する。		報告書(A1橋台設計計算書)	全角文字 半角英数字	127		
	報告書ファイル作成ソフトウェア名	報告書ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Adobe Acrobat6.0	同上	64		
	設計項目 2	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「設計項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルも設計業務共通仕様書の設計項目ごとに分けた場合は記入する。)		計算書	同上	16		
	成果品項目 2	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「成果品項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の成果品項目ごとに分けた場合は記入する。)		計算書	同上	16		
	報告書 オリジナル ファイル 情報	報告書オリジナルファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		REP01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
		報告書オリジナルファイルに関する日本語名を記入する。		一般国道 号橋梁詳細設計委託 報告書01	全角文字 半角英数字	127		
		報告書オリジナルファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Microsoft Word 98	同上	127		
その他	受注者説明文	受注者側で特記すべき事項がある場合は記入する。			同上	127		
	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する成果品がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数入力可)			同上	127		
ソフトウェア用TAG					同上	127		

1 報告書ファイル情報は、報告書の数分を複数繰り返し登録する。
2 設計項目と成果品項目は、重複する場合でも両方に記入する。
3 報告書オリジナルファイル情報は一つの報告書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.4 図面管理項目

電子媒体に格納する図面管理ファイル(DRAWING.XML)に記入する図面管理項目は、表 7.4 及び表 7.5 に示すとおりとする。

表 7.4 図面管理項目(1/2)

分類	No	項目名	記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
				摘要	記入例				
共通 情報	1	適用要領基準 `A)	図面作成時に適用した「本基準(案)」を土木 2004 06-01 等の記入例に従い記入する。 (分野:土木,西暦年:2004,月:06,版:01)		土木200406-01	全角文字 半角英数字	30		
	2	対象工種(数値) `B)	「本基準(案)」で対象とする34工種と地質を 001 ~ 035 の数値で記入する。その他の追加工種があるときは、追加工種を100 ~ 999 の数値で記入する。なお、100 ~ 999 の数値を記入した場合には、3, 4 を必ず記入する。		001	半角数字	3		
	3	追加工種(数値)	「本基準(案)」で定義していない工種を追加する場合は、100 ~ 999 の数値を記入する。			半角数字	3		
	4	追加対象工種(概要)	上記の追加工種の概要を具体的に記入する。(3とセットで複数入力可)			全角文字 半角英数字	127		
	5	追加サブフォルダ名称	サブフォルダを作成したときのサブフォルダ名称を、記入する。重複名称は不可。			半角英数字	8		
	6	追加サブフォルダ名称の概要	上記のサブフォルダの概要を具体的に記入する。(5とセットで複数入力可)			全角文字 半角英数字	127		
図面 情報	7	図面名	表題欄に記述する図面名を記入する。		計画平面図	全角文字 半角英数字	64		
	8	図面ファイル名	図面ファイルのファイル名の拡張子を含めて記入する。		D1PL001Z.SFC	半角英数 大文字	12		
	9	作成者名	表題欄に記述する会社名を記入する。		コンサルタント株式会社	全角文字 半角英数字	32		
	10	図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。		CADVer6.3	全角文字 半角英数字	64		
	11	縮尺	縮尺を記入する。 複数の縮尺が混在する場合は、代表縮尺を記入する。		1:100	半角英数字	16		
	12	図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入する。		001	半角数字	3		
	13	対象工種 `B)	「本基準(案)」で対象とする34工種と地質を 001 ~ 035 の数値で記入する。その他の追加工種があるときは、追加工種を100 ~ 999 の数値を昇順で記入する。		001	半角数字	3		
	14	追加図面種類(略語)	「本基準(案)」で定義していない図面種類を追加する場合に、基準(案)に準じた半角英数字2文字の略語で記入する。(ただし、同一工種による略語の重複は、認めていませぬ。)			半角英数字	2		
	15	追加図面種類(概要)	上記の追加図面種類の概要を具体的に記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	16	格納サブフォルダ	図面を格納した追加サブフォルダ名を記入する。			半角英数字	8		

表 7.5 図面管理項目 (2/2)

分類	No	項目名	記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
				摘要	記入例				
図面 情報 2)	17	測地系	日本測地系(旧測地系), 世界測地系(新測地系)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」, 世界測地系は「01」を記入する。		01	半角数字	2		
	18	基準点情報 緯度	図面中の1点の緯度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が密緯の場合は頭文字に「-」 (HYPHEN-MINUS)を記入する。		1323510	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		() 3)
	19	基準点情報 経度	図面中の1点の経度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」 (HYPHEN-MINUS)を記入する。		0342400	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
	20	基準点情報 平面直角座標 系番号	図面中の1点の平面直角座標(19系)の系番号で記入する。			半角英数字	2		
	21	基準点情報 平面直角座標 X座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をX座標で記入する。			半角英数字	11		() *3)
	22	基準点情報 平面直角座標 Y座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をY座標で記入する。			半角英数字	11		
	23	新規レイヤ名 (略語) C)	「本基準(案)」で定義していないレイヤを追加する場合に、基準(案)に準じたレイヤ名称11文字以内の半角英数字で記入する。			半角英数字	11		
	24	新規レイヤ (概要) *4)	上記23で追加した新規レイヤに関する内容を記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	25	受注者説明文	受注者側で図面に付けるコメントを記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	26	発注者説明文	発注者側で図面に付けるコメントを記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	27	予備	その他予備項目を記入する。 (複数入力可)			全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG			ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。 (複数入力可)			全角文字 半角英数字	127		

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字2文字で全角文字1文字に相当する。

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す

*1)追加工程がある時は、「3 追加対象工程(数値)」,「4 追加対象工程(概要)」,をセットで複数回繰り返す。

*2)図面情報は、図面の枚数分を複数回繰り返す。基準点情報の記入方法については、[解説]を参照。

*3)「位置図」,「平面図」,「一般図」の基準点情報は、17～19または17、20～22のいずれかを必ず記入する。

*4)本基準(案)で定義していない新規レイヤを追加する時は、「23 新規レイヤ名(略語)」と「24 新規レイヤ(概要)」をセットで複数回繰り返す。

* A)本基準(案)の分類は以下の通り。
平成13年8月版 土木200108
平成14年7月版 土木200207
平成15年7月版 土木200307
平成16年6月版 土木200406-01

参考資料 1 着事前協議チェックシート(広島県様式)

着事前(変更)協議チェックシート

実施日 平成 年 月 日

業務委託編

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

施行番号	- -	
委託業務の名称		
路線河川名等		
委託業務の場所		
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	課
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
受注者	連絡先(e-mail)	@ pref.hiroshima.lg.jp
	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
	連絡先(e-mail)	@

2 電子納品データ作成ソフトの確認

文書ファイル(ワープロ)	(Ver.)
表計算ファイル(表計算ソフト)	(Ver.)
図面ファイル(CADソフト)	(Ver.)
写真ファイル	(Ver.)
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)	(Ver.)
その他	(Ver.)
その他	(Ver.)
その他	(Ver.)

業務委託編

着手前(変更)協議チェックシート

(3/3)

測量フォルダ(SURVEY)				電子納品	紙	備考
用地測量サブフォルダ(YOUCHI)						
測量成果管理ファイル	XML					
公図等転写連続図	SXF(SFC)	DM	PDF			
土地調査表	PDF					
建物登記簿調査表	PDF					
地籍測量図転写図	PDF					
権利者調査表	PDF					
複元測量箇所位置図	SXF(SFC)	DM	PDF			
観測手簿	PDF					
観測手簿(数値データ)	協議による(TXT等)					
土地境界立会確認書	PDF					
成果表	PDF					
成果表(数値データ)	TXT					
計算簿	PDF					
基準点網図	SXF(SFC)	DM	PDF			
精度管理表	PDF					
精度管理図	PDF					
用地境界併杭設置箇所位置図	SXF(SFC)	DM	PDF			
用地境界杭設置箇所位置図	SXF(SFC)	DM	PDF			
面積計算書	PDF					
面積計算書(数値データ)	TXT					
用地実測データ	SXF(SFC)	オリジナル				
用地平面データ	SXF(SFC)	オリジナル				
測量機器検定証明書	PDF					
点検測量簿	PDF					
ファイル説明書	PDF					

業務委託編

着手前(変更)協議チェックシート

4 遵守するべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。
準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	広島県電子納品実施要領【業務委託編】	平成20年●月	広島県
図面	CAD製図基準(案)(工種：)	平成16年6月	国土交通省
	CAD図面作成要領(案)(工種：)	平成17年3月	国土交通省港湾局
	電子化図面データ作成要領(案)(工種：)	平成17年4月	農林水産省農村振興局
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	国土交通省

なお、次に国土交通省等がまとめた要領・ガイドラインを参考として示す。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	土木設計業務等の電子納品要領(案)	平成16年6月	国土交通省
	地質・土質調査成果電子納品要領(案)	平成16年6月	国土交通省
	測量成果電子納品要領(案)	平成16年6月	国土交通省
	電子納品運用ガイドライン(案)[業務編]	平成17年8月	国土交通省
	現場における電子納品に関する事前協議ガイドライン(案)[地質・土質調査編]	平成18年9月	国土交通省
	現場における電子納品に関する事前協議ガイドライン(案)[測量編]	平成18年9月	国土交通省
	電子納品に関する手引き[業務編]中国地方整備局	平成17年5月	国土交通省
	地方整備局(港湾空港関係)の事業における電子納品運用ガイドライン(案)[業務編]	平成18年3月	国土交通省港湾局
	地方整備局(港湾空港関係)の設計業務における電子納品に関する事前協議ガイドライン(案)	平成18年3月	国土交通省港湾局
	CAD製図基準に関する運用ガイドライン(案)	平成17年8月	国土交通省
図面	電子化図面データ作成運用ガイドライン(案)	平成19年2月	農林水産省農村振興局

5 コンピュータウィルス対策(受注者側)

使用ソフトウェア名	Norton AntiVirus (Ver.)
	ウィルスバスター (Ver.)
	Virus Scan (Ver.)
	その他()
ウィルスチェックソフトの常駐	インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウィルスチェックソフトを常駐させる。
ウィルスチェックの実施	外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウィルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウィルスチェックを行う。
ウィルスパターン定義データの更新	管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウィルス発見・駆除時の対応	ウィルスが発見された場合には、管理責任者がウィルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制(受注者側)

バックアップ頻度	バックアップ作業を1日1回以上行う
	その他()
バックアップ媒体	MO(光磁気ディスク)
	CD-RW(追記可能コンパクトディスク)
	外付けハードディスク
	その他()
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業者名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

--

参考資料 2 検査前協議チェックシート(広島県様式)

業務委託編

検査前協議チェックシート

実施日平成 年 月 日

施行番号	-
委託業務の名称	
路線河川名等	
委託業務の場所	
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
発注担当者	
受注担当者	

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所	
検査実施予定日時	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分
検査機器準備担当	発注者
	機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()
	受注者
	機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()

2 電子納品の検査方法

書類名	印刷物による検査	電子データによる検査	書類名	印刷物による検査	電子データによる検査
報告書			(測量成果)		
図面			基準点測量		
写真			水準測量		
(地質調査資料)			地形測量		
ボーリング交換用データ			路線測量		
電子柱状図			河川測量		
電子簡略柱状図			当該測量事業に関する書類		
地質平面図・断面図					
コア写真					
土質試験及び地盤調査					
その他の地質調査資料					

3 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	受注者	
文書ファイル(ワープロ)			
表計算ファイル(表計算ソフト)			
図面ファイル(CADソフト)			
写真ファイル			
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)			
その他			
その他			
その他			

4 その他

参考資料 3 納品時チェックシート(広島県様式)

業務委託編

納品時チェックシート

実施日平成 年 月 日

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

施行番号	-	
委託業務の名称		
路線河川名等		
委託業務の場所		
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	課
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線()
	連絡先(FAX)	() -
	連絡先(e-mail)	@ pref.hiroshima.lg.jp
受注者	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線()
	連絡先(FAX)	() -
	連絡先(e-mail)	@

2 電子媒体の確認

電子媒体	問題なし→特記仕様書どおり 問題あり()
ラベル	問題なし→正しく作成されている 問題あり()
電子媒体納品書の受領	問題なし→正しく作成されている 問題あり()

3 ウィルスチェック等電子媒体の確認

ウィルスチェックの実施	実施できた 実施できなかった()
ウィルスチェックの結果	異常なし→ウィルスは検出されなかった 異常あり()
電子納品チェックツールによる 検査結果	エラーなし エラーあり()

4 フォルダ構成/ファイル名

電子媒体内のフォルダ構成	問題なし→正しく作成されている 問題あり()
ファイル名 (命名規則に従っているか)	問題なし→正しく作成されている 問題あり()

業務委託編

納品時チェックシート

5 管理ファイルのデータ項目内容チェック

電子納品対象項目	内容チェックの実施	内容チェックの結果
業務管理ファイル INDEX_D.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
報告書管理ファイル REPORT.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
図面管理ファイル DRAWING.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
写真情報管理ファイル PHOTO.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
測量情報管理ファイル SURVEY.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
地質情報管理ファイル BORING.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()

6 電子データ内容と印刷出力との内容照合チェック

電子納品対象項目	内容照合チェックの実施	内容照合チェックの結果
報告書ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
報告書オリジナルファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
図面ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
測量平面データ	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
測量縦横断データ	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
ボーリング交換用 データファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
電子柱状図データファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
電子簡略柱状図データファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()

7 その他

参考資料4 境界座標の記入

「境界座標」の測地系は、世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。境界座標を入手する方法としては、国土
地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。

「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ¹

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

境界座標を取得する方法は次のとおりである。



参図1 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。

業務委託対象が離れた地点に数箇所点する場合または広域の場合は、受発注者間で協議し、[場所情報]を業務範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、業務範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましい。

¹境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

参考資料5 CD-R が複数枚になる場合の処置

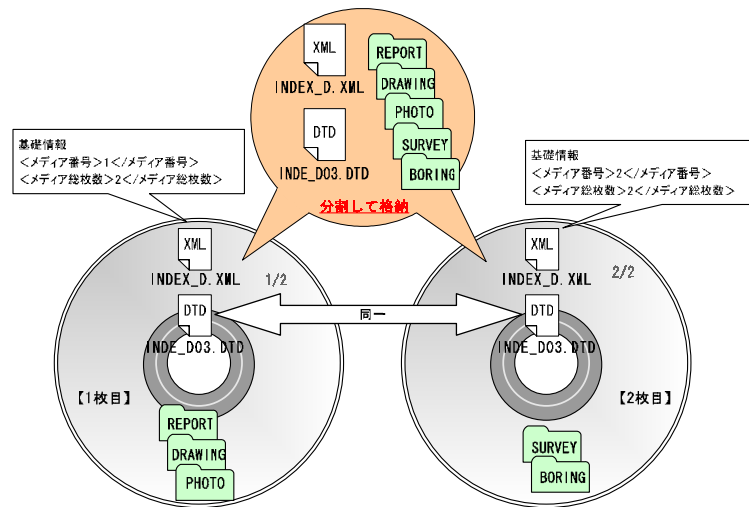
格納するデータの容量が大きく、1 枚の CD-R に納まらず複数枚になる場合は、同一の業務管理ファイル (INDEX_D.XML) を各 CD-R に格納する。

この場合、基礎情報の「メディア番号」には、各 CD-R に該当する番号を記入すること。

各フォルダにおいても同様に、同一の管理ファイルを各 CD-R に格納する。

また、業務管理ファイルの基礎情報の「メディア番号」は、ラベルに明記してある何枚目 / 全体枚数と整合を図ること。

CD-R が 2 枚になる場合の例を参資図 2 に示す。



参資図 2 CD-R が 2 枚になる場合の作成例

(案)

広島県電子納品実施要領 [工事編]

平成 20 年 月

広島県

- 目 次 -

1	広島県電子納品実施要領 [工事編] の位置付け	2
1.1	はじめに	2
1.2	適用	2
1.3	国土交通省等の要領・基準との差異とその取扱い	3
1.4	問合せ	4
2	電子納品の定義と適用	5
2.1	電子納品の定義	5
2.2	広島県の電子納品適用範囲	5
2.3	適用基準	6
3	電子納品実施に必要な環境・準備	8
3.1	機器及びソフトウェア	8
3.2	発注時の特記仕様書への記載	9
4	電子納品の手順・事前協議	10
4.1	電子納品手順	10
4.2	事前協議	11
5	電子成果品の作成	12
5.1	広島県の電子データ作成の基本的な考え方	12
5.2	工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類	14
5.3	データの管理	14
5.4	フォルダ構成	15
5.5	ファイル形式	16
5.6	ファイルの命名規則	18
5.7	CAD ファイルに関する運用	21
5.8	発注用ファイル(発注図)の作成	22
5.9	請負・発注者間での CAD ファイルの交換	24
5.10	電子媒体仕様及び納品	26
5.11	電子媒体の標記規則	27
5.12	電子媒体の原本性の確保	29
5.13	電子成果の確認	30
6	検査(中間検査・完成検査)	31
6.1	中間検査の取扱い	31
6.2	書類検査	31
6.3	現場検査	32
7	成果品の管理項目	33
7.1	成果品の管理項目	33
7.2	工事管理項目	34
7.3	打合せ簿管理項目	36
7.4	施工計画書管理項目	37
7.5	図面管理項目	38
7.6	写真管理項目	40
7.7	その他資料管理項目	42
参考資料 1	着手前協議チェックシート(広島県様式)	43
参考資料 2	検査前協議チェックシート(広島県様式)	46
参考資料 3	納品時チェックシート(広島県様式)	47
参考資料 4	境界座標の記入	49
参考資料 5	CD-R が複数枚になる場合の処置	50

1 広島県電子納品実施要領〔工事編〕の位置付け

1.1 はじめに

「広島県電子納品実施要領〔工事編〕」(以下、「本要領」という。)は、広島県が実施する工事において、電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものである。

【解説】

本要領は、既存の国土交通省等の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。

広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおりに電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが請負・発注者双方にとって非効率的である場合については、適宜、請負・発注者間において協議するものとする。

電子納品の実施にあたっては、請負・発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえ、発注者としては請負者に過度の負担を強いることなく、請負者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとることとする。

1.2 適用

本要領は、工事請負契約書および設計図書において定められる成果品を電子的手段により引き渡す場合に適用する。

【解説】

本要領は、表 1.1 共通仕様書及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称	備 考
土木工事共通仕様書 広島県	

1.3 国土交通省等の要領・基準との差異とその取扱い

本要領は、請負者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省等が策定した要領・基準等を準拠している。しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。

【解説】

本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

表 1.2 国土交通省と広島県との差異

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
CAD 図面に関する基準類	・ CAD 製図基準(案) ・ CAD 図面作成要領(案)	・ CAD 製図基準(案) ・ CAD 図面作成要領(案) ・ 電子化図面データの作成要領(案)	2.3
オリジナルファイルの形式	請負・発注者間で協議し決定	原則、次の形式による Word・Excel・JPEG・TIFF・PDF	5.1(2)
CAD 図面のファイルの形式	原則として、SXF(P21)	原則として、 SXF(SFC)	5.1(3)
有効画素数(デジタル写真)	100 万画素程度	100 万画素以上かつ、CD 枚数が増えないように、協議して決定する。	5.1(4)
CAD ファイル命名規則の整理番号	請負・発注者間で協議し決定	整理番号は設計変更回数等の数値を記入	5.6
納品物	CD-R 2部	CD-R 3部(正 1部、副 2部) 押印書類等の紙納品 1部 写真帳(ダイジェスト版)1部	5.10
電子媒体等の標記	8 項目について記載	10 項目について記載 「路線河川名等」「工事場所」を追加 請負・発注者の署名欄は不要	5.11
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.12
管理ファイルの記載内容	「7 成果品の管理項目」記載例参照		7.2～7.7

1.4 問合せ

電子納品に関する問い合わせは、事前に国土交通省の Web サイト「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」の Q&A ページを参照すること。
また、本要領及び電子納品の運用等に関する問い合わせは、電子納品担当主管室へ行うこと。

【解説】

- (1) 国土交通省の Web サイトには次のとおり、これまでに寄せられた電子納品に関する質問・回答が掲載してある。
- ア 「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト
<http://www.cals-ed.jp/>
 - イ 「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト Q&A ページ
http://www.cals-ed.jp/qa_sys/admin/q_a_index.htm
- (2) 本要領及び電子納品実施上の運用等に関する問い合わせ先は、次のとおり。

表 1.3 広島県の電子納品運用等に関する問合せ先

土木部・都市部・空港港湾部 所管事業		農林水産部所管事業	
土木部総務管理局技術指導室 IT 推進グループ		農林水産部農林整備局農林整備管理室 技術管理グループ	
TEL	082-513-3861	TEL	082-513-3635
FAX	082-223-3593	FAX	082-223-3583
E-mail	dogishidou@pref.hiroshima.lg.jp	E-mail	nouseibi@pref.hiroshima.lg.jp

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

工事完成図書の電子納品(以下、「電子納品」という。)とは、工事の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省等が策定している各種の電子納品要領(案)、基準(案)に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。

ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。

発注者が発注図を CAD ファイル(SXF(SFC))で保有しているもの。

請負者より電子納品の申し出があったもの(部分的な電子納品含む)及び請負・発注者間で協議が整ったもの。

【解説】

電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。

「広島県電子納品」Web サイト

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/cals/nouhin/nouhin.html>

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

【解説】

- (1) 国土交通省等の要領・基準等の改訂の取扱い
本要領が準拠する国土交通省等の要領・基準等が年度途中に改訂されることがあるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。
- (2) 本要領に準拠する要領・基準等は、次のとおり。

表 2.1 広島県が準拠する要領・基準等

種別	要領・基準等	策定年月	策定者
全般	工事完成図書の電子納品要領(案)	平成 16 年 6 月	国土交通省
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成 18 年 1 月	
図面	CAD 製図基準(案)	平成 16 年 6 月	国土交通省港湾局
	CAD 図面作成要領(案)	平成 17 年 3 月	
	電子化図面データの作成要領(案)	平成 17 年 4 月	農林水産省農村振興局

- (3) 国土交通省等がまとめたガイドラインは次のとおり。

表 2.2 電子納品関連ガイドライン

名 称	策定年月	策定者
電子納品運用ガイドライン(案)【土木工事編】	平成 17 年 8 月	国土交通省
電子納品の手引き(中国地整版)(案)【土木工事編】	平成 17 年 2 月	
地方整備局(港湾空港関係)の事業における電子納品運用ガイドライン(案)【工事編】	平成 18 年 3 月	国土交通省 港湾局
地方整備局(港湾空港関係)の事業における電子納品運用ガイドライン(案)【資料編】	平成 18 年 3 月	
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)	平成 17 年 8 月	国土交通省
電子化図面データ作成運用ガイドライン(案)	平成 19 年 2 月	農林水産省 農村振興局

- (4) 下水道事業の取扱い
国土交通省が策定している要領・基準等の CAD 製図に関する項目について、下水道事業への適用が困難であり、受発注者事前協議により、その取り扱いを定めるものとする。

表 2.3 下水道事業の取扱い(参考)

名 称	策定年月	策定者
CAD 製図基準(案)水処理施設編	平成 17 年 3 月	(社)全国上下水道工務技術協会
下水道施設 CAD 製図基準(案)	平成 19 年 8 月	日本下水道事業団

(5) 要領・基準等及び電子納品成果(フォルダ)等の関連イメージ

図 2.1 は、国土交通省等が策定した要領・基準及びガイドラインから電子納品の基本事項を抜粋し、広島県の取組の考え方・運用を示したものである。
広島県における電子納品は本要領に基づき実施することとし、記載する内容を確認のうえ、要領・基準及びガイドラインに準拠して電子納品を作成すること。

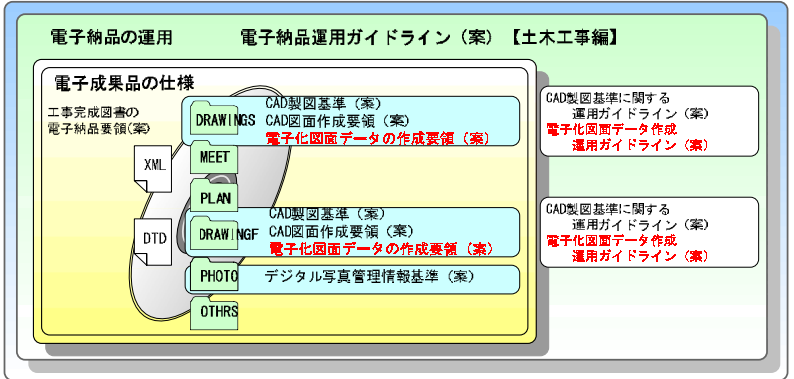


図 2.1 要領・基準等の関係イメージ図

国の要領・基準等の概要

- 電子納品運用ガイドライン(案)【土木工事編】
公共工事の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載したもの。(請負・発注者間の協議、電子成果品作成、検査等)
- 工事完成図書の電子納品要領(案)
工事の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。
- CAD 製図基準(案)、CAD 図面作成要領(案)、電子化図面データの作成要領(案)
CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。
- デジタル写真管理情報基準(案)
写真等の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたもの。
- CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)
電子化図面データ作成運用ガイドライン(案)CAD データの取扱いについて、発注者及び請負者が留意すべき事項及び参考となる事項を示し、統一的な運用を図ることを目的に作成したもの。

- (6) 国土交通省等の要領・基準及びガイドラインは、次の各ホームページからダウンロードできます。
- 国土交通省 H P <http://www.cals-ed.jp>
国土交通省港湾局 H P <http://www.ysk.nilim.go.jp/cals/index.htm>
農林水産省 H P <http://www.nncals.jp/>

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類	ソフト類	
・ パソコン	・ ワープロソフト	・ ウィルスチェックソフト
・ プリンタ	・ 表計算ソフト	・ 電子納品作成支援ソフト
・ CD-R ドライブ	・ CAD ソフト(SXF 対応)	・ 圧縮解凍ソフト
・ デジタルカメラ	・ PDF 作成ソフト	

【解説】

(1) 機器類

ア デジタルカメラについては、100 万画素以上とすること。

(黒板の文字が確認できることを指標とする。)

イ その他は、特に仕様を設けない。

(2) ソフト類

ア ワープロ及び表計算ソフトは、Word、Excel とする。

イ CAD ソフトは、SXF 対応のものとする。

ウ PDF 作成ソフトのバージョンは、Acrobat5.0(PDF1.4)日本語版を基本とする。

エ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及びLZH とする。

オ その他は、特に仕様を設けない。

(3) CAD ソフトについて

ア 本要領で対象とする SXF(SFC)形式のバージョンとレベルは、Ver2.0、レベル2 とする。

イ SXF 対応の CAD ソフトは、オープン CAD フォーマット評議会のホームページを参照すること。
<http://www.ocf.or.jp/>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

発注者は、対象とする工事の特記仕様書に電子納品に関する事項を記載することとする。

【解説】

電子納品を実施するにあたって、電子納品に関する事項を特記仕様書に記述しておく必要がある。以下に特記仕様書の記載例を示す。

第 条 (電子納品)

本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領〔工事編〕平成 20 年 月版(以下、「要領」という。)」に基づいて作成されたものを指す。

第 条(工事完成図書の提出)

成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で 3 部(正 1 部、副 2 部)提出する。

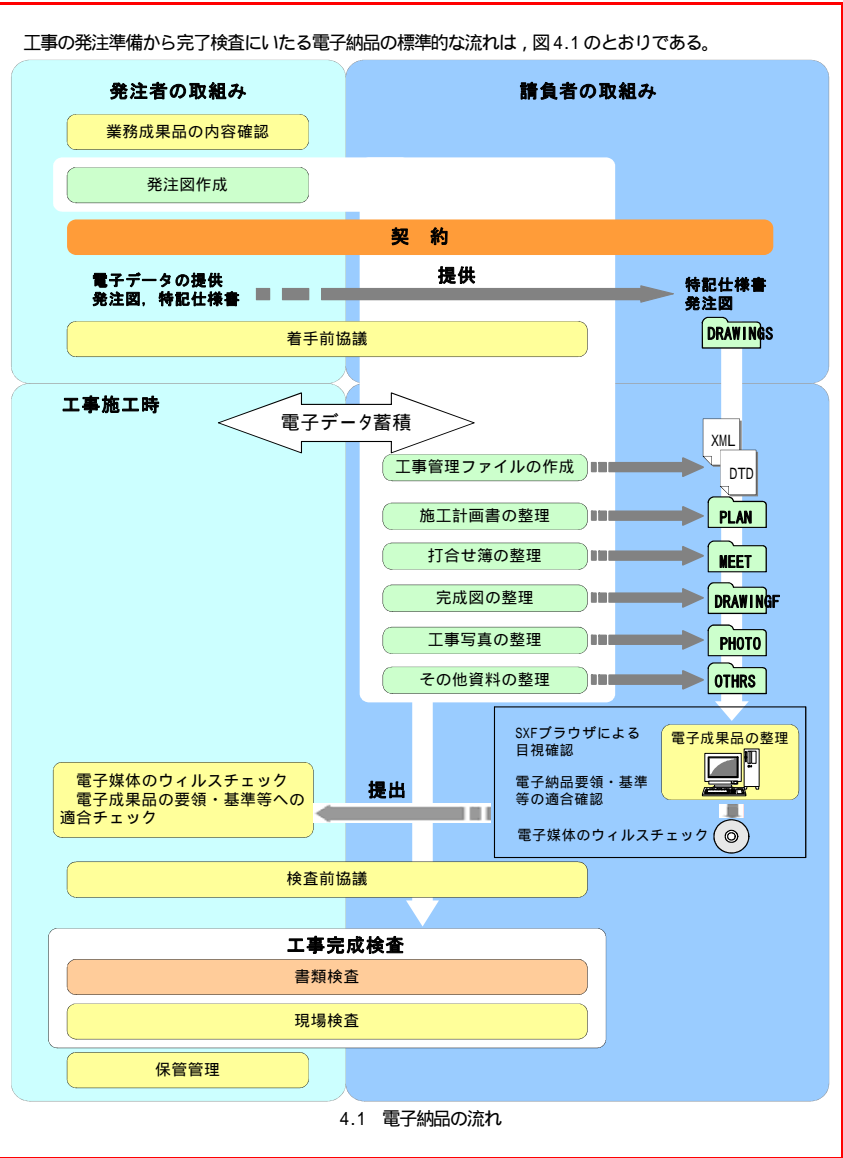
「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、「紙」による報告書の提出は監督員と協議の上、決定する。

また、成果品提出の際には、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順



4.2 事前協議

施工期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、請負・発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。
また、電子成果品に係る検査方法及び円滑な検査進行等の観点から、検査前にも再度協議するものとする。
なお、事前協議については、工事打合せ簿により協議すること。

【解説】
本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ請負・発注者間で取り決めておくこと(事前協議)が必要である。
事前協議は、工事施工中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。なお、施工中等に疑義が生じた場合は、随時、請負・発注者間で協議・確認を行うこととする。

- (1) 着手前協議
着手前協議は、「参考資料 1 着手前(変更)協議チェックシート」に基づいて協議を行うものとする。
なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。
ア 電子納品の対象範囲
イ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
ウ 電子化が困難な書類の取扱い
エ CAD 作図の工種に関する作図基準及び適用工種(サブフォルダの有無及びファイル命名等含む)
オ 基準にない項目の取扱い
- (2) 検査前協議
検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、「参考資料 2 検査前協議チェックシート」に基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。
ア 検査日時・場所
イ 検査に使用する機器の準備
ウ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
エ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

成果品のファイル形式は次のとおりとする。

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

- ・ 工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

オリジナルファイル

- ・ 打合せ簿オリジナルファイル
打合せ簿オリジナルファイルは、基本的には、Word ファイル、Excel ファイル、画像ファイル(JPEG、TIFF)、図面ファイル(SXF(SFC)形式)、PDF 形式とする。
- ・ 施工計画書オリジナルファイル
施工計画書オリジナルファイルは、基本的には、Word ファイル、Excel ファイル、画像ファイル(JPEG、TIFF)とする。
- ・ その他のオリジナルファイル
その他のオリジナルファイルは、Word ファイル、Excel ファイル、画像ファイル(JPEG、TIFF)とする。

図面ファイル

- ・ 図面ファイルのファイル形式は、SXF(SFC)形式とする。

写真ファイル

- ・ 写真ファイルのファイル形式は、JPEG とする。ただし、参考図ファイルは、JPEG 又は TIFF 形式とする。

【解説】

- (1) 工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

- (2) オリジナルファイル

ア オリジナルファイルのファイル形式は次のとおりとする。

ワープロソフト Word ファイル
表計算ソフト Excel ファイル
画像ファイル JPEG、TIFF

イ 用紙サイズは、A4 縦を基本とする。

ウ セキュリティの設定は行わない。

エ 特記仕様書・発注図・完成図は、発注者からデータ受領した場合のみ電子納品の対象とする。

オ 品質・出来形管理資料を電子納品する場合は、Word、Excel 及び PDF ファイルにより提出することとし、請負者等の押印は不要とする。

カ 発注者・請負者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。(ファイル形式等は各フォルダの規定に従う。)

キ 押印された書類は従来どおり紙納品とする。

ク 印刷・押印後の書類をスキャナにより、電子化し、電子納品する必要はない。

ケ スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。

コ 工事着手時に電子データを発注者から受領していないもの、電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。

サ 工事打合せ簿等に含まれる写真は、デジタル写真管理情報基準(案)の適用外とする。

シ Word、Excel のオリジナルファイルは、容量の縮小に努めること。

画像ファイルを Word、Excel ファイルに貼り付けた場合、ファイルの容量が大きくなる傾向がある。容量が大きくなると、CD-R の枚数が増える要因となることから、画像を貼り付けるファイル作成には次の点に留意をすること。

(ア) 画像の貼り付けは、コピー貼り付けでは行わず、ファイルの挿入で行うこと。

(イ) 画像ファイルは、トリミング、画素数の縮小、画像サイズの縮小及び圧縮率の変更等を行い、画像ファイルの容量を小さくして報告書ファイルに挿入すること。ただし、写真の内容に係る修正は認めない。

- (3) 図面ファイル

ア SXF(SFC)形式とする。

イ SXF 形式とは、CAD データ交換仕様に基づくファイル形式で、P21 形式と SFC 形式があるが、広島県では SFC 形式を採用する。

ウ 各種 CAD ソフトで作成された図面を SXF(SFC)形式に変換して納品する場合、SXF ブラウザにて必ず図面チェックし、文字化けがないか等の確認行為を行うこと。

- (4) 写真ファイル

黒板の文字等が確認できることを指標とし、100 万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。

また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。

なお、写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画 素 数	容量 / 枚	備 考
80 万画素 1024 x 768	200KB 程度	x 不可
120 万画素 1280 x 960	300KB 程度	
200 万画素 1600 x 1200	500KB 程度	
300 万画素 2048 x 1536	800KB 程度	

5.2 工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類

電子納品対象データは、次の図書を基本とし、契約に係る書類(特記仕様書を除く)については対象外とし、次のとおり実施する。

【解説】

表 5.2 電子成果品の対象範囲

項 目	作 成 者	フォルダ	電子納品対象
管理ファイル	請負者	-	必須
発注図面	発注者	DRAWINGS	条件付必須
特記仕様書	発注者	DRAWINGS SPEC	条件付必須
施工計画書	請負者	PLAN	協議
工事打合せ簿	発注者・請負者	MEET	協議
品質等管理資料	請負者	MEET	協議
完成図面	請負者	DRAWINGF	条件付必須
写真 ¹	請負者	PHOTO	必須
工事履行報告書	請負者	OTHR	協議
段階確認書	請負者	OTHR	協議
その他	請負者	OTHR	協議

¹ 完成写真含む
必 須 : 電子納品を必須とする書類
条件付必須 : 発注者が請負者へ電子データを提供した場合に電子納品を必須とする書類
協 議 : 電子納品必須書類ではないが、積極的な電子化の取組みとして請負者からの申し出及び請負・発注者間で着前協議が整った場合に対象とする書類

5.3 データの管理

電子納品対象データは定期的にバックアップを行うこと。

【解説】

電子納品対象の電子データは、工事着手から納品までの長期間にわたり、請負者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。
このようなトラブルからデータを守るため、定期的に電子媒体等(MO、CD-RW、DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこととする。

5.4 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「DRAWINGS」、「MEET」、「PLAN」、「DRAWINGF」、「PHOTO」、「OTHR」のフォルダ及び工事管理ファイルを置く。また「MEET」、「PLAN」、「OTHR」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。
ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

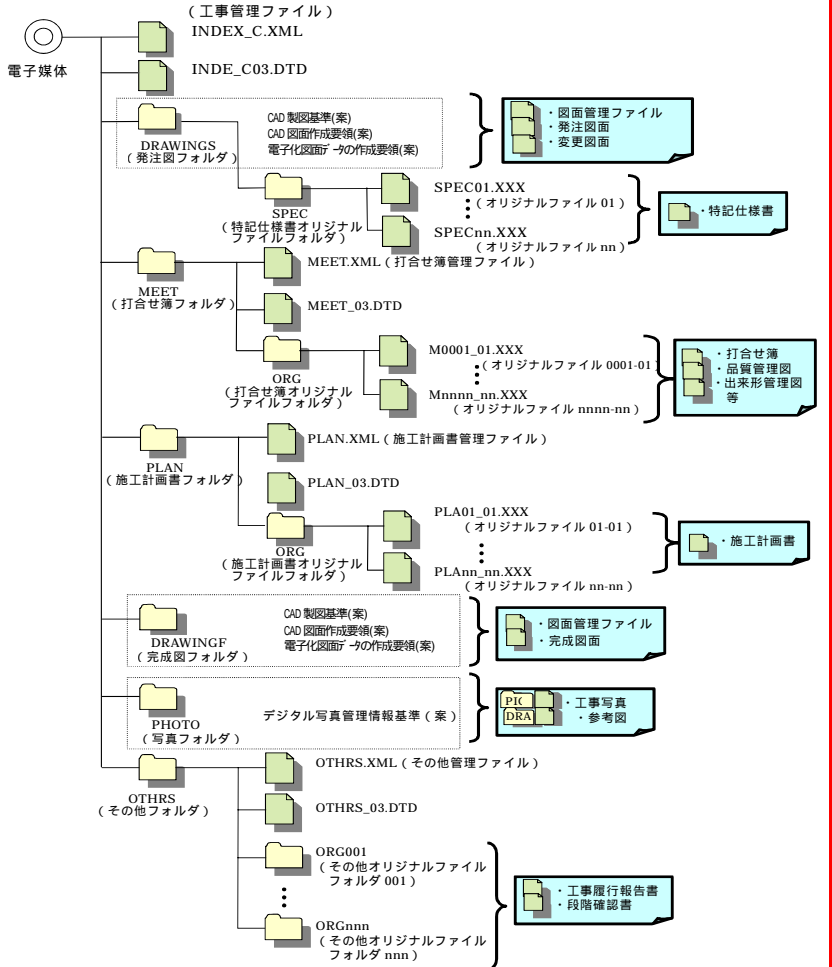


図 5.1 フォルダ構成

5.5 ファイル形式

電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。
土木工事に係る「発注図フォルダ」「打合せ簿フォルダ」「施工計画書フォルダ」「完成図フォルダ」「写真フォルダ」「その他フォルダ」

表 5.3 土木工事におけるフォルダ及び格納するファイル形式等

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
《ROOT》		工事管理ファイル	XML, DTD	 INDEX_C.XML INDEX_C03.DTD
発注図 (DRAWINGS)		図面管理ファイル	XML, DTD	 DRAWINGS.XML DRAWING3.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	
	(SPEC)	・ 特記仕様書	Word, Excel	オリジナルファイル
	SPEC			
打合せ簿 (MEET)		打合せ簿管理ファイル	XML, DTD	 MEET.XML MEET_C03.DTD
	ORG	・ 工事打合せ簿 ・ 品質管理資料 ・ 出来形管理資料 ・ 安全管理資料 ・ その他の資料	Word, Excel, PDF, SXF(SFC)	オリジナルファイル
	ORG			
施工計画書 (PLAN)		施工計画書管理ファイル	XML, DTD	 PLAN.XML PLAN_C03.DTD
	ORG	・ 施工計画書	Word, Excel	オリジナルファイル
	ORG			
完成図 (DRAWINGF)		図面管理ファイル	XML, DTD	 DRAWINGF.XML DRAWING3.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	
写真 (PHOTO)		写真情報管理ファイル	XML, DTD	 PHOTO.XML PHOTO04.DTD
	PIC	・ 写真	JPEG	JPEG ファイル
	PIC			
	DRA	・ 参考図	JPEG, TIFF	JPEG・TIFF ファイル
	DRA			
その他 (OTHS)		その他管理ファイル	XML, DTD	 OTHS.XML OTHS03.DTD
	ORG	・ 工事履行報告書 ・ 段階確認書 ・ その他の資料	Word, Excel, PDF	オリジナルファイル
	ORGnnn			

【解説】

CD - R 及び各フォルダの格納・整理イメージを参考として次に示す。

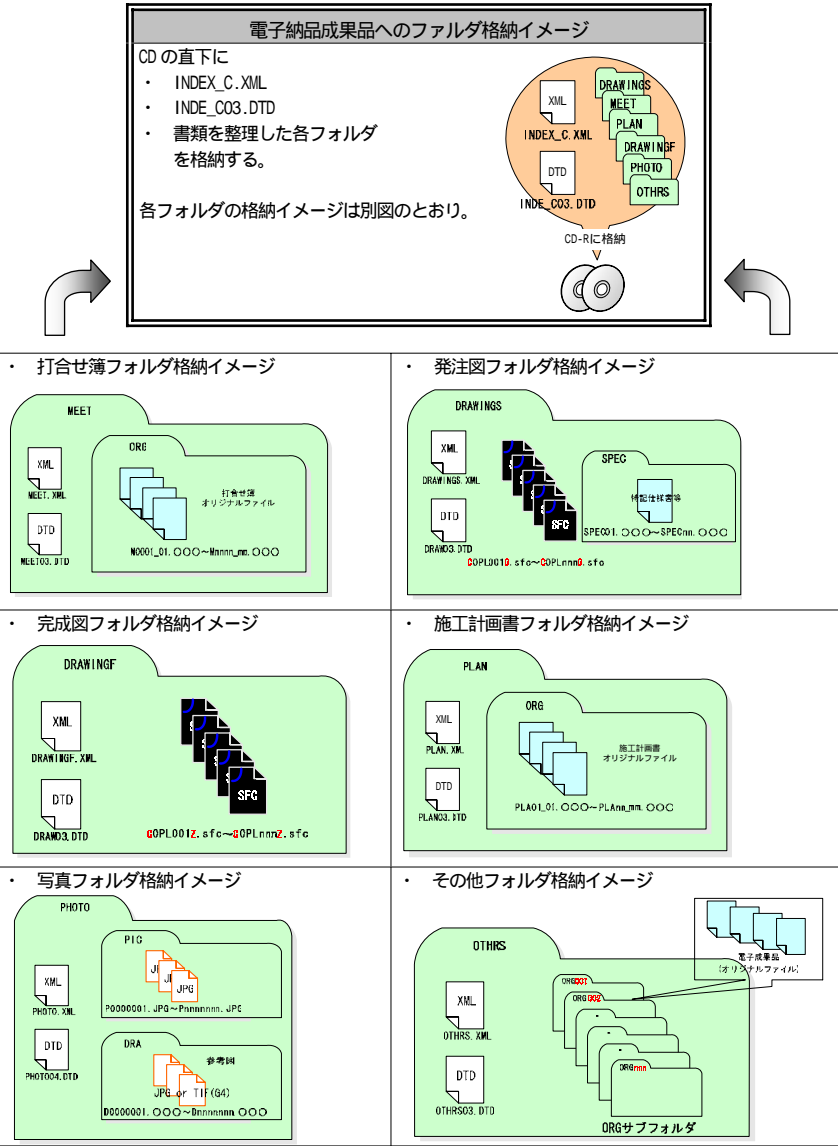


図 5.2 フォルダ構成 CD - R 及び各フォルダの格納・整理イメージ

5.6 ファイルの命名規則

ファイル名・拡張子は、半角英大文字とする。
ファイル名 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。
工事管理ファイルは「INDEX_C.XML」とし、工事管理ファイルの DTD は「INDE_C03.DTD」(03 は版番号)とする。
打合せ簿管理ファイルは「MEET.XML」とし、DTD は「MEET03.DTD」(03 は版番号)とする。
施工計画書管理ファイルは「PLAN.XML」とし、DTD は「PLAN03.DTD」(03 は版番号)とする。
その他管理ファイルは「OTHR.XML」とし、DTD は「OTHR03.DTD」(03 は版番号)とする。
図面管理ファイルは「DRAWINGS.XML」(発注図フォルダ)・「DRAWINGF.XML」(完成図フォルダ)とし、DTD は「DRAW03.DTD」(03 は版番号)とする。
写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とし、DTD は「PHOTO04.DTD」(04 は版番号)とする。
各管理ファイルのスタイルシート作成は任意とする。
なお、作成する場合のファイル名は、「INDE_C03.XSL」、「MEET_03.XSL」、「PLAN_03.XSL」、「OTHR_03.XSL」、「DRAW03.XSL」、「PHOTO04.XSL」とする。

打合せ簿オリジナルファイルの命名規則は次のとおりとする。

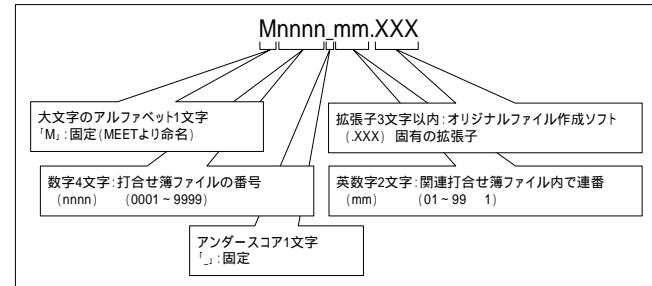


図 5.3 打合せ簿オリジナルファイルの命名規則(工事完成図書の電子納品要領(案))

報告書オリジナルファイルの命名規則は次のとおりとする。

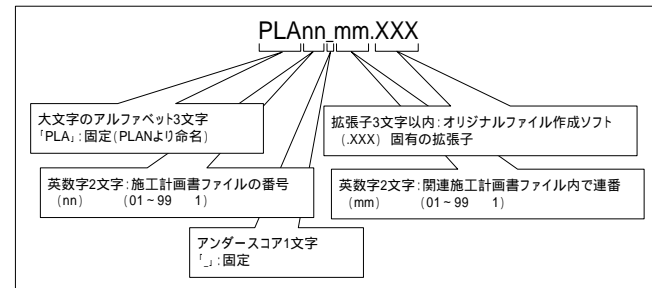


図 5.4 施工計画書オリジナルファイルの命名規則(工事完成図書の電子納品要領(案))

特記仕様書オリジナルファイルの命名規則は次のとおりとする。

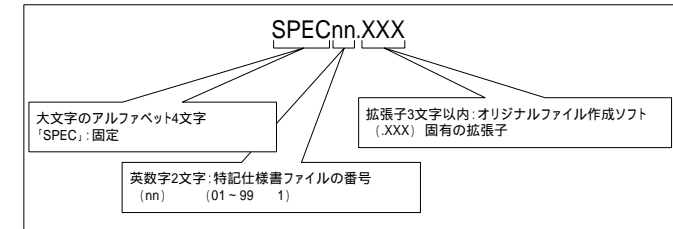


図 5.5 特記仕様書オリジナルファイルの命名規則(工事完成図書の電子納品要領(案))

写真ファイルの命名規則は次のとおりとする。

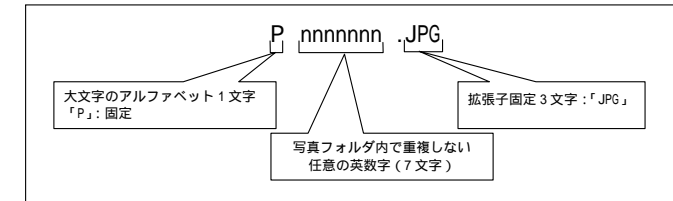


図 5.6 写真ファイルの命名規則(デジタル写真管理情報基準(案))

参考図ファイルの命名規則は次のとおりとする。

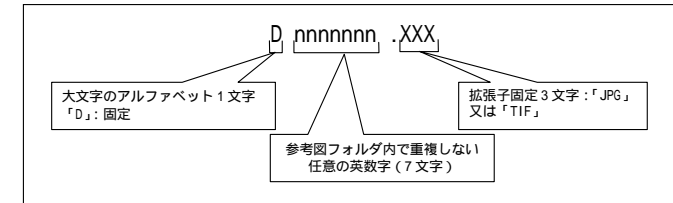


図 5.7 参考図ファイルの命名規則(デジタル写真管理情報基準(案))

CAD ファイルの命名規則は次のとおりとする。

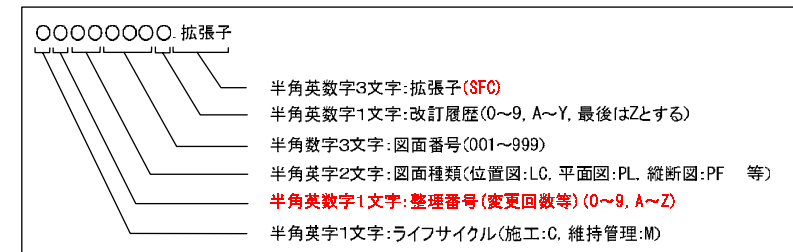


図 5.8 CAD ファイルの命名規則(CAD 製図基準(案))

【解説】

- (1) 共通規則
ファイル名の文字数は、半角(1 バイト文字)で8文字以内、拡張子3文字以内とする。ファイル名に使用する文字は、半角(1 バイト文字)で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。
オリジナルファイルの通し番号は、工事の経緯がわかるように日付昇順に付番号することを基本とする。
「ORCnnn」サブフォルダに格納するファイル名は、5.6 オリジナルファイルの規則に準じ、発注者と協議する。

- (2) 報告書オリジナルファイル
施工計画書等の文書は、複数のオリジナルファイルから構成されることがある。この場合、文書の構成が想定できるように、オリジナルファイルの01(例：図 5.5 施工計画書オリジナルファイルの命名規則「mm」)からの連番により、ファイルを区別することを基本とする。なお、欠番があっても構わない。
例) ワープロソフトファイル：M0001_01.doc
ワープロソフトファイル：M0001_02.doc
表計算ソフトファイル：M0001_03.xls

- (3) 連番の扱い (1 について)
連番が100を超える場合は、以下のようにアルファベットを用いる。
例) 100～109 の場合...A0～A9 110～119 の場合...B0～B9
120～129 の場合...C0～C9

(4) CAD ファイルの命名規則

例) 第1回変更の場合

C	1	EA	003	0	.SFC
拡張子：原則 SFC とする					
改訂履歴：0 から順に履歴をつける(Z は最後を意味する)					
表題欄の図面番号(表題の図面番号を記入)					
図面種類をアルファベットで記入					
整理番号(変更回数等)を記入					
ライフサイクル(施工：C，維持管理：M)を記入					

- ア 拡張子は、広島県の CAD 図面のフォーマット形式である「SFC」となる。
イ 改訂履歴は、完成図(DRAWINGF フォルダ)は最後を意味する「Z」となる。発注図(変更設計を含む(DRAWINGS フォルダ))及び工事途中に請負・発注者間でファイルのやりとりをする場合は、「0」から順に履歴をつけて行うこと。ちなみに、「0」は、実施設計、変更設計時に請負者に提示する図面を意味する。
ウ 表題欄の図面番号は、CD-R に格納する図面の通し番号を記入する。(表題の図面番号ではないので注意のこと。)通し番号「 葉之内 3」であれば、半角数字3文字「003」の記入となる。
エ 図面種類は、CAD 製図基準(案)に記載されているとおり、半角英字2文字で記入する。(平面図：PL，縦断面図：PF，横断面図：CS 等)
オ 整理番号は、変更回数等を半角英数字で記入する。変更設計の回数を記入は、設計変更回数 1 文字を記入する。変更設計とは、契約上の変更設計(第1回変更の場合は、「1」となる)を意味する。
カ ライフサイクルは、ライフサイクルを表す半角英字 1 文字を記入する。工事の場合は、「施工：C」，「維持管理：M」のいずれかとなる。

5.7 CAD ファイルに関する運用

原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。
また、該当工種がない場合は、類似した工種を準用することとし、準用する要領・基準および工種を事前協議において決定するものとする。

【解説】

工種の選定については、原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。

表 5.4 CAD ファイルに関する要領・基準とその工種一覧

要領・基準名称	対 象 工 種
CAD 製図基準(案)	道路(道路・地下構造物・地下駐車場)， 構造(トンネル構造物・橋梁) 河川海岸砂防(河川構造物・海岸構造物・砂防構造物・ダム本体構造物)都市施設 (宅地開発・公園・下水道)
CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物
電子化図面データの作成要領(案)	農林水産部所管事業【農業農村整備関係事業】 (頭首工・ポンプ場、用水路(開水路)、水路・排水路、排水路、パイプライン、農道、農道橋、ほ場整備、地すべり、ため池改修)

上記以外の農林水産部所管事業が準用する工種は表 5.5 によることとする。

表 5.5 農林水産部所管事業が準用する工種

事業(工種)種別	適 用	
	要領・基準等	工 種
農業農村整備事業(農地海岸)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(海岸構造物)
治山事業(森林整備を除く)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(砂防構造物)
林道事業	CAD 製図基準(案)	道路
漁港・漁場整備事業	CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物

下水道事業の取扱い は、請負・発注者協議により定めるものとするが、参考として表 5.6 を示す。

表 5.6 下水道事業が準用する工種

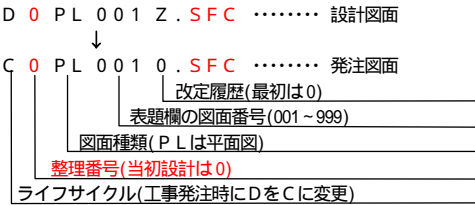
事業(工種)種別	適 用	
	要領・基準等	工 種
下水道事業	CAD 製図基準(案)水処理施設編	下水道事業(処理施設)
	下水道施設 CAD 製図基準(案)	

5.8 発注用ファイル(発注図)の作成

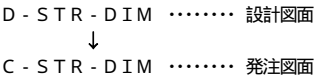
発注者は、電子手段で発注する場合(電子データの提供)は、工事完成図書の電子納品要領(案)土木工事編による発注図フォルダに、CAD 製図基準(案)に基づきファイルを作成・格納して請負者に提供する。

【解説】

- (1) ファイル形式
特記仕様書：オリジナルファイル(Word, Excel)
発注図面：SXF(SFC)形式
- (2) 発注図の作成
ア ファイル名の変更
設計図面を発注図面として提供するには、ファイル名称を変更する必要がある。
CAD データファイル名の先頭の文字を、発注する際のライフサイクル(業務段階：S-測量, D-設計, C-施工, M-維持管理)にあわせて「D(設計)」から「C(施工)」に付け替え、改訂履歴も「Z」から「0」に変更すること。



- イ レイヤ名の変更
レイヤは、設計(業務)や工事の内容によって必要となるレイヤが異なる。このため、CAD 製図基準(案)に示した以外のレイヤが必要となる場合がある。CAD 製図基準(案)で示しているレイヤは、標準的に使用されているレイヤを示している。
設計図面を加工して、発注図面とする場合において、レイヤの図形要素を加工した場合は、そのレイヤ名の責任主体を、「D(設計)」から「C(施工)」に変更する必要がある。責任主体は該当するレイヤの図形要素を加工したときのみ変更し、レイヤの図形要素を加工しない場合は、責任主体を変更しない。
また、新規にレイヤを追加する場合は、図面管理項目の「新規レイヤ名(略語)」、「新規レイヤ名(概要)」に記述すること。



上記は、発注図面の作成において、レイヤに修正を加えたため、[設計] - [主構造物] - [寸法線・寸法値]を、[施工] - [主構造物] - [寸法線・寸法値]に変更したものである。

- ウ 作業レイヤの作成
発注図面に記入する作業線は、作業レイヤを追加作成し記入すること。また、作業線はCAD 製図基準(案)に基づき作図すること。

- C - WORK - 1 作業レイヤ1
(工事範囲等の旗揚げ、色塗り(赤ハッチ)、見え消し線(×, =), 工事の暫定計画線等の記入)
- C - WORK - 2 作業レイヤ2
(出来形測量結果の記入)

- (3) 特記仕様書の文章取り込み
特記仕様書を「DRAWINGS-SPEC」フォルダに格納すること。

5.9 請負・発注者間でのCAD ファイルの交換

請負・発注者間でCAD ファイルの交換を行う場合等は、表 5.7 及び表 5.8 CAD ファイル命名参考例を参考にして、履歴管理を適切に行うこと。

【解説】

表 5.7 CAD ファイル命名 参考例(道路設計)1/2

当初

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納フォルダ	作成者
	C0PL0010.SFC	施工	0	平面図	1/4	0	当初発注図面「平面図」1/4	DRAWINGS	発注者
	C0CS0020.SFC	施工	0	横断面	2/4	0	当初発注図面「横断面」2/4		
	C0CS0030.SFC	施工	0	横断面	3/4	0	当初発注図面「横断面」3/4		
	C0LS0040.SFC	施工	0	小構造物	4/4	0	当初発注図面「平面図」4/4		

- ・当初発注後、「平面図」1/4を2回改訂
- ・当初発注後、「横断面」2/4を1回改訂

第1回契約変更

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納フォルダ	作成者
-1	C1PL0013.SFC	施工	1	平面図	1/3	3	当初発注後、2回の図面改訂を行い、第1回契約変更で3回目の図面改訂を行う 第1回契約変更図面「平面図」1/3	DRAWINGS	発注者
-1	C1CS0022.SFC	施工	1	横断面	2/3	2	当初発注後、1回の図面改訂を行い、第1回契約変更で2回目の図面改訂を行う 第1回契約変更図面「横断面」2/3		
-1	C0CS003Z.SFC	施工	0	横断面	3/4	Z	第1回契約変更で当初の図面を削除 この図面は、第1回契約変更で使用しないため整理番号は当初の「0」、改訂履歴は「Z」とする。使用しなかった図面はDRAWINGSフォルダに格納すること		
-1	C1LS0030.SFC	施工	1	小構造物	3/3	0	当初発注図のままで、第1回契約変更では図面改訂なし 第1回契約変更図面「横断面」3/3		

図面番号は契約ごとに通し番号を付け直す。

- ・第1回契約変更後、-1「平面図」1/3を1回改訂

納品するCD-R
DRAWINGSフォルダ内訳

	DRAWINGS.XML
	DRAW04.DTD
	C0PL0010.SFC
	C0CS0020.SFC
	C0CS0030.SFC
	C0LS0040.SFC
-1	C0CS003Z.SFC
-1	C1PL0013.SFC
-1	C1CS0022.SFC
-1	C1LS0030.SFC
-2	C2PL0015.SFC
-2	C2CS0022.SFC
	C2CS0030.SFC
-2	C2LS0040.SFC
	[SPEC(2x189')]

納品するCD-R
DRAWINGSフォルダ内訳

DRAWINGS.XML
DRAW04.DTD
C0PL0010.SFC
C0CS0020.SFC
C0CS0030.SFC
C0LS0040.SFC
C0CS003Z.SFC
C1PL0013.SFC
C1CS0022.SFC
C1LS0030.SFC
C2PL0015.SFC
C2CS0022.SFC
C2CS0030.SFC
C2LS0041.SFC
[SPEC(フォルダ)]

表 5.8 CAD ファイル命名 参考例(道路設計)2/2

・第1回契約変更後、 -1「平面図」1/3を1回改訂

第2回契約変更

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納フォルダ	作成者
-2	C2PL0015.SFC	施工	2	平面図	1/4	5	第1回契約変更後、1回の図面改訂を行い、第2回契約変更で5回目の図面改訂を行う 第2回契約変更図面「平面図」1/4	DRAWINGS	発注者
-2	C2CS0022.SFC	施工	2	横断面	2/4	2	第1回契約変更のままで、第2回契約変更では図面改訂なし 第2回契約変更図面「横断面」2/4		
	C2CS0030.SFC	施工	2	横断面	3/4	0	第2回契約変更で、新規に図面を追加 第2回契約変更図面「横断面」3/4		
-2	C2LS0041.SFC	施工	2	小構造図	4/4	1	第2回契約変更で、1回目の図面改訂を行う 第2回契約変更図面「小構造図」4/4		

図面番号は契約ごとに通し番号を付け直す。

・第2回契約変更後、完成図を作成

完成図

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納フォルダ	作成者
-3	C2PL001Z.SFC	施工	2	平面図	1/4	Z	第2回契約変更後、完成図を作成 完成図「平面図」1/4	DRAWINGF	請負者
-3	C2CS002Z.SFC	施工	2	横断面	2/4	Z	第2回契約変更後、完成図を作成 完成図「横断面」2/4		
-1	C2CS003Z.SFC	施工	2	横断面	3/4	Z	第2回契約変更後、完成図を作成 完成図「横断面」3/4		
-3	C2LS004Z.SFC	施工	2	小構造図	4/4	Z	第2回契約変更後、完成図を作成 完成図「小構造図」4/4		

納品するCD-R
DRAWINGFフォルダ内訳

DRAWINGF.XML
DRAW03.DTD
C2PL001Z.SFC
C2CS002Z.SFC
C2CS003Z.SFC
C2LS004Z.SFC

5.10 電子媒体仕様及び納品

成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

CD-R の使用を原則とする。

CD-R は、ISO9660 フォーマット(レベル1)を標準とする。

基本的には、1 枚の CD-R に格納する。

複数枚の CD-R に格納する場合には、国土交通省の電子納品運用ガイドライン(案)【土木工事編】に従う。

納品時には、CD-R 3 部(正 1 部、副 2 部)納品するほか、次の書類も提出する。

- ・ 押印書類等の紙納品 1 部
- ・ 写真帳(ダイジェスト版) 1 部

【解説】

(1) 使用する媒体

ア 電子媒体に格納する成果品の真正性、見読性及び保存性を確保するため、CD-R を原則とする。

イ 本県においては、媒体(CD-R)で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。

(2) CD-R の論理フォーマット

CD-R の論理フォーマットは、ISO9660(レベル1)を標準とする。「ISO9660」は、汎用性が高い CD-R/RW 用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じてレベル1～3 が規定されている。最も多くの OS に対応可能なレベル1は、ファイル名 8 文字 + 拡張子 3 文字、使用できる文字は半角の英数文字(A～Z, 0～9)及び、_(アンダースコア)のみと、制限が厳しくなっている。

(3) CD-R の枚数

CD 枚数が増えないように、写真の画素数等を協議して決定すること。

(4) 複数枚の CD-R

提出する CD-R が複数枚になった場合は、参考資料 5 を参考にして作成すること。

(5) CD-R 以外に提出する書類

ア 押印書類等の紙納品 1 部

イ 写真帳(ダイジェスト版) 1 部

ウ その他、特に紙による納品の必要があるものについては、請負・発注者間で協議するものとする。

5.11 電子媒体の標記規則

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。

媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 工事名
- ・ 路線河川名等
- ・ 工事場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 請負者名
- ・ ウィルス対策ソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式：ISO9660(レベル1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 工事名
- ・ 路線河川名等

【解説】

(1) 留意事項

ア 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載(発注者から通知)

イ 「工事名」 契約書に記載されている工事名を記載

ウ 「路線河川名等」 契約書に記載されている路線河川名等を記載

エ 「工事場所」 契約図書に記載されている工事場所を記載

オ 「作成年月」 工期の完成の年月を記載

カ 「何枚目 / 全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載

キ 「発注者名」 発注者の名称を記載(標記例参照)

ク 「請負者名」 請負者の名称を記載(標記例参照)

(2) 項目の説明

ア CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成する。

イ CD-R は、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。

ウ CD-R へ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-R に損傷を与えることがあるので使用しないこと。

エ CD-R ケースは、薄型ケースは使用しないこと。(標準厚さのケースを使用すること)

オ CD-R ケースの底面は、CD-R を光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。

カ CD-R ケースの背表紙には、1 行で書けるところまで記入し、工事名等が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入すること。

(3) 標記例



(通 常) 10136-420-0620(1/2) 道路改良工事 一般県道 線

(長い場合) 10136-420-0620(1/3) 道路 工事 一般県道

図 5.9 CD-R 表面及び CD-R ケースへの標記(例)

5.12 電子媒体の原本性の確保

請負者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

【解説】
請負者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日

電 子 媒 体 納 品 書

地域事務所長 様

請負者 (所在地) 市 区 丁目
(商号又は名称) 株式会社 印

次のとおり電子媒体を納品します。

施行番号	10136-420-0620
工事名	道路改良工事
路線河川名等 (地区名)	一般県道 線
工事場所	市 区 丁目
工期	着 手 平成 年 月 日 完 成 平成 年 月 日
電子媒体の全体枚数	枚 × 3 部(正 1 部, 副 2 部)
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日
備考	1/2 : DRAWINGS, PLAN, MEET を格納 2/2 : DRAWINGF, PHOTO, OTHRS を格納

電子媒体は、CD-R(フォーマット「ISO9660」)のみとする。

図 5.10 電子媒体納品書の記載(例)

5.13 電子成果の確認

発注者は、電子成果品(CD-R)が広島県電子納品実施要領に従って正しく管理項目等が作成されているか、電子納品の対象書類が漏れなく格納されているかを電子媒体受領時に確認すること。
電子成果品(CD-R)の確認に当たっては、参考資料3 納品時チェックシートを使用し、チェックを行うこと。
また、納品時チェックシートは電子成果品と合わせて保管すること。

【解説】

- (1) 電子媒体の外観確認
発注者は、電子媒体に破損のないこと、ラベルが正しく作成されていることを目視で確認すること。
- (2) ウィルスチェック
発注者は、電子媒体に対しウィルスチェックを行うこと。
最新のウィルスも検出できるようにウィルスチェックソフトは常に最新のデータに更新（アップデート）しておくこと。
- (3) 電子成果品の基本構成の確認
発注者は、電子成果品の基本的な構成が「広島県電子納品実施要領」に基づき作成されていることを、広島県のチェックシステムにより確認すること。
確認事項は次のとおり。
ア フォルダ構成（画面上での確認）
イ 工事管理ファイルについて、施行番号、工事名等の工事の基本的な情報の確認
- (4) 電子成果品の内容の確認
発注者は、電子成果品の内容を確認すること。確認事項は次のとおり。
ア CAD データの確認
CAD データの電子成果品は、SXF(SFC)形式で納品するため、変換によるデータ欠落や表現の違いが生じることはないよう、目視確認及び広島県のCAD チェックシステムによるデータチェックを行うこと。
発注者は、受取ったCAD データが事前に確認した図面の内容と同じであることを確認すること。
イ CAD データ以外の確認
CAD データ以外の電子成果品について確認を行うこと。
打合せ事項と電子成果品の内容との比較等を行い、内容に相違がないか確認すること。

6 検査(中間検査・完成検査)

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。
電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、請負・発注者間の協議により取り決めるものとする。
書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

6.1 中間検査の取扱い

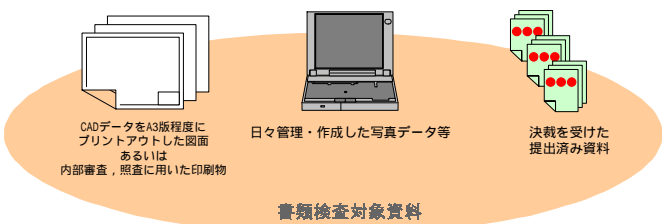
中間検査の検査書類については、施工途中で電子納品作成段階であることも考慮し、請負者がどのように書類整理するかを判断し、検査前に監督員に報告することとする。
中間検査を電子データで行う際は、セキュリティの観点から請負・発注者双方において事前にウィルスチェックを行っておくこと。

6.2 書類検査

工事完成検査では、工事目的物を対象に工事の出来形、施工管理状況等について、契約書、設計図書と照合して検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。

【解説】

- (1) 工事記録写真
写真データは、請負者の持つデータで検査を行ってもよいものとする。
- (2) 出来形管理資料、工事関係図及び工事報告書等
発注図・完成図・出来形管理図等を検査する際には、請負者がCAD データをA3 版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。
施工計画書、打合せ簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。
- (3) 機器の操作
検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として請負者が行う。請負者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。
また、検査を効率的に行うために請負者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を監督員との協議により準備する。



6.3 現場検査

現場検査では、書類検査で利用した資料を基に受検すること。

【解説】

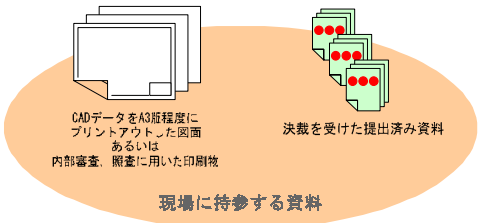


図 6.2 現場に持参する資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

7.1 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される基礎情報、ソフトウェア情報、工事情報からなる各管理項目を記入する。
ただし、一部広島県が定めた事項があるため、各管理項目の記入には留意すること。

【解説】

各管理項目(基礎情報、業務情報)を次頁以降に示す。

- (1) 記入者
 - : CORINS から出力される CSV ファイルから取り込むことが可能な項目 (CORINS 情報の記入に当たって、CORINS の規則に従うこと)
 - : 電子媒体作成者が記入する項目
 - : 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- (2) 必要度
 - : 必須記入項目(必ず記入する)
 - : 条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
 - : 任意記入項目(原則として空欄・特記すべき事項があれば記入する)
- (3) 摘要の記述
 - 空欄 = 国土交通省と同じ見解
 - 斜字 = 国土交通省の記載事項の具体的な説明
 - 太字下線 = 広島県が定めた事項
- (4) 記入上の注意
 - 全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角 1 文字に相当する。
データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては次のルールに従う。
 - ア 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。
例) 082-228-2111・・・・・・・
0 8 2 - 2 2 8 - 2 1 1 1・・・・・・x
 - イ 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。
例) 契約図書：広島市中区基町 10 番 52 号・・・・・・・
広島市中区基町 10-52・・・・・・・x
広島市中区基町 1 0 番 5 2 号・・・・・・・x
 - ウ 年月日の間にハイフン()を挿入すること。
例) 2007-03-26・・・・・・・
20070326・・・・・・・x

7.2 工事管理項目

電子媒体に格納する工事管理ファイル(INDEX_C.XML)に記入する工事管理項目は、表 7.1 及び表 7.2 に示すとおりとする。

表 7.1 工事管理項目(1/2)

分類・項目名		国土交通省	広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度
		記入内容	摘 要	記入例				
基礎情報	メディア番号	提出した電子媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。		1	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した電子媒体の総枚数を記入する。		2	同上	8		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版 (「土木200406-01」で固定)を記入する。 (分野:土木, 西暦年:2004, 月:06, 版:01)		土木200406-01	全角文字 半角英数字	30		
	発注図フォルダ名	発注図を格納するために「DRAWINGS」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「DRAWINGS」で固定)を記入する。		DRAWINGS	半角英数 大文字	127		
	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	特記仕様書を格納するために「SPEC」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「DRAWINGS/SPEC」で固定)を記入する。		DRAWINGS/SPEC	同上	127		
	打合せ簿フォルダ名	打合せ簿を格納するために「MEET」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「MEET」で固定)を記入する。		MEET	同上	127		
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	打合せ簿オリジナルファイルを格納するフォルダ名称「MEET/ORG」で固定)を記入する。		MEET/ORG	同上	127		
	施工計画書フォルダ名	施工計画書を格納するために「PLAN」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「PLAN」で固定)を記入する。		PLAN	同上	127		
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	施工計画書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称「PLAN/ORG」で固定)を記入する。		PLAN/ORG	同上	127		
	完成図フォルダ名	完成図を格納するために「DRAWINGF」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「DRAWINGF」で固定)を記入する。		DRAWINGF	同上	127		
工事条件等	写真フォルダ名	写真を格納するために「PHOTO」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「PHOTO」で固定)を記入する。		PHOTO	同上	127		
	その他フォルダ名	その他資料を格納するために「OTHRs」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「OTHRs」で固定)を記入する。		OTHRs	同上	127		
	その他のオリジナルファイルフォルダ名	その他のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称「OTHRs/ORG001～nnn」を記入する(nnnは連番を示す)。その他のオリジナルフォルダがある場合は必ず記入する。		OTHRs/ORG001	同上	127		
	その他のオリジナルファイルフォルダ名	その他のオリジナルファイルを格納するフォルダの日本語名称を記入する。		構造計算書	同上	127		
	発注年度	工事の発注年度を西暦4桁で記入する。		2007	半角数字	4		
	工事番号	地方整備局単位で設定しているSCMS設計書番号(数字8桁～14桁)を記入する。	契約図書の旅行番号12桁を記入	101364200620	半角英数字	127		
	工事名称	契約図書に記載されている正式の工事名称を記入する。	契約図書の工事名を記入	主要地方道 線 道路改良工事	全角文字 半角英数字	127		
	工事実績システムバージョン番号	管理項目の記入で参照しているCORINSのマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。		5.0	半角数字	12		
	工事分野	CORINSの「工事」の分類に従って記入する。		道路	全角文字 半角英数字	16		
	工事業種	CORINSの「工事」の業種に従って記入する。		土木一式工事	同上	16		
工事様式・工法	工種	CORINSの「工種」工法・型式)の「工種」を記入する。(複数記入可)		歩行者系舗装工事	同上	127		
	工法型式	CORINSの「工種」工法・型式)の「工法・型式」を記入する(複数記入可)。		歩行者系舗装工	同上	127		
	住所コード	該当地域の住所コードをCORINSの表より選択し記入する。該当がない場合は「999999」とする。(複数記入可)		34223	半角数字	5		
	住所(施工場所)	該当地域の住所を記入する。(複数記入可)	必ず「広島県」を記入後、契約図書の工事場所を記入	広島県広島市中区基町10番52号	全角文字 半角英数字	127		
	工期開始日	工期の開始日の年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例)平成16年1月1日→2004-01-01		2007-10-01	半角英数字	10		
	工期終了日	工期の終了日の年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例)平成16年12月3日→2004-12-03		2007-12-20	同上	10		
	工事概要	工事概要及び主工種とその数量を記入する。	契約図書の工事概要を記入	掘削工 5000m3、 舗装工 2000m2	全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.2 工事管理項目(2/2)

分類項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
測地系	測地系	日本測地系、世界測地系(日本測地系2000)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(日本測地系2000)は「01」を記入する。		01	半角数字	2		
	対象水系路線名	CORINSの路線・水系名等に従って記入する。複数の路線・水系にまたがる工事の場合、関連する路線・水系名を記入する。当該情報が複数ある場合の記入方法は付属資料3を参照のこと。		主要地方道 線	全角文字 半角英数字	127		
	現道・旧道区分	「現道:1」、「旧道:2」、「新道:3」、「未調査:0」のいずれかを記入する。		1	半角数字	1		
	対象河川コード	「河川コード仕様書(案)」に準拠し発注者が指示する河川コードを記入する。		河川として空欄	同上	10		
	左右岸上下線コード	河川の左岸・右岸の別または道路の上下線の別を示す左右岸上下線コードを記入する。(複数記入可)		河川として空欄	同上	2		
	測点情報	起点側測点-n (自)n+m nを4桁で記入する。 終点側測点-m (自)n+m mを3桁で記入する。		0015 008	同上	4 3		
	距離情報	起点側距離標-n (自)n+m nを3桁で記入する。 終点側距離標-m (自)n+m mを3桁で記入する。		0016 005	同上	4 3		
	境界座標情報	西側境界座標緯度 対象領域の最西端の外側境界の緯度を記入する。 (度:00桁 分:02桁 秒:02桁) 対象領域が西緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。 東側境界座標緯度 対象領域の最東端の外側境界の緯度を記入する。 (度:00桁 分:02桁 秒:02桁) 対象領域が西緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。 北側境界座標緯度 対象領域の最北端の外側境界の緯度を記入する。 (度:00桁 分:02桁 秒:02桁) 対象領域が西緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。 南側境界座標緯度 対象領域の最南端の外側境界の緯度を記入する。 (度:00桁 分:02桁 秒:02桁) 対象領域が西緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料4により記入	1322710 1323510 0342400 0342000	半角数字 -「(HYPHEN-MINUS)」 同上	8 8 8 8		
	施設名称	施設名称を記入する。		橋	全角文字 半角英数字	127		
発注者情報	発注者・大分類	CORINSの「発注機関名・中分類」に従い、発注者の官庁名、団体名等を記入する。		広島県	同上	16		
	発注者・中分類	CORINSの「発注機関名・小分類」に従い、発注者の局名、支社名等を記入する。	CORINSの「発注機関名・小分類」より該当する名称を記入	地域事務所	同上	32		
	発注者・小分類	CORINSの「発注機関名・細分類」に従い、記入する。	CORINSの「発注機関名・細分類」より該当する名称を記入	建設局	同上	30		
	発注者コード	CORINSの「発注機関コード」に従い、発注者のコードを記入する。大分類(1桁)、中分類(2桁)、小分類(2桁)、細分類(3桁)をあわせて、9桁で取り扱う。	334XXXXX (CORINSのコード8桁)	33405102	半角数字	8		
	請負者名	請負者の正式名称を記入する。請負者名の正式名称を記入する。JVの場合には、JVの正式名称及び代表会社名を続けて記入する。		株式会社	全角文字 半角英数字	127		
請負者情報	請負者コード	発注者が定める請負者コードを記入する。国土交通省では、各地方整備局で請負者コードを管理している。	施設設計可番号を記入	34012345	半角数字	127		
	予備	特記事項がある場合に記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

7.3 打合せ簿管理項目

電子媒体に格納する打合せ簿管理ファイル(MEET.XML)に記入する管理項目は、表 7.3 に示すとおりとする。

表 7.3 打合せ簿管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
シリアル番号	シリアル番号	打合せ簿の通し番号を記入する。通番を原則とするが、やむを得ない理由である場合は中破け(欠番)してもよい。12番目を、「00012」の様に0を付けて表現してはならない。	1		半角数字	15		
	上位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿が派生した上位にあたる打合せ簿のシリアル番号を記入する。(本項目はシリアル番号の属性として保持)	3		半角英数字	15		
	下位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿から派生した下位にあたる打合せ簿のシリアル番号を記入する。(本項目はシリアル番号の属性として保持)	2		同上	15		
打合せ簿種類		打合せ簿の種類を記入する。 (「指示」「承諾」「協議」「提出」「報告」「通知」「提示」)	指示		全角文字 半角英数字	16		
打合せ簿名称		打合せ簿の標題もしくは打合せ簿の内容を簡潔に記入する。	水路に関する打合せ		同上	127		
管理区分		「施工管理」「安全管理」「出来形管理」「品質管理」「出来高管理」「原価管理」「工程管理」「写真管理」等の管理区分を記入する。	施工管理		同上	127		
関連資料	図面ファイル名	関連する図面がある場合は、図面管理項目の図面ファイル名を記入する。(複数記入可)	C0PL00300.sfc		半角英数大文字	12		
	シリアル番号	関連する写真がある場合は、写真管理項目のシリアル番号を記入する。(複数記入可)	100		半角数字	7		
作成者		打合せ簿の作成者を記入する。(請負者：現場代理人、請負者：主任技術者、発注者：現場監督員など)	建設株式会社 広島一郎		全角文字 半角英数字	127		
提出先		打合せ簿の提出先(発注者、請負者)を記入する。	発注者		同上	127		
発行日付	発行日付	発行元が打合せ簿を発行した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。 (CCYY：西暦の年数、MM：月、DD：日) 例)平成16年1月1日→2004-01-01	2007-10-01		半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	受理日付	提出先担当者が打合せ簿を受理した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。 (CCYY：西暦の年数、MM：月、DD：日) 例)平成16年4月20日→2004-04-20	2007-10-02		同上	10		
完了日付		発注者又は請負者が処理・図面した年月日がある場合はCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。 (CCYY：西暦の年数、MM：月、DD：日) 例)平成16年6月9日→2004-06-09	2007-10-05		同上	10		
オリジナルファイル情報	打合せ簿オリジナルファイル名	打合せ簿のファイル名を記入する。(拡張子を含む)	M0001_01.DOC		半角英数大文字	12		
	打合せ簿オリジナルファイル日本語名	打合せ簿ファイルに関する日本語名を記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報	オリジナルファイルを作成したソフトウェア名とバージョンを記入する。	Microsoft_Word_98		同上	127		
その他	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは打合せ簿オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。	工程表		同上	127		
	請負者説明文	請負者側で打合せ簿に関して特記すべき事項がある場合は記入する。			同上	127		
	発注者説明文	発注者側で打合せ簿に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。			同上	127		
予備	予備	電子化が困難等の理由により請負・発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で、特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)			同上	127		
	ソフトウェア用TAG	ソフトウェアが管理のために使用する。(複数記入可)			同上	127		

1 打合せ簿情報以下は、打合せ簿の数を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は、一つの打合せ簿に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.4 施工計画書管理項目

電子媒体に格納する施工計画書管理ファイル(PLAN.XML)に記入する管理項目は、表 7.4 に示すとおりとする。

表 7.4 施工計画書管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
施工計画書情報	シリアル番号	施工計画書の通し番号を記入する。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった施工計画書についてユニークであれば、中破けしてもよい。12番目を、「00012」の様に0を付けて表現してはならない。	1		半角数字	15		
	施工計画書名称	施工計画書の標題を記入する。	施工計画書		全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル情報	施工計画書の文書、図面等オリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)	PLA01_01.DOC		半角英数大文字	12		
1	施工計画書オリジナルファイル日本語名	施工計画書ファイルに関する日本語名を記入する。	工区現場組織図		全角文字 半角英数字	127		
	施工計画書オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報	施工計画書オリジナルファイルの作成ソフトウェア名とバージョン情報を記入する。	Microsoft_Word_98		同上	127		
	2 オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは施工計画書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。	現場組織図		同上	127		
その他	請負者説明文	請負者側で施工計画書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。			同上	127		
	発注者説明文	発注者側で施工計画書に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。			同上	127		
	予備	電子化が困難等の理由により請負・発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で、特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)			同上	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアが管理のために使用する。(複数記入可)			同上	127		

1 施工計画書情報以下は、施工計画書の数を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は、一つの施工計画書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.5 図面管理項目

電子媒体に格納する図面管理ファイル(DRAWING.XML)に記入する管理項目は 表 7.5 及び表 7.6 に示すとおりとする。

表 7.5 図面管理項目(1/2)

分類	No	項目名	記入内容	広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度
				摘要	記入例				
共通情報	1	適用要領基準`A)	図面作成時に適用した「本基準(案)」を土木2004 06-01等の記入例に倣い記入する。(分野:土木, 西暦年:2004, 月:06, 版:01)		土木200406-01	全角文字 半角英数字	30		
	2	対象工種(数値)`B)	「本基準(案)」で対象とする34工種と地質を001～035の数値で記入する。その他の追加工種があるときは、追加工種を100～999の数値で記入する。なお、100～999の数値を記入した場合には、3,4を必ず記入する。		001	半角数字	3		
	3	追加工種(数値)	「本基準(案)」で定義していない工種を追加する場合は、100～999の数値を記入する。			半角数字	3		
	4	追加対象工種(概要)	上記の追加工種の概要を具体的に記入する。(3とセットで複数入力可)			全角文字 半角英数字	127		
	5	サブフォルダ名称	サブフォルダを作成したときのサブフォルダ名称を、記入する。重複名称は不可。			半角英数字	8		
	6	追加サブフォルダ名称の概要	上記のサブフォルダの概要を具体的に記入する。(5とセットで複数入力可)			全角文字 半角英数字	127		
図面情報`2)	7	図面名	表題欄に記述する図面名を記入する。		計画平面図	全角文字 半角英数字	64		
	8	図面ファイル名	図面ファイルのファイル名の拡張子を含めて記入する。		D1PL001Z.SFC	半角英数字 大文字	12		
	9	作成者名	表題欄に記述する会社名を記入する。		コンサルタント株式会社	全角文字 半角英数字	32		
	10	図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。		CADVer6.3	全角文字 半角英数字	64		
	11	縮尺	縮尺を記入する。 複数の縮尺が混在する場合は、代表縮尺を記入する。		1:100	半角英数字	16		
	12	図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入する。		001	半角数字	3		
	13	対象工種`B)	「本基準(案)」で対象とする34工種と地質を001～035の数値で記入する。その他追加工種があるときは、追加工種を100～999の数値を昇順で記入する。		001	半角数字	3		
	14	追加図面種類(略語)	「本基準(案)」で定義していない図面種類を追加する場合に、基準(案)に準じた半角英数字2文字の略語で記入する。(ただし、同一工種による略語の重複は、認めていません。)			半角英数字	2		
	15	追加図面種類(概要)	上記の追加図面種類の概要を具体的に記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	16	格納サブフォルダ	図面を格納した追加サブフォルダ名を記入する。			半角英数字	8		

表 7.6 図面管理項目(2/2)

分類	No	項目名	記入内容	広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度
				摘要	記入例				
図面情報	17	測地系	日本測地系(旧測地系)、世界測地系(新測地系)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系は「01」を記入する。		01	半角数字	2		
	18	基準点情報`2)	緯度	図面中の1点の緯度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。		1323510	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	() *3)
	19	基準点情報`3)	経度	図面中の1点の経度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。		0342400	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	
	20	基準点情報`4)	平面直角座標`X座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)の系番号で記入する。			半角英数字	2	
	21	基準点情報`4)	平面直角座標`Y座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をX座標で記入する。			半角英数字	11	() *3)
	22	基準点情報`4)	平面直角座標`Y座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をY座標で記入する。			半角英数字	11	
	23	新規レイヤ`C)	「本基準(案)」で定義していないレイヤを追加する場合に、基準(案)に準じたレイヤ名称11文字以内の半角英数字で記入する。(略語)				半角英数字	11	
	24	新規レイヤ`4)	上記23で追加した新規レイヤに関する内容を記入する。				全角文字 半角英数字	127	
	25	受注者説明文	受注者側で図面に付けるコメントを記入する。				全角文字 半角英数字	127	
	26	発注者説明文	発注者側で図面に付けるコメントを記入する。				全角文字 半角英数字	127	
	27	予備	その他予備項目を記入する。 (複数入力可)				全角文字 半角英数字	127	
	ソフトウェア用TAG			ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。 (複数入力可)			全角文字 半角英数字	127	

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字2文字で全角文字1文字に相当する。
複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す

*1)追加工種がある時は、「3 追加対象工種(数値)」,「4 追加対象工種(概要)」をセットで複数回繰り返す。
*2)図面情報は、図面の枚数分を複数回繰り返す。基準点情報の記入方法については、【解説】を参照。
*3)「位置図」,「平面図」,「一般図」の基準点情報は、17～19または17, 20～22のいずれかを必ず記入する。
*4)本基準(案)で定義していない新規レイヤを追加する時は、「23 新規レイヤ名(略語)」と「24 新規レイヤ(概要)」をセットで複数回繰り返す。
*A)本基準(案)の分類は以下の通り。
平成13年8月版 土木200108
平成14年7月版 土木200207
平成15年7月版 土木200307
平成16年6月版 土木200406-01

7.6 写真管理項目

電子媒体に格納する写真管理ファイル(PHOTO.XML)に記入する管理項目は、表7.7及び表7.8に示すとおりとする。

表 7.7 写真管理項目表(1/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県 記入内容		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要					
基礎情報	写真フォルダ名	写真ファイルを格納するフォルダ名称(PHOTO/PICで固定)を記入する。		PHOTO/PIC	半角英大文字	127		
	参考図フォルダ名	参考図ファイルを格納するために「DRA」サブフォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTO/DRAで固定)を記入する。			半角英大文字	127		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「土木200801-01」で固定)を記入する。 (分野:土木、西暦年:2008、月:01、版:01)		土木2008-01-01	全角文字 半角英数字	30		
写真ファイル情報	シリアル番号	写真通し番号。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真についてユニークであれば、中抜けてもよい。123枚目を、「000123」の様にを付けて記入してはいいない。	1		半角数字	7		
	写真ファイル名	写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する。		P0000001.JPG	半角英数大文字	12		
	写真ファイル日本語名	写真ファイルに関する日本語名称を記入する。		土工品質管理	全角文字 半角英数字	127		
	メディア番号	一連のまとまった写真について、保存されている電子媒体番号を記入する。単一の電子媒体であれば全て「1」となる。	1		半角数字	8		
	写真・大分類	写真を撮影した業務の種類を「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」その他から選択して記入する。工事写真は常に「工事」と記入する。		工事	全角文字 半角英数字	8		
	写真区分	写真管理基準(案)の分類に準じ、「着事前及び完成写真」(既述部分写真等を含む)「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」その他(公害、環境、補償等)の区分のいずれかを記入する。大分類が「工事」でない場合は、自由記入とする。		品質管理写真	全角文字 半角英数字	127		
	工種	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着事前及び完成写真:×」「施工状況写真:○」「安全管理写真:○」「使用材料写真:○」「品質管理写真:×」「出来形管理写真:○」「災害写真:×」その他:×とする。(○:記入、×:記入可能な場合は記入、×:記入は不要とし空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		道路土工	全角文字 半角英数字	127		
	種別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着事前及び完成写真:×」「施工状況写真:○」「安全管理写真:×」「使用材料写真:○」「品質管理写真:×」「出来形管理写真:○」「災害写真:×」その他:×とする。(○:記入、×:記入可能な場合は記入、×:記入は不要とし空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		路体盛土工	全角文字 半角英数字	127		
	細別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着事前及び完成写真:×」「施工状況写真:○」「安全管理写真:×」「使用材料写真:○」「品質管理写真:×」「出来形管理写真:○」「災害写真:×」その他:×とする。(○:記入、×:記入可能な場合は記入、×:記入は不要とし空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		路体(購入土)	全角文字 半角英数字	127		
	写真タイトル	写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、撮影時期に相当する内容を記入する。		No10 路体盛土(1層目)出来高測定	全角文字 半角英数字	127		
	工種区分予備	工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.8 写真管理項目表(2/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県 記入内容		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要					
付加情報	参考図ファイル名	撮影位置図、凡例図等の参考図のファイル名を記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に關し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。		D0000001.JPG	半角英数大文字	12		
	参考図ファイル日本語名	参考図ファイルに関する日本語名等を記入する。		平面図	全角文字 半角英数字	127		
	参考図タイトル	参考図の内容が判るようなタイトルを記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に關し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。		平面図	全角文字 半角英数字	127		
	付加情報予備	参考図、撮影箇所等に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
撮影情報	撮影箇所	当該写真に関する測点位置、撮影対象までの距離、撮影内容等を簡潔に記入する。撮影位置図上に複数撮影位置が記載されている場合には、位置図上の記号等を記入する。		測点:1L	全角文字 半角英数字	127		
	撮影年月日	写真を撮影した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合、「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日)例)平成18年02月26日 →2006-02-06		2006-09-01	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)-	10		
	代表写真	工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入する。		1	半角数字	1		
	施工管理値	黒板の判読が困難な場合、設計寸法及び実測寸法等の補足事項を記入する。		路体盛土(1層目)仕上厚300mm実寸法305mm	全角文字 半角英数字	127		
請負者説明文		請負者側で検査立会書、特筆事項があれば記入する。			全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

7.7 その他資料管理項目

電子媒体に格納するその他管理情報ファイル(OTHERS.XML)に記入する管理項目は、表 7.9 に示すとおりとする。

表 7.9 その他資料管理項目

分類・項目名		国土交通省		広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度
		記入内容		摘 要		記入例			
サブフォルダ情報	その他資料情報	その他サブフォルダ名		作成したその他サブフォルダ名(ORG001～nnn)を記入する。		ORG002	半角英数大文字	6	
		その他サブフォルダ日本語名		格納している資料の内容がわかるようにフォルダの日本語名を記入する。		段階確認書	全角文字半角英数字	127	
		資料名		その他サブフォルダ名に格納している資料名を記入する。		に関する段階確認書	同上	127	
		シリアル番号	シリアル番号は1より開始する。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった資料についてユニークであれば、中抜けしても良い。2番目を、“00002”の様に0を付けて表現しては1けない。		1	半角数字	15		
		オリジナルファイル名	オリジナルファイル名を記入する。(括弧字を含む)		CHK01_01.DOC	半角英数大文字	12		
		オリジナルファイル日本語名	オリジナルファイルの日本語名を記入する。		20061109段階確認書	全角文字半角英数字	127		
		オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報	オリジナルファイルの作成ソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft Word 2000	同上	127		
		オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくはオリジナルファイルに示されていることを記入する。		に関する段階確認書	同上	127		
		予備	電子化が困難等の理由により読負・発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)			同上			
		その他	読負者説明文	読負者側で特記すべき事項がある場合は記入する。			同上	127	
	発注者説明文		発注者側で特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。			同上	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)					同上	127	

1 その他資料情報以下は、その他資料情報の数分を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの工事履行報告書又は段階確認書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

参考資料 1 着事前協議チェックシート(広島県様式)

工事編

着事前(変更)協議チェックシート

実施日 平成 年 月 日

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

施行番号	-	
工事名		
路線・河川名等		
工事場所		
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	課
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
請負者	連絡先(e-mail)	@ pref.hiroshima.lg.jp
	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
	連絡先(e-mail)	@

2 電子納品データ作成ソフトの確認

文書ファイル(ワープロ)	(Ver.)
表計算ファイル(表計算ソフト)	(Ver.)
図面ファイル(CADソフト)	(Ver.)
写真ファイル	(Ver.)
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)	(Ver.)
その他	(Ver.)
その他	(Ver.)
その他	(Ver.)

工事編

着手前(変更)協議チェックシート

3 電子納品対象項目

工事管理情報ファイル			電子納品	紙	備考
発注図面フォルダ(DRAWINGS)					必須
図面管理ファイル	XML				条件付必須
発注図面	SXF(SFC)				条件付必須
特記仕様書	WORD, EXCEL,				条件付必須
オリジナルファイル	その他()				条件付必須
打合せ簿フォルダ(MEET)					
打合せ簿管理ファイル	XML				
打合せ簿	WORD, EXCEL,				
	その他()				
品質管理資料					
品質管理表	WORD, EXCEL,				
	その他()				
測定結果総括表	WORD, EXCEL,				
	その他()				
測定結果一覧表	WORD, EXCEL,				
	その他()				
品質管理図表	WORD, EXCEL,				
	その他()				
品質管理図	WORD, EXCEL,				
	その他()				
出来形管理資料					
測定結果一覧表	WORD, EXCEL,				
	その他()				
出来形管理図表	WORD, EXCEL,				
	その他()				
出来形管理図	WORD, EXCEL,				
	その他()				
施工計画書フォルダ(PLAN)					
施工計画書管理ファイル	XML				
施工計画書	WORD, EXCEL,				
オリジナルファイル	その他()				
完成図面フォルダ(DRAWINGF)					条件付必須
図面管理ファイル	XML				条件付必須
図面ファイル	SXF(SFC)				条件付必須
写真フォルダ(PHOTO)					必須
写真情報管理ファイル	XML				必須
写真ファイル	JPEG				必須
参考図ファイル	JPEG TIFF				必須
その他フォルダ(OTHR)					
その他管理ファイル	XML				
工事履行報告書	WORD, EXCEL,				
	その他()				
段階確認書	WORD, EXCEL,				
	その他()				

他の書類は、紙媒体での納品とする。

工事編

着手前(変更)協議チェックシート

4 遵守するべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。
準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	広島県電子納品実施要領【工事編】	平成20年●月	広島県
	CAD製図基準(案)(工種:)	平成16年6月	国土交通省
図面	CAD図面作成要領(案)(工種:)	平成17年3月	国土交通省港湾局
	電子化図面データ作成要領(案)(工種:)	平成17年4月	農林水産省農村振興局
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	国土交通省

なお、次に国土交通省等がまとめた要領・ガイドラインを参考として示す。

種別	名 称	策定年月	策定者
	工事完成図書の電子納品要領(案)	平成16年6月	国土交通省
	電子納品運用ガイドライン(案)[土木工事編]	平成17年8月	国土交通省
	電子納品に関する手引き[土木工事編]中国地方整備局	平成17年5月	国土交通省
	地方整備局(港湾空港関係)の事業における電子納品運用ガイドライン(案)[工事編]	平成18年3月	国土交通省港湾局
	地方整備局(港湾空港関係)の事業における電子納品に関する事前協議ガイドライン(案)	平成18年3月	国土交通省港湾局
図面	CAD製図基準に関する運用ガイドライン(案)	平成17年8月	国土交通省
	電子化図面データ作成運用ガイドライン(案)	平成19年2月	農林水産省農村振興局

5 コンピュータウイルス対策(請負者側)

使用ソフトウェア名	Norton AntiVirus (Ver.)
	ウイルスバスター (Ver.)
	Virus Scan (Ver.)
	その他()
ウイルスチェックソフトの常駐	インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウイルスチェックソフトを常駐させる。
ウイルスチェックの実施	外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。
ウイルスパターン定義データの更新	管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウイルス発見・駆除時の対応	ウイルスが発見された場合には、管理責任者がウイルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制(請負者側)

バックアップ頻度	バックアップ作業を1日1回以上行う その他()
バックアップ媒体	MO(光磁気ディスク) CD-RW(追記可能コンパクトディスク) 外付けハードディスク その他()
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業者名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

参考資料 2 検査前協議チェックシート(広島県様式)

工事編

検査前協議チェックシート

実施日平成 年 月 日

施行番号	-	-
工事名		
路線河川名等		
工事場所		
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注担当者		
請負担当者		

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所		
検査実施予定日時	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
検査機器準備担当	発注者	
	機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()	
	請負者	
	機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()	

2 電子納品の検査方法

書類名	印刷物による検査	電子データによる検査	書類名	印刷物による検査	電子データによる検査
発注図面			施工体系図		
打合せ簿			再生資源利用計画書(実施書)		
品質管理表			再生資源利用促進計画書(実施書)		
測定結果総括表			安全管理資料		
測定結果一覧表			材料確認書		
品質管理図表			立会書		
品質管理図			段階確認書		
測定結果一覧表			工事履行報告書		
出来形管理図表			施工計画書		
出来形管理図					
工事写真					
施工台帳					

3 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	請負者	
文書ファイル(ワープロ)			
表計算ファイル(表計算ソフト)			
図面ファイル(CADソフト)			
写真ファイル			
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)			
その他			
その他			
その他			

4 その他

参考資料 3 納品時チェックシート(広島県様式)

工事編

納品時チェックシート

実施日平成 年 月 日

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

施行番号	-	-
工事名		
路線河川名等		
工事場所		
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	課
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線()
	連絡先(FAX)	() -
	連絡先(e-mail)	@ pref.hiroshima.lg.jp
請負者	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線()
	連絡先(FAX)	() -
	連絡先(e-mail)	@

2 電子媒体の確認

電子媒体	問題なし→特記仕様書どおり 問題あり()
ラベル	問題なし→正しく作成されている 問題あり()
電子媒体納品書の受領	問題なし→正しく作成されている 問題あり()

3 ウィルスチェック等電子媒体の確認

ウィルスチェックの実施	実施できた 実施できなかった()
ウィルスチェックの結果	異常なし→ウィルスは検出されなかった 異常あり()
電子納品チェックツールによる 検査結果	エラーなし エラーあり()

4 フォルダ構成/ファイル名

電子媒体内のフォルダ構成	問題なし→正しく作成されている 問題あり()
ファイル名 (命名規則に従っているか)	問題なし→正しく作成されている 問題あり()

工事編

納品時チェックシート

5 管理ファイルのデータ項目内容チェック

電子納品対象項目	内容チェックの実施	内容チェックの結果
工事管理ファイル INDEX_C.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
発注図管理ファイル DRAWINGS.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
打合せ簿管理ファイル MEET.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
施工計画書管理ファイル PLAN.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
完成図管理ファイル DRAWINGF.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
写真管理ファイル PHOTO.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
その他管理ファイル OTHS.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()

6 電子データ内容と印刷出力との内容照合チェック

電子納品対象項目	内容照合チェックの実施	内容照合チェックの結果
図面ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
特記仕様書ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
打合せ簿ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
施工計画書ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
測量縦横断データ	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
写真ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
その他ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()

7 その他

--

参考資料4 境界座標の記入

「境界座標」野測地系は、世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。

「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ 1

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

境界座標を取得する方法は次のとおりである。



参資図1 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。

工事対象が離れた地点に数箇所点に在する場合または広域の場合は、請負・発注者間で協議し、[場所情報]を工事範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、工事範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましい。

¹境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

参考資料 5 CD-R が複数枚になる場合の処置

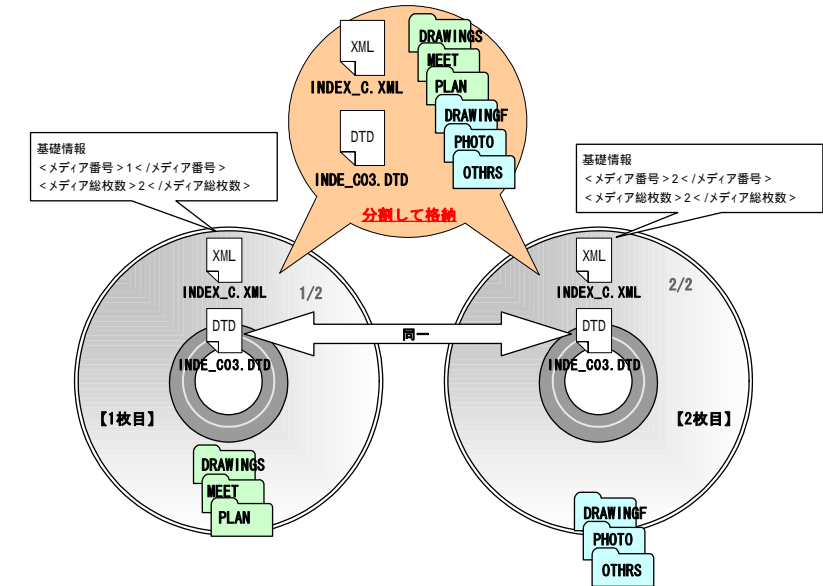
格納するデータの容量が大きく、1 枚の CD-R に納まらず複数枚になる場合は、同一の工事管理ファイル (INDEX.C.XML) を各 CD-R に格納する。

この場合、基礎情報の「メディア番号」には、各 CD-R に該当する番号を記入すること。

各フォルダにおいても同様に、同一の管理ファイルを各 CD-R に格納する。

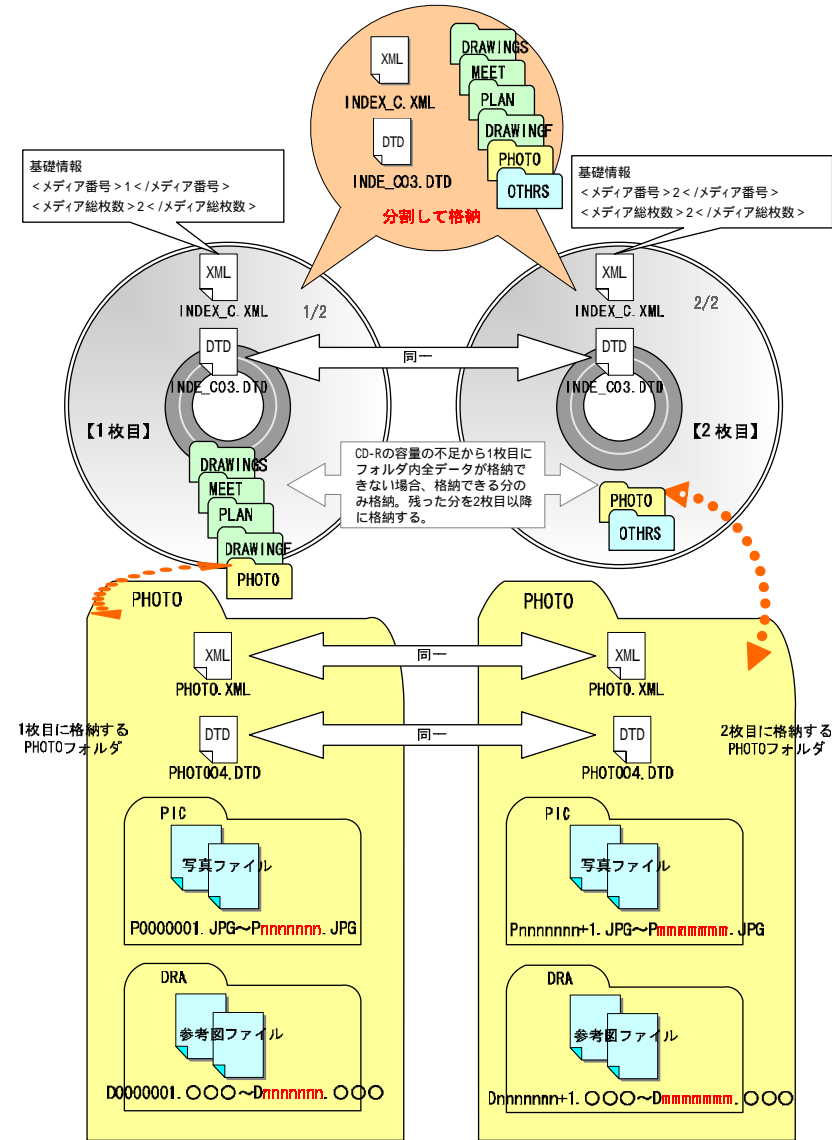
また、工事管理ファイルの基礎情報の「メディア番号」は、ラベルに明記してある何枚目 / 全体枚数と整合を図ること。

CD-R が 2 枚になる場合の例を参資図 2.1 に示す。



参資図 2.1 CD-R が 2 枚になる場合の作成例

なお、各フォルダで分割できず、やむを得ない場合は、参資図 2.2 CD-R が 2 枚になる場合の作成例によるものとする。



参資図 2.2 CD-R が 2 枚になる場合の作成例【フォルダ内でも分割する必要がある場合】¹

¹ 「PIC」フォルダに格納される写真ファイルと「DRA」フォルダに格納される参考図ファイルとも、最後のファイル添え字が「mmmmmmmm」となっていますが、あくまで例示であり一致するものではありません。

(案)

広島県電子納品実施要領
〔建築設計業務編〕

平成 20 年 月

広 島 県

- 目 次 -

1	広島県電子納品実施要領〔建築設計業務編〕の位置付け.....	1
1.1	はじめに.....	1
1.2	適用.....	1
1.3	問合せ.....	1
1.4	国土交通省の基準類との差異とその取扱い.....	2
2	電子納品の定義と適用.....	3
2.1	電子納品の定義.....	3
2.2	広島県の電子納品適用範囲.....	3
2.3	適用基準.....	3
3	電子納品実施に必要な環境・準備.....	5
3.1	機器及びソフトウェア.....	5
3.2	発注時の特記仕様書への記載.....	5
4	電子納品の手順・事前協議.....	6
4.1	電子納品手順.....	6
4.2	事前協議.....	7
5	電子成果品の作成.....	8
5.1	広島県の電子データ作成の基本的な考え方.....	8
5.2	委託成果品の電子化(電子納品)対象書類.....	9
5.3	データの管理.....	9
5.4	広島県の標準ファイル形式.....	10
5.5	フォルダ構成及びファイル形式.....	11
5.6	ファイルの命名規則.....	13
5.7	電子媒体.....	18
6	完了検査.....	22
7	成果品の管理項目.....	23
7.1	業務管理項目.....	24
7.2	資料管理項目.....	25
参考資料 1	着手前(変更)協議チェックシート.....	26
参考資料 2	検査前協議チェックシート.....	29
参考資料 3	境界座標の記入.....	30

1 広島県電子納品実施要領[建築設計業務編]の位置付け

1.1 はじめに

「広島県電子納品実施要領[建築設計業務編]」(以下、「本要領」という。)は、広島県が実施する建築設計業務委託における電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものであり、既存の国土交通省の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。

広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおり電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが受発注者双方にとって非効率である場合については、適宜、受発注者間において協議することとする。

最後に、電子納品の実施にあたっては、受発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえ、発注者としては受注者に過度の負担を強いることなく、受注者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとること。

1.2 適用

本要領は、表 1.1 共通仕様書及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称
公共建築設計業務委託共通仕様書
建築工事監理業務委託共通仕様書

1.3 問合せ

広島県の電子納品運用等に関する問合せ先は、次のとおり。

表 1.2 広島県の電子納品運用等に関する問合せ先

営繕関係事業
総務部財務局財産管理室 庁舎企画グループ
TEL 082-513-2311
FAX 082-224-1235
E-mail souzaisan@pref.hiroshima.lg.jp

1.4 国土交通省の基準類との差異とその取扱い

本要領は、受注者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省が策定した要領・基準等を準拠している。
しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。なお、本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

表 1.3 国土交通省等と広島県との差異

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
CAD ファイルの形式	原則として、SXF(P21)	原則として SXF(SFC)とする	5.1(6)
オリジナルファイルの形式	受発注者間で協議し決定	原則、次の形式による Word・Excel・RIBC・ JPEG・PDF	5.4
レイヤリストファイル	要	要(県の基準による)	5.5.2
CAD ファイル命名規則	受注者が自由に設定してよい	受発注者協議により決定	5.6
図面以外のファイル名	受注者が自由に設定してよい	受発注者協議により決定	5.6.4
納品物	CD-R 2部	CD-R 2部 ほか特記仕様書による	5.7.1
電子媒体等の標記	8 項目について記載	9 項目について記載 「委託業務の場所」を追加	5.7.2
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.7.3
管理ファイルの記載内容	「7 成果品の管理項目」記載例参照		7.1～7.2

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

委託成果品の電子納品（以下、「電子納品」という。）とは、業務委託の成果品を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省等が策定している各種の電子納品要領（案）、基準（案）に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。

ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。

受注者より電子納品の申し出があったもの（部分的な電子納品含む）及び受発注者間で協議が整ったもの。

電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、次に示す国土交通省等が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

種別	要領・基準類	策定年月	備考
全般	建築設計業務等電子納品要領（案）	平成14年11月	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部
	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン（案）	平成14年11月	
図面	建築CAD図面作成要領（案）	平成14年11月	広島県
	建築CAD図面作成要領	平成13年 4月	
	建築設備CAD図面作成要領	平成13年 4月	

国土交通省の要領・基準及びガイドラインは、次のホームページからダウンロードできます。

国土交通省大臣官房官庁営繕部HP
<http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun/cals/cals.htm>

広島県の運用

国土交通省の要領・基準等の改訂の取扱い

本要領が準拠する国土交通省の要領・基準等が年度途中で改訂されることがあるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。

下水道事業の取扱い

国土交通省が策定している要領・基準等のCAD製図に関する項目について、下水道事業の適用が困難であり、受発注者協議により、その取り扱いを定めるものとする。

（参考）CAD製図基準（案）処理施設編（H17.3）

解説 適用基準

国の要領・基準等の概要

(1) 官庁営繕事業に係る運用ガイドライン（案）

電子納品対象工事・業務の範囲、適用基準類、電子納品の対象成果物の範囲、受発注者間協議の方法等、官庁営繕事業において電子納品を具体的に実施するにあたり、受発注者双方が留意すべき事項及び当面の措置として守るべき事項を定めたものである。

(2) 建築設計業務等電子納品要領（案）

建築設計業務委託の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。

(3) 建築CAD図面作成要領（案）

CADデータ作成に当たり必要となる属性情報（ファイル名、レイヤ名等）、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類	ソフト類
・ パソコン	・ ワードプロソフト
・ プリンタ	・ 表計算ソフト
・ C D - Rドライブ	・ C A Dソフト(S X F対応)※ ¹
・ デジタルカメラ	・ P D F作成ソフト
	・ ウィルスチェックソフト
	・ 電子納品作成支援ソフト
	・ 圧縮解凍ソフト

(1) 機器類

- ・ 特に仕様を設けない。

(2) ソフト類

- ・ ワードプロ及び表計算ソフトは、Word・Excel とする。
- ・ CAD ソフトは、SXF※¹対応のものとする。
- ・ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及び LZH とする。
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

1 図面ファイル形式は、5.1(6) CAD 図面のファイル形式 参照のこと。

参考 CADソフト

SXF 対応の CAD ソフトは、オープンCADフォーマット評議会のホームページを参照

<http://www.ocf.or.jp/index.shtml>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

(1) 特記仕様書への明記

電子納品対象の業務委託であることを受発注者間で相互に認識する必要があることから、電子納品対象の業務委託であることを特記仕様書に明記する。

表 3.1 特記仕様書記載例

電子納品

本業務は、電子納品対象業務とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領【建築設計業務編】平成 20 年 月版(以下、「要領」という。)」に基づいて作成されたものを指す。

成果品については、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で提出する。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は調査職員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、「紙」による報告書の提出は調査職員と協議の上、決定する。

また、成果品提出の際には、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

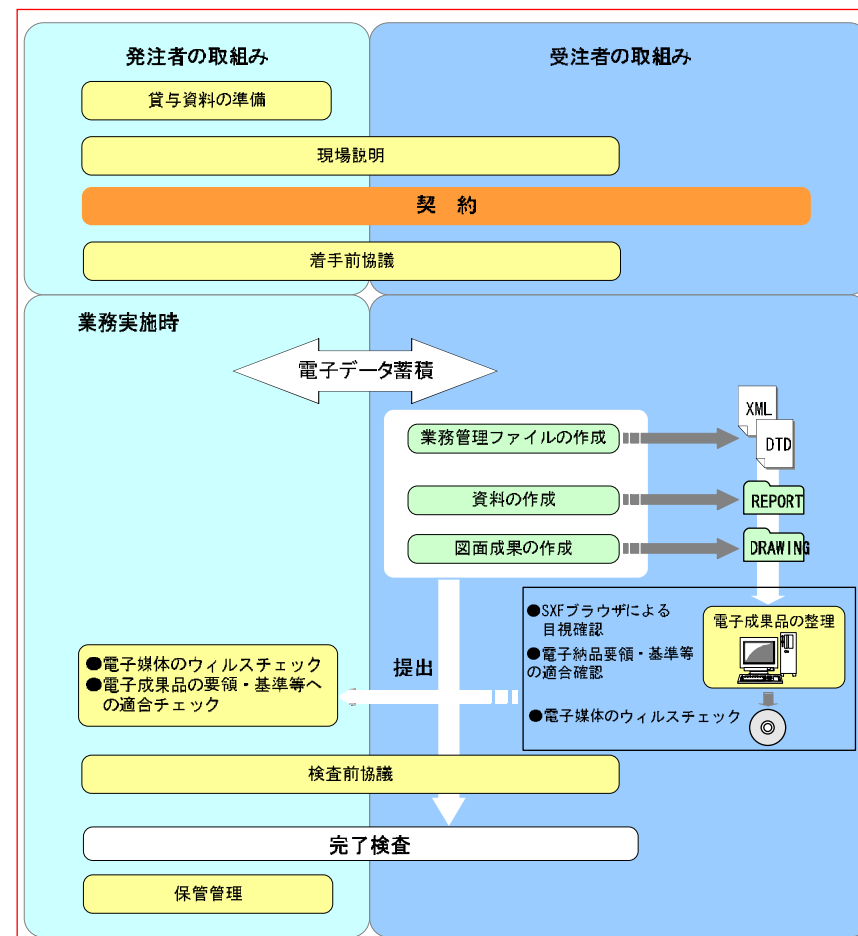
提出図書【成果品】

電子成果品(電子納品) 2部

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順

業務発注から完了検査にいたる電子納品の流れを次に示す。



4.2 事前協議

委託期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、受発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。

また、検査の円滑な進行及び納品データの適正な保管管理の観点から、納品前にも再度協議するものとする。

なお、事前協議については、業務打合せ簿により協議すること。

本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ受発注者間で取り決めておく(事前協議)ことが必要である。

事前協議は、委託期間中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。

なお、委託期間中等に疑義が生じた場合は、随時、受発注者間で確認・協議を行うこととする。

- (1) 着手前協議
- 着手前協議は、参考資料1 着手前(変更)協議チェックシートに基づいて協議を行うものとする。
- なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。
- ・ 電子納品の対象範囲
 - ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
 - ・ 電子化が困難な書類の取扱い
 - ・ 基準にない項目の取扱い
- (2) 検査前協議
- 検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、参考資料2 検査前協議チェックシートに基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。
- ・ 検査日時・場所
 - ・ 検査に使用する機器の準備
 - ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
 - ・ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

- (1) 電子ファイルの作成
- 新規に作成するものは、5.4 広島県の標準ファイル形式 により電子化する。
- (2) 押印書類
- (a) 従来どおり押印された書類を紙納品する。
- (b) 受発注者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。
- (c) 印刷・押印後の書類を、スキャナにより電子化し電子納品をする必要はない。
- (3) スキャナによる電子化
- (a) スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。
- (b) 電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。
- (4) デジタルカメラによる写真撮影
- 黒板の文字等が確認できることを指標とし、100 万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。
- また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。
- なお、写真の信憑性を考慮し、原則として写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画素数	容量 / 枚	備考
120 万画素 1280 × 960	300KB 程度	
200 万画素 1600 × 1200	500KB 程度	
300 万画素 2048 × 1536	800KB 程度	

- (5) 特殊ソフト利用の書類の電子化
- 特殊アプリケーションを用いたものは、原則として紙での提出とする。しかし、PDF に変換できるものであり、受発注者の協議が整った場合は PDF による提出も可とする。
- なお、印刷・押印後の書類をスキャンしたものによる電子納品は行わないこと。
- (6) CAD 図面のファイル形式
- 電子納品の図面ファイル形式は、原則として SXF (SFC) 形式とする。

5.2 委託成果品の電子化(電子納品)対象書類

電子納品対象データは、次の図書を基本とし、契約に係る書類(特記仕様書を除く)については対象外とし、次のとおり実施する。

項 目	作 成 者	フォルダ	電子納品対象
業務管理ファイル	受注者	-	必須
資料	受注者	REPORT	協議
図面	受注者	DRAWING	必須

補足説明

必 須 : 電子納品を必須とする書類

協 議 : 電子納品必須書類ではないが、積極的な電子化の取組みとして、受注者からの申出及び受発注者間で着手前協議が整った場合に対象とする書類

5.3 データの管理

電子納品対象の電子データは、業務着手から納品までの長期間にわたり、受注者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。

このようなトラブルからデータを守るため、定期的に電子媒体等(MO, CD-RW, DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこと。

5.4 広島県の標準ファイル形式

成果品の電子データのファイル形式については、次のとおりとする。

業務管理ファイル及び資料管理ファイル

業務管理ファイル、資料管理ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

資料ファイル

資料ファイルのファイル形式については、PDF 形式とする。

図面ファイル

図面ファイルのファイル形式については、原則として SXF(SFC)形式とする。

資料オリジナルファイル

資料オリジナルファイルは、基本的に Word ファイル・Excel ファイル、RIBC ファイル、画像ファイル(JPEG)とする。

(1) PDF ファイル

(a) PDF ファイルの作成

- ・用紙サイズは、A4 縦を基本とする。
- ・印刷を前提とした解像度、圧縮の設定を行う。
- ・フォントの埋め込みは行わない。また、特殊なフォントは用いない。

(b) PDF ファイルの編集

- ・しおり(ブックマーク)を該当ページへリンクするように作成する。ただし、頁数の少ない資料(概ね 30 頁以下)については、しおりを省略してよい。
- ・サムネイル(ページを縮小して一覧表示したもの)を作成する。
- ・セキュリティの設定は行わない。
- ・初期表示の設定は、次のように表示されるようにする。
 - 最初に表紙のページが表示される。
 - 100%の倍率で表示される。

5.5 フォルダ構成及びファイル形式

5.5.1 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「REPORT」、「DRAWING」のフォルダ及び業務管理ファイルを置く。また「REPORT」、「DRAWING」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。

ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

国土交通省の要領に示されるとおり、各フォルダ及びサブフォルダの構成は図 5.1 のとおりとする。

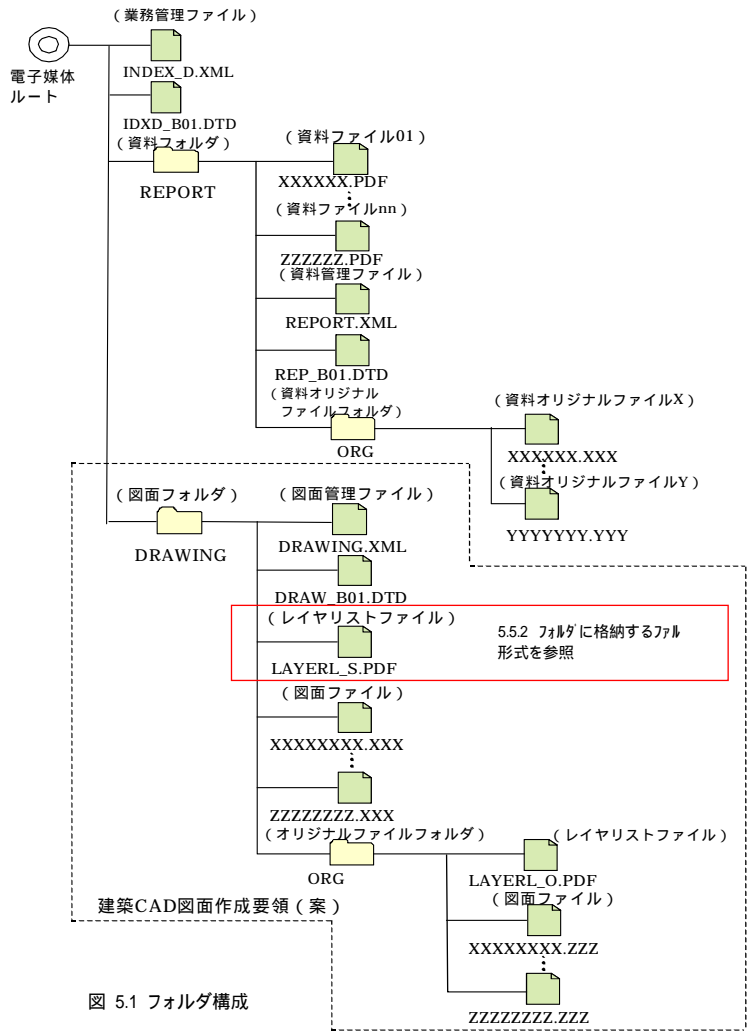


図 5.1 フォルダ構成

5.5.2 フォルダへ格納するファイル形式

電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。

表 5.2 電子納品の各フォルダ及び格納するファイル形式等

項 目	フォルダ名	サブフォルダ名	ファイル名称	ファイル形式
資料	REPORT		業務管理ファイル	XML
			資料管理ファイル	XML
			資料ファイル	PDF
図面	DRAWING	ORG	資料オリジナルファイル	オリジナルファイル
			図面管理ファイル	XML
			レイヤリストファイル	PDF
			図面ファイル	SXF (SFC)
		ORG	オリジナルファイル	オリジナルファイル

レイヤリストファイルは、国の「建築 CAD 図面作成要領(案)」に参考例として示されている。
本県の運用としては、県の 5.6.2 建築 CAD 図面作成要領 及び 5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領に基づくこととする。なお、これにより難しい場合は、受発注者協議により決定するものとする。

5.5.3 管理ファイルの種類

各フォルダへ格納する管理ファイル名称は次のとおりとする。

表 5.3 電子納品の各フォルダ及び格納する管理ファイル形式等

管理ファイルの種類	格納するフォルダ	管理ファイル名
業務管理ファイル		INDEX.D.XML
		IDXD_B01.DTD
資料管理ファイル	資料フォルダ (REPORT)	REPORT.XML
		REP_B01.DTD
図面管理ファイル	図面フォルダ (DRAWING)	DRAWING.XML
		DRAW_B01.DTD

5.6 ファイルの命名規則

資料ファイル及びオリジナルファイルのファイル名は、次の各項目に従うものとする。

ファイル名の文字数
ファイル名の文字数は、半角 8 文字以下とする。
(拡張子と “ . ” を含めて 12 文字以下)

ファイル名に使用する文字
ファイル名に使用する文字は、次に示す半角文字とする。
・ 半角大文字のアルファベット (A ~ Z)
・ 半角数字 (0 ~ 9)
・ “ _ ” (アンダーライン)

ファイル名
図面のファイル名については、**5.6.2 建築 CAD 図面作成要領** 及び **5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領** の命名規則を参考にし、受発注者協議によるものとする。
図面以外のファイル名については、**5.6.4 図面以外のファイル名** により名称を設定するものとする。

5.6.1 ファイル名等について

- (1) ファイル名の文字数、ファイル名に使用する文字
5.7.1 使用媒体仕様等 で記載する CD-R のフォーマット形式 (ISO9660LEVEL1) へ準拠した規定とする。
- (2) ファイル名の取扱い
CAD 図面のファイル名は、県で策定している 5.6.2 建築 CAD 図面作成要領 及び 5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領 の命名規則を参考にし、受発注者協議によるものとする。
図面以外のファイル名については、5.6.4 図面以外のファイル名 により名称を設定するものとする。

5.6.2 建築 CAD 図面作成要領 (抜粋)

- (1) 文字数等
・ ファイル名はデータの互換性を考慮し、また今後のデータ共有化を考え半角 6 文字とする。
・ 使用できない文字
「 半角カタカナ」「スペース」「 ”」「+」「*」「<」「>」「,」「.」「/」「?」「;」「:」「=」「¥」「|」
- (2) 命名規則
「 A」 (建築を示す) + 「 図面種別 (3 桁)」 + 「 同一の図面種別が複数枚ある場合のナンバー (2 桁)」
(ファイル一覧で見たときファイル名の並び順を設計図書の図面番号と同じにしたい)

例) A01001 . . . 表紙 A07002 . . . 2 階平面図
 A02001 . . . 図面目録 A09001 . . . A-A' 断面図
 A05001 . . . 案内図 A09002 . . . B-B' 断面図
 A07001 . . . 1 階平面図

(3) 種別記号 (建築)

図面名称		ファイル名
意匠	表紙	A010_ _
	図面目録	A020_ _
	仕様書	A030_ _
	仕上表	A040_ _
	案内図	A050_ _
	配置図	A060_ _
	平面図	A070_ _
	立面図	A080_ _
	断面図	A090_ _
	矩計図	A100_ _
	詳細図	A110_ _
	展開図	A120_ _
	天井伏図	A130_ _
構造	建具表	A140_ _
	基礎・基礎梁伏図	A150_ _
	各階伏図	A160_ _
	軸組図	A170_ _
	断面リスト	A180_ _
	基礎配筋図	A190_ _
	各部配筋図	A200_ _
工作物等	鉄骨詳細図	A210_ _
	工作物等詳細図	A220_ _

_ _ には、2 桁の番号が入る。
記載のない図面名称について、途中に差し込む場合はその前のファイル名の 3 桁目に番号を入力する。
例) A06101 . . . 敷地求積図
 A06201 . . . 建物求積図

5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領(抜粋)

- (1) 使用文字等
- ・ファイル名はデータの互換性を考慮し、また今後のデータ共有化を考え半角6文字とする。
 - ・使用できない文字
「半角カタカナ」「スペース」「”」「+」「*」「<」「>」「\」「.」「/」「?」「;」「:」「=」「¥」「|」
- (2) 命名規則
- 【E(電気設備)又はM(機械設備)】+【図面種別(3桁)】
+【同一の図面種別が複数枚ある場合のナンバー(2桁)】
- (3) 種別記号(電気設備)

図面名称		ファイル名
共通事項	表紙、目録	E010_ _
	仕様書	E020_ _
	凡例	E030_ _
	敷地案内図	E040_ _
	配置図	E050_ _
構内設備	構内配電線路	E100_ _
	構内通信線路	E110_ _
受変電等	受変電設備図	E200_ _
	自家発電設備図	E210_ _
	蓄電池設備図	E220_ _
強電設備	強電設備幹線図・系統図	E300_ _
	分電盤回路図・姿図	E310_ _
	照明器具姿図	E320_ _
	電灯設備平面図	E330_ _
	コンセント設備平面図	E340_ _
動力設備	動力設備幹線図・系統図	E400_ _
	動力盤回路図・姿図	E410_ _
	動力設備平面図	E420_ _
弱電設備	弱電設備幹線図・系統図	E500_ _
	弱電設備機器姿図	E510_ _
	電話・テレビ共聴・インターホン設備平面図	E520_ _
	電気時計・放送設備配置図	E530_ _
自火報	自動火災報知設備幹線図・系統図	E600_ _
	自動火災報知設備平面図	E610_ _
その他弱電設備	出退表示設備幹線図・系統図	E700_ _
	出退表示設備平面図	E710_ _
	建物情報通信網(LAN)設備幹線図・系統図	E720_ _
	構内情報通信網(LAN)設備平面図	E730_ _
監視設備	中央監視設備	E800_ _
避雷設備	避雷針設備	E900_ _

(4) 種別記号(機械設備)

図面名称		ファイル名
共 通	表紙、目録	M010_ _
	仕様書	M020_ _
	工事区分表	M030_ _
	敷地案内図	M040_ _
	配置図	M050_ _
	矩形図	M060_ _
衛 生	系統図	M100_ _
	器具リスト	M110_ _
	平面図	M120_ _
	詳細図	M130_ _
	樹リスト	M140_ _
	勾配図	M150_ _
	自動制御図	M160_ _
	機器、工作物等図	M170_ _
空 調	系統図	M200_ _
	器具リスト	M210_ _
	平面図	M220_ _
	詳細図	M230_ _
	自動制御図	M240_ _
	機器、工作物等図	M250_ _
浄 化 槽		M300_ _

_ _には、2桁の番号が入る。
記載のない図面名称について、途中で差し込む場合はその前のファイル名の3桁目に番号を入力する。

- 例)E01001 … 表紙
E03001 … 凡例
E33001 … 1階電灯設備平面図
E33002 … 2階電灯設備平面図
M01001 … 表紙
M11001 … 器具リスト(衛生)
M12001 … 1階平面図(衛生)
M12002 … 2階平面図(衛生)

5.6.4 図面以外のファイル名

図面以外のファイル名については、受発注者協議によるものとする。
なお、参考として、図 5.2 ファイル名の参考例 を示す。

資料ファイル名

XXXXXNNN.YYY

XXXX:大文字のアルファベット
5文字以内(下表参照)

NNN:数字3文字
同一フォルダ内で連番(001~999)

YYY:拡張子3文字 資料ファイルは"PDF"

オリジナルファイル名

ZZNNN_MM.AAA

ZZ:大文字のアルファベット2文字

NNN:数字3文字
資料ファイルの連番(001~999)

アンダーライン1文字:"_"

MM:数字2文字
ひとつの資料ファイルに対応するオリジナル
ファイル内で連番(01~99)

AAA:拡張子3文字
オリジナルファイル作成ソフト固有の拡張子

ファイル名のXXXXX部及びZZ部に使用する名称

種別	フォルダ名称	XXXXX	ZZ
営繕工事	PLAN	PLAN	PL
	SCHEDULE	SCHED	SC
	MEET	MEET	ME
	MATERIAL	MATER	MR
	PROCESS	PROCE	PR
	INSPECT	INSPE	IN
	SALVAGE	SALVA	SA
	DRAWINGF	DRAWF	DF
	MAINT	MAINT	MA
OTHR	OTHR	OT	
建築設計業務等	REPORT	REPOR	RE
	DRAWING	DRAW	DR

図 5.2 ファイル名の参考例

5.7 電子媒体

5.7.1 使用媒体仕様等

成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

- ・CD-Rの使用を原則とする。
- ・CD-Rは、ISO9660フォーマット(レベル1)を標準とする。
- ・基本的には、1枚のCD-Rに格納する。
- ・複数枚のCD-Rに格納する場合には、国土交通省の要領に従う。
- ・納品は、CD-R 2部とする。

- ・納品媒体は、再度書き込みが不可能なCD-Rを原則とする。
- ・本県においては、媒体(CD-R)で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。
- ・CD-Rのフォーマット形式は、ISO9660LEVEL1とするため、写真ファイル名にロングネーム(ファイル名が8文字より多い文字数)の使用はしない。

参考 CD-Rのフォーマット

「ISO9660」は、汎用性が高いCD-R/RW用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じてLEVEL1~3が規定されている。最も多くのOSに対応可能なLEVEL1は、ファイル名8文字+拡張子3文字、使用できる文字は半角の英数字(A~Z,0~9)及び、_(アンダーバー)のみと、制限が厳しくなっている。

5.7.2 電子媒体の標記規則

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。

媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 委託業務名称
- ・ 委託業務の場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 受注者名
- ・ ウィルスチェックソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式:ISO9660 (LEVEL1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 業務委託名称

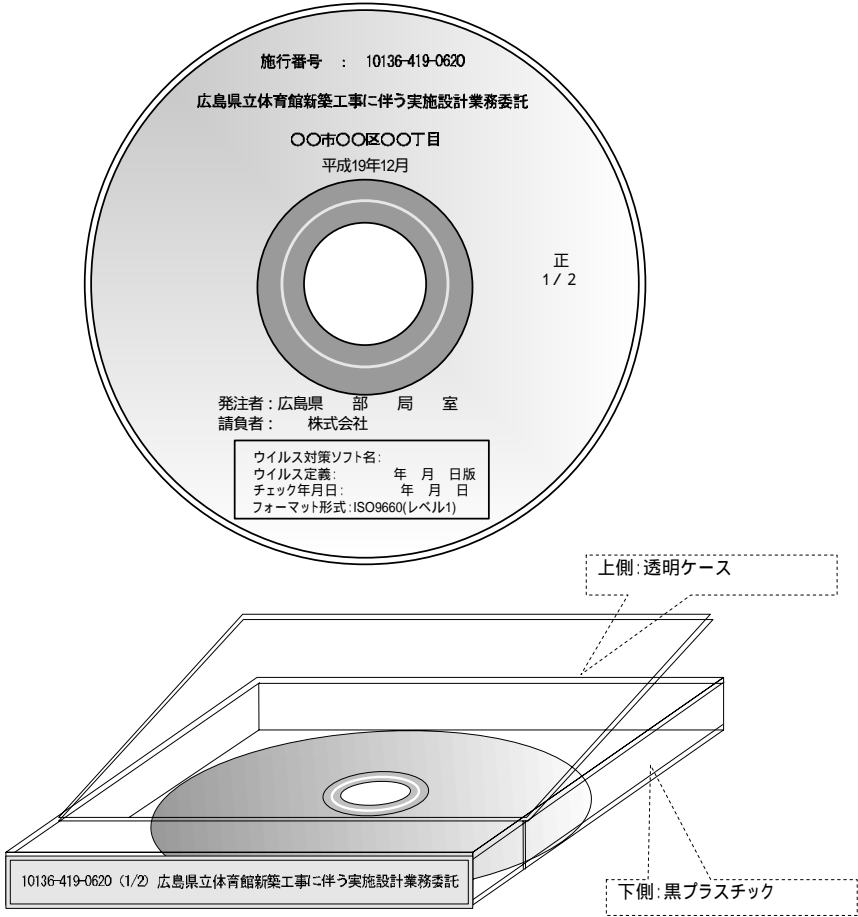
(1) 留意事項

- ・ CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成する。
- ・ CD-R は、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。
- ・ CD-R へ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-R に損傷を与えることがあるので使用しないこと。
- ・ CD-R ケースは、薄型ケースは使用しないこと。(標準厚さのケースを使用すること)
- ・ CD-R ケースの底面は、CD-R を光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。
- ・ CD-R ケースの背表紙には、1行で書けるところまで記入し、業務委託名称が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入すること。

(2) 項目の説明

- ・ 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載(発注者から通知)
- ・ 「委託業務名称」 契約図書に記載されている業務委託の名称を記載
- ・ 「委託業務の場所」 契約図書に記載されている委託業務の場所を記載
- ・ 「作成年月」 履行期間の至の年月を記載
- ・ 「何枚目 / 全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載
- ・ 「発注者名」 発注者の名称を記載(標記例参照)
- ・ 「受注者名」 受注者の名称を記載(標記例参照)

(3) 標記例



CD-R ケースへの標記(例)

(通 常)	10136-419-0620 (1/2) 広島県立総合体育館新築工事に伴う実施設計業務委託
(長い場合)	10136-419-0620 (1/2) 上屋新築工事に伴う

図 5.3 CD-R 表面及び CD-R ケースへの標記(例)

5.7.3 電子媒体の原本性の確保

受注者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

受注者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日

電 子 媒 体 納 品 書

広島県知事 様

受注者 (所在地) 市 区 丁目
(商号又は名称) 株式会社 印

次のとおり電子媒体を納品します。

施行番号	10136-420-0620
委託業務の名称	広島県立体育館新築工事に伴う実施設計委託
委託業務の場所	市 区 丁目
履行期間	自 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日
電子媒体の全体枚数	枚 × 2部
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日
備考	1/2 : REPORT, DRAWING を格納 2/2 : DRAWING を格納

電子媒体は、CD-R (フォーマット「ISO9660」)のみとする。

図 5.4 電子媒体納品書の記載(例)

6 完了検査

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。

- ・電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、受発注者間の協議により取り決めるものとする。
- ・書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

完了検査では、業務成果品について、設計図書に義務付けられた書類を参考に検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。

- (1) 現況写真
写真データは、受注者の持つデータで検査を行ってもよいものとする。
- (2) 業務報告書等
設計図書等を検査する際には、受注者が CAD データを A3 版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。
業務計画書、打合せ簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。
- (3) 機器の操作
検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として受注者が行う。受注者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。また、検査を効率的に行うために受注者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を調査職員との協議により準備する。

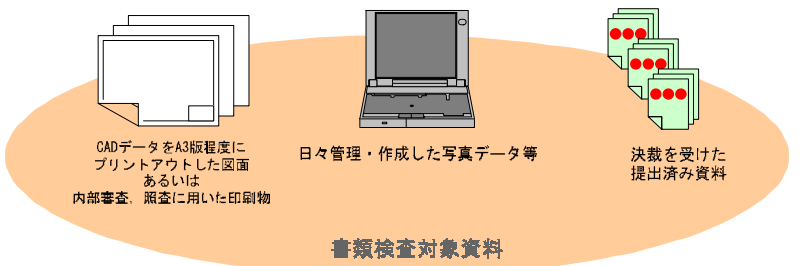


図 6.1 対象資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される基礎情報、ソフトウェア情報、業務情報からなる各管理項目を記入する。

各管理項目(業務管理項目、資料管理項目)を表 7.1、7.2 に示す。
また、各表中における「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、次のとおりである。

- 【記入者】 :電子媒体作成者が記入する項目
 :電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】 :必須記入項目(必ず記入する)
 :条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
 :任意記入項目(原則として空欄・特記すべき事項があれば記入する)

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角 1 文字に相当する。

また、摘要の記述については、つぎのとおりとする。

空欄 = 国土交通省と同じ見解
記入有 = 広島県が定めた事項



記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

- 1) 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。

(例) 082-228-2111.....
082 - 228 - 2111.....×

- 2) 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。

(例) 契約図書:広島市中区基町 10 番 52 号.....
広島市中区基町 10-52.....×

- 3) 年月日の間にハイフン() を挿入すること。

(例) 2008-03-26.....
20080326.....×

7.1 業務管理項目

電子媒体に格納する業務管理ファイル(INDEX_D.XML)に記入する業務管理項目は、表 7.1 に示すとおりとする。

表 7.1 業務管理項目

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		摘 要	記入例				
基 礎 情 報	メディア番号	提出した電子媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。	1	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した電子媒体の総枚数を記入する。	1	同上	8		
	メディア種別	「CD-R」と記入する。	CD-R	半角英文字 大文字	127		
	メディアフォーマット	「ISO9660LEVEL1」と記入する。	ISO9660LEVEL1	同上	127		
	資料フォルダ名	資料を格納フォルダ名称(REPORTで固定)を記入する。	REPORT	同上	127		
	資料オリジナル ファイルフォルダ名	資料オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(REPORT/ORGで固定)を記入する。	REPORT/ORG	同上	127		
ソ フ ト ウ ェ ア 情 報	図面フォルダ名	図面を格納するフォルダ名称(DRAWINGで固定)を記入する。	DRAWING	同上	127		
	図面オリジナル ファイルフォルダ名	図面のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(DRAWING/ORGで固定)を記入する。	DRAWING/ORG	同上	127		
	ソフトウェア名	業務管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	業務管理簡易作成 ソフト	全角文字 半角英数字	64		
	バージョン情報	業務管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	Ver1.5	半角英数字	127		
	メーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	株式会社	全角文字 半角英数字	64		
	メーカー連絡先	メーカー連絡先(住所、電話番号等)を記入する。	広島県 市 町 300-254 TEL:082 000 1111	同上	127		
業 務 情 報	ソフトウェア用TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	原則として空欄	同上	64		
	業務番号	業務カルテの「業務コード番号」を記入する。	契約図書の施行番号(8文字)を記入する	419-0002	半角英数字	8	
	業務名称	契約図書の業務名称を記入する。	契約図書の業務名を記入	施設に係る設計業務	全角文字 半角英数字	127	
	業務種別	業務カルテの「業務種別」の分類に従い、該当する業務種別を全て記入する。(複数記入可)	建築基本設計、建築設計、構造設計、設備設計、精算、工事監理、耐震診断、その他 から選択(複数可)	建築設計、設備設計	同上	64	
	契約金額	契約金額を円単位の数値で記入する。	10000000	半角数字	16		
	履行開始日	業務の履行開始年月日をyyyy-mm-dd形式で記入する。	2007-10-01	半角英数字	10		
発 注 者 情 報	履行完了日	業務の履行完了年月日をyyyy-mm-dd形式で記入する。	2008-03-20	同上	10		
	業務自由記入欄	業務カルテの「業務自由記入欄」を記入する。	契約図書の工事概要を記入	設計 一式	全角文字 半角英数字	127	
	発注者コード	CORINSの「発注機関コード」に従って記入する。	334XXXXX (CORINSのコード8桁)	33401001	半角数字	8	
	発注者名称	発注者の名称を記入する。	広島県 部 局 総室 × × 室	全角文字 半角英数字	127		
	受注者コード	業務カルテの「会社コード番号」を記入する。	原則として「0」を記入	0	半角数字	8	
	受注者名称	受注者の正式名称を記入する。 (業務カルテの「事務所名称」に対応)	商号又は名称	設計事務所	全角文字 半角英数字	127	
施 設 情 報	施設識別コード	発注者より提示されたコードを記入する。	原則として「0」を記入	0	半角数字	127	
	施設名称	施設名称を記入する。		施設	全角文字 半角英数字	127	
	施設基準点緯度	施設基準点の緯度を小数点以下6桁で記入する。	38.123456	半角数字	9		
	施設基準点経度	施設基準点の経度を小数点以下6桁で記入する。	135.123456	同上	10		
	建築物識別コード	発注者より提示されたコードを記入する。	原則として「0」を記入	0	同上	127	
	建築物名称	建築物の名称を記入する。	本館	全角文字 半角英数字	127		
建 築 物 情 報	所在地	建築物の所在地を記入する。	広島県 市 町 × × 番地	同上	127		
	建築物基準点緯度	建築物基準点の緯度を小数点以下6桁で記入する。	38.123456	半角数字	9		
	建築物基準点経度	建築物基準点の経度を小数点以下6桁で記入する。	135.123456	同上	10		
	予備項目	予備項目があれば記入する。 (複数記入可)	本業務は、...	全角文字 半角英数字	127		

1 業務対象施設の数だけ繰り返し記入する。
2 1の業務対象施設毎に、業務対象建築物の数だけ繰り返し記入する。
3 JASiCのホームページより、ダウンロードしてください。

7.2 資料管理項目

電子媒体に格納する資料管理ファイル(REPORT.XML)に記入する資料管理項目は、表 7.2 に示すとおりとする。

表 7.2 資料管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県	データ 表現	文字数	記入者	必要度
		摘 要	記入例				
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	資料管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	業務管理簡易作成ソフト	全角数字 半角英数字	64		
	バージョン情報	資料管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	Ver1.5	半角英数字	127		
	メーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	株式会社	全角文字 半角英数字	64		
	メーカー連絡先	メーカー連絡先(住所、電話番号等)を記入する。	広島県 市 町 300-254 TEL.082 000 1111	同上	127		
	ソフトウェア用TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	原則として空欄	同上	64		
資料情報 1	資料大分類	表 1 の資料大分類を記入する。	基本設計、実施設計、監理業務報告書、総合附属診断業務、改修基本計画業務のいずれかを記入	基本設計	同上	64	
	資料小分類	表 2 を参考に資料小分類を記入する。	建築、電気設備、機械設備、報告書、打合せ簿、その他のいずれかを記入	建築	同上	64	
	資料名称	設計仕様所に規定された資料名称を記入する。	設計計算書	同上	64		
	資料作成日	資料作成日をyyyy-mm-dd形式で記入する。	2007-04-01	半角英数字	10		
	資料副題	資料名が漠然としている場合は内容がわかる程度の副題を記入する。	本館熱負荷計算書	全角文字 半角英数字	64		
	資料ファイル名	資料ファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。	REPORT001.PDF	半角英数 大文字	12		
	資料ファイル作成ソフトウェア名	資料ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	Ver4.0	全角文字 半角英数字	64		
	資料オリジナルファイル名	資料オリジナルファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。	RE001_01.XLS	半角英数 大文字	12		
	資料オリジナルファイル作成ソフトウェア名	資料オリジナルファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	Microsoft Excel 2000	全角文字 半角英数字	64		
	その他 予備	受注者側で資料に付けるコメントを記入する。 その他予備項目を記入する。 (複数回答可)		同上	127		

1 資料ファイル情報以下は、資料の数だけ繰り返し登録する。
2 資料オリジナルファイル情報は、一つの資料に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

参考資料 1 着事前協議チェックシート

建築設計業務編

着事前（変更）協議チェックシート

実施日

平成

年

月

日

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

業務委託名		
施行番号	- -	
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	所属・室名	室
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先（電話番号）	() - 内線 ()
	連絡先（FAX）	() -
受注者	連絡先（e-mail）	@ pref.hiroshima.lg.jp
	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先（電話番号）	() - 内線 ()
	連絡先（FAX）	() -
	連絡先（e-mail）	@

2 電子納品データ作成ソフトの確認

<input type="checkbox"/> ワープロソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> 表計算ソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> SXF（SFC）ファイル	(Ver.)
<input type="checkbox"/> RIBCファイル	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)

建築設計業務編

着手前（変更）協議チェックシート

3 電子納品対象項目

	成果品	電子納品	紙	備考
<input type="checkbox"/> 業務管理ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		必須
資料フォルダ（REPORT）				
<input type="checkbox"/> 資料管理ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/> 設備容量等計算書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 省エネルギー計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 建設コスト縮減資料書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 工事内訳書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 数量積算書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 内訳書単価根拠資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 使用機器・材料カタログ資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 環境配慮システムチェック表資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 透視図・鳥瞰図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 透視図（写真）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> デフォルメ図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> テレビ電波障害調査報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 現況写真現地調査資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 官公署手続き書類（計画通知等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
図面フォルダ（DRAWING）				
<input type="checkbox"/> 図面管理ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		必須
<input type="checkbox"/> 図面	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> レイヤリスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須

（ ） はオリジナルファイルフォルダ（ORG）に格納するファイルの形式を示す。

☐ 他の書類は、紙媒体での納品とする。

建築設計業務編

着手前（変更）協議チェックシート

4 遵守するべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。
準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	<input type="checkbox"/> 広島県電子納品実施要領〔建築設計業務編〕	平成20年 月	広島県
	<input type="checkbox"/> 建築設計業務等電子納品要領（案）	平成14年11月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン（案）	平成14年11月	国土交通省
図面	<input type="checkbox"/> 建築CAD図面作成要領（案）※1	平成14年11月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 建築CAD図面作成要領	平成13年4月	広島県
	<input type="checkbox"/> 建築設備CAD図面作成要領	平成13年4月	広島県

1 建築CAD図面作成要領・建築設備CAD図面作成要領と建築CAD図面作成要領（案）が重複する部分については、建築CAD図面作成要領・建築設備CAD図面作成要領を優先する。

5 コンピュータウイルス対策（受注者側）

使用ソフトウェア名	<input type="checkbox"/> Norton AntiVirus （Ver. ） <input type="checkbox"/> ウイルスバスター （Ver. ） <input type="checkbox"/> Virus Scan （Ver. ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
ワクチンソフトの常駐	<input type="checkbox"/> インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウイルスワクチンソフトを常駐させる。
ウイルスチェックの実施	<input type="checkbox"/> 外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。
ウイルスパターン定義データの更新	<input type="checkbox"/> 管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウイルス発見・駆除時の対応	<input type="checkbox"/> ウイルスが発見された場合には、管理責任者がウイルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制（受注者側）

バックアップ頻度	<input type="checkbox"/> バックアップ作業を1日1回以上行う <input type="checkbox"/> その他（ ）
バックアップ媒体	<input type="checkbox"/> MO（光磁気ディスク） <input type="checkbox"/> CD-RW（追記可能コンパクトディスク） <input type="checkbox"/> 外付けハードディスク <input type="checkbox"/> その他（ ）
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	<input type="checkbox"/> バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

参考資料 2 検査前協議チェックシート

建築設計業務編

検査前協議チェックシート

実施日

平成

年

月

日

業務委託名					
施行番号	- -				
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日				
発注担当者					
受注担当者					

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所					
検査実施予定日時	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分				
検査機器準備担当	<input type="checkbox"/> 発注者				
	機器 : パソコン・ディスプレイ・その他 ()				
	<input type="checkbox"/> 受注者				
	機器 : パソコン・ディスプレイ・その他 ()				

2 電子納品の検査方法

書類名	印刷物による検査	電子データによる検査	書類名	印刷物による検査	電子データによる検査
<input type="checkbox"/> 設備容量等計算書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> デフォルメ図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 省エネルギー計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> テレビ電波障害調査報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 建設コスト縮減資料書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 現況写真現地調査資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 工事内訳書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 官公署手続き書類 (計画通知等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 数量積算書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 図面	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 内訳書単価根拠資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> レイヤリスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 使用機器・材料カタログ資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 環境配慮システムチェック表資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 透視図・鳥瞰図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 透視図 (写真)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

工事監理業務、耐震診断業務は、設計図書以外の資料について、着手前の事前協議により対象項目として定めたものとする。

3 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	受注者	
文書ファイル (ワープロ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
表計算ファイル (表計算ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
図面ファイル (CADソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
写真ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
PDFファイル (PDF閲覧ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

4 その他

参考資料 3 境界座標の記入

「境界座標」の測地系は、世界測地系 (日本測地系 2000) に準拠する。境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。

「測量成果電子納品」業務管理項目「境界座標入力支援サービス」ホームページ¹

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

境界座標を取得する方法は次のとおりである。



参资図 1 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。

業務対象が離れた地点に数箇所点する場合または広域の場合は、受発注者間で協議し、[場所情報]を業務範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、業務範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましい。

¹ 境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

(案)

広島県電子納品実施要領
〔営繕工事編〕

平成 20 年 月

広 島 県

- 目 次 -

1 広島県電子納品実施要領〔営繕工事編〕の位置付け	1
1.1 はじめに	1
1.2 適用	1
1.3 問合せ	1
1.4 国土交通省の基準類との差異とその取扱い	2
2 電子納品の定義と適用	3
2.1 電子納品の定義	3
2.2 広島県の電子納品適用範囲	3
2.3 適用基準	3
3 電子納品実施に必要な環境・準備	5
3.1 機器及びソフトウェア	5
3.2 発注時の特記仕様書への記載	5
4 電子納品の手順・事前協議	6
4.1 電子納品手順	6
4.2 事前協議	7
5 電子成果品の作成	8
5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方	8
5.2 工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類	9
5.3 データの管理	9
5.4 広島県の標準ファイル形式	10
5.5 フォルダ構成及びファイル形式	11
5.6 ファイルの命名規則	18
5.7 電子媒体	23
6 検査(中間検査・完成検査)	27
6.1 中間検査の取扱い	27
6.2 書類検査	27
6.3 現場検査	28
7 成果品の管理項目	29
7.1 工事管理項目	30
7.2 工事関係資料管理項目	32
参考資料 1 着手前(変更)協議チェックシート	33
参考資料 2 検査前協議チェックシート	37
参考資料 3 境界座標の記入	39
参考資料 4 電子化対象書類一覧表	40

1 広島県電子納品実施要領[営繕工事編]の位置付け

1.1 はじめに

「広島県電子納品実施要領[営繕工事編]」(以下、「本要領」という。)は、広島県が実施する工事において、電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものであり、既存の国土交通省の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。

広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおりに電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが請負・発注者双方にとって非効率的である場合については、適宜、請負・発注者間において協議することとする。

最後に、電子納品の実施にあたっては、請負・発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえ、発注者としては請負者に過度の負担を強いることなく、請負者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとること。

1.2 適用

本要領は、表 1.1 共通仕様書 及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称
公共建築工事標準仕様書(建築工事編)
公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)
公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)
公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)
公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)
公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)
木造建築工事積算仕様書

1.3 問合せ

広島県の電子納品運用等に関する問合せ先は、次のとおり。

表 1.2 広島県の電子納品運用等に関する問合せ先

営繕関係事業
総務部財務局財産管理室 庁舎企画グループ
TEL 082-513-2311
FAX 082-224-1235
E-mail souzaisan@pref.hiroshima.lg.jp

1.4 国土交通省の基準類との差異とその取扱い

本要領は、請負者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省が策定した要領・基準等を準拠している。

しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。なお、本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

表 1.3 国土交通省等と広島県との差異

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
CAD ファイルの形式	原則として、SXF(P21)	原則として SXF(SFC)とする	5.1(6)
オリジナルファイルの形式	請負・発注者間で協議し決定	原則、次の形式による Word・Excel・RIBC・ JPEG・PDF	5.4
レイヤリストファイル	要	要(県の基準による)	5.5.2
CAD ファイル命名規則	請負者が自由に設定してよい	請負・発注者協議により決定	5.6
図面以外のファイル名	請負者が自由に設定してよい	請負・発注者協議により決定	5.6.4
納品物	CD-R 2部	CD-R 2部 ほか特記仕様書による	5.7.1
電子媒体等の標記	8 項目について記載	9 項目について記載 「工事場所」を追加	5.7.2
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.7.3
管理ファイルの記載内容	「7 成果品の管理項目」記載例参照		7.1～7.2

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

工事完成図書の電子納品（以下、「電子納品」という。）とは、工事の各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省等が策定している各種の電子納品要領（案）、基準（案）に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。

ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。

請負者より電子納品の申し出があったもの（部分的な電子納品含む）及び請負・発注者間で協議が整ったもの。

電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、次に示す国土交通省等が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

種別	要領・基準類	策定年月	備考
全般	営繕工事電子納品要領（案）	平成14年11月	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部
	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン（案）	平成14年11月	
図面	建築CAD図面作成要領（案）	平成14年11月	広島県
	建築CAD図面作成要領	平成13年 4月	
	建築設備CAD図面作成要領	平成13年 4月	
写真	営繕工事写真作成要領	-	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部
	工事写真の撮り方（改訂第二版） - 建築編 -	-	
	工事写真の撮り方（改訂第二版） - 建築設備編 -	-	

国土交通省の要領・基準及びガイドラインは、次のホームページからダウンロードできます。

国土交通省大臣官房官庁営繕部HP
<http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun/cals/cals.htm>

広島県の運用

国土交通省の要領・基準等の改訂の取扱い

本要領が準拠する国土交通省の要領・基準等が年度途中で改訂されることがあるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。

下水道事業の取扱い

国土交通省が策定している要領・基準等のCAD製図に関する項目について、下水道事業の適用が困難であり、請負・発注者協議により、その取り扱いを定めるものとする。

（参考）CAD製図基準（案）処理施設編（H17.3）

解説 適用基準

国の要領・基準等の概要

(1) 官庁営繕事業に係る運用ガイドライン（案）

電子納品対象工事・業務の範囲、適用基準類、電子納品の対象成果物の範囲、請負・発注者間協議の方法等、官庁営繕事業において電子納品を具体的に実施するにあたって、請負・発注者双方が留意すべき事項及び当面の措置として守るべき事項を定めたものである。

(2) 営繕工事電子納品要領（案）

工事の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。

(3) 建築CAD図面作成要領（案）

CADデータ作成に当たり必要となる属性情報（ファイル名、レイヤ名等）、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。

(4) 工事写真の撮り方（建築編、建築設備編）

建築工事の現場において、各施工段階における状況を記録写真として撮影するための手引きである。

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類	ソフト類
・ パソコン	・ ワープロソフト
・ プリンタ	・ 表計算ソフト
・ C D-Rドライブ	・ C A Dソフト（S X F対応）※1
・ デジタルカメラ	・ P D F作成ソフト
	・ ウィルスチェックソフト
	・ 電子納品作成支援ソフト
	・ 圧縮解凍ソフト

(1) 機器類

- ・ デジタルカメラについては、別に定める「営繕工事写真作成要領」によるものとする。
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

(2) ソフト類

- ・ ワープロ及び表計算ソフトは、Word・Excel とする。
- ・ CAD ソフトは、SXF※1対応のものとする。
- ・ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及び LZH とする。
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

1 図面ファイル形式は、5.1(6) CAD 図面のファイル形式 参照のこと。

参考 CADソフト

SXF 対応の CAD ソフトは、オープンCADフォーマット評議会のホームページを参照

<http://www.ocf.or.jp/index.shtml>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

(1) 特記仕様書への明記

電子納品対象工事であることを請負・発注者間で相互に認識する必要があることから、電子納品対象工事であることを特記仕様書に明記する。

表 3.1 特記仕様書記載例

電子納品

本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領【営繕工事編】平成 20 年 月版（以下、「要領」という。）」に基づいて作成されたものを指す。

成果品については、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体提出する。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、「紙」による報告書の提出は監督員と協議の上、決定する。

また、成果品提出の際には、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

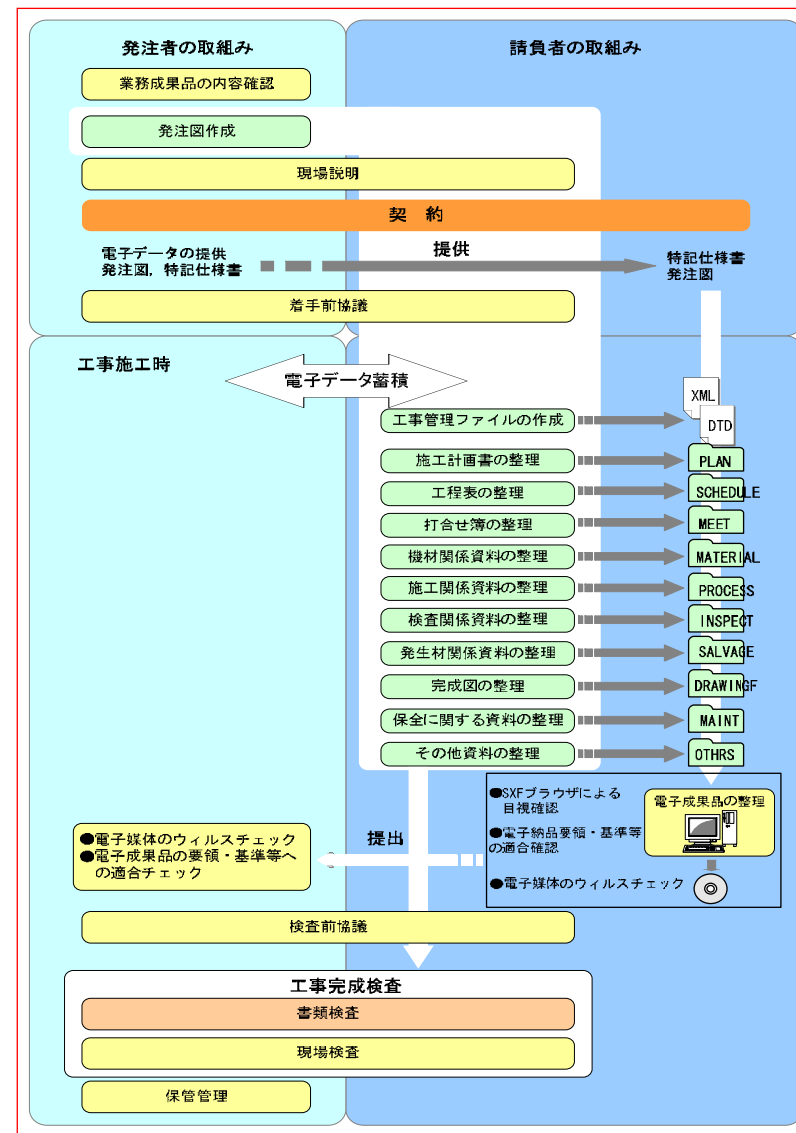
完成時の提出書類等

電子成果品（電子納品）2 部

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順

工事発注から工事完成検査にいたる電子納品の流れを次に示す。



4.2 事前協議

施工期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、請負・発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。

また、検査の円滑な進行及び納品データの適正な保管管理の観点から、検査前にも再度協議するものとする。

なお、事前協議については、工事打合せ簿により協議すること。

本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ請負・発注者間で取り決めておく(事前協議)ことが必要である。

事前協議は、工事施工中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。

なお、施工中等に疑義が生じた場合は、随時、請負・発注者間で確認・協議を行うこととする。

(1) 着手前協議

着手前協議は、参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート に基づいて協議を行うものとする。

なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。

- ・ 電子納品の対象範囲
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 電子化が困難な書類の取扱い
- ・ 基準にない項目の取扱い

(2) 検査前協議

検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、参考資料2 検査前協議チェックシート に基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。

- ・ 検査日時・場所
- ・ 検査に使用する機器の準備
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

- (1) 電子ファイルの作成
- 新規に作成するものは、5.4 広島県の標準ファイル形式 により電子化する。
- (2) 押印書類
- (a) 従来どおり押印された書類を紙納品する。
- (b) 発注者・請負者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。
- (c) 印刷・押印後の書類を、スキャナにより電子化し電子納品をする必要はない。
- (3) スキャナによる電子化
- (a) スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。
- (b) 電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。
- (4) デジタルカメラによる写真撮影
- 黒板の文字等が確認できることを指標とし、100 万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。
- また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。
- なお、写真の信憑性を考慮し、原則として写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画素数		容量 / 枚	備考
120 万画素	1280 × 960	300KB 程度	
200 万画素	1600 × 1200	500KB 程度	
300 万画素	2048 × 1536	800KB 程度	

- (5) 特殊ソフト利用の書類の電子化(品質管理・出来型管理資料)
- 品質・出来形管理資料を電子納品する場合は、Word、Excel 及び PDF ファイルにより提出することとし、請負者等の押印は不要とする。
- なお、印刷・押印後の書類をスキャンしたものによる電子納品は行わないこと。
- (6) CAD 図面のファイル形式
- CAD 図面のファイル形式の運用については、次のとおりとする。

CAD 図面ファイルの取り扱い

電子納品の図面ファイル形式は、原則として SXF(SFC)形式とする。

ただし、広島県の営繕・設備等部門では、これまで「建築 CAD 図面作成要領」及び「建築設備 CAD 図面作成要領」に基づき、ファイル形式を「W-CAD 形式」に指定してきたことから、発注者から提供する図面は「W-CAD 形式」となることがある。

		発注者から提供された図面ファイル形式	納品時の図面ファイル形式
営繕工事	ケース1	SXF(SFC)	SXF(SFC)
	ケース2	JW-CAD	SXF(SFC)

5.2 工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類

電子納品対象データは、次の図書を基本とし、契約に係る書類(特記仕様書を除く)については対象外とし、次のとおり実施する。

項 目	作 成 者	フォルダ	電子納品対象
工事管理ファイル	請負者	-	必須
施工計画書	請負者	PLAN	協議
工程表	請負者	SCHEDULE	協議
打合せ簿	発注者・請負者	MEET	協議
機材関係資料	請負者	MATERIAL	協議
施工関係資料	請負者	PROCESS	協議
検査関係資料	請負者	INSPECT	協議
発生材関係資料	請負者	SALVAGE	協議
完成図	請負者	DRAWINGF	必須
保全に関する資料	請負者	MAINT	協議
その他	施工図	OTHRS	条件付必須
	完成写真		必須
	その他		協議

補足説明

必 須 : 電子納品を必須とする書類

条件付必須: 施工図面のうち主要なものを電子納品対象とし、具体的には請負・発注者協議で定める。

協 議 : 電子納品必須書類ではないが、積極的な電子化の取組みとして、請負者からの申出及び請負・発注者間で着手前協議が整った場合に対象とする書類

5.3 データの管理

電子納品対象の電子データは、工事着手から納品までの長期間にわたり、請負者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。

このようなトラブルからデータを守るため、定期的に電子媒体等(MO、CD-RW、DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこと。

5.4 広島県の標準ファイル形式

成果品の電子データのファイル形式については、次のとおりとする。

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

図面ファイル以外のファイル

図面ファイル以外のファイル形式については、PDF 形式とする。

(例:PLAN(施工計画書フォルダ)内の施工計画書ファイル

SCHEDULE(工程表フォルダ)内の工程表ファイル

図面ファイル

図面ファイルのファイル形式については、原則として SXF(SFC)形式とする。

オリジナルファイル

各オリジナルファイルフォルダに格納するオリジナルファイルは、基本的に Word ファイル・Excel ファイル、画像ファイル(JPEG)とする。

(1) PDF ファイル

(a) PDF ファイルの作成

・用紙サイズは、A4 縦を基本とする。

・印刷を前提とした解像度、圧縮の設定を行う。

・フォントの埋め込みは行わない。また、特殊なフォントは用いない。

(b) PDF ファイルの編集

・しおり(ブックマーク)を該当ページへリンクするように作成する。ただし、頁数の少ない資料(概ね 30 頁以下)については、しおりを省略してよい。

・サムネイル(ページを縮小して一覧表示したもの)を作成する。

・セキュリティの設定は行わない。

・初期表示の設定は、次のように表示されるようにする。

最初に表紙のページが表示される。

100%の倍率で表示される。

5.5 フォルダ構成及びファイル形式

5.5.1 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「PLAN」、「SCHEDULE」、「MEET」、「MATERIAL」、「PROCESS」、「INSPECT」、「SALVAGE」、「DRAWINGF」、「MAINT」、「OTHRs」のフォルダ及び工事管理ファイルを置く。また、各フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

国土交通省の要領に示されるとおり、各フォルダ及びサブフォルダの構成は図 5.1～表 5.5 のとおりとする。

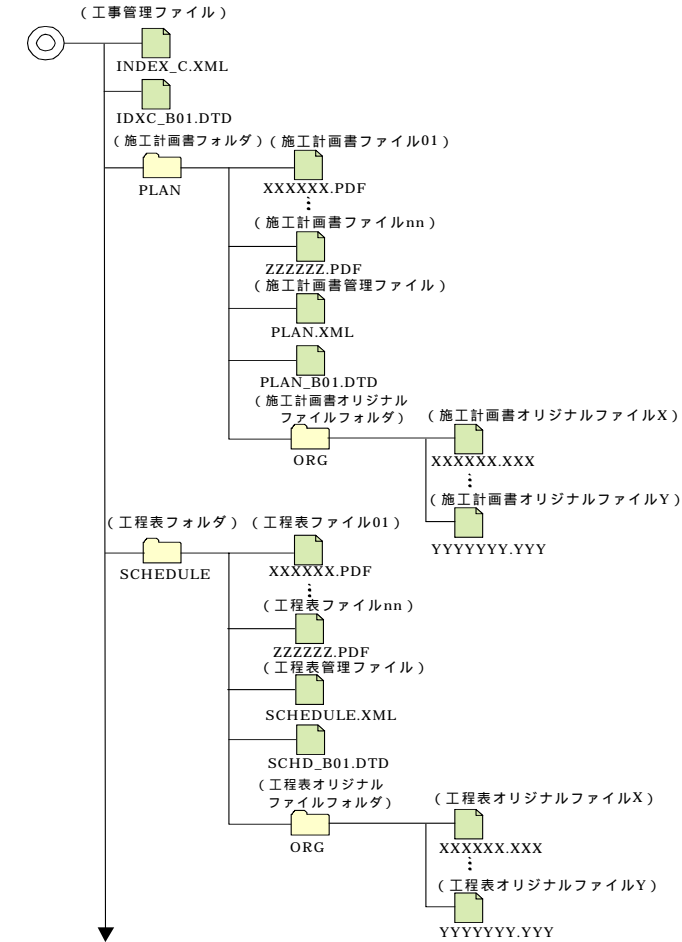


図 5.1 フォルダ構成 (1/5)

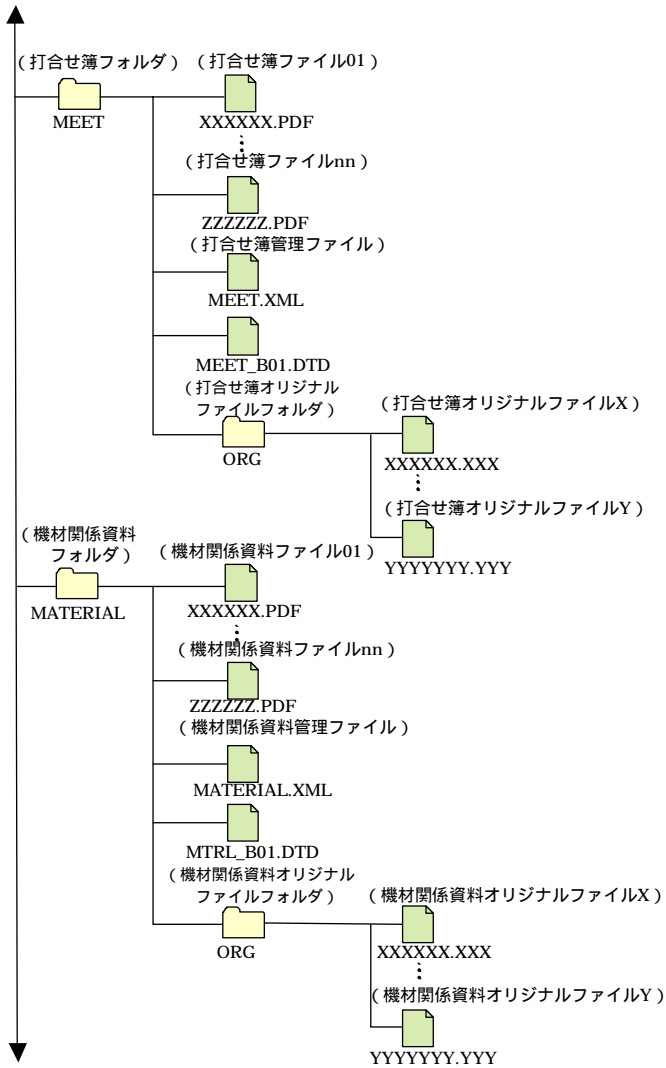


図 5.2 フォルダ構成 (2/5)

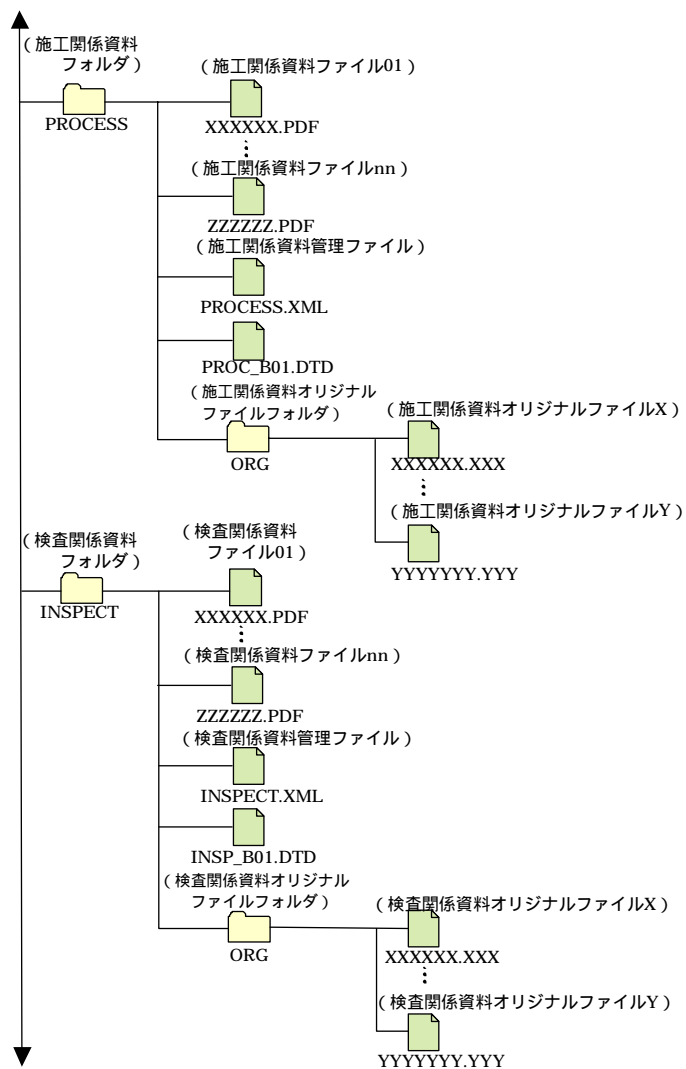


図 5.3 フォルダ構成 (3/5)

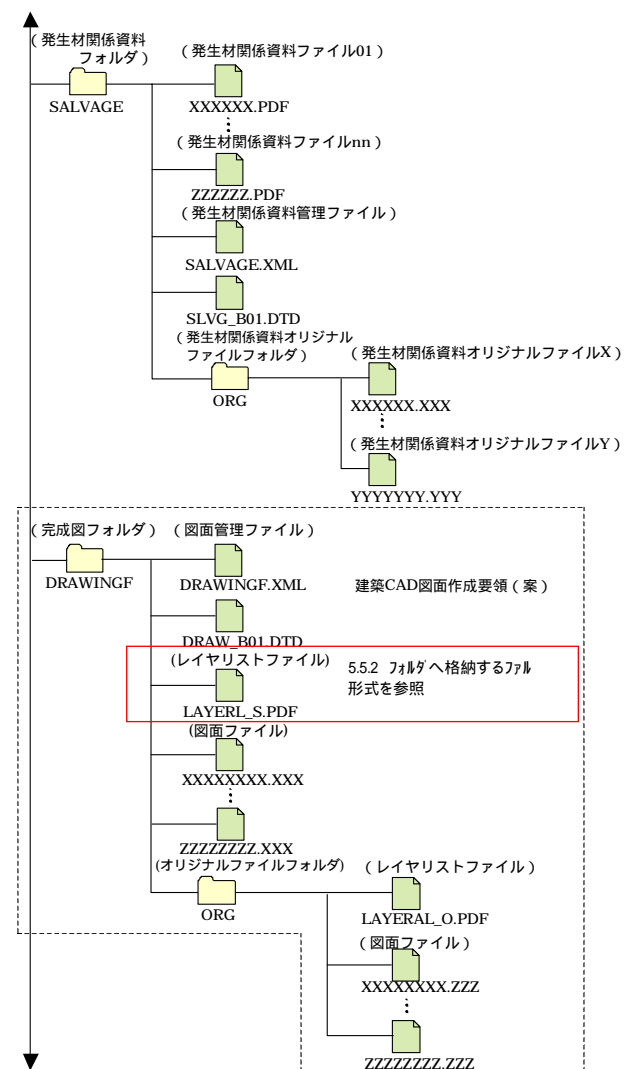


図 5.4 フォルダ構成 (4/5)

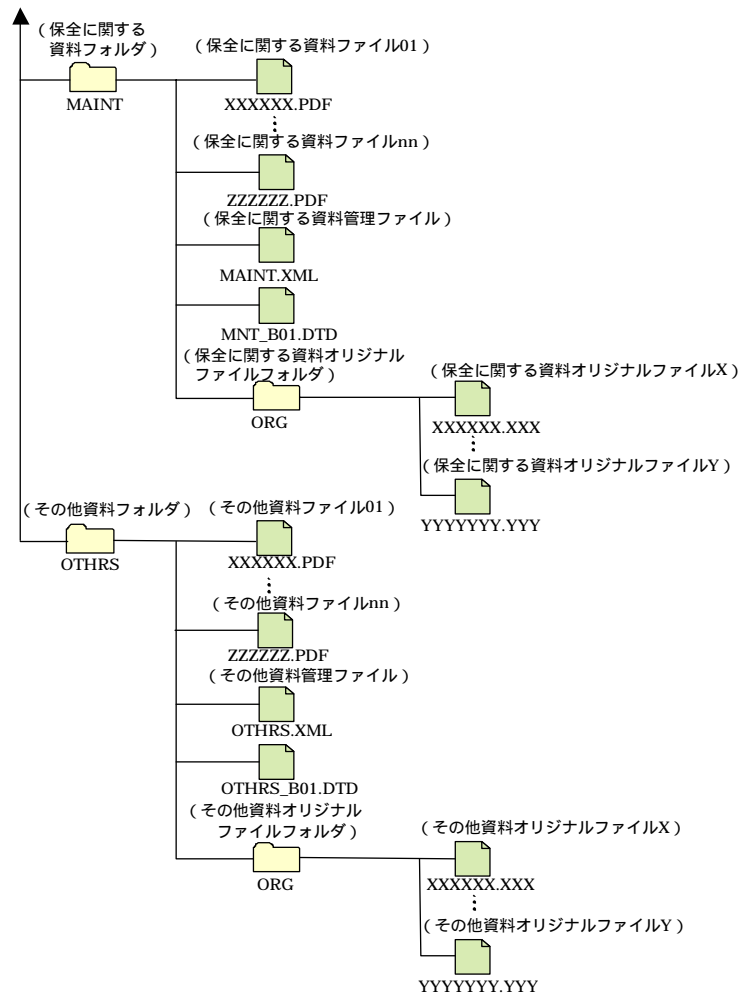


図 5.5 フォルダ構成 (5/5)

5.5.2 フォルダへ格納するファイル形式

電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。

表 5.2 電子納品の各フォルダ及び格納するファイル形式等

項目	フォルダ名	サブフォルダ名	ファイル名称	ファイル形式
施工計画書	PLAN		工事管理ファイル	XML
			施工計画書管理ファイル	XML
			施工計画書ファイル	PDF
		ORG	施工計画書オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
工程表	SCHEDULE		工程表管理ファイル	XML
			工程表ファイル	PDF
		ORG	工程表オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
打合せ簿	MEET		打合せ簿管理ファイル	XML
			打合せ簿ファイル	PDF
		ORG	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
機材関係資料	MATERIAL		機材関係資料管理ファイル	XML
			機材関係資料ファイル	PDF
		ORG	機材関係資料オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
施工関係資料	PROCESS		施工関係資料管理ファイル	XML
			施工関係資料ファイル	PDF
		ORG	施工関係資料オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
検査関係資料	INSPECT		検査関係資料管理ファイル	XML
			検査関係資料ファイル	PDF
		ORG	検査関係資料オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
発生材関係資料	SALVAGE		発生材関係資料管理ファイル	XML
			発生材関係資料ファイル	PDF
		ORG	発生材関係資料オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
完成図	DRAWINGF		図面管理ファイル	XML
			レイヤリストファイル ※	PDF
			図面ファイル	SXF(SFC)
		ORG	オリジナルファイルフォルダ	PDF
安全に関する資料	MAINT		安全に関する資料管理ファイル	XML
			安全に関する資料ファイル	PDF
		ORG	安全に関する資料オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
その他資料	OTHS		その他資料管理ファイル	XML
			その他資料ファイル	PDF
		ORG	その他資料オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル

レイヤリストファイルは、国の「建築 CAD 図面作成要領(案)」に参考例として示されている。

本県の運用としては、県の 5.6.2 建築 CAD 図面作成要領 及び 5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領に基づくこととする。なお、これにより難しい場合は、請負・発注者協議により決定するものとする。

5.5.3 管理ファイルの種類

各フォルダへ格納する管理ファイル名称は次のとおりとする。

表 5.3 電子納品の各フォルダ及び格納する管理ファイル形式等

管理ファイルの種類	格納するフォルダ	管理ファイル名
工事管理ファイル		INDEX_C.XML
		IDXC_B01.DTD
施工計画書管理ファイル	施工計画書フォルダ (PLAN)	PLAN.XML
		PLAN_B01.DTD
工程表管理ファイル	工程表フォルダ (SCHEDULE)	SCHEDULE.XML
		SCHD_B01.DTD
打合せ簿管理ファイル	打合せ簿フォルダ (MEET)	MEET.XML
		MEET_B01.DTD
機材関係資料管理ファイル	機材関係資料フォルダ (MATERIAL)	MATERIAL.XML
		MTRL_B01.DTD
施工関係資料管理ファイル	施工関係資料フォルダ (PROCESS)	PROCESS.XML
		PROC_B01.DTD
検査関係資料管理ファイル	検査関係資料フォルダ (INSPECT)	INSPECT.XML
		INSP_B01.DTD
発生材関係資料管理ファイル	発生材関係資料フォルダ (SALVAGE)	SALVAGE.XML
		SLVG_B01.DTD
完成図管理ファイル	完成図フォルダ (DRAWINGF)	DRAWINGF.XML
		DRAW_B01.DTD
保全に関する資料管理ファイル	保全に関する資料フォルダ (MAINT)	MAINT.XML
		MNT_B01.DTD
その他資料管理ファイル	その他資料フォルダ (OTHERS)	OTHERS.XML
		OTHR_B01.DTD

5.6 ファイルの命名規則

資料ファイル及びオリジナルファイルのファイル名は、次の各項目に従うものとする。

ファイル名の文字数
ファイル名の文字数は、半角 8 文字以下とする。
(拡張子と “ . ” を含めて 12 文字以下)

ファイル名に使用する文字
ファイル名に使用する文字は、次に示す半角文字とする。
・ 半角大文字のアルファベット (A ~ Z)
・ 半角数字 (0 ~ 9)
・ “ _ ” (アンダーライン)

ファイル名
図面のファイル名については、**5.6.2 建築CAD図面作成要領** 及び **5.6.3 建築設備CAD図面作成要領** の命名規則を参考にし、請負・発注者協議によるものとする。
図面以外のファイル名については、**5.6.4 図面以外のファイル名**により名称を設定するものとする。

5.6.1 ファイル名等について

- (1) ファイル名の文字数, ファイル名に使用する文字
5.7.1 使用媒体仕様等 で記載する CD-R のフォーマット形式 (ISO9660LEVEL1) へ準拠した規定とする。
- (2) ファイル名の取扱い
CAD 図面のファイル名は、県で策定している 5.6.2 建築CAD図面作成要領 及び 5.6.3 建築設備CAD図面作成要領 の命名規則を参考にし、請負・発注者協議によるものとする。
図面以外のファイル名については、5.6.4 図面以外のファイル名 により名称を設定するものとする。

5.6.2 建築 CAD 図面作成要領 (抜粋)

- (1) 文字数等
- ・ファイル名はデータの互換性を考慮し、また今後のデータ共有化を考え半角6文字とする。
 - ・使用できない文字
「半角カタカナ」「スペース」「”」「+」「*」「<」「>」「\」「.」「/」「?」「;」「:」「=」「¥」「|」
- (2) 命名規則
- 【A】(建築を示す) + 【図面種別(3桁)】 + 【同一の図面種別が複数枚ある場合のナンバー(2桁)】
(ファイル一覧でみたときファイル名の並び順を設計図書の図面番号と同じにするため)

例)	A01001	・・・	表紙	A07002	・・・	2 階平面図
	A02001	・・・	図面目録	A09001	・・・	A-A' 断面図
	A05001	・・・	案内図	A09002	・・・	B-B' 断面図
	A07001	・・・	1 階平面図			

(3) 種別記号 (建築)

図面名称		ファイル名
意匠	表紙	A010_ _
	図面目録	A020_ _
	仕様書	A030_ _
	仕上表	A040_ _
	案内図	A050_ _
	配置図	A060_ _
	平面図	A070_ _
	立面図	A080_ _
	断面図	A090_ _
	矩計図	A100_ _
	詳細図	A110_ _
	展開図	A120_ _
	天井伏図	A130_ _
	建具表	A140_ _
構造	基礎・基礎梁伏図	A150_ _
	各階伏図	A160_ _
	軸組図	A170_ _
	断面リスト	A180_ _
	基礎配筋図	A190_ _
	各部配筋図	A200_ _
	鉄骨詳細図	A210_ _
工作物等	工作物等詳細図	A220_ _

_ _には、2桁の番号が入る。

記載のない図面名称について、途中に差し込む場合はその前のファイル名の3桁目に番号を入力する。

例) A06101 ・・・ 敷地求積図, A06201 ・・・ 建物求積図

5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領 (抜粋)

- (1) 文字数等
- ・ファイル名はデータの互換性を考慮し、また今後のデータ共有化を考え半角6文字とする。
 - ・使用できない文字
「半角カタカナ」「スペース」「”」「+」「*」「<」「>」「\」「.」「/」「?」「;」「:」「=」「¥」「|」
- (2) 命名規則
- 【E (電気設備)又はM (機械設備)】 + 【図面種別(3桁)】
+ 【同一の図面種別が複数枚ある場合のナンバー(2桁)】
- (3) 種別記号 (電気設備)

図面名称		ファイル名
共通事項	表紙、目録	E010_ _
	仕様書	E020_ _
	凡例	E030_ _
	敷地案内図	E040_ _
	配置図	E050_ _
構内設備	構内配電線路	E100_ _
	構内通信線路	E110_ _
受変電等	受変電設備図	E200_ _
	自家発電設備図	E210_ _
	蓄電池設備図	E220_ _
強電設備	強電設備幹線図・系統図	E300_ _
	分電盤回路図・姿図	E310_ _
	照明器具姿図	E320_ _
	電灯設備平面図	E330_ _
	コンセント設備平面図	E340_ _
動力設備	動力設備幹線図・系統図	E400_ _
	動力盤回路図・姿図	E410_ _
	動力設備平面図	E420_ _
弱電設備	弱電設備幹線図・系統図	E500_ _
	弱電設備機器姿図	E510_ _
	電話・テレビ共聴・インターホン設備平面図	E520_ _
	電気時計・放送設備配置図	E530_ _
自火報	自動火災報知設備幹線図・系統図	E600_ _
	自動火災報知設備平面図	E610_ _
その他弱電設備	出退表示設備幹線図・系統図	E700_ _
	出退表示設備平面図	E710_ _
	建物情報通信網 (LAN) 設備幹線図・系統図	E720_ _
	構内情報通信網 (LAN) 設備平面図	E730_ _
監視設備	中央監視設備	E800_ _
避雷設備	避雷針設備	E900_ _

(3) 種別記号(機械設備)

図面名称		ファイル名
共 通	表紙, 目録	M010_
	仕様書	M020_
	工事区分表	M030_
	敷地案内図	M040_
	配置図	M050_
	矩形図	M060_
衛 生	系統図	M100_
	器具リスト	M110_
	平面図	M120_
	詳細図	M130_
	樹リスト	M140_
	勾配図	M150_
	自動制御図	M160_
	機器, 工作物等図	M170_
空 調	系統図	M200_
	器具リスト	M210_
	平面図	M220_
	詳細図	M230_
	自動制御図	M240_
浄 化 槽	機器, 工作物等図	M250_
		M300_

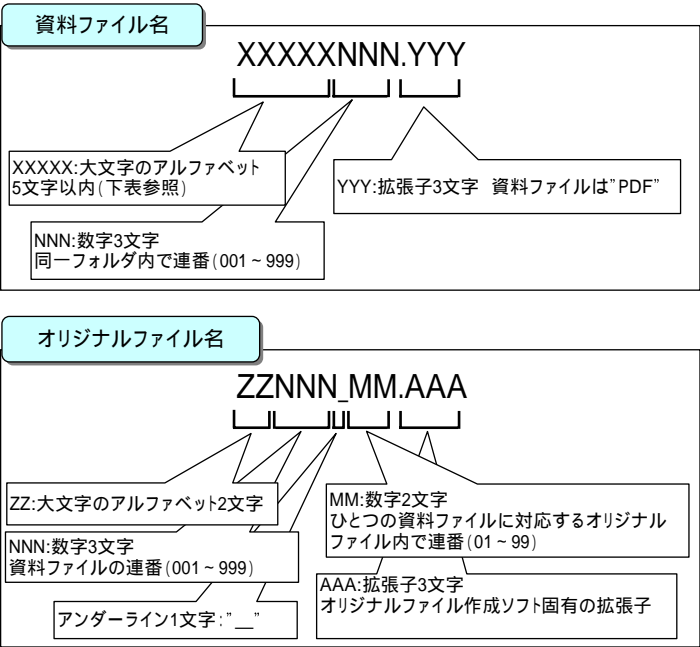
_には, 2桁の番号が入る。

記載のない図面名称について, 途中に差し込む場合はその前のファイル名の3桁目に番号を入力する。

- 例) E01001 … 表紙
E03001 … 凡例
E33001 … 1階電灯設備平面図
E33002 … 2階電灯設備平面図
M01001 … 表紙
M11001 … 器具リスト(衛生)
M12001 … 1階平面図(衛生)
M12002 … 2階平面図(衛生)

5.6.4 図面以外のファイル名

図面以外のファイル名については, 請負・発注者協議によるものとする。
なお, 参考として, 図 5.6 ファイル名の参考例 を示す。



ファイル名のXXXXX部及びZZ部に使用する名称

種別	フォルダ名称	XXXXX	ZZ
営繕工事	PLAN	PLAN	PL
	SCHEDULE	SCHED	SC
	MEET	MEET	ME
	MATERIAL	MATER	MR
	PROCESS	PROCE	PR
	INSPECT	INSPE	IN
	SALVAGE	SALVA	SA
	DRAWINGF	DRAWF	DF
	MAINT	MAINT	MA
	OTHR	OTHR	OT
建築設計業務等	REPORT	REPOR	RE
	DRAWING	DRAW	DR

図 5.6 ファイル名の参考例

5.7 電子媒体

5.7.1 使用媒体仕様等

成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

- ・CD-Rの使用を原則とする。
- ・CD-Rは、ISO9660 フォーマット（レベル1）を標準とする。
- ・基本的には、1枚のCD-Rに格納する。
- ・複数枚のCD-Rに格納する場合には、国土交通省の要領に従う。
- ・納品は、CD-R 2部とする。

- ・納品媒体は、再度書き込みが不可能なCD-Rを原則とする。
- ・本県においては、媒体（CD-R）で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。
- ・CD-Rのフォーマット形式は、ISO9660LEVEL1とするため、写真ファイル名にロングネーム（ファイル名が8文字より多い文字数）の使用はしない。

参考 CD-Rのフォーマット

「ISO9660」は、汎用性が高いCD-R/RW用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じてLEVEL1～3が規定されている。最も多くのOSに対応可能なLEVEL1は、ファイル名8文字+拡張子3文字、使用できる文字は半角の英数字（A～Z, 0～9）及び、_（アンダーバー）のみと、制限が厳しくなっている。

5.7.2 電子媒体の標記例

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。

媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 工事名
- ・ 工事場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 請負者名
- ・ ウィルスチェックソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式:ISO9660 (LEVEL1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 工事名

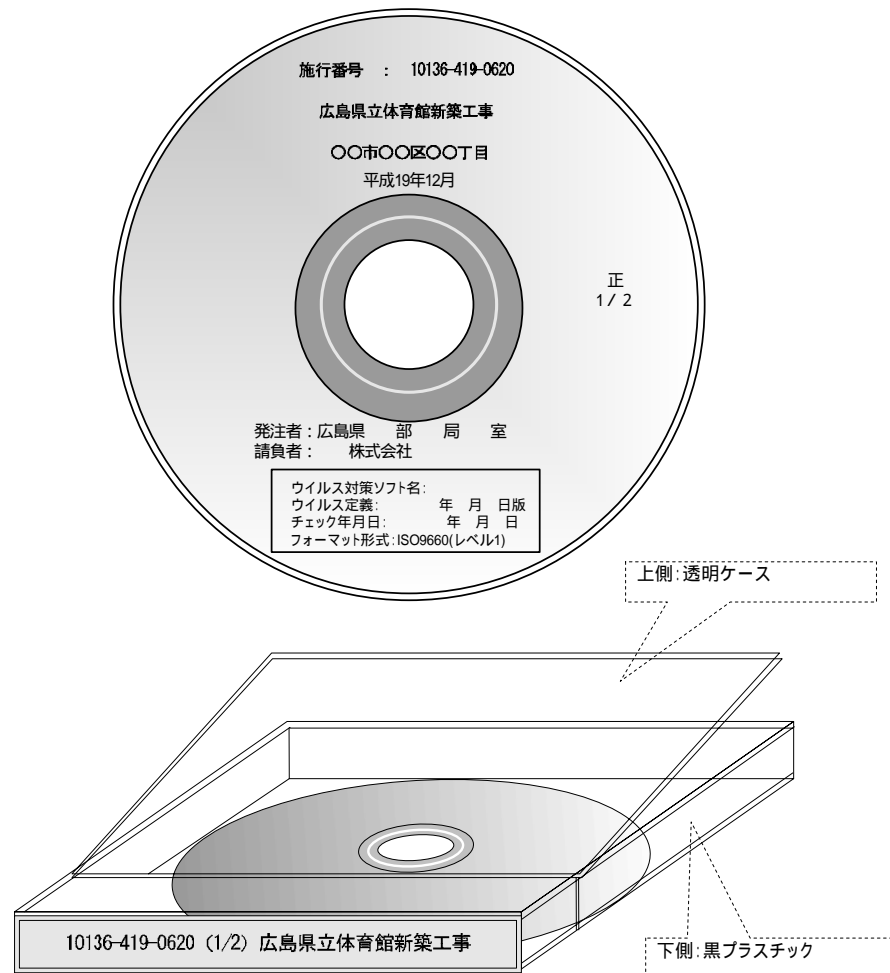
(1) 留意事項

- ・ CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成する。
- ・ CD-R は、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。
- ・ CD-R へ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-R に損傷を与えることがあるので使用しないこと。
- ・ CD-R ケースは、薄型ケースは使用しないこと。（標準厚さのケースを使用すること）
- ・ CD-R ケースの底面は、CD-R を光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。
- ・ CD-R ケースの背表紙には、1行で書けるところまで記入し、工事名等が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入すること。

(2) 項目の説明

- ・ 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載（発注者から通知）
- ・ 「工事名」 契約書に記載されている工事名を記載
- ・ 「工事場所」 契約図書に記載されている工事場所を記載
- ・ 「作成年月」 工期の完成の年月を記載
- ・ 「何枚目 / 全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載
- ・ 「発注者名」 発注者の名称を記載（標記例参照）
- ・ 「請負者名」 請負者の名称を記載（標記例参照）

(3) 標記例



CD-R ケースへの標記(例)

(通 常)	10136-419-0620 (1/2) 広島県立総合体育館新築工事
(長い場合)	10136-419-0620 (1/2) 建築上屋

図 5.7 CD-R 表面及び CD-R ケースへの標記(例)

5.7.3 電子媒体の原本性の確保

請負者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

請負者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日	
電 子 媒 体 納 品 書	
広島県知事 様	
請負者 (所在地)	市 区 丁目
(商号又は名称)	株式会社 印
次のとおり電子媒体を納品します。	
施行番号	10136-420-0620
工事名	広島県立体育館新築工事
工事場所	市 区 丁目
工期	着 手 平成 年 月 日 完 成 平成 年 月 日
電子媒体の全体枚数	枚 × 2 部
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日
備考	1/2 : PLAN, SCHEDULE, MEET, MATERIAL, PROCESS を格納 2/2 : INSPECT, SALVAGE, DRAWING, MAINT, OTHERS を格納

電子媒体は、CD-R (フォーマット「ISO9660」) のみとする。

図 5.8 電子媒体納品書の記載(例)

6 検査(中間検査・完成検査)

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。

- ・電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、請負・発注者間の協議により取り決めるものとする。
- ・書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

6.1 中間検査の取扱い

中間検査の検査書類については、施工途中で電子納品作成段階であることも考慮し、請負者がどのように書類整理するかを判断し、検査前に監督員に報告することとする。

中間検査を電子データで行う際は、セキュリティの観点から請負・発注者双方において事前にウイルスチェックを行っておくこと。

6.2 書類検査

工事完成検査では、工事目的物を対象に工事の出来形、管理状況について、設計図書に義務付けられた書類を参考に検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。

(1) 工事記録写真

写真データは、請負者の持つデータで検査を行ってもよいものとする。

(2) 工事関係図及び工事報告書等

発注図・完成図等を検査する際には、請負者が CAD データを A3 版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。

施工計画書、打合せ簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。

(3) 機器の操作

検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として請負者が行う。請負者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。また、検査を効率的に行うために請負者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を監督員との協議により準備する。

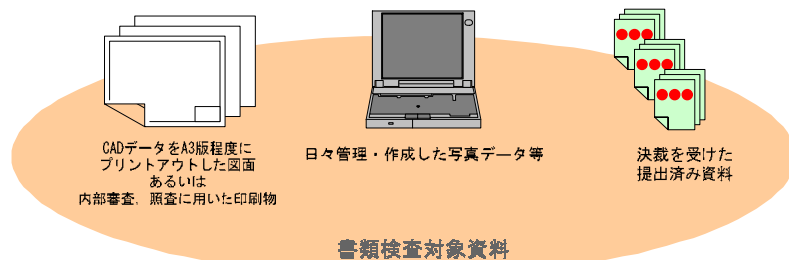


図 6.1 対象資料のイメージ(例)

6.3 現場検査

現場検査では、書類検査で利用した資料を基に受検すること。

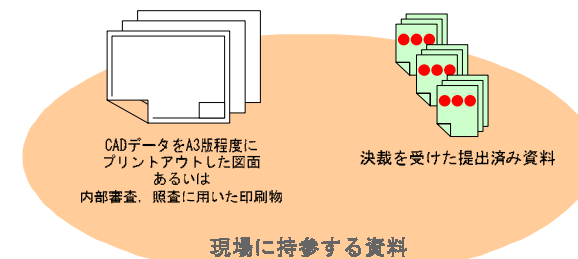


図 6.2 現場に持参する資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される工事管理項目、工事関係資料管理項目を記入する。

工事管理項目及び工事関係資料管理項目を表 7.1、7.2、7.3 に示す。
また、各表中における「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、次のとおりである。

- 【記入者】 :CORINS から出力される CFD ファイル
(CORINS2000 提出用フロッピーディスクのファイルフォーマット)から取り込むことが可能な項目
:電子媒体作成者が記入する項目
:電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】 :必須記入項目(必ず記入する)
:条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
:任意記入項目(原則として空欄・特記すべき事項があれば記入する)

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角 1 文字に相当する。
また、摘要の記述については、つぎのとおりとする。
空欄 = 国土交通省と同じ見解
記入有 = 広島県が定めた事項

注意

記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1) 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。

(例) 082-228-2111.....
082 - 228 - 2111.....×

2) 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。

(例) 契約図書:広島市中区基町 10 番 52 号.....
広島市中区基町 10-52.....×

広島市中区基町 10 番 52 号.....×

3) 年月日の間にハイフン()を挿入すること。

(例) 2008-03-26.....
20080326.....×

7.1 工事管理項目

電子媒体に格納する工事管理ファイル(INDEX_C.XML)に記入する工事管理項目は、次のとおりとする。

表 7.1 工事管理項目 (1/2)

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		摘 要	記入例				
メディア番号	提出した電子媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。		1	半角数字	8		
メディア総枚数	提出した電子媒体の総枚数を記入する。		1	同上	8		
メディア種別	「CD-R」と記入する。		CD-R	半角英字 大文字	127		
メディアフォーマット	「ISO9660LEVEL1」と記入する。		ISO9660LEVEL1	同上	127		
施工計画書フォルダ名	施工計画書を格納フォルダ名称(PLANで固定)を記入する。		PLAN	同上	127		
施工計画書オリジナル ファイルフォルダ名	施工計画書のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(PLAN/ORGで固定)を記入する。		PLAN/ORG	同上	127		
工程表フォルダ名	工程表を格納するフォルダ名称(SCHEDULEで固定)を記入する。		SCHEDULE	同上	127		
工程表オリジナル ファイルフォルダ名	工程表のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(SCHEDULE/ORGで固定)を記入する。		SCHEDULE/ORG	同上	127		
打合せ簿フォルダ名	打合せ簿を格納するフォルダ名称(MEET固定)を記入する。		MEET	同上	127		
打合せ簿オリジナル ファイルフォルダ名	打合せ簿のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(MEET/ORGで固定)を記入する。		MEET/ORG	同上	127		
機材関係資料フォルダ名	機材関係資料を格納するフォルダ名称(MATERIALで固定)を記入する。		MATERIAL	同上	127		
機材関係資料オリジナル ファイルフォルダ名	機材関係資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(MATERIAL/ORGで固定)を記入する。		MATERIAL/ORG	同上	127		
施工関係資料フォルダ名	施工関係資料を格納するフォルダ名称(PROCESSで固定)を記入する。		PROCESS	同上	127		
施工関係資料オリジナル ファイルフォルダ名	施工関係資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(PROCESS/ORGで固定)を記入する。		PROCESS/ORG	同上	127		
発注材関係資料フォルダ 名	発注材関係資料を格納するフォルダ名称(SALVAGEで固定)を記入する。		SALVAGE	同上	127		
発生材関係資料オリジナ ル ファイルフォルダ名	発生材関係資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(SALVAGE/ORGで固定)を記入する。		SALVAGE/ORG	同上	127		
完成図フォルダ名	完成図を格納するフォルダ名称(DRAWINGFで固定)を記入する。		DRAWINGF	同上	127		
完成図オリジナル ファイルフォルダ名	完成図のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(DRAWINGF/ORGで固定)を記入する。		DRAWINGF/ORG	同上	127		
保全に関する資料フォル ダ名	保全に関する資料を格納するフォルダ名称(MAINTで固定)を記入する。		MAINT	同上	127		
保全に関する資料オリジ ナル ファイルフォルダ名	保全に関する資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(MAINT/ORGで固定)を記入する。		MAINT/ORG	同上	127		
その他資料フォルダ名	その他資料を格納するフォルダ名称(OTHRsで固定)を記入する。		OTHRs	同上	127		
その他資料オリジナル ファイルフォルダ名	その他資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(OTHRs/ORGで固定)を記入する。		OTHRs/ORG	同上	127		

7.2 工事関係資料管理項目

工事関係資料管理項目は、次に示すとおりとする。

表 7.3 工事関係資料管理項目

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		摘 要	記入例				
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	工事関係資料管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	工事管理簡易作成 ソフト	全角文字 半角英数字	64		
	バージョン情報	工事管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	Ver1.5	半角英数字	127		
	メーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	株式会社	全角文字 半角英数字	64		
	メーカー連絡先	メーカー連絡先(住所、電話番号等)を記入する。	広島県 市 町 300-254 TEL:082 000 1111	同上	127		
	ソフトウェア用TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	原則として空欄	同上	64		
資料情報	資料大分類	表 - の資料大分類を記入する。	参考資料4電子化対象書類一覧表により記入する	安全に関する資料	同上	64	
	資料小分類	表 - を参考に資料小分類を記入する。	参考資料4電子化対象書類一覧表により記入する	鍵・備品・工具リスト	同上	64	
	資料名称	資料の標題を記入する。		鍵リスト	同上	64	
	資料作成日	資料作成日をyyyy-mm-dd形式で記入する。		2006-08-01	半角英数字	10	
	資料副題	資料名が漢訳としている場合は内容がわかる程度の副題を記入する。		本館・車庫棟	全角文字 半角英数字	64	
	資料ファイル名	資料ファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		MAINT001.PDF	半角英数字 大文字	12	
	資料ファイル作成ソフトウェア名	資料ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Ver4.0	全角文字 半角英数字	64	
	資料オリジナルファイル名	資料オリジナルファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		MA001_01.XLS	半角英数字 大文字	12	
	資料オリジナルファイル作成ソフトウェア名	資料オリジナルファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Microsoft Excel 2000	全角文字 半角英数字	64	
	その他	請負者側で資料に付けるコメントを記入する。			同上	127	
	予備	その他予備項目を記入する。 (複数回答可)			同上	127	

1 資料ファイル情報以下は、資料の数だけ繰り返し登録する。

2 資料オリジナルファイル情報は、一つの資料に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

表 7.2 工事管理項目 (2/2)

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		摘 要	記入例				
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	工事管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	工事管理簡易作成 ソフト	全角文字 半角英数字	64		
	バージョン情報	工事管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	Ver1.5	半角英数字	127		
	メーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	株式会社	全角文字 半角英数字	64		
	メーカー連絡先	メーカー連絡先(住所、電話番号等)を記入する。	広島県 市 町 300-254 TEL:082 000 1111	同上	127		
	ソフトウェア用TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	原則として空欄	同上	64		
工事情報	工事番号	発注者が定める工事番号を記入する。	契約図書(12文字)の施工番号	半角数字	127		
	工事名称	契約図書の工事名称を記入する。	排水機場上屋新築工事	全角文字 半角英数字	127		
	工事分野	CORINSの「工事の分野」に従って記入する。 3		同上	16		
	工事業種	CORINSの「工事の業種」に従って記入する。 3	建築一式工事	同上	16		
	工種	CORINSの「工種、工法・型式」の工種を記入する。 (複数記入可)	建築一式工事	同上	64		
	工法型式	CORINSの「工種、工法・型式」の工法・型式を記入する。 (複数記入可) 3	建築一式工	同上	64		
	契約金額	契約金額を円単位の数値で記入する。	12344850	半角数字	16		
	工期開始日	工期の開始年月日をyyyy-mm-dd形式で記入する。	2007-10-01	半角英数字	10		
	工期終了日	工期の終了年月日をyyyy-mm-dd形式で記入する。	2008-03-20	同上	10		
	工事内容	工事概要及び主工種とその数量を記入する。	契約図書の工事概要を記入 新嘗、RC-4、200m2	全角文字 半角英数字	127		
	発注者コード	CORINSの「発注機関コード」に従って記入する。 3	334XXXXX (CORINSのコード8桁)	半角数字	8		
発注者情報	発注者名称	発注者の名称を記入する。	広島県 部 局 船室 × × 室	全角文字 半角英数字	127		
	請負者コード	発注者が定める請負者コードを記入する。	建設業許可番号を記入	半角数字	127		
請負者情報	請負者名称	請負者の正式名称を記入する。 (CORINSの「請負会社名」に対応) 3	株式会社	全角文字 半角英数字	127		
	施設識別コード	発注者より提示されたコードを記入する。	原則として「0」を記入	0	半角数字	127	
施設情報	施設名称	施設名称を記入する。	施設	全角文字 半角英数字	127		
	施設基準点緯度	施設基準点の緯度を小数点以下6桁で記入する。	38.123456	半角数字	9		
	施設基準点経度	施設基準点の経度を小数点以下6桁で記入する。	135.123456	同上	10		
	建築物識別コード	発注者より提示されたコードを記入する。	原則として「0」を記入	0	同上	127	
	建築物名称	建築物の名称を記入する。	本館	全角文字 半角英数字	127		
	所在地	建築物の所在地を記入する。	広島県 市 町 × × 番地	同上	127		
	建築物基準点緯度	建築物基準点の緯度を小数点以下6桁で記入する。	38.123456	半角数字	9		
	建築物基準点経度	建築物基準点の経度を小数点以下6桁で記入する。	135.123456	同上	10		
	予備項目	予備項目があれば記入する。 (複数記入可)		全角文字 半角英数字	127		

1 工事対象施設の数だけ繰り返し記入する。

2 1の工事対象施設毎に、工事対象建築物の数だけ繰り返し記入する。

3 JASICのホームページより、ダウンロードしてください。

着手前（変更）協議チェックシート

営繕工事編

実施日 平成 年 月 日

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

工事名		
施行番号		
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	所属・室名	室
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先（電話番号）	() - 内線 ()
	連絡先（FAX）	() -
請負者	連絡先（e-mail）	@ pref.hiroshima.lg.jp
	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先（電話番号）	() - 内線 ()
	連絡先（FAX）	() -
	連絡先（e-mail）	@

2 電子納品データ作成ソフトの確認

<input type="checkbox"/> ワープロソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> 表計算ソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> SXF（SFC）ファイル	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)

着手前（変更）協議チェックシート

営繕工事編

3 電子納品対象項目

(1/2)

	成果品	電子納品	紙	備考
<input type="checkbox"/> 工事管理ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		必須
施工計画書フォルダ（PLAN）				
<input type="checkbox"/> 施工計画書管理ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/> 総合施工計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 工種別施工計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
工程表フォルダ（SCHEDULE）				
<input type="checkbox"/> 工程表管理ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/> 実施工程表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 週間工程表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 月間工程表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 工種別工程表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
打合せ簿フォルダ（MEET）				
<input type="checkbox"/> 打合せ簿管理ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/> 工事打合せ記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
機材関係資料フォルダ（MATERIAL）				
<input type="checkbox"/> 機材関係資料管理ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/> 試験計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 試験成績表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 監督職員検査記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 品質証明書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 調合表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 規格証明書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 機材搬入報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
施工関係資料フォルダ（PROCESS）				
<input type="checkbox"/> 施工関係資料管理ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/> 試験計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 試験成績表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 監督職員検査記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 施工報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 工事実施状況報告書（月報）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 立会請求書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 工法提案資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
検査関係資料フォルダ（INSPECT）				
<input type="checkbox"/> 検査関係資料管理ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/> 社内最終検査記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 工事完成記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 完成通知書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 指定部分完成通知書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 既済部分確認請求書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 技術検査記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

() はオリジナルファイルフォルダ（ORG）に格納するファイルの形式を示す。

着手前（変更）協議チェックシート

営繕工事編

(2/2)

				成果品	電子納品	紙	備考
発生関係資料フォルダ (SALVAGE)							
<input type="checkbox"/>	発生関係資料管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	発生材訓書	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	処理報告書	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	その他 ()	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
完成図フォルダ (DRAWING)							
<input type="checkbox"/>	完成図管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		必須
<input type="checkbox"/>	完成図面	<input type="checkbox"/> SXF (SFC)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/>	レイヤリスト	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> PDF)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		必須
保全に関する資料フォルダ (MAINT)							
<input type="checkbox"/>	保全に関する資料管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	主要材料機器一覧表	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	保全に関する説明書	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	官公署届出書類一覧表	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	保全の手引き	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	機器取扱説明書	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	機器性能試験成績表	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	官公署届出書類	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	予備品等引渡し通知書	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	備・備品・工具リスト	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	その他 ()	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他フォルダ (OTHERS)							
<input type="checkbox"/>	その他管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		必須
(契約関係書類)							
<input type="checkbox"/>	工事請負契約書の写し	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	契約時の工程表	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	現場代理人等通知書	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	経費等の協議記録	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(施工図)							
<input type="checkbox"/>	施工図	<input type="checkbox"/> PDF <input type="checkbox"/> SXF (SFC) 使用ソフト名 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
(完成写真)							
<input type="checkbox"/>	完成写真	<input type="checkbox"/> PDF <input type="checkbox"/> JPEG <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> Jpeg <input type="checkbox"/> その他 ()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
(工事実績情報)							
<input type="checkbox"/>	工事実績情報登録内容	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	工事実績情報受領書の写し	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(工事の一時中止)							
<input type="checkbox"/>	状況調査及び理由書	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(工期変更)							
<input type="checkbox"/>	変更工程表	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	契約時の工程表	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	変更理由書	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	工期算出根拠	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(文化財その他埋蔵物)							
<input type="checkbox"/>	状況調査報告書	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(その他)							
<input type="checkbox"/>	その他の資料	<input type="checkbox"/> PDF (<input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> EXCEL <input type="checkbox"/> その他 ())		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

() はオリジナルファイルフォルダ (ORG) に格納するファイルの形式を示す。

☐ 他書類は、紙媒体での納品とする。

着手前（変更）協議チェックシート

営繕工事編

4 遵守するべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。
準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	<input type="checkbox"/> 広島県電子納品実施要領【営繕工事編】	平成20年 月	広島県
	<input type="checkbox"/> 営繕工事電子納品要領（案）	平成14年11月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン（案）	平成14年11月	国土交通省
図面	<input type="checkbox"/> 建築CAD図面作成要領（案）※1	平成14年11月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 建築CAD図面作成要領	平成13年4月	広島県
	<input type="checkbox"/> 建築設備CAD図面作成要領	平成13年4月	広島県
写真	<input type="checkbox"/> 営繕工事写真作成要領	-	広島県
	<input type="checkbox"/> 工事写真の撮り方（改訂第二版）- 建築編 -	-	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 工事写真の撮り方（改訂第二版）- 建築設備編 -	-	国土交通省

1 建築CAD図面作成要領・建築設備CAD図面作成要領と建築CAD図面作成要領（案）が重複する部分については、建築CAD図面作成要領・建築設備CAD図面作成要領を優先する。

5 コンピュータウイルス対策（請負者側）

使用ソフトウェア名	<input type="checkbox"/> Norton AntiVirus (Ver.) <input type="checkbox"/> ウイルスバスター (Ver.) <input type="checkbox"/> Virus Scan (Ver.) <input type="checkbox"/> その他 ()
ワクチンソフトの常駐	<input type="checkbox"/> インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウイルスワクチンソフトを常駐させる。
ウイルスチェックの実施	<input type="checkbox"/> 外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。
ウイルスパターン定義データの更新	<input type="checkbox"/> 管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウイルス発見・駆除時の対応	<input type="checkbox"/> ウイルスが発見された場合には、管理責任者がウイルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制（請負者側）

バックアップ頻度	<input type="checkbox"/> バックアップ作業を1日1回以上行う <input type="checkbox"/> その他 ()
バックアップ媒体	<input type="checkbox"/> MO（光磁気ディスク） <input type="checkbox"/> CD-RW（追記可能コンパクトディスク） <input type="checkbox"/> 外付けハードディスク <input type="checkbox"/> その他 ()
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	<input type="checkbox"/> バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

--

検査前協議チェックシート

実施日 平成 年 月 日

工事名	
施行番号	- -
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
発注担当者	
請負担当者	

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所	
検査実施予定日時	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分
検査機器準備担当	<input type="checkbox"/> 発注者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他 ()
	<input type="checkbox"/> 請負者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他 ()

2 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	請負者	
文書ファイル(ワープロ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
表計算ファイル(表計算ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
図面ファイル(CADソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
写真ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

検査前協議チェックシート

3 電子納品の検査方法

書類名	印刷物による検査	電子データによる検査	書類名	印刷物による検査	電子データによる検査
施工計画書			発生材関係資料		
<input type="checkbox"/> 総合施工計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 発生材調書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 工種別施工計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 処理報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
工程表			完成図		
<input type="checkbox"/> 実施工程表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 完成図面	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 週間工程表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> レイヤリスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 月間工程表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保全に関する資料		
<input type="checkbox"/> 工種別工程表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 主要材料機器一覧表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 保全に関する説明書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
打合せ簿			<input type="checkbox"/> 官公署届出書類一覧表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 工事打合せ記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 保全の手引き	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 機器取扱説明書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
機材関係資料			<input type="checkbox"/> 機器性能試験成績表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 試験計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 官公署届出書類	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 試験成績表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 予備品等引渡し通知書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 監督職員検査記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 鍵・備品・工具リスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 品質証明書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 調合表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	契約関係書類		
<input type="checkbox"/> 規格証明書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 工事請負契約書の写し	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 機材搬入報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 契約時の工程表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 現場代理人等通知書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
施工関係資料			<input type="checkbox"/> 疑義等の協議記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 試験計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工図		
<input type="checkbox"/> 試験成績表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 施工図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 監督職員検査記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	完成写真		
<input type="checkbox"/> 施工報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 完成写真	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 工事実施状況報告書(月報)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工事実績情報		
<input type="checkbox"/> 立会請求書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 工事実績情報登録内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 工法提案資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 工事実績情報受領書の写し	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工事の一時中止		
検査関係資料			<input type="checkbox"/> 状況調査及び理由書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 社内最終検査記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工期変更		
<input type="checkbox"/> 工事完成記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 変更工程表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 完成通知書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 契約時の工程表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 指定部分完成通知書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 変更理由書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 既済部分確認請求書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 工期算出根拠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 技術検査記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	文化財その他埋蔵物		
<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 状況調査報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			その他		
			<input type="checkbox"/> その他の資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4 その他

参考資料 3 境界座標の記入

「境界座標」の測地系は、世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。

「測量成果電子納品」業務管理項目「境界座標入力支援サービス」ホームページ¹
<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>
境界座標を取得する方法は次のとおりである。



参資図 1 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。

工事対象が離れた地点に数箇所点にある場合または広域の場合は、請負・発注者間で協議し、[場所情報]を工事範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、工事範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましい。

¹境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

参考資料 4 電子化対象書類一覧表

分 類	成果品種別(資料大分類)	各ファイル格納例(資料小分類)
施工計画書 (PLAN)	施工計画書	総合施工計画書, 工種別施工計画書
工定表 (SCHEDULE)	工定表	実施工程表, 週間工程表, 月間工程表, 工種別工程表
打合せ簿 (MEET)	打合せ簿	工事打合せ記録
機材関係資料 (MATERIAL)	機材関係資料	試験計画書, 試験成績表, 監督職員検査記録, 品質証明書, 調合表, 規格証明書, 機材搬入報告書
施工関係資料 (PROSESS)	施工関係資料	試験計画書, 試験成績表, 監督職員検査記録, 施工報告書, 工事実施状況報告書(月報) 立会請求書, 工法提案資料
検査関係資料 (INSPECT)	検査関係資料	社内最終検査記録, 工事完成記録, 完成通知書 指定部分完成通知書 既済部分確認請求書 技術検査記録
発生材関係資料 (SALVAGE)	発生材関係資料	発生材調書 処理報告書
完成図 (DRAWINGF)	完成図	完成図
保全に関する資料 (MAINT)	保全に関する資料	主要材料機器一覧表 保全に関する説明書 官公署届出書類一覧表 保全の手引き, 機器取扱説明書, 機器性能試験成績表, 官公署届出書類, 予備品等引渡し通知書, 鍵・備品・工具リスト
その他 (OTHRs)	契約関係書類	工事請負契約書の写し, 契約時の工程表, 現場代理人等通知書, 疑義等の協議記録
	施工図	施工図
	完成写真	完成写真
	工事実績情報	工事実績情報登録内容 工事実績情報受領書の写し
	工事の一時中止	状況調査及び理由書
	工期変更	変更工程表, 変更理由書, 工期算出根拠
	文化財その他埋蔵物 その他資料	状況調査報告書
管理ファイル	工事管理ファイル	
	その他ファイル等	

太字下線は、電子納品必須項目

(案)

広島県電子納品実施要領 [電気通信・機械設備業務委託編]

平成 20 年 月

広 島 県

- 目 次 -

1	広島県電子納品実施要領 [電気通信・機械設備業務委託編] の位置付け	2
1.1	はじめに	2
1.2	適用	2
1.3	国土交通省の要領・基準等との差異とその取扱い	3
1.4	問合せ	4
2	電子納品の定義と適用	5
2.1	電子納品の定義	5
2.2	広島県の電子納品適用範囲	5
2.3	適用基準	6
3	電子納品実施に必要な環境・準備	9
3.1	機器及びソフトウェア	9
3.2	発注時の特記仕様書への記載	10
4	電子納品の手順・事前協議	11
4.1	電子納品手順	11
4.2	事前協議	12
5	電子成果品の作成	13
5.1	広島県の電子データ作成の基本的な考え方	13
5.2	業務委託成果品の電子化(電子納品)対象書類	15
5.3	データの管理	15
5.4	フォルダ構成	16
5.5	ファイル形式	17
5.6	ファイルの命名規則	23
5.7	CAD ファイルに関する運用	26
5.8	受発注者間での CAD ファイルの交換	27
5.9	電子媒体の仕様及び納品	29
5.10	電子媒体の標記規則	30
5.11	電子媒体の原本性の確保	32
5.12	電子成果品の確認	33
6	完了検査	34
6.1	完了検査	34
7	成果品の管理項目	35
7.1	成果品の管理項目	35
7.2	業務管理項目 電気通信設備	36
7.3	報告書管理項目 電気通信設備	38
7.4	業務管理項目 機械設備工事	39
7.5	報告書管理項目 機械設備工事	41
参考資料 1	着手前協議チェックシート(広島県様式)	42
参考資料 2	検査前協議チェックシート(広島県様式)	47
参考資料 3	納品時チェックシート(広島県様式)	48
参考資料 4	境界座標の記入	50
参考資料 5	CD-R が複数枚になる場合の処置	51

1 広島県電子納品実施要領 [電気通信・機械設備業務委託編] の位置付け

1.1 はじめに

「広島県電子納品実施要領 [電気通信・機械設備業務委託編]」(以下、「本要領」という。)は、広島県が実施する電気通信・機械設備の設計業務委託における電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものである。

【解説】

本要領は、既存の国土交通省等の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。

広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおりに電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが受発注者双方にとって非効率的である場合については、適宜、受発注者間において協議するものとする。

電子納品の実施にあたっては、受発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえ、発注者としては受注者に過度の負担を強いることなく、受注者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとることとする。

1.2 適用

本要領は、設計業務委託契約書および設計図書において定められる成果品を電子的手段により引き渡す場合に適用する。なお、測量作業、地質、土質調査等に関する業務についてもこれに準じた扱いとする。

【解説】

本要領は、表 1.1 共通仕様書及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称	備 考
測量業務共通仕様書 広島県	
地質及び土質調査共通仕様書 広島県	
設計業務委託共通仕様書 広島県	

1.3 国土交通省の要領・基準等との差異とその取扱い

本要領は、受注者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省が策定した要領・基準等を準拠している。しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。

【解説】

本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

表 1.2 国土交通省と広島県との差異

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
オリジナルファイルの形式	受発注者間で協議し決定	原則、次の形式による Word・Excel・JPEG・TIFF・PDF	5.1(2)
CAD 図面のファイルの形式	原則として、SXF(P21)	原則として、SXF(SFC)	5.1(3)
有効画素数(デジタル写真)	100 万画素程度	100 万画素以上かつ、CD 枚数が増えないように、協議して決定する。	5.1(4)
CAD ファイル命名規則の整理番号	受発注者間で協議し決定	整理番号は設計変更回数 の数値を記入	5.6
納品物	CD-R 2 部	CD-R 3 部(正 1 部、副 2 部) 簡易製本版 1 部	5.9
電子媒体等の表記	8 項目について記載	9 項目について記載 「委託業務の場所」を追加 受発注者の署名欄は不要	5.10
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.11
管理ファイルの記載内容	「7 成果品の管理項目」記載例参照		7.2～7.5

1.4 問合せ

電子納品に関する問い合わせは、事前に国土交通省の Web サイト「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」の Q&A ページを参照すること。
また、本要領及び電子納品の運用等に関する問合せは、電子納品担当主管室に行うこと。

【解説】

- (1) 国土交通省の Web サイトには次のとおり、これまでに寄せられた電子納品に関する質問・回答が掲載してある。
- ア 「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト
<http://www.cals-ed.jp/>
 - イ 「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト Q&A ページ
http://www.cals-ed.jp/qa_sys/admin/q_a_index.htm
- (2) 本要領及び電子納品実施上の運用等に関する問い合わせ先は、次のとおり。

表 1.3 広島県の電子納品運用等に関する問合せ先

電子納品全般に係る事項		電気通信・機械設備に係る事項	
土木部総務管理局技術指導室 IT 推進グループ		都市部都市事業局下水道室 特殊設備グループ	
TEL	082-513-3861	TEL	082-513-4141
FAX	082-223-3593	FAX	082-228-2397
E-mail	dogishidou@pref.hiroshima.lg.jp	E-mail	togesui@pref.hiroshima.lg.jp

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

委託成果品の電子納品(以下、「電子納品」という。)とは、電気通信・機械設備の設計業務委託の成果品を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省が策定している各種の電子納品要領(案)、基準(案)に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。
ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。
発注者が発注図を CAD ファイル(SXF(SFC))で保有しているもの。
受注者より電子納品の申し出があったもの(部分的な電子納品含む)及び受発注者間で協議が整ったもの。

【解説】

電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。
「広島県電子納品」Web サイト
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/cals/nouhin/nouhin.html>

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

【解説】

- (1) 国土交通省の要領・基準等の改訂の取扱い
本要領が準拠する国土交通省の要領・基準等が年度途中で改訂されることがあるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。
- (2) 本要領が準拠する要領・基準等は、次のとおり。

表 2.1 広島県が準拠する要領・基準等

種別	要領・基準等	策定年月	策定者
全般	土木設計業務等の電子納品要領(案) 電気通信設備編	平成 16 年 6 月	国土交通省
	土木設計業務等の電子納品要領(案) 機械設備工事編	平成 18 年 3 月	
	地質・土質調査成果電子納品要領(案)	平成 16 年 6 月	
	測量成果電子納品要領(案)	平成 16 年 6 月	
	写真 デジタル写真管理情報基準(案)	平成 18 年 1 月	
図面	CAD 製図基準(案) 電気通信設備編	平成 16 年 6 月	国土交通省
	CAD 製図基準(案) 機械設備工事編	平成 18 年 3 月	

- (3) 国土交通省がまとめたガイドラインは、次のとおり。

表 2.2 電子納品関連ガイドライン

名 称	策定年月	策定者
電子納品運用ガイドライン(案)電気通信設備編	平成 16 年 5 月	国土交通省
電子納品運用ガイドライン(案)機械設備工事編【業務】	平成 18 年 3 月	
電子納品運用ガイドライン(案)【地質・土質調査編】	平成 18 年 9 月	
電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】	平成 18 年 9 月	
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)機械設備工事編	平成 18 年 3 月	

- (4) 下水道事業の取扱い
国土交通省が策定している要領・基準等の CAD 製図に関する項目について、下水道事業への適用が困難であり、受発注者協議により、その取り扱いを定めるものとする。

表 2.3 下水道事業の取り扱い(参考)

名 称	策定年月	策定者
CAD 製図基準(案)水処理施設編	平成 17 年 3 月	(社)全国上下水道工務協会
下水道施設 CAD 製図基準(案)	平成 19 年 8 月	日本下水道事業団

(5) 要領・基準等及び電子納品成果(フォルダ)等の関連イメージ 電気通信設備【業務】

図 2.1 は、国土交通省が策定した要領・基準及びガイドラインから電子納品の基本事項を抜粋し、広島県の取り組みの考え方・運用を示したものである。
広島県における電子納品は本要領に基づき実施することとし、記載する内容を確認のうえ、次に示す要領・基準及びガイドラインに準拠して電子納品を作成すること。

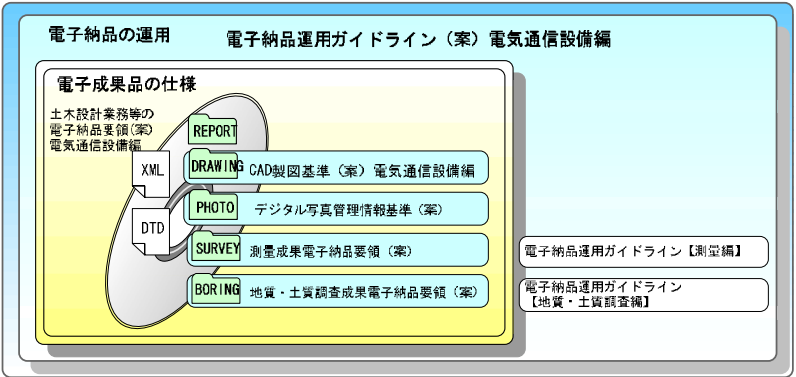


図 2.1 要領・基準等の関連イメージ図(電気通信設備)

国の要領・基準等の概要

- 電子納品運用ガイドライン(案)電気通信設備
業務委託の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載したもの。(受発注者間の協議、電子成果品作成、検査等)
- 土木設計業務等の電子納品要領(案)電気通信設備編
業務委託の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。
- CAD 製図基準(案)電気通信設備編
CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。
- デジタル写真管理情報基準(案)
写真等の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたもの。

(6) 要領・基準等及び電子納品成果(フォルダ)等の関連イメージ 機械設備工事【業務】

図2.2は、国土交通省が策定した要領・基準及びガイドラインから電子納品の基本事項を抜粋し、広島県の取り組みの考え方・運用を示したものである。

広島県における電子納品は本要領に基づき実施することとし、記載する内容を確認のうえ、次に示す要領・基準及びガイドラインに準拠して電子納品を作成すること。

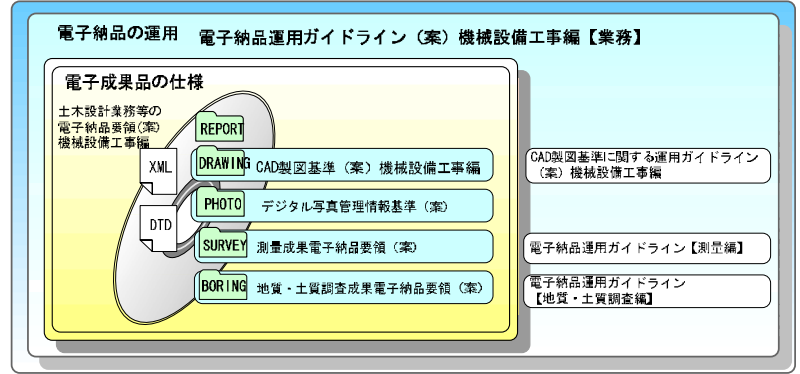


図2.2 要領・基準等の関係イメージ図(機械設備工事)

要領・基準等の概要

- ・ 電子納品運用ガイドライン(案)機械設備工事編【業務】
業務委託の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載したものの。(受発注者間の協議、電子成果品作成、検査等)
- ・ 土木設計業務等の電子納品要領(案)機械設備工事編
業務委託の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したものの。
- ・ CAD 製図基準(案)機械設備工事編
CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたものの。
- ・ デジタル写真管理情報基準(案)
写真等の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたものの。
- ・ CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案) 機械設備工事編
CAD データの取扱いについて、受発注者が留意すべき事項及び参考となる事項を示し、統一的な運用を図ることを目的に作成したものの。

- (7) 国土交通省の要領・基準及びガイドラインは、次のホームページからダウンロードできます。
国土交通省HP <http://www.cals-ed.jp/>

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類	ソフト類	
・ パソコン	・ ワードプロソフト	・ ウィルスチェックソフト
・ プリンタ	・ 表計算ソフト	・ 電子納品作成支援ソフト
・ CD-R ドライブ	・ CAD ソフト(SXF 対応)	・ 圧縮解凍ソフト
・ デジタルカメラ	・ PDF 作成ソフト	

【解説】

(1) 機器類

- ア デジタルカメラについては、100 万画素以上とすること。
(黒板の文字が確認できることを指標とする。)
- イ その他は、特に仕様を設けない。

(2) ソフト類

- ア ワードプロ及び表計算ソフトは、Word、Excel とする。
- イ CAD ソフトは、SXF 対応のものとする。
- ウ PDF 作成ソフトのバージョンは、Acrobat5.0(PDF1.4)日本語版を基本とする。
- エ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及びLZH とする。
- オ その他は、特に仕様を設けない。

(3) CAD ソフトについて

- ア 本要領で対象とする SXF(SFC)形式のバージョンとレベルは、Ver2.0、レベル2 とする。
- イ SXF 対応の CAD ソフトは、オープン CAD フォーマット評議会のホームページを参照すること。
<http://www.ocf.or.jp/>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

発注者は、対象とする業務委託の特記仕様書に電子納品に関する事項を記載することとする。

【解説】

電子納品を実施するにあたって、電子納品に関する事項を特記仕様書に記述しておく必要がある。次に特記仕様書の記載例を示す。

第 条（電子納品）

本業務は、電子納品対象業務とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領[電気通信・機械設備業務委託編]平成20年 月版[以下、「要領」という。]」に基づいて作成されたものを指す。

第 条(成果品の提出)

委託成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で3部(正1部、副2部)提出する。「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は調査職員と協議の上、電子化の是非を決定する。

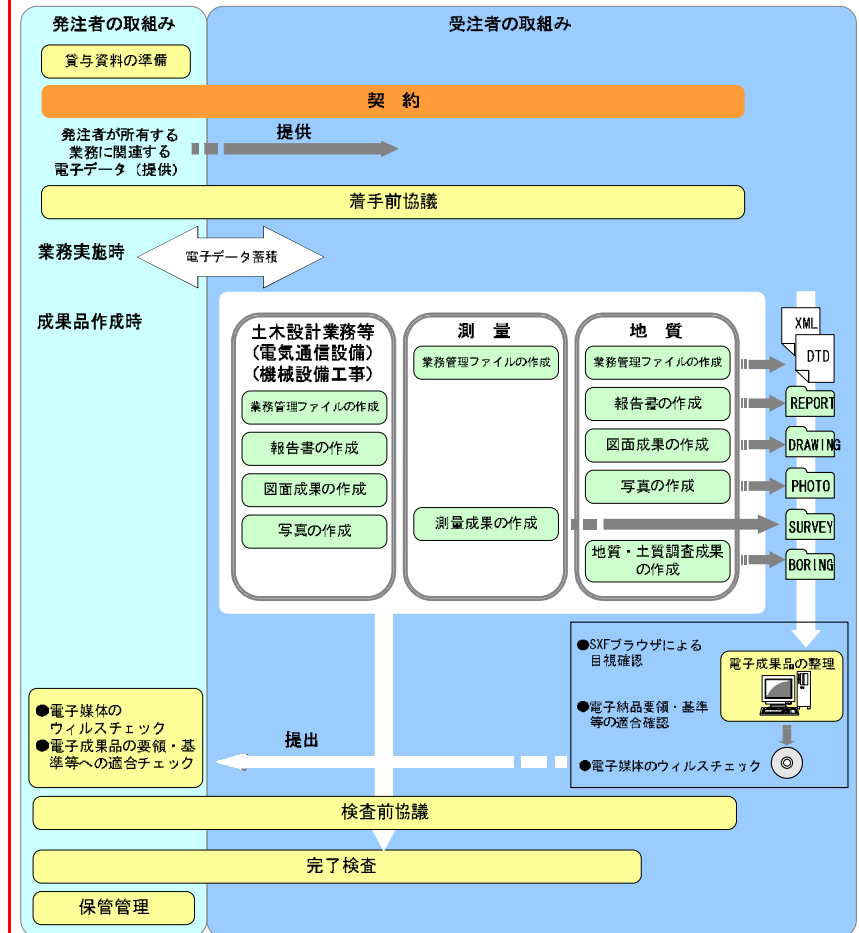
なお、「紙」による報告書の提出は調査職員と協議の上、決定する。

また、成果品提出の際には、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順

業務委託の発注準備から完了検査にいたる電子納品の標準的な流れは、図4.1のとおりである。



4.2 事前協議

委託期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、受発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。

また、電子成果品に係る検査方法及び円滑な検査進行等の観点から、検査前にも再度協議するものとする。

なお、事前協議については、業務打合せ簿により協議すること。

【解説】

本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ受発注者間で取り決めておくこと(事前協議)が必要である。

事前協議は、業務履行中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。

なお、業務履行中等に疑義が生じた場合は、随時、受発注者間で協議・確認を行うこととする。

(1) 着手前協議

着手前協議は、「参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート」に基づいて協議を行うものとする。

なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。

- ア 電子納品の対象範囲
- イ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ウ 電子化が困難な書類の取扱い
- エ CAD 作図の工種に関する作図基準及び適用工種(サブフォルダの有無及びファイル命名等含む)
- オ 基準にない項目の取扱い

(2) 検査前協議

検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、「参考資料2 検査前協議チェックシート」に基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。

- ア 検査日時・場所
- イ 検査に使用する機器の準備
- ウ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- エ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

成果品のファイル形式は次のとおりとする。

業務管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

- ・ 業務管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

報告書ファイル及び報告書オリジナルファイル

- ・ 報告書ファイル
報告書ファイルのファイル形式は、PDF 形式とする。
- ・ 報告書オリジナルファイル
報告書オリジナルファイルのファイル形式は、基本的に、Word ファイル、Excel ファイル、画像ファイル(JPEG、TIFF)とする。

図面ファイル

- ・ 図面ファイルのファイル形式は、SXF(SFC)形式とする。

写真ファイル

- ・ 写真ファイルのファイル形式は、JPEG とする。
ただし、参考図ファイルのファイル形式は、JPEG 又は TIFF 形式とする。

地質データファイル

- ・ 地質データファイルのファイル形式は、「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」に従う。

測量データファイル

- ・ 測量データファイルのファイル形式は、「測量成果電子納品要領(案)」に従う。

【解説】

(1) 業務管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

業務管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

(2) 報告書ファイル及び報告書オリジナルファイル

ア オリジナルファイルのファイル形式は次のとおりとする。

ワープロソフト	Word ファイル
表計算ソフト	Excel ファイル
画像ファイル	JPEG、TIFF

イ 用紙サイズは、A4 縦を基本とする。

ウ PDF へのフォントの埋めこみは行わない。また、特殊なフォントは用いない。

エ PDF 形式の目次である「しおり(ブックマーク)」を報告書の目次と同じ章、節、項(見出しレベル 1 ~3)を基本として作成する。また、当該ファイル以外の別のファイルへのリンクとなるしおりに関しては、大項目(章)にのみ作成する。

オ セキュリティの設定は行わない。

カ 特殊アプリケーションを用いたものは、原則として紙での提出とする。しかし、PDF に変換できるものは、PDF による提出も可とする。

キ 発注者・受注者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。(ファイル形式等は各フォルダの規定に従う。)

ク 押印された書類は従来どおり紙納品する。

ケ 電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。

コ スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。

サ 報告書ファイルに含まれている現地踏査等の写真は、デジタル写真管理情報基準(案)の適用外とする。

- シ Word, Excel のオリジナルファイルは、容量の縮小に努めること。
- 画像ファイルを Word, Excel ファイルに貼り付けた場合、ファイルの容量が大きくなる傾向がある。容量が大きくなると、CD-R の枚数が増える要因となることから、画像を貼り付けるファイル作成には次の点に留意をすること。
- (ア) 画像の貼り付けは、コピー貼り付けでは行わず、ファイルの挿入で行うこと。
- (イ) 画像ファイルは、トリミング、画素数の縮小、画像サイズの縮小及び圧縮率の変更等を行い、画像ファイルの容量を小さくして報告書ファイルに挿入すること。ただし、写真の内容に係る修正は認めない。

(3) 図面ファイル

- ア SXF(SFC)形式とする。
- イ SXF 形式とは、CAD データ交換仕様に基づくファイル形式で、P21 形式と SFC 形式があるが、広島県では SFC 形式を採用する。
- ウ 各種 CAD ソフトで作成された図面を SXF(SFC)形式に変換して納品する場合、SXF ブラウザにて必ず図面チェックし、文字化けがないか等の確認行為を行うこと。

(4) 写真ファイル

- 黒板の文字等が確認できることを指標とし、100 万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。
- ただし、地質のコア写真は、200 万画素以上とする。
- また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。
- なお、写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画 素 数			容量 / 枚	備 考	
				通常写真	地質コア写真
80 万画素	1024	× 768	200KB 程度	× 不可	× 不可
120 万画素	1280	× 960	300KB 程度		× 不可
200 万画素	1600	× 1200	500KB 程度		
300 万画素	2048	× 1536	800KB 程度		

5.2 業務委託成果品の電子化(電子納品)対象書類

委託成果品の電子化範囲は、確定測量(農林水産部所管)を除くすべてとする。

【解説】

表 5.2 電子成果品の対象範囲

項 目		作 成 者	フォルダ	電子納品対象
業務管理ファイル		受注者	-	必須
報告書		受注者	REPORT	必須
図面		受注者	DRAWING	必須
写真		受注者	PHOTO	必須
測 量	図面ファイル(SXF 形式, DM)	受注者	SURVEY	必須
	上記以外(TXT・PDF)			必須
地質調査		受注者	BORING	必須

5.3 データの管理

電子データは定期的にバックアップを行うこと。

【解説】

電子納品対象の電子データは、業務着手から納品までの長期間にわたり、受注者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。

このようなトラブルからデータを守るため、定期的に電子媒体等(MO、CD-RW、DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこととする。

5.4 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「REPORT」、「DRAWING」、「PHOTO」、「SURVEY」、「BORING」のフォルダ及び業務管理ファイルを置く。
また「REPORT」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。
ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

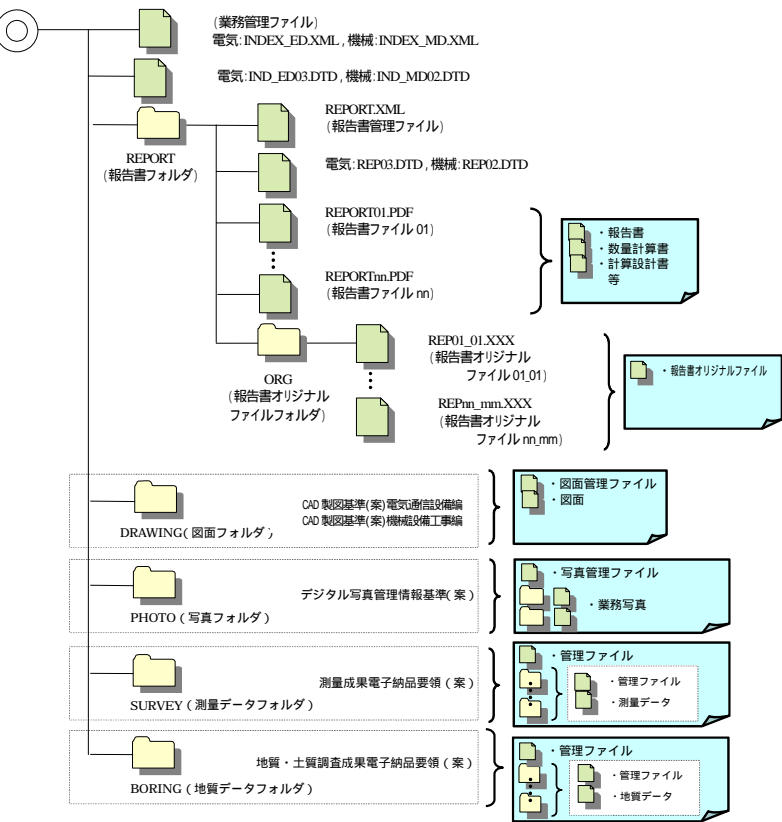


図 5.1 フォルダ構成

5.5 ファイル形式

電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。
電気通信設備の設計業務委託に係る「報告書フォルダ」「図面フォルダ」「写真フォルダ」

表 5.3 電気通信設備の設計業務委託におけるフォルダ及び格納するファイル形式等

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
《ROOT》		業務管理ファイル	XML, DTD	 INDEX_ED.XML IND_ED03.DTD
報告書 (REPORT)		報告書管理ファイル	XML, DTD	 REPORT.XML REP03.DTD
		・ 報告書	PDF	PDF ファイル
	(ORG) ORG	・ 報告書	Word, Excel	オリジナルファイル
図面 (DRAWING)		図面管理ファイル	XML, DTD	 DRAWING.XML DRAW_ED03.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	SXF(SFC)ファイル
写真 (PHOTO)		写真情報管理ファイル	XML, DTD	 PHOTO.XML PHOTO04.DTD
	(PIC) PIC	・ 写真	JPEG	JPEG ファイル
	(DRA) DRA	・ 参考図	JPEG, TIFF	JPEG・TIFF ファイル

機械設備工事の設計業務委託に係る「報告書フォルダ」「図面フォルダ」「写真フォルダ」

表 5.4 機械設備工事の業務設計委託におけるフォルダ及び格納するファイル形式等

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
《ROOT》		業務管理ファイル	XML, DTD	 INDEX_ID.XML IND_ID02.DTD
報告書 (REPORT)		報告書管理ファイル	XML, DTD	 REPORT.XML REP02.DTD
		・ 報告書	PDF	PDF ファイル
	(ORG)	・ 報告書	Word, Excel	オリジナルファイル
図面 (DRAWING)		図面管理ファイル	XML, DTD	 DRAWING.XML DRAW_ID02.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	SXF(SFC)ファイル
写真 (PHOTO)		写真情報管理ファイル	XML, DTD	 PHOTO.XML PHOTO04.DTD
	(PIC)	・ 写真	JPEG	JPEG ファイル
	(DRA)	・ 参考図	JPEG, TIFF	JPEG・TIFF ファイル

電気通信設備・機械設備工事設計業務委託に係る共通項目「測量データフォルダ」「地質データフォルダ」

表 5.5 測量及び地質調査におけるフォルダ及び格納するファイル形式等(1/2)

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
《ROOT》				
測量データ (SURVEY)		測量情報管理ファイル	XML, DTD	 SURVEY.XML SURVEY02.DTD
	(KITEN)	測量成果管理ファイル	XML, DTD	 SURV_KTN.XML SURV_D02.DTD
		WORK DATA OTHERS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。	
	(SUIJUN)	測量成果管理ファイル	XML, DTD	 SURV_SJN.XML SURV_D02.DTD
		WORK DATA OTHERS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。	
	(CHIKAI)	測量成果管理ファイル	XML, DTD	 SURV_CHI.XML SURV_D02.DTD
		WORK DATA OTHERS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。	
	(ROSEN)	測量成果管理ファイル	XML, DTD	 SURV_RSN.XML SURV_D02.DTD
		WORK DATA OTHERS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。	
	(KASEN)	測量成果管理ファイル	XML, DTD	 SURV_KSN.XML SURV_D02.DTD
		WORK DATA OTHERS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。	
	(YOUCHI)	測量成果管理ファイル	XML, DTD	 SURV_YCH.XML SURV_D02.DTD
		WORK DATA OTHERS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。	
	(DOC)	・ 特記仕様書 ・ 協議書 ・ 実施報告書	PDF Word, Excel	PDF ファイル オリジナルファイル

WORK : 測量記録を格納

OTHERS : 測量成果を格納

DATA : 各種証明書, 説明書等その他データを格納

表 5.6 測量及び地質調査におけるフォルダ及び格納するファイル形式等(2/2)

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
《ROOT》				
地質データ (BORING)		地質情報管理ファイル	XML, DTD	BORING.XML BRG0150.DTD
BORING	(DATA) DATA	ボーリング交換用 データファイル	XML, DTD	BED0001.XML~BEDNNN.XML BED0210.DTD
	(LOG) LOG	・ 電子柱状図	PDF	PDF ファイル
	(DRA) DRA	・ 電子簡略柱状図	SXF(SFC)	CAD(SXF(SFC))ファイル
	(PIC) PIC	コア写真管理ファイル	XML, DTD	COREPIC.XML CPI00110.DTD
		・ デジタルコア写真 ・ デジタルコア写真整理結果	JPEG	JPG 画像(JPEG)ファイル
	(TEST) TEST	土質試験及び 地盤調査管理ファイル	XML, DTD	GRD0TST.XML GST0120.DTD
		土質試験結果一覧表 管理ファイル	XML, DTD	STLJST.XML ST0210.DTD
		・ 電子土質試験結果一覧表	PDF	PDF ファイル
		BRONNNA SITNNNN BRONNNN サブフォルダを作成し、土質試験及び地盤調査データを格納する。		
	(OTHR) OTHR	その他の地質・土質調査 成果フォルダ	XML, DTD	OTHRPLS.XML OTHR0110.DTD

- BRONNNA : ボーリング孔を利用した原位試験,または、ボーリング孔を利用した資料による室内試験の電子データシート・データ交換用データを格納
- SITNNNN : 当該調査以外のボーリング孔(既設孔)を利用した試験による電子データシート・データ交換用データを格納
- BRONNNN : 上記以外(サイト)による電子データシート・データ交換用データを格納

【解説】

(1) 電気通信設備の CD-R 及び各フォルダの格納・整理イメージを参考として次に示す。

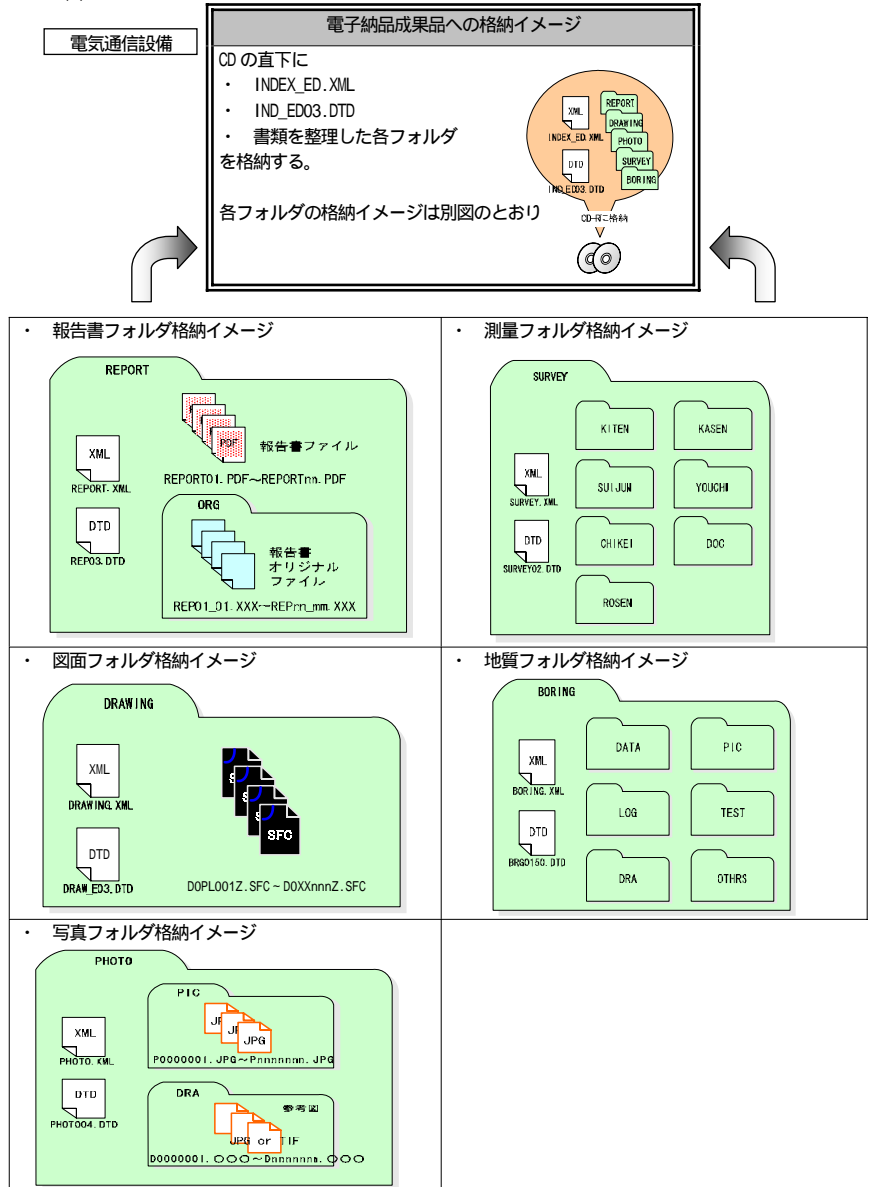


図 5.2 フォルダ構成 CD-R 及び各フォルダの格納・整理イメージ

(2) 機械設備の CD - R 及び各フォルダの格納・整理イメージを参考として次に示す。

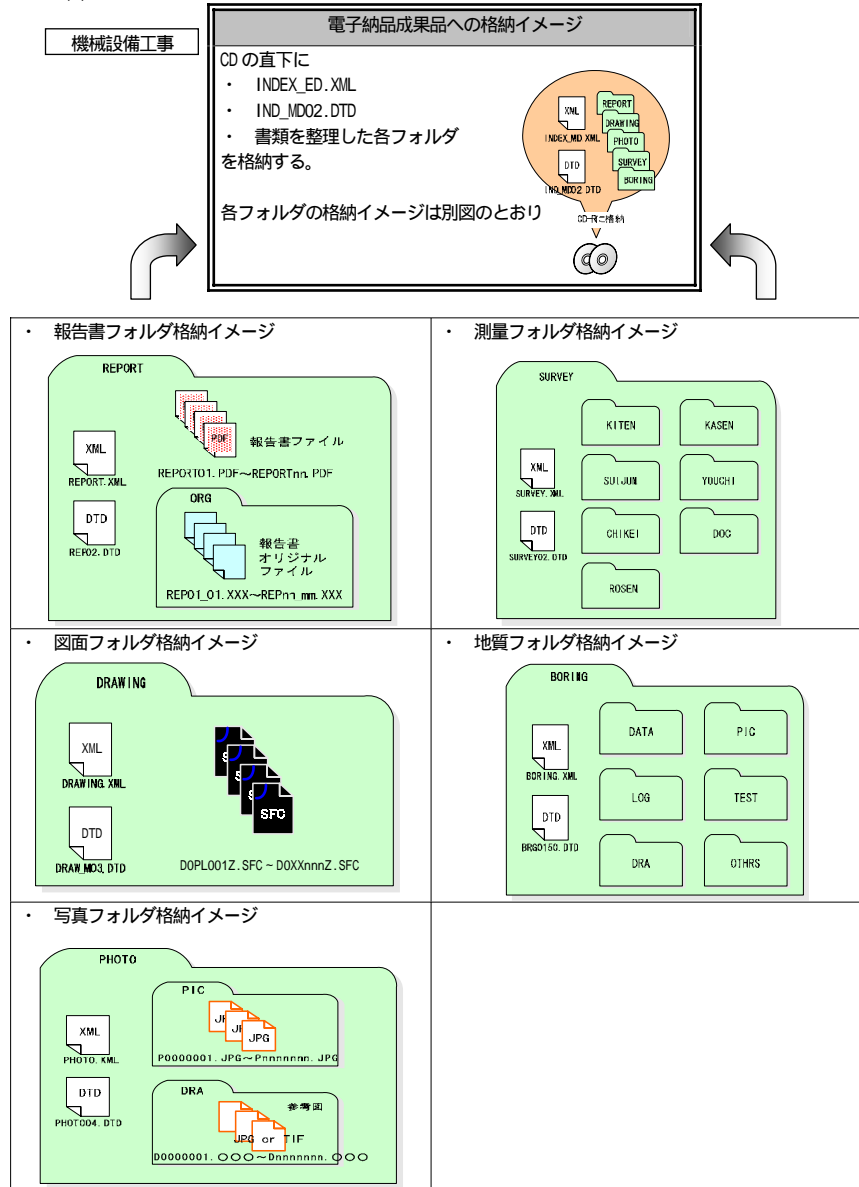


図 5.3 フォルダ構成 CD-R 及び各フォルダの格納・整理イメージ 機械設備工事

5.6 ファイルの命名規則

ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。

ファイル名 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。

業務管理ファイルは、電気通信設備「INDEX_ED.XML」、機械設備工事「INDEX_MD.XML」、業務管理ファイルの DTD は電気通信設備が「IND_ED03.DTD」(03 は版番号)、機械設備工事は「IND_MD02.DTD」(02 は版番号)とする。

報告書管理ファイルは「REPORT.XML」とし、電気通信設備の DTD は「REP03.DTD」(03 は版番号)とし、機械設備工事の DTD は「REP02.DTD」(02 は版番号)とする。

図面管理ファイルは「DRAWING.XML」とし、電気通信設備の DTD は「DRAW_E03.DTD」(03 は版番号)とし、機械設備工事の DTD は「DRAW_M02.DTD」(02 は版番号)とする。

写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とし、DTD は「PHOTO04.DTD」(04 は版番号)とする。

測量管理ファイルは「SURVEY.XML」とし、DTD は「SURVEY02.DTD」(02 は版番号)とする。

地質情報管理ファイルは「BORING.XML」とし、DTD は「BRG0150.DTD」(150 は版番号)とする。

報告書ファイルの命名規則は次のとおりとする。

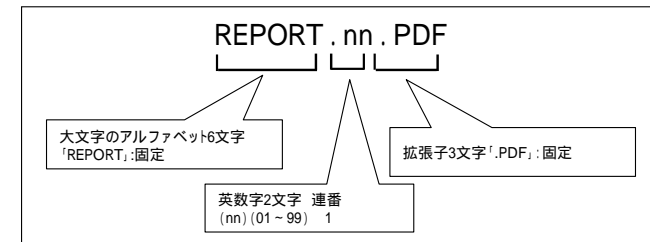


図 5.4 報告書ファイルの命名規則

報告書オリジナルファイルの命名規則は次のとおりとする。

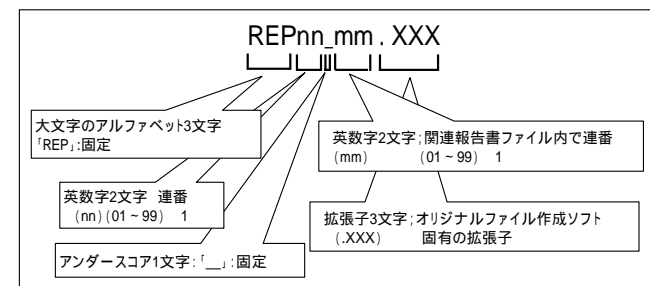


図 5.5 報告書オリジナルファイルの命名規則

写真ファイルの命名規則は次のとおりとする。

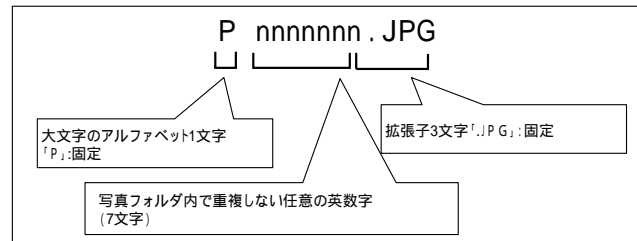


図 5.6 写真ファイルの命名規則

参考図ファイルの命名規則は次のとおりとする。

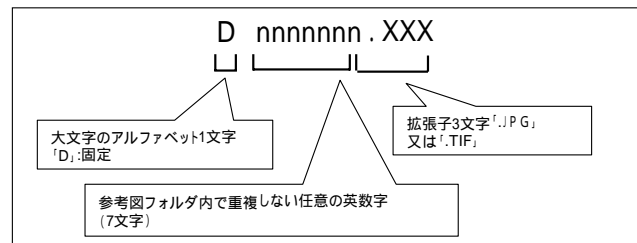


図 5.7 参考図ファイルの命名規則

CAD ファイルの命名規則は次のとおりとする。

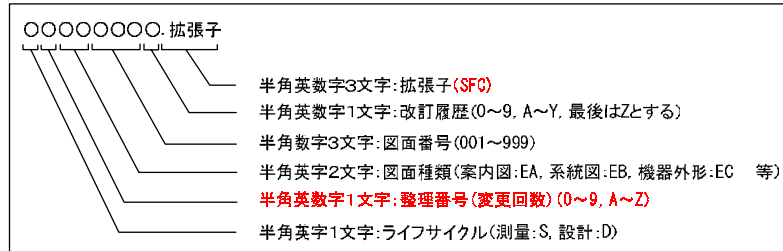


図 5.8 CAD ファイルの命名規則(CAD 製図基準(案))電気通信設備・機械設備工事

【解説】

(1) 共通規則

ファイル名の文字数は、半角(1バイト文字)で8文字以内、拡張子3文字以内とする。ファイル名に使用する文字は、半角(1バイト文字)で、大文字のアルファベット「A~Z」、数字「0~9」、アンダースコア「_」とする。

オリジナルファイルの通し番号は、業務委託の経緯がわかるように日付昇順に付番号することを基本とする。

「ORGnnn」サブフォルダに格納するファイル名は、5.6 オリジナルファイルの規則に準じ、発注者と協議する。

(2) 報告書オリジナルファイル

報告書の文書は、複数のオリジナルファイルから構成されることがある。この場合、文書の構成が想定できるように、オリジナルファイルの 01(例：図 5.5 報告書オリジナルファイルの命名規則「nn」)からの連番により、ファイルを区別することを基本とする。なお、欠番があっても構わない。

例) ワープロソフトファイル: REP01_01.doc

ワープロソフトファイル: REP01_02.doc

表計算ソフトファイル: REP01_03.xls

(3) 連番の扱い (1について)

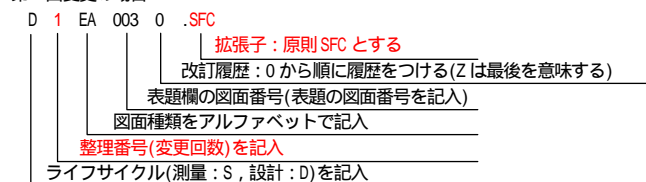
連番が100を超える場合は、以下のようにアルファベットを用いる。

例) 100~109 の場合...A0~A9 110~119 の場合...B0~B9

120~129 の場合...C0~C9

(4) CAD ファイルの命名規則

例) 第1回変更の場合



ア 拡張子は、広島県のCAD図面のフォーマット形式である「SFC」となる。

イ 改訂履歴は、成果品の提出時最後を意味する「Z」となる。また、受発注者間でファイルのやりとりをする場合は、「0」から順に履歴をつけて行うこと。

ウ 表題欄の図面番号は、CD-Rに格納する図面の通し番号を記入する。通し番号「葉之内 3」であれば、半角数字3文字「003」の記入となる。

エ 図面種類は、CAD製図基準(案)に記載されているとおり、半角英数字2文字で記入する。(案内図:EA, 系統図:EB, 機器外形:EC 等)

オ 整理番号は、変更回数を半角英数字で記入する。変更設計の回数を記入は、設計変更回数1文字を記入する。変更設計とは、契約上の変更設計(第1回変更の場合は、「1」となる)を意味する。

カ ライフサイクルは、ライフサイクルを表す半角英数字1文字を記入する。業務委託の場合は、「測量:S」、「設計:D」のいずれかとなる。

5.7 CAD ファイルに関する運用

原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。
また、該当工種がない場合は、類似した工種を準用することとし、準用する要領・基準および工種を事前協議において決定するものとする。

【解説】
工種の選定については、原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。

表 5.7 CAD ファイルに関する要領・基準とその工種一覧	
要領・基準名称	対 象 工 種
CAD 製図基準(案)電気通信設備編	電気通信設備工
CAD 製図基準(案)機械設備工事編	機械設備工

・ 農林水産部所管事業において該当工種がない場合は、「電子化図面データの作成要領(案)電気通信設備編平成 17 年 4 月」及び「電子化図面データの作成要領(案)機械設備工事編平成 19 年 4 月」を参考として事前協議において決定するものとする。

下水道事業の取扱い は、受発注者協議により定めるものとするが、参考として表 5.8 を示す。

表 5.8 下水道事業が準用する工種		
事業(工種)種別	適 用	
	要領・基準等	工 種
下水道事業	CAD 製図基準(案)水処理施設編	下水道事業
	下水道施設 CAD 製図基準(案)	

5.8 受発注者間での CAD ファイルの交換

受発注者間で CAD ファイルの交換・共有を行う場合等は、表 5.9 及び表 5.10 CAD ファイル命名参考例を参考にして、履歴管理を適切に行うこと。

【解説】

表 5.9 CAD ファイル命名参考例(電気通信設備)1/2

前のプロセスで別の電子成果(測量業務等)がある場合

当初

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納フラグ	作成者
	DOEB0010_SFC	設計	0	系統図	1/4	0	当初作成図面	-	発注者
	DOED0020_SFC	設計	0	詳細図	2/4	0	当初作成図面		
	DOED0030_SFC	設計	0	詳細図	3/4	0	当初作成図面		
	DOEF0040_SFC	設計	0	その他	4/4	0	当初作成図面		

・業務打合せ、図面改訂

図面改訂その1

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納フラグ	作成者
-1	DOEB0013_SFC	設計	0	系統図	1/4	3	3回の図面改訂	-	発注者 受注者
-1	DOED0022_SFC	設計	0	詳細図	2/4	2	2回の図面改訂		
-1	DOED003Z_SFC	設計	0	詳細図	3/4	Z	打合せにより、図面の削除 (CD-Rには格納しない)		
	DOEF0040_SFC	設計	0	その他	4/4	0	図面改訂なし		

・業務打合せ、図面改訂

表 5.10 CAD ファイル命名参考例(電気通信設備)2/2

・業務打合せ、図面改訂

図面改訂その2 (第1回契約変更後)

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納フラグ	作成者
-2	D1EB0015.SFC	設計	0	系統図	1/4	5	第1回契約変更後、2回の図面改訂	-	発注者 受注者
-2	D1ED0023.SFC	設計	0	詳細図	2/4	3	第1回契約変更後、1回の図面改訂		
	D1EF0040.SFC	設計	0	その他	3/4	0	第1回契約変更後、新規に図面作成		
	D1EF0040.SFC	設計	0	その他	4/4	0	図面改訂なし		

・業務打合せ、図面改訂

完成図

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納フラグ	作成者
-3	D1EB001Z.SFC	設計	1	系統図	1/4	Z	完成図を作成	DRAWING	受注者
-3	D1ED002Z.SFC	設計	1	詳細図	2/4	Z	完成図を作成		
-1	D1EF003Z.SFC	設計	1	その他	3/4	Z	完成図を作成		
-1	D1EF004Z.SFC	設計	1	その他	4/4	Z	完成図を作成		

図面番号は完成図作成時に通し番号を付け直す。

納品するCD-R
DRAWINGファイル内訳

DRAWING.XML

DRAW_E03.DTD

-3 D1EB001Z.SFC

-3 D1ED002Z.SFC

-1 D1EF003Z.SFC

-1 D1EF004Z.SFC

納品するCD-R DRAWINGファイル内訳	
DRAWING.XML	
DRAW_E03.DTD	
-3 D1EB001Z.SFC	
-3 D1ED002Z.SFC	
-1 D1EF003Z.SFC	
-1 D1EF004Z.SFC	

5.9 電子媒体の仕様及び納品

委託成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

CD-R の使用を原則とする。

CD-R は、ISO9660 フォーマット(レベル1)を標準とする。

基本的には、1 枚の CD-R に格納する。

複数枚の CD-R に格納する場合には、国土交通省の電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】に従う。

納品時には、CD-R 3 部(正 1 部、副 2 部)を納品するほか、CD-R に格納された書類データを紙に印刷したものを 1 部(簡易製本とする)併せて納品する。

【解説】

(1) 使用する媒体

ア 電子媒体に格納する成果品の真正性、見読性及び保存性を確保するため、CD-R を原則とする。

イ 本県においては、媒体(CD-R)で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。

(2) CD-R の論理フォーマット

CD-R の論理フォーマットは、ISO9660(レベル1)を標準とする。「ISO9660」は、汎用性が高い CD-R/RW 用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じてレベル1～3 が規定されている。最も多くの OS に対応可能なレベル1 は、ファイル名 8 文字 + 拡張子 3 文字、使用できる文字は半角の英数文字(A～Z, 0～9)及び、_(アンダースコア)のみと、制限が厳しくなっている。

(3) CD-R の枚数

CD 枚数が増えないように、写真の画素数等を協議して決定すること。

(4) 複数枚の CD-R

提出する CD-R が複数枚になった場合は、参考資料 5 を参考にして作成すること。

(5) 簡易製本の提出

ア 簡易製本版は市販のチューブファイル等に綴じたものとし、金文字黒表紙様式の製本は行わない。

イ チューブファイルの背表紙には、年度、委託名及び受注業者名を明記し、報告書等の書類は両面刷り(A4 版)、図面は縮小版(A3 版)を基本とする。

ウ その他、特に紙による納品の必要があるものについては、受発注者で協議するものとする。

5.10 電子媒体の標記規則

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。
媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 委託業務の名称
- ・ 委託業務の場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 受注者名
- ・ ウィルスチェックソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式：ISO9660(レベル1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 委託業務の名称

【解説】

(1) 項目の説明

- ア 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載(発注者から通知)
イ 「委託業務の名称」 契約図書に記載されている委託業務の名称を記載
ウ 「委託業務の場所」 契約図書に記載されている委託業務の場所を記載
エ 「作成年月」 履行期間の至の年月を記載
オ 「何枚目 / 全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載
カ 「発注者名」 発注者の名称を記載(表記例参照)
キ 「受注者名」 受注者の名称を記載(表記例参照)

(2) 留意事項

- ア CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成する。
イ CD-R は、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。
ウ CD-R へ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-R に損傷を与えることがあるので使用しないこと。
エ CD-R ケースは、薄型ケースは使用しないこと。(標準厚さのケースを使用すること)
オ CD-R ケースの底面は、CD-R を光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。
カ CD-R ケースの背表紙には、1 行で書けるところまで記入し、委託業務の名称が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入すること。

(3) 標記例



CD-R ケースへの表記(例)

(通 常)	27601-420-0006(1/2) 芦田川浄化センター水処理設備設計業務委託
(長い場合)	27601-420-0006(1/2) 川 水処理設備設計

図 5.9 CD-R 表面及び CD-R ケースへの表記(例)

5.11 電子媒体の原本性の確保

受注者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

【解説】
受注者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日

電 子 媒 体 納 品 書

地域事務所長 様

受注者 (所在地) 市 区 丁目
(商号又は名称) 株式会社 印

次のとおり電子媒体を納品します。

施行番号	27601-420-0006
委託業務の名称	芦田川浄化センター水処理設備設計業務委託
路線河川名等 (地区名)	-
委託業務の場所	市 区 丁目
履行期間	自 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日
電子媒体の全体枚数	枚 × 3部(正 1部, 副 2部)
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日
備考	1/2 : REPORT, DRAWING を格納 2/2 : PHOTO, SURVEY, BORING を格納

電子媒体は、CD-R(フォーマット「ISO9660」)のみとする。

図 5.10 電子媒体納品書の記載(例)

5.12 電子成果品の確認

発注者は、電子成果品(CD-R)が広島県電子納品実施要領に従って正しく管理項目等が作成されているか、電子納品の対象書類が漏れなく格納されているかを電子媒体受領時に確認すること。
電子成果品(CD-R)の確認に当たっては、参考資料3 納品時チェックシートを使用し、チェックを行うこと。
また、納品時チェックシートは電子成果品と合わせて保管すること。

【解説】

(1) 電子媒体の外観確認
発注者は、電子媒体に破損のないこと、ラベルが正しく作成されていることを目視で確認すること。

(2) ウィルスチェック
発注者は、電子媒体に対しウィルスチェックを行うこと。
最新のウィルスも検出できるようにウィルスチェックソフトは常に最新のデータに更新(アップデート)しておくこと。

(3) 電子成果品の基本構成の確認
発注者は、電子成果品の基本的な構成が「広島県電子納品実施要領」に基づき作成されていることを、広島県のチェックシステムにより確認すること。
確認事項は次のとおり。
ア フォルダ構成(画面上での確認)
イ 業務管理ファイルについて、施行番号、委託業務名等の業務の基本的な情報の確認

(4) 電子成果品の内容の確認
発注者は、電子成果品の内容を確認すること。確認事項は次のとおり。
ア CAD データの確認
CAD データの電子成果品は、SXF(SFC)形式で納品するため、変換によるデータ欠落や表現の違いが生じることはないよう、目視確認及び広島県の CAD チェックシステムによるデータチェックを行うこと。
発注者は、受取った CAD データが事前に確認した図面の内容と同じであることを確認すること。
イ CAD データ以外の確認
CAD データ以外の電子成果品について確認を行うこと。
打合せ事項と電子成果品の内容との比較等を行い、内容に相違がないか確認すること。

6 完了検査

6.1 完了検査

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。

電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、受発注者間の協議により取り決めるものとする。

書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

- 【解説】
- 業務完了検査では、業務成果品について、契約書、設計図書と照合して検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。
- (1) 記録写真
写真データは、受注者の持つデータで検査を行ってもよいものとする。
 - (2) 業務報告書等
図面等を検査する際には、受注者がCADデータをA3版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。
業務計画書、協議簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。
 - (3) 機器の操作
検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として受注者が行う。受注者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。また、検査を効率的に行うために受注者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を調査職員との協議により準備する。

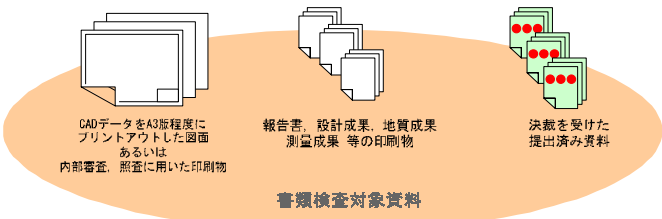


図6.1 対象資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

7.1 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される基礎情報、ソフトウェア情報、業務情報からなる各管理項目を記入する。

ただし、一部広島県が定めた事項があるため、各管理項目の記入には留意すること。

- 【解説】
- 各管理項目(基礎情報、業務情報)を次頁以降に示す。
- (1) 記入者
: TECRIS から出力される CSV ファイルから取り込むことが可能な項目
(TECRIS 情報の記入に当たって、TECRIS の規則に従うこと)
: 電子媒体作成者が記入する項目
: 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
 - (2) 必要度
: 必須記入項目(必ず記入する)
: 条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
: 任意記入項目(原則として空欄・特記すべき事項があれば記入する)
 - (3) 摘要の記述
空欄 = 国土交通省と同じ見解
斜字 = 国土交通省の記載事項の具体的な説明
太字下線 = 広島県が定めた事項
 - (4) 記入上の注意
全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角1文字に相当する。
データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては次のルールに従う。
ア 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。
例) 082-228-2111・・・・・・
0 8 2 - 2 2 8 - 2 1 1 1・・・・・・x
イ 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。
例) 契約図書：広島市中区基町 10 番 52 号・・・・・・
広島市中区基町 10-52・・・・・・x
広島市中区基町 1 0 番 5 2 号・・・・・・x
ウ 年月日の間にハイフン()を挿入すること。
例) 2007-03-26・・・・・・
20070326・・・・・・x

7.2 業務管理項目 電気通信設備

電子媒体に格納する業務管理ファイル(INDEX_ED.XML)に記入する業務管理項目は、表 7.1 及び表 7.2 に示すとおりとする。

表 7.1 業務管理項目 電気通信設備(1/2)

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
基礎 情報	メディア番号	提出した媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。	1		半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した媒体の総枚数を記入する。	2		同上	8		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「電通200406-01」で固定)を記入する。(分野:電通、西暦年:2004、月:06、版:01)	電通200406-01		全角文字 半角英数字	30		
	報告書フォルダ名	報告書を格納するために「REPORT」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「REPORT」で固定)を記入する。	REPORT		半角英数 大文字	127		
	報告書オリジナル ファイルフォルダ名	報告書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称「REPORT/ORG」で固定)を記入する。	REPORT/ORG		同上	127		
	図面フォルダ名	図面を格納するために「DRAWING」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「DRAWING」で固定)を記入する。	DRAWING		同上	127		
	写真フォルダ名	写真を格納するために「PHOTO」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「PHOTO」で固定)を記入する。	PHOTO		同上	127		
	測量データフォルダ名	測量データを格納するために「SURVEY」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「SURVEY」で固定)を記入する。	SURVEY		同上	127		
	地質データフォルダ名	地質データを格納するために「BORING」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「BORING」で固定)を記入する。	BORING		同上	127		
	業務実績システムバージョン 番号	管理項目の記入で参照しているTECRISのマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。	4.0		半角数字	12		
	業務実績システム登録番号	TECRISセンターが発行する受領書に記載される番号を記入する。TECRIS登録番号がない業務は「0」を記入する。	3000306287		半角英数字	11		
	設計書コード	各発注者機関で業務1件につき固有の番号として付されるもので、発注機関の指示に従い記入する。	276014200006	契約図書の旅行番号12桁を記入	同上	30		
	業務名称	設計図書に記載されている契約上の正式な業務名称を記入する。	電気通信設備設計業務		全角文字 半角英数字	127		
	住所 情報	住所コード	該当地域の住所コードをTECRISの表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。(複数記入可)	34203	半角数字	5		
		住所	該当地域の住所を記入する。(複数記入可)	広島県広島市中区基町10番52号	全角文字 半角英数字	127		
	履行期間・着手	契約上の履行期間の着手年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成16年1月1日→2004-01-01	2007-10-20		半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	履行期間・完了	契約上の履行期間の完了年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成16年12月3日→2004-12-03	2008-02-28		半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.2 業務管理項目 電気通信設備(2/2)

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
場所 情報	測地系	日本測地系、世界測地系(日本測地系2000)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(日本測地系2000)は「01」を記入する。	01		半角数字	2		
	水 系 ・ 路 線 情報	対象水系路線コード	水系・路線コードをTECRISの表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。	99999	同上	5		
		対象水系路線名	対象水系路線名の情報がある場合に記入する。		全角文字 半角英数字	127		
		現道・旧道区分	「現道:1」、「旧道:2」、「新道:3」、「未調査:0」のいずれかを記入する。		半角数字	1		
		対象河川コード	「河川コード仕様書(案)」に準拠し発注者が指示する河川コードを記入する。	原則として空欄	同上	10		
		左右岸上下線コード	河川の右岸・左岸の別または道路の上下線の別を示す左右岸上下線コードを記入する。(複数記入可)	原則として空欄	同上	2		
		測 点 情報	起点側測点-n	(自)n+m nを4桁で記入する。	0015	同上	4	
			起点側測点-m	(自)n+m mを3桁で記入する。	008	同上	3	
		距離 情報	終点側測点-n	(至)n+m nを4桁で記入する。	0018	同上	4	
			終点側測点-m	(至)n+m mを3桁で記入する。	005	同上	3	
		距離 情報	起点側距離標-n	(自)n+m nを3桁で記入する。	原則として空欄	同上	3	
			起点側距離標-m	(自)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄	同上	3	
		距離 情報	終点側距離標-n	(至)n+m nを3桁で記入する。	原則として空欄	同上	3	
			終点側距離標-m	(至)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄	同上	3	
	境界 座 標 情報	西側境界座標経度	対象領域の最西端の外側境界の経度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西端の場合は頭文字に「(HYPHEN-MINUS)」を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料により記入	1322710	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	
		東側境界座標経度	対象領域の最東端の外側境界の経度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西端の場合は頭文字に「(HYPHEN-MINUS)」を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料により記入	1323510	同上	8	
		北側境界座標緯度	対象領域の最北端の外側境界の緯度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南端の場合は頭文字に「(HYPHEN-MINUS)」を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料により記入	0342400	同上	8	
		南側境界座標緯度	対象領域の最南端の外側境界の緯度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南端の場合は頭文字に「(HYPHEN-MINUS)」を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料により記入	0342000	同上	8	
施設 情報	施設名称	施設名称を記入する。	トンネル		全角文字 半角英数字	127		
発 注 者 情報	発注者機関コード	発注者機関コードをTECRISコード表から選択して記入する。	12345678		半角数字	8		
	発注者機関事務所名	発注機関・事務所の名称を記入する。	広島県 地域事務所建設局		全角文字 半角英数字	127		
受 注 者 情報	受注者名	企業名(正式名称)を記入する。	設計株式会社		同上	127		
	受注者コード	TECRISセンターから通知されるコードを記入する。受注者コードを持たない受注者は「0」を記入する。	12345678		半角英数字	10		
業 務 情報	主な業務の内容	TECRISコード表より、主な業務の内容を「1.調査設計」「2.地質調査」「3.測量」「4.その他」から選択し番号を記入する。	1		半角数字	1		
	業務分類コード	業務分類コードをTECRISコード表より選択し記入する。(複数記入可)	1234567		半角英数字	7		
	業務キーワード	TECRIS業務キーワード集より選択し記入する。(複数記入可)	非常用設備		全角文字 半角英数字	10		
	業務概要	業務の概要を記入する。業務の要点が理解しやすいように簡潔かつ正確に記入する。	本業務は、……		同上	300		
予備		特記事項がある場合に記入する。(複数記入可)			同上	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			同上	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

7.3 報告書管理項目 電気通信設備

電子媒体に格納する報告書管理ファイル(REPORT.XML)に記入する報告書管理項目は、表 7.3 に示すとおりとする。

表 7.3 報告書管理項目 電気通信設備

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
報告書 ファイル 情報	報告書名	報告書ファイルの内容が分かるよう報告書名を記入する。		電気通信設備設計業務	全角文字 半角英数字	127		
	報告書副題	報告書名が漠然としている場合は内容が分かる程度の副題を記入する。		非常用設備新設設計	同上	127		
	報告書ファイル名	報告書ファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		REPORT01_.PDF	半角英数 大文字	12		
	報告書ファイル日本語名	報告書ファイルに関する日本語名を記入する。		報告書(非常用設備新設設計計算書)	全角文字 半角英数字	127		
	報告書ファイル作成ソフトウェア名	報告書ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Adobe Acrobat6.0	同上	64		
	設計項目 2	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「設計項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の設計項目ごとに分けた場合は記入する。)		計算書	同上	16		
	成果品項目 2	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「成果品項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の成果品項目ごとに分けた場合は記入する。)		計算書	同上	16		
	報告書 オリジナル ファイル 情報	報告書オリジナルファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		REP01.01.DOC	半角英数 大文字	12		
		報告書オリジナルファイルに関する日本語名を記入する。		電気通信設備設計業務_設計報告書	全角文字 半角英数字	127		
		報告書オリジナルファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Microsoft Word 98	同上	127		
その他	受注者側説明文	受注者側で特記すべき事項がある場合は記入する。			同上	127		
	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する成果品がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数入力可)			同上	127		
ソフトウェア用TAG			ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数入力可)		同上	127		

- 1 報告書ファイル情報は、報告書の数分を複数繰り返し登録する。
2 設計項目と成果品項目は、重複する場合でも同方に記入する。
3 報告書オリジナルファイル情報は一つの報告書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.4 業務管理項目 機械設備工事

電子媒体に格納する業務管理ファイル(INDEX_MD.XML)に記入する業務管理項目は、表 7.4 及び表 7.5 に示すとおりとする。

表 7.4 業務管理項目 機械設備工事(1/2)

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
基礎 情報	メディア番号	提出した媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。		1	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した媒体の総枚数を記入する。		2	同上	8		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領基準の版(「機械200603-01」で固定)を記入する。(分野:機械、西暦年:2006、月:03、版:01)		機械200603-01	全角文字 半角英数字	30		
	報告書フォルダ名	報告書を格納するために「REPORT」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「REPORT」で固定)を記入する。		REPORT	半角英数 大文字	127		
	報告書オリジナル ファイルフォルダ名	報告書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称「REPORT」で固定)を記入する。		REPORT/ORG	同上	127		
	図面フォルダ名	図面を格納するために「DRAWING」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「DRAWING」で固定)を記入する。		DRAWING	同上	127		
	写真フォルダ名	写真を格納するために「PHOTO」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「PHOTO」で固定)を記入する。		PHOTO	同上	127		
	測量データフォルダ名	測量データを格納するために「SURVEY」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「SURVEY」で固定)を記入する。		SURVEY	同上	127		
	地質データフォルダ名	地質データを格納するために「BORING」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「BORING」で固定)を記入する。		BORING	同上	127		
	業務実績システムバージョン番号	管理項目の記入で参照しているTECRISのマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。		4.0	半角数字	12		
業務 案件 情報 等	業務実績システム登録番号	TECRISセンターが発行する受領書に記載される番号を記入する。TECRIS登録番号がない業務は「0」を記入する。		3000306287	半角英数字	11		
	設計書コード	各発注者機関で業務1件につき固有の番号として付されるもので、発注機関の指示に従い記入する。		276014200006	同上	30		
	業務名称	設計図書に記載されている契約上の正式な業務名称を記入する。		浄化センター水処理第15,16池	全角文字 半角英数字	127		
	住所 情報	該当地域の住所コードをTECRISの表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。(複数記入可)		34203	半角数字	5		
		該当地域の住所を記入する。(複数記入可)		必ず「広島県」を記入後、契約図書の重畳箇所を記入	全角文字 半角英数字	127		
	履行期間・着手	契約上の履行期間の着手年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成16年1月1日→2004-01-01		2007-10-20	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	履行期間・完了	契約上の履行期間の完了年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成16年12月3日→2004-12-03		2008-02-28	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	複数ある場合にはこの項を必要回数繰り返す。							

表 7.5 業務管理項目 機械設備工事(2/2)

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
場所情報	測地系	日本測地系,世界測地系(日本測地系2000)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」,世界測地系(日本測地系2000)は「01」を記入する。		01	半角数字	2		
	水系・路線情報	対象水系路線コード	水系・路線コードをTECRISの表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。	99999	同上	5		
		対象水系路線名	対象水系路線名の情報がある場合に記入する。		全角文字 半角英数字	127		
		規避-旧道区分	「規避:1」,「旧道:2」,「新道:3」,「未調査:0」のいずれかを記入する。		半角数字	1		
		対象河川コード	「河川コード仕様書(案)」に準拠し発注者が指示する河川コードを記入する。	原則として空欄	同上	10		
		左右岸上下線コード	河川の左岸・右岸の別または道路の上下線の別を示す左右岸上下線コードを記入する。(複数記入可)	原則として空欄	同上	2		
		測点情報	起点側測点-n	(自)n+m nを4桁で記入する。	0015	同上	4	
			起点側測点-m	(自)n+m mを3桁で記入する。	008	同上	3	
			終点側測点-n	(至)n+m nを4桁で記入する。	0018	同上	4	
			終点側測点-m	(至)n+m mを3桁で記入する。	005	同上	3	
		距離情報	起点側距離-n	(自)n+m nを3桁で記入する。	原則として空欄	同上	3	
			起点側距離-n	(自)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄	同上	3	
			終点側距離-n	(至)n+m nを3桁で記入する。	原則として空欄	同上	3	
			終点側距離-n	(至)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄	同上	3	
	境界座標情報	西側境界座標緯度	対象領域の最西端の外側境界の緯度を記入する。(度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)) 対象領域が西緯の場合は頭文字に「(HYPHEN-MINUS)」を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	1322710	半角数字 (「HYPHEN-MINUS」)	8		
		東側境界座標緯度	対象領域の最東端の外側境界の緯度を記入する。(度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)) 対象領域が西緯の場合は頭文字に「(HYPHEN-MINUS)」を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	1323510	同上	8		
		北側境界座標緯度	対象領域の最北端の外側境界の緯度を記入する。(度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「(HYPHEN-MINUS)」を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	0342400	同上	8		
		南側境界座標緯度	対象領域の最南端の外側境界の緯度を記入する。(度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「(HYPHEN-MINUS)」を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	0342000	同上	8		
		施設名称	施設名称を記入する。		全角文字 半角英数字	127		
発注者情報	発注者機関コード	発注者機関コードをTECRISコード表から選択して記入する。		12345678	半角数字	8		
	発注者機関事務所名	発注機関・事務所の名称を記入する。	広島県 地域事務所建設局		全角文字 半角英数字	127		
受注者情報	受注者名	企業名(正式名称)を記入する。	設計株式会社		同上	127		
	受注者コード	TECRISセンターから通知されるコードを記入する。受注者コードを持たない受注者は「0」を記入する。		12345678	半角英数字	10		
業務情報	主な業務の内容	TECRISコード表より、主な業務の内容を「1.調査設計」「2.地質調査」「3.測量」「4.その他」から選択し番号を記入する。	1		半角数字	1		
	業務分類コード	業務分類コードをTECRISコード表より選択し記入する。(複数記入可)	0714070		半角英数字	7		
	業務キーワード	TECRIS業務キーワード集より選択し記入する。(複数記入可)	下水道処理場		全角文字 半角英数字	10		
	業務概要	業務の概要を記入する。業務の要点が理解しやすいように簡潔かつ正確に記入する。	本業務は 浄化センター-水処理第15,16池の設備の詳細設計である。		同上	300		
予備		特記事項がある場合に記入する。(複数記入可)			同上	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			同上	127		

複数ある場合にはこの項を必要回数繰返す。

7.5 報告書管理項目 機械設備工事

電子媒体に格納する報告書管理ファイル(REPORT.XML)に記入する報告書管理項目は、表 7.6 に示すとおりとする。

表 7.6 報告書管理項目 機械設備工事

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
報告書 ファイル 情報	報告書名	報告書ファイルの内容が分かるよう報告書名を記入する。		浄化センター水処理第15,16池 詳細設計委託	全角文字 半角英数字	127		
	報告書副題	報告書名が漠然としている場合は内容が分かる程度の副題を記入する。		水処理第15,16池機械設備設計 算書	同上	127		
	報告書ファイル名	報告書ファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		REPORT01_PDF	半角英数 大文字	12		
	報告書ファイル日本語名	報告書ファイルに関する日本語名を記入する。		報告書(水処理第15,16池機械設備 設計計算書)	全角文字 半角英数字	127		
	報告書ファイル作成ソフトウェア名	報告書ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Adobe Acrobat6.0	同上	64		
	設計項目 2	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「設計項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の設計項目ごとに分けた場合は記入する。)		計算書	同上	16		
	成果品項目 2	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「成果品項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の成果品項目ごとに分けた場合は記入する。)		計算書	同上	16		
	報告書 オリジナル ファイル 情報	報告書オリジナルファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		REP01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
		報告書オリジナルファイル日本語名		浄化センター水処理第15,16池 詳細設計委託_報告書01	全角文字 半角英数字	127		
		報告書オリジナルファイル作成ウェア名	報告書オリジナルファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	Microsoft_Word_98	同上	127		
その他	受注者説明文	受注者側で特記すべき事項がある場合は記入する。			同上	127		
	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する成果品がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数入力可)			同上	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数入力可)			同上	127		

- 1 報告書ファイル情報は、報告書の数分を複数繰返し登録する。
- 2 設計項目と成果品項目は、重複する場合でも両方に記入する。
- 3 報告書オリジナルファイル情報は一つの報告書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰返し登録する。

参考資料 1 着手前協議チェックシート(広島県様式)

電気通信・機械設備
業務委託欄

着手前(変更)協議チェックシート

実施日平成 年 月 日

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

施行番号	-	-
委託業務の名称		
委託業務の場所		
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
連絡先(e-mail)	@ pref.hiroshima.lg.jp	
受注者	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
連絡先(e-mail)	@	

2 電子納品データ作成ソフトの確認

文書ファイル(ワープロ)	(Ver.)
表計算ファイル(表計算ソフト)	(Ver.)
図面ファイル(CADソフト)	(Ver.)
写真ファイル	(Ver.)
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)	(Ver.)
その他	(Ver.)
その他	(Ver.)
その他	(Ver.)

電気通信・機械設備
業務委託欄

着手前(変更)協議チェックシート

(1/3)

3 電子納品対象項目

業務管理ファイル	電子納品	紙	備考
報告書フォルダ(REPORT)			
報告書管理ファイル	XML		
報告書ファイル	PDF		
報告書オリジナルファイルフォルダ			
報告書オリジナルファイル	WORD EXCEL その他()		
図面フォルダ(DRAWING)			
図面管理ファイル	XML		
図面ファイル	SXF(SFC)		
写真フォルダ(PHOTO)			
写真属性情報ファイル			
写真ファイル	JPEG		
参考図ファイル	JPEG TIFF(S4)		
地盤データフォルダ(SOILING)			
地盤情報管理ファイル	XML		
ボーリング交換用データ	XML		
電子柱状図	PDF		
電子地盤柱状図	SXF(SFC)		
コア写真管理ファイル	XML		
コア写真ファイル	JPEG		
土質試験及び地盤調査管理ファイル	XML		
土質試験結果一覧表データファイル	XML		
電子データシート	PDF		
データシート交換用データ			
測量フォルダ(SURVEY)			
測量情報管理ファイル	XML		
基準点測量サブフォルダ(KITEN)			
測量成果管理ファイル	XML		
成果表	PDF		
成果表(数値データ)	TXT		
基準点綱図	PDF SXF(SFC)		
平均図	PDF SXF(SFC)		
観測図	PDF SXF(SFC)		
観測手簿	PDF		
観測手簿(数値データ)	協議による(TXT等)		
観測記録	PDF TXT		
計算簿	PDF		
点の記	PDF		
点の記(数値データ)	協議による(TXT等)		
精度管理表	PDF		
点検測量簿	PDF		
埋蔵手簿	PDF		
測量標の地上写真	PDF		
基準点現況調査報告書	PDF		
測量機器検定証明書	PDF		
GPS観測スケジュール表	PDF		
ファイル説明書	PDF		
水準測量サブフォルダ(SUJUN)			
測量成果管理ファイル	XML		
観測成果表	PDF		
観測成果表(数値データ)	TXT		
平均成果表	PDF		
平均成果表(数値データ)	TXT		
水準路線図	PDF SXF(SFC)		
平均図	PDF SXF(SFC)		
計算簿	PDF		
観測手簿	PDF		
観測手簿(数値データ)	協議による(TXT等)		
点の記	PDF		
点の記(数値データ)	協議による(TXT等)		
精度管理表	PDF		
点検測量簿	PDF		
測量標の地上写真	PDF		
基準点現況調査報告書	PDF		
測量機器検定証明書	PDF		
GPS観測スケジュール表	PDF		
ファイル説明書	PDF		

着手前(変更)協議チェックシート

(2/3)

測量フォルダ(SURVEY)				電子納品	紙	備考
地形測量サブフォルダ(CHIKEI)						
測量成果管理ファイル	XML					
平面測量精度管理表	PDF					
TS地形測量DMデータ	SXF(SFC)	DM	PDF			
" DMデータインデックス	SXF(SFC)	DM	PDF			
" DMデータファイル説明書	PDF					
精度管理表	PDF					
空中写真測量標定点成果表	TXT					
" 標定点配置図・水準路線図	PDF					
" 空中写真測量標定点説明書・図説図等	PDF					
" 精度管理表	PDF					
" 対空標識点明細書	PDF					
" 対空標識点一覧図	PDF					
" 標定図	SXF(SFC)	DM	PDF			
" 撮影記録	PDF					
" 測針点一覧図	PDF					
" 空中三角測量成果表	TXT					
" 空中三角測量実施一覧図	SXF(SFC)	DM	PDF			
" 基準点残差表	TXT					
" 座標測定簿	TXT					
" 計算簿	TXT					
" 標定記録簿	PDF					
デジタルマッピングDMデータ	SXF(SFC)	DM	PDF			
" DMデータインデックス	SXF(SFC)	DM	PDF			
" DMデータファイル説明書	PDF					
" 精度管理表	PDF					
測量機器検定証明書	PDF					
ファイル説明書	PDF					
路線測量サブフォルダ(ROSEN)						
測量成果管理ファイル	XML					
線形図	SXF(SFC)	DM	PDF			
線形地形図	SXF(SFC)	DM	PDF			
計算簿	PDF					
計算簿(数値データ)	TXT					
観測手簿	PDF					
精度管理表	PDF					
点の記	PDF					
引線点図	PDF					
縦・横断面図	SXF(SFC)	DM	PDF			
詳細平面図	SXF(SFC)	DM	PDF			
杭打図	SXF(SFC)	DM	PDF			
測量機器検定証明書	PDF					
点検測量簿	PDF					
ファイル説明書	PDF					
河川測量サブフォルダ(KASEN)						
測量成果管理ファイル	XML					
成果表	PDF					
成果表(数値データ)	TXT					
点の記	PDF					
距離標位置情報整理表	PDF					
観測手簿	PDF					
観測手簿(数値データ)	協議による(TXT等)					
計算簿	PDF					
精度管理表	PDF					
業務報告書	PDF					
縦・横断面図	SXF(SFC)	DM	PDF			
線形図	SXF(SFC)	DM	PDF			
等高・等深線図	SXF(SFC)	DM	PDF			
汀線図	SXF(SFC)	DM	PDF			
測量機器検定証明書	PDF					
点検測量簿	PDF					
ファイル説明書	PDF					

着手前(変更)協議チェックシート

(3/3)

測量フォルダ(SURVEY)				電子納品	紙	備考
用地測量サブフォルダ(YOUCHI)						
測量成果管理ファイル	XML					
公図等転写連続図	SXF(SFC)	DM	PDF			
土地調査表	PDF					
建物登記簿調査表	PDF					
地積測量図転写図	PDF					
権利者調査表	PDF					
権元測量箇所位置図	SXF(SFC)	DM	PDF			
観測手簿	PDF					
観測手簿(数値データ)	協議による(TXT等)					
土地境界立会確認書	PDF					
成果表	PDF					
成果表(数値データ)	TXT					
計算簿	PDF					
基準点網図	SXF(SFC)	DM	PDF			
精度管理表	PDF					
精度管理図	PDF					
用地境界係杭設置箇所位置図	SXF(SFC)	DM	PDF			
用地境界杭設置箇所位置図	SXF(SFC)	DM	PDF			
面積計算書	PDF					
面積計算書(数値データ)	TXT					
用地実測データ	SXF(SFC)	オリジナル				
用地平面データ	SXF(SFC)	オリジナル				
測量機器検定証明書	PDF					
点検測量簿	PDF					
ファイル説明書	PDF					

着手前(変更)協議チェックシート

4 遵守するべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。
準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	広島県電子納品実施要領〔電気通信・機械設備業務委託編〕	平成20年●月	広島県
図面	CAD図面作成要領(案)電気通信設備編	平成16年6月	国土交通省
	CAD図面作成要領(案)機械設備工事編	平成18年3月	国土交通省
	CAD製図基準(案)処理施設編(参考)	平成17年3月	社団法人全国上下水道 コンサルタント協会
	下水道施設CAD製図基準(案)(参考)	平成19年8月	日本下水道事業団
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	国土交通省

なお、次に国土交通省等がまとめた要領・ガイドラインを参考として示す。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	土木設計業務等の電子納品要領(案)電子通信設備編	平成16年6月	国土交通省
	土木設計業務等の電子納品要領(案)機械設備工事編	平成18年3月	国土交通省
	地質・土質調査成果電子納品要領(案)	平成16年6月	国土交通省
	測量成果電子納品要領(案)	平成16年6月	国土交通省
	電子納品運用ガイドライン(案)電気通信設備編	平成16年5月	国土交通省
	電子納品運用ガイドライン(案)機械設備工事編〔業務〕	平成18年3月	国土交通省
	電子納品運用ガイドライン(案)〔地質・土質調査編〕	平成18年9月	国土交通省
	電子納品運用ガイドライン(案)〔測量編〕	平成18年9月	国土交通省
図面	CAD製図基準に関する運用ガイドライン(案)機械設備工事編	平成18年3月	国土交通省

5 コンピュータウイルス対策(受注者側)

使用ソフトウェア名	Norton AntiVirus (Ver.)
	ウイルスバスター (Ver.)
	Virus Scan (Ver.)
	その他()
ウイルスチェックソフトの常駐	インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウイルスチェックソフトを常駐させる。
ウイルスチェックの実施	外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。
ウイルスパターン定義データの更新	管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウイルス発見・駆除時の対応	ウイルスが発見された場合には、管理責任者がウイルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制(受注者側)

バックアップ頻度	バックアップ作業を1日1回以上行う
	その他()
バックアップ媒体	MO(光磁気ディスク)
	CD-RW(追記可能コンパクトディスク)
	外付けハードディスク
	その他()
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業者名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

参考資料2 検査前協議チェックシート(広島県様式)

検査前協議チェックシート

実 施 日 平成 年 月 日

施行番号	- -
委託業務の名称	
委託業務の場所	
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
発注担当者	
受注担当者	

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所	
検査実施予定日時	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分
検査機器準備担当	発注者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()
	受注者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()

2 電子納品の検査方法

書 類 名	印刷物による検査	電子データによる検査	書 類 名	印刷物による検査	電子データによる検査
報告書			(測量成果)		
図面			基準点測量		
写真			水準測量		
(地質調査資料)			地形測量		
ボーリング交換用データ			路線測量		
電子柱状図			河川測量		
電子簡略柱状図			当該測量事業に関する書類		
地質平面図・断面図					
コア写真					
土質試験及び地盤調査					
その他の地質調査資料					

3 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	受注者	
文書ファイル(ワープロ)			
表計算ファイル(表計算ソフト)			
図面ファイル(CADソフト)			
写真ファイル			
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)			
その他			
その他			
その他			

4 その他

参考資料3 納品時チェックシート(広島県様式)

電気通信・機械設備
業務委託種

納品時チェックシート

実施日

平成

年

月

日

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

施行番号		
委託業務の名称		
委託業務の場所		
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
受注者	連絡先(e-mail)	@ pref.hiroshima.lg.jp
	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
	連絡先(e-mail)	@

2 電子媒体の確認

電子媒体	問題なし→特記仕様書どおり 問題あり()
ラベル	問題なし→正しく作成されている 問題あり()
電子媒体納品書の受領	問題なし→正しく作成されている 問題あり()

3 ウィルスチェック等電子媒体の確認

ウィルスチェックの実施	実施できた 実施できなかった()
ウィルスチェックの結果	異常なし→ウィルスは検出されなかった 異常あり()
電子納品チェックツールによる 検査結果	エラーなし エラーあり()

4 フォルダ構成/ファイル名

電子媒体内のフォルダ構成	問題なし→正しく作成されている 問題あり()
ファイル名 (命名規則に従っているか)	問題なし→正しく作成されている 問題あり()

電気通信・機械設備
業務委託種

納品時チェックシート

5 管理ファイルのデータ項目内容チェック

電子納品対象項目	内容チェックの実施	内容チェックの結果
業務管理ファイル INDEX_ED.XML INDEX_MD.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
報告書管理ファイル REPORT.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
図面管理ファイル DRAWING.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
写真情報管理ファイル PHOTO.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
測量情報管理ファイル SURVEY.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
地質情報管理ファイル BORING.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()

6 電子データ内容と印刷出力との内容照合チェック

電子納品対象項目	内容照合チェックの実施	内容照合チェックの結果
報告書ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
報告書オリジナルファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
図面ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
写真ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
参考図ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
測量データ	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
地質データ	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()

7 その他

参考資料 4 境界座標の記入

「境界座標」の測地系は、世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。境界座標を入手する方法としては、国土
地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。
「測量成果電子納品」業務管理項目「境界座標入力支援サービス」ホームページ¹
<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>
境界座標を取得する方法は次のとおりである。



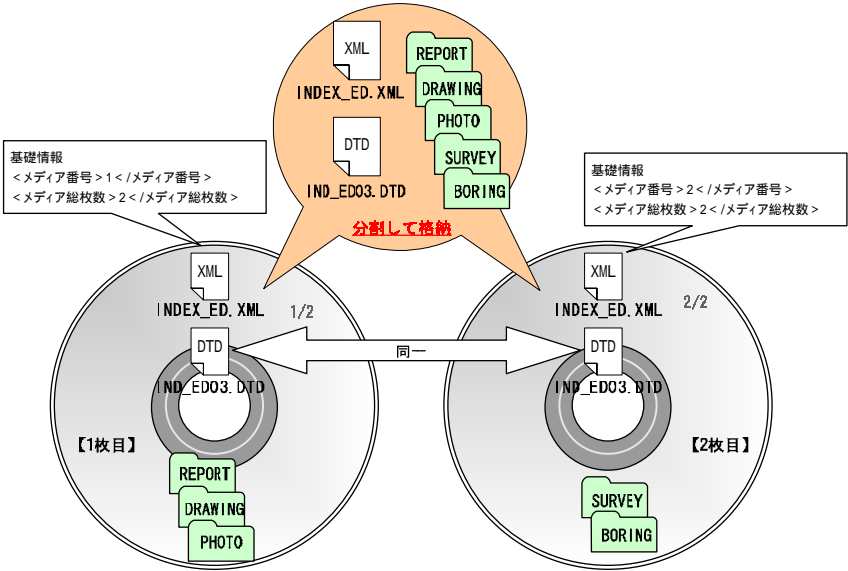
参资図 1 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。
業務委託対象が離れた地点に数箇所点する場合または広域の場合は、受発注者間で協議し、[場所情報]を
業務範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、業務範囲を包括する外側境界で境界
座標をとることが望ましい。

¹境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

参考資料 5 CD-R が複数枚になる場合の処置

格納するデータの容量が大きく、1 枚の CD-R に納まらず複数枚になる場合は、同一の業務管理ファイル
(INDEX_ED.XML)を各 CD-R に格納する。
この場合、基礎情報の「メディア番号」には、各 CD-R に該当する番号を記入すること。
各フォルダにおいても同様に、同一の管理ファイルを各 CD-R に格納する。
また、業務管理ファイルの基礎情報の「メディア番号」は、ラベルに明記してある何枚目 / 全体枚数と整合
を図ること。
CD-R が 2 枚になる場合の例を参资図 2 に示す。



参资図 2 CD-R が 2 枚になる場合の作成例

(案)

広島県電子納品実施要領 [電気通信設備編]

平成 20 年 月

広 島 県

- 目 次 -

1	広島県電子納品実施要領 [電気通信設備編] の位置付け	3
1.1	はじめに	3
1.2	適用	3
1.3	国土交通省の要領・基準との差異とその取扱い	4
1.4	問合せ	5
2	電子納品の定義と適用	6
2.1	電子納品の定義	6
2.2	広島県の電子納品適用範囲	6
2.3	適用基準	7
3	電子納品実施に必要な環境・準備	9
3.1	機器及びソフトウェア	9
3.2	発注時の特記仕様書への記載	10
4	電子納品の手順・事前協議	11
4.1	電子納品手順	11
4.2	事前協議	12
5	電子成果品の作成	13
5.1	広島県の電子データ作成の基本的な考え方	13
5.2	工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類	15
5.3	データの管理	15
5.4	フォルダ構成	16
5.5	ファイル形式	18
5.6	ファイルの命名規則	21
5.7	CAD ファイルに関する運用	25
5.8	発注用ファイル(発注図)の作成	26
5.9	請負・発注者間での CAD ファイルの交換	28
5.10	電子媒体仕様及び納品	30
5.11	電子媒体の標記規則	31
5.12	電子媒体の原本性の確保	33
5.13	電子成果の確認	34
6	検査(中間検査・完成検査)	35
6.1	中間検査の取扱い	35
6.2	書類検査	35
6.3	現場検査	36
7	成果品の管理項目	37
7.1	成果品の管理項目	37
7.2	工事管理項目	38
7.2	打合せ簿管理項目	40
7.3	施工計画書管理項目	41
7.4	その他資料管理項目	42
7.5	設備図書管理項目	43
7.6	図面管理項目	44
7.7	写真管理項目	46

参考資料 1

着手前協議チェックシート(広島県様式)

48

参考資料 2

検査前協議チェックシート(広島県様式)

51

参考資料 3

納品時チェックシート(広島県様式)

52

参考資料 4

境界座標の記入

55

参考資料 5

CD-R が複数枚になる場合の処置

56

参考資料 6

電子化対象書類一覧表

58

1 広島県電子納品実施要領〔電気通信設備編〕の位置付け

1.1 はじめに

「広島県電子納品実施要領〔電気通信設備編〕」(以下、「本要領」という。)は、広島県が実施する電気通信設備工事における、電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものである。

【解説】

本要領は、既存の国土交通省等の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。

広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおりに電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが請負・発注者双方にとって非効率的である場合については、適宜、請負・発注者間において協議するものとする。

電子納品の実施にあたっては、請負・発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえ、発注者としては請負者に過度の負担を強いることなく、請負者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとることとする。

1.2 適用

本要領は、工事請負契約書および設計図書において定められる成果品を電子的手段により引き渡す場合に適用する。

【解説】

本要領は、表 1.1 共通仕様書及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称	備 考
電気通信設備工事共通仕様書 電気設備工事必携	国土交通省 日本下水道事業団

1.3 国土交通省の要領・基準との差異とその取扱い

本要領は、請負者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省が策定した要領・基準等を準拠している。しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。

【解説】
本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
オリジナルファイルの形式	請負・発注者間で協議し決定	原則、次の形式による Word・Excel・JPEG・TIFF・PDF	5.1
CAD 図面のファイルの形式	原則として、SXF(P21)	原則として、SXF(SFC)	5.1(3)
有効画素数(デジタル写真)	100万画素程度	100万画素以上かつ、CD枚数が増えないように、協議して決定する。	5.1(4)
CAD ファイル命名規則の整理番号	請負・発注者間で協議し決定	整理番号は設計変更回数 の数値等を記入	5.6
納品物	CD-R 2部	CD-R 3部(正1部 副2部) 押印書類等の紙納品 1部 写真帳(ダイジェスト版) 1部	5.10
電子媒体等の表記	8項目について記載	9項目について記載 「工事場所」を追加 請負・発注者の署名欄は不要	5.11
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.12
管理ファイルの記載内容	「7 成果品の管理項目」記載例参照		7.2～7.7

1.4 問合せ

電子納品に関する問い合わせは、事前に国土交通省の Web サイト「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」の Q&A ページを参照すること。
また、本要領及び電子納品の運用等に関する問合せは、電子納品担当主管室に行うこと。

【解説】
(1) 国土交通省の Web サイトには次のとおり、これまでに寄せられた電子納品に関する質問・回答が掲載してある。
ア 「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト
http://www.cals-ed.jp/
イ 「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト Q&A ページ
http://www.cals-ed.jp/qa_sys/admin/q_a_index.htm
(2) 本要領及び電子納品実施上の運用等に関する問い合わせ先は、次のとおり。

電子納品全般に係る事項		電気通信設備に係る事項	
土木部総務管理局技術指導室		都市部都市事業局下水道室	
IT 推進グループ		特殊設備グループ	
TEL	082-513-3861	TEL	082-513-4141
FAX	082-223-3593	FAX	082-228-2397
E-mail	dogishidou@pref.hiroshima.lg.jp	E-mail	togesui@pref.hiroshima.lg.jp

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

工事完成図書の電子納品(以下、「電子納品」という。)とは、電気通信設備工事の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省が策定している各種の電子納品要領(案)、基準(案)に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。
ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。
発注者が発注図を CAD ファイル(SXF(SFC))で保有しているもの。
請負者より電子納品の申し出があったもの(部分的な電子納品含む)及び請負・発注者間で協議が整ったもの。

【解説】
電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。
「広島県電子納品」Web サイト
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/cals/nouhin/nouhin.html>

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、国土交通省が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

- 【解説】
- (1) 国土交通省の要領・基準等の改訂の取扱い
本要領が準拠する国土交通省の要領・基準等が年度途中で改訂されることがあるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。
- (2) 本要領が準拠する要領・基準等は、次のとおり。

表 2.1 広島県が準拠する要領・基準等			
種別	要領・基準等	策定年月	策定者
全般	工事完成図書の電子納品要領(案) 電気通信設備編	平成 16 年 6 月	国土交通省
図面	CAD 製図基準(案) 電気通信設備編	平成 16 年 6 月	
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成 18 年 1 月	

- (3) 国土交通省がまとめたガイドラインは、次のとおり。

表 2.2 電子納品関連ガイドライン		
名 称	策定年月	策定者
電子納品運用ガイドライン(案) 電気通信設備編	平成 16 年 5 月	国土交通省

- (4) 下水道事業の取扱い
国土交通省が策定している要領・基準等の CAD 製図に関する項目について、下水道事業への適用が困難であり、請負・発注者協議により、その取り扱いを定めるものとする。

表 2.3 下水道事業の取扱い		
名 称	策定年月	策定者
CAD 製図基準(案)水処理施設編	平成 17 年 3 月	(社)全国上下水道エンジニア協会
下水道施設 CAD 製図基準(案)	平成 19 年 8 月	日本下水道事業団

(5) 要領・基準等及び電子納品成果(フォルダ)等の関連イメージ。

図2.1は、国土交通省が策定した要領・基準及びガイドラインから電子納品の基本事項を抜粋し、広島県の取り組みの考え方・運用を示したものである。

広島県における電子納品は本要領に基づき実施することとし、記載する内容を確認のうえ、次に示す要領・基準及びガイドラインに準拠して電子納品を作成すること。

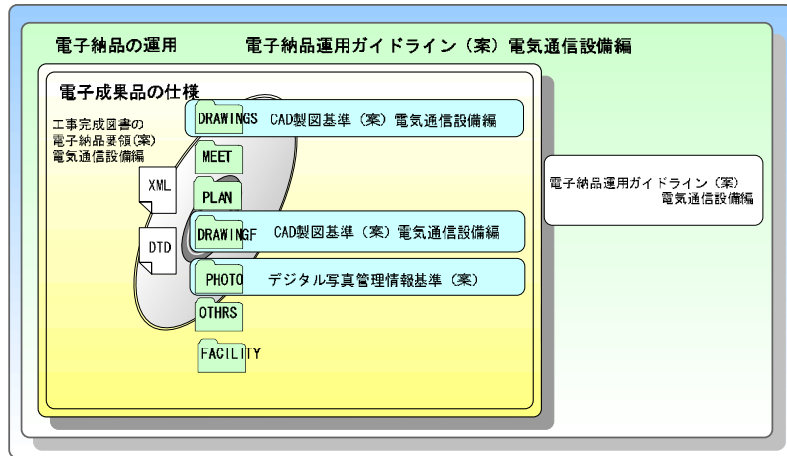


図2.1 要領・基準等の関連イメージ

要領・基準等の概要

- ・ 電子納品運用ガイドライン(案)電気通信設備編
公共工事の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載したもの。(請負・発注者間の協議、電子納品作成、検査等)
- ・ 工事完成図書の電子納品要領(案)電気通信設備編
工事の電子納品成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子納品成果品の仕様等について記載したもの。
- ・ CAD 製図基準(案)電気通信設備編
CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。
- ・ デジタル写真管理情報基準(案)
写真等の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたもの。

- (6) 国土交通省の要領・基準及びガイドラインは、次のホームページからダウンロードできます。
国土交通省HP <http://www.cals-ed.jp/>

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類	ソフト類
・ パソコン	・ ワードソフト
・ プリンタ	・ 表計算ソフト
・ CD-R ドライブ	・ CAD ソフト(SXF 対応)
・ デジタルカメラ	・ PDF 作成ソフト
	・ ウィルスチェックソフト
	・ 電子納品作成支援ソフト
	・ 圧縮解凍ソフト

【解説】

(1) 機器類

ア デジタルカメラについては、100 万画素以上とすること。

(黒板の文字が確認できることを指標とする。)

イ その他は、特に仕様を設けない。

(2) ソフト類

ア ワードプロ及び表計算ソフトは、Word、Excel とする。

イ CAD ソフトは、SXF 対応のものとする。

ウ PDF 作成ソフトのバージョンは、Acrobat5.0(PDF1.4)日本語版を基本とする。

エ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及び LZH とする。

オ その他は、特に仕様を設けない。

(3) CAD ソフトについて

ア 本要領で対象とする SXF(SFC)形式のバージョンとレベルは、Ver2.0、レベル2 とする。

イ SXF 対応の CAD ソフトは、オープン CAD フォーマット評議会のホームページを参照すること。
<http://www.ocf.or.jp/>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

発注者は、対象とする工事の特記仕様書に電子納品に関する事項を記載することとする。

【解説】

電子納品を実施するにあたって、電子納品に関する事項を特記仕様書に記述しておく必要がある。次に特記仕様書の記載例を示す。

第 条（電子納品）

本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領〔電気通信設備編〕平成20年 月版〔以下、「要領」という。〕」に基づいて作成されたものを指す。

第 条(工事完成図書の提出)

成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で3部(正1部、副2部)提出する。
「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督員と協議の上、電子化の是非を決定する。
なお、「紙」による報告書の提出は監督員と協議の上、決定する。
また、成果品提出の際には、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順

工事の発注準備から完了検査にいたる電子納品の標準的な流れは、図4.1のとおりである。

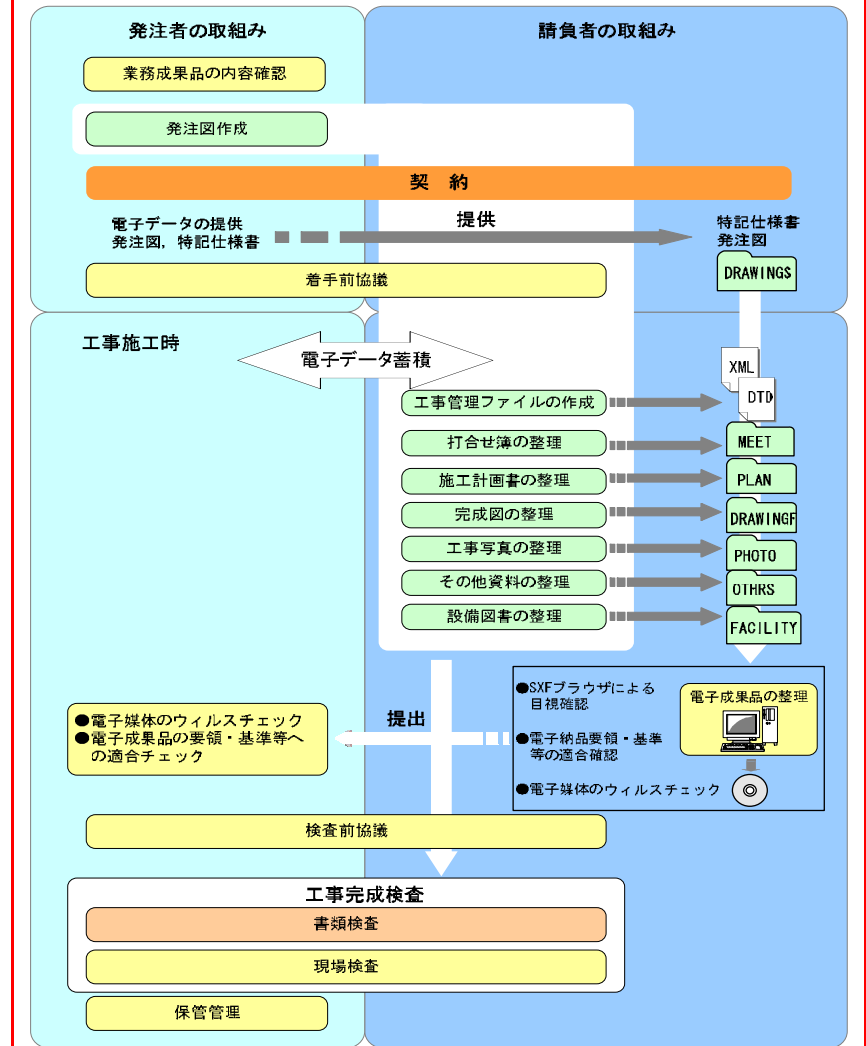


図4.1 電子納品の流れ

4.2 事前協議

施工期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、請負・発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。

また、電子成果品に係る検査方法及び円滑な検査進行等の観点から、検査前にも再度協議するものとする。

なお、事前協議については、工事打合せ簿により協議すること。

【解説】

本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ請負・発注者間で取り決めておくこと(事前協議)が必要である。

事前協議は、工事施工中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。なお、施工中等に疑義が生じた場合は、随時、請負・発注者間で協議・確認を行うこととする。

(1) 着手前協議

着手前協議は、「参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート」に基づいて協議を行うものとする。

なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。

- ア 電子納品の対象範囲
- イ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ウ 電子化が困難な書類の取扱い
- エ CAD 作図の工種に関する作図基準及び適用工種(サブフォルダの有無及びファイル命名等含む)
- オ 基準にない項目の取扱い

(2) 検査前協議

検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、「参考資料2 検査前協議チェックシート」に基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。

- ア 検査日時・場所
- イ 検査に使用する機器の準備
- ウ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- エ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

成果品のファイル形式は次のとおりとする。

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

- ・ 工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

オリジナルファイル

- ・ 打合せ簿オリジナルファイル

打合せ簿オリジナルファイルは、基本的には、Word ファイル、Excel ファイル、画像ファイル(JPEG、TIFF)、図面ファイル(SXF(SFC)形式)、PDF 形式とする。

- ・ 施工計画書オリジナルファイル

施工計画書オリジナルファイルは、基本的には、Word ファイル、Excel ファイル、画像ファイル(JPEG、TIFF)とする。

- ・ その他のオリジナルファイル

その他のオリジナルファイルは、Word ファイル、Excel ファイル、画像ファイル(JPEG、TIFF)とする。

発注図・完成図ファイル

- ・ 図面ファイルのファイル形式については、SXF(SFC)形式とする。

写真ファイル

- ・ 写真ファイルのファイル形式については、JPEG とする。ただし、参考図ファイルは、JPEG 又は TIFF 形式とする。

【解説】

(1) 工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

(2) オリジナルファイル

ア オリジナルファイルのファイル形式は次のとおりとする。

- | | |
|---------|------------|
| ワープロソフト | Word ファイル |
| 表計算ソフト | Excel ファイル |
| 画像ファイル | JPEG、TIFF |

イ 用紙サイズは、A4 縦を基本とする。

ウ セキュリティの設定は行わない。

エ 特記仕様書・発注図・完成図は、発注者からデータ受領した場合のみ電子納品の対象とする。

オ 品質・出来形管理資料を電子納品する場合は、Word、Excel 及び PDF ファイルにより提出することとし、請負者等の押印は不要とする。

カ 発注者・請負者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。(ファイル形式等は各フォルダの規定に従う。)

キ 押印された書類は従来どおり紙納品とする。

ク 印刷・押印後の書類をスキャナにより、電子化し、電子納品する必要はない。

ケ スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。

コ 工事着手時に電子データを発注者から受領していないもの、電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。

サ 工事打合せ簿等に含まれる写真は、デジタル写真管理情報基準(案)の適用外とする。

シ Word、Excel のオリジナルファイルは、容量の縮小に努めること。

画像ファイルを Word、Excel ファイルに貼り付けた場合、ファイルの容量が大きくなる傾向がある。容量が大きくなると、CD-R の枚数が増える要因となることから、画像を貼り付けるファイル作成には次の点に留意をすること。

- (ア) 画像の貼り付けは、コピー貼り付けでは行わず、ファイルの挿入で行うこと。
- (イ) 画像ファイルは、トリミング、画素数の縮小、画像サイズの縮小及び圧縮率の変更等を行い、画像ファイルの容量を小さくして報告書ファイルに挿入すること。ただし、写真の内容に係る修正は認めない。

(3) 発注図・完成図ファイル

- ア SXF(SFC)形式とする。
- イ SXF 形式とは、CAD データ交換仕様に基づくファイル形式で、P21 形式と SFC 形式があるが、広島県では SFC 形式を採用する。
- ウ 各種 CAD ソフトで作成された図面を SXF(SFC)形式に変換して納品する場合、SXF ブラウザにて必ず図面チェックし、文字化けがないか等の確認行為を行うこと。

(4) 写真ファイル

- 黒板の文字等が確認できることを指標とし、100 万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。
- また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。
- なお、写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画 素 数	容量 / 枚	備 考
80 万画素 1024 × 768	200KB 程度	× 不可
120 万画素 1280 × 960	300KB 程度	
200 万画素 1600 × 1200	500KB 程度	
300 万画素 2048 × 1536	800KB 程度	

5.2 工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類

電子納品対象データは、次の図書を基本とし、契約に係る書類(特記仕様書を除く)については対象外とし、次のとおり実施する。

【解説】

表 5.2 電子成果品の対象範囲

項 目	作 成 者	フォルダ	電子納品対象
管理ファイル	請負者	-	必須
発注図面	発注者	DRAWINGS	条件付必須
特記仕様書	発注者	DRAWINGS SPEC	条件付必須
施工計画書	請負者	PLAN	協議
工事打合せ簿	発注者・請負者	MEET	協議
完成図面	請負者	DRAWINGF	条件付必須
写真 ¹	請負者	PHOTO	必須
工事履行報告書	請負者	OTHR	協議
段階確認書	請負者	OTHR	協議
その他	請負者	OTHR	協議
設備図書	請負者	FACILITY	協議

¹ 完成写真含む

- 必 須 : 電子納品を必須とする書類
- 条件付必須 : 発注者が請負者へ電子データを提供した場合に電子納品を必須とする書類
- 協 議 : 電子納品必須書類ではないが、積極的な電子化の取組みとして請負者からの申し出及び請負・発注者間で着手前協議が整った場合に対象とする書類

5.3 データの管理

電子納品対象データは定期的にバックアップを行うこと。

【解説】

電子納品対象の電子データは、工事着手から納品までの長期間にわたり、請負者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。

このようなトラブルからデータを守るため、定期的に電子媒体等(MO、CD-RW、DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこととする。

5.4 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「DRAWINGS」、「MEET」、「PLAN」、「DRAWINGF」、「PHOTO」、「OTHERS」、「FACILITY」のフォルダ及び工事管理ファイルを置く。また「MEET」、「PLAN」、「OTHERS」、「FACILITY」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。
ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

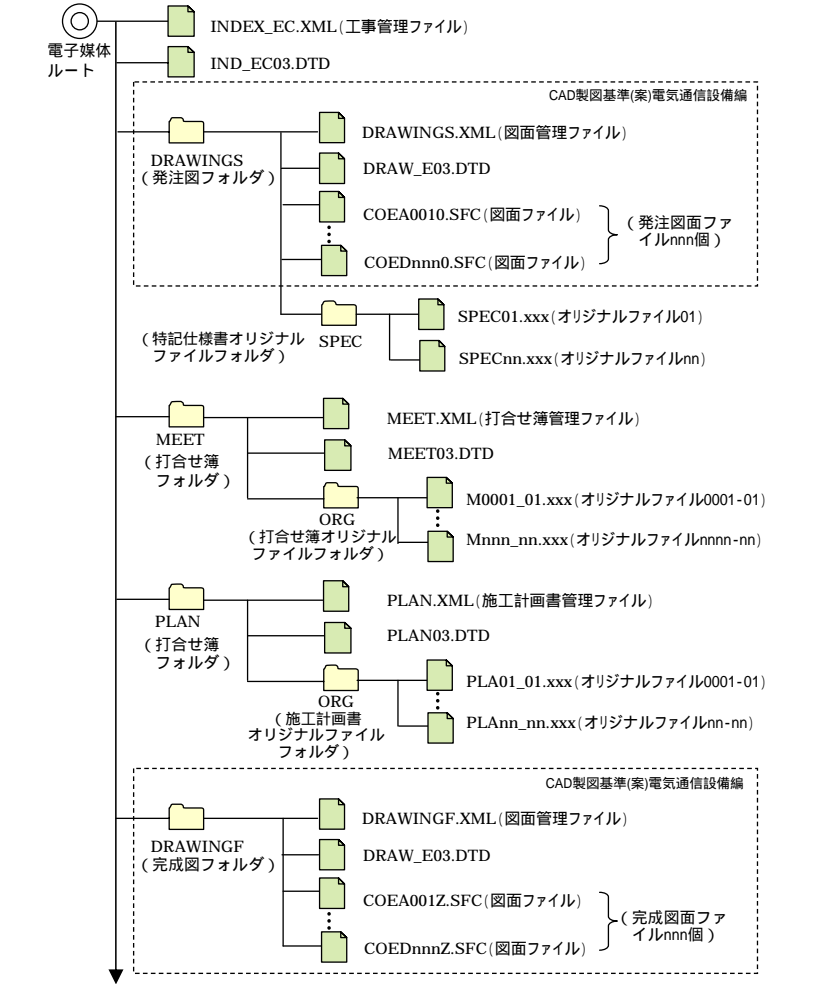


図 5.1 フォルダ構成(1/2)

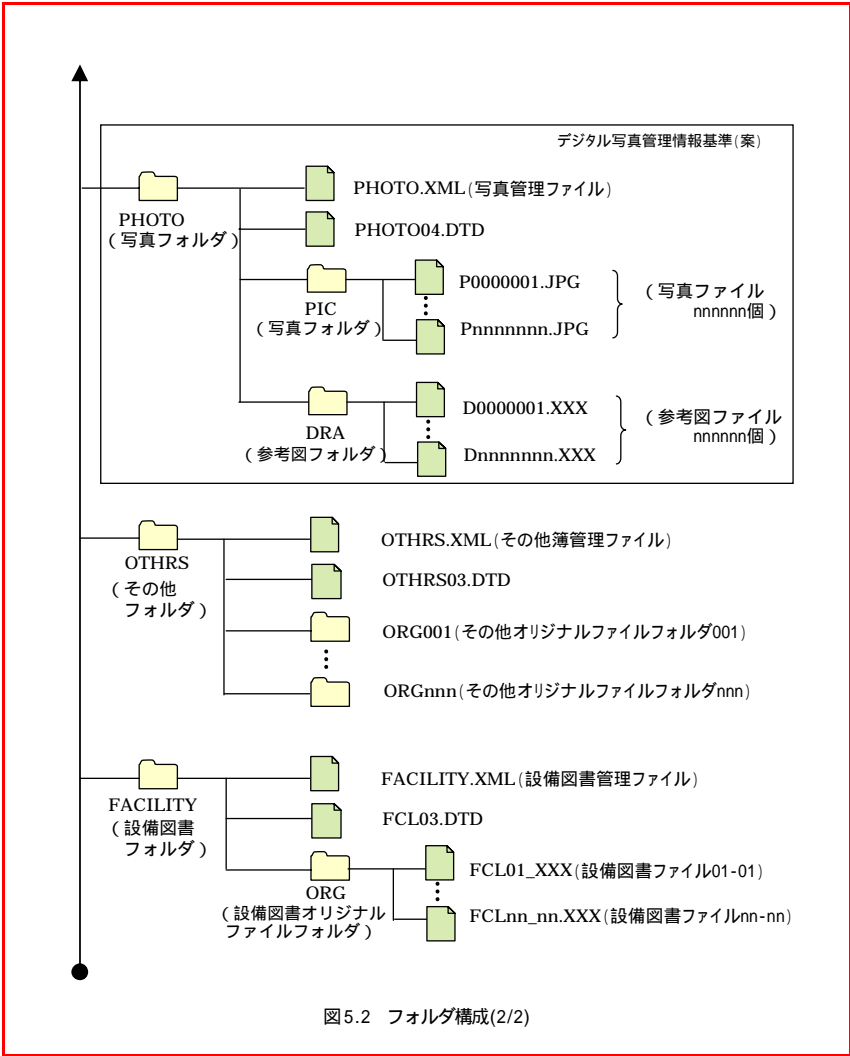
























図 5.2 フォルダ構成(2/2)

5.5 ファイル形式

電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。




電気通信工事に係る「発注図フォルダ」「打合せ簿フォルダ」「施工計画書フォルダ」「完成図フォルダ」「写真フォルダ」「その他フォルダ」

表 5.3 電気通信工事におけるフォルダ及び格納するファイル形式等(1/2)

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
《ROOT》		工事管理ファイル	XML , DTD	  INDEX_EC.XML IND_EC03.DTD
発注図 (DRAWINGS)		図面管理ファイル	XML , DTD	  DRAWINGS.XML DRAW_EC03.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	 CAD(SXF(SFC))ファイル
	(SPEC)	・ 特記仕様書	Word , Excel	 オリジナルファイル
	SPEC			
打合せ簿 (MEET)		打合せ簿管理ファイル	XML , DTD	  MEET.XML MEET03.DTD
	ORG	・ 工事打合せ簿 ・ 品質管理資料 ・ 出来形管理資料 ・ 安全管理資料 ・ その他の資料	Word , Excel PDF , SXF(SFC)	 オリジナルファイル
	ORG			
施工計画書 (PLAN)		施工計画書管理ファイル	XML , DTD	  PLAN.XML PLANC3.DTD
	ORG	・ 施工計画書	Word , Excel	 オリジナルファイル
	ORG			
完成図 (DRAWINGF)		図面管理ファイル	XML , DTD	  DRAWINGF.XML DRAW_EC03.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	 CAD(SXF(SFC))ファイル
写真 (PHOTO)		写真情報管理ファイル	XML , DTD	  PHOTO.XML PHOTO04.DTD
	PIC	・ 写真	JPEG	 オリジナルファイル
	PIC			
	DRA	・ 参考図	JPEG , TIFF	 オリジナルファイル
	DRA			
その他 (OTHR)		その他管理ファイル	XML , DTD	  OTHR.XML OTHRS03.DTD
	ORG	・ 工事履行報告書 ・ 段階確認書 ・ その他の資料	Word , Excel , PDF	 オリジナルファイル
	ORGnnn			
	OTHR			

電気通信工事に係る「設備図書フォルダ」

表 5.4 電気通信工事におけるフォルダ及び格納するファイル形式等(2/2)

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
設備図書 (FACILITY)		設備図書管理ファイル	XML , DTD	  FACILITY.XML FOL03.DTD
	ORG	・ 設備図書	Word , Excel	 オリジナルファイル
	ORG			

【解説】

CD-R 及び各フォルダの格納・整理イメージを参考として次頁に示す。

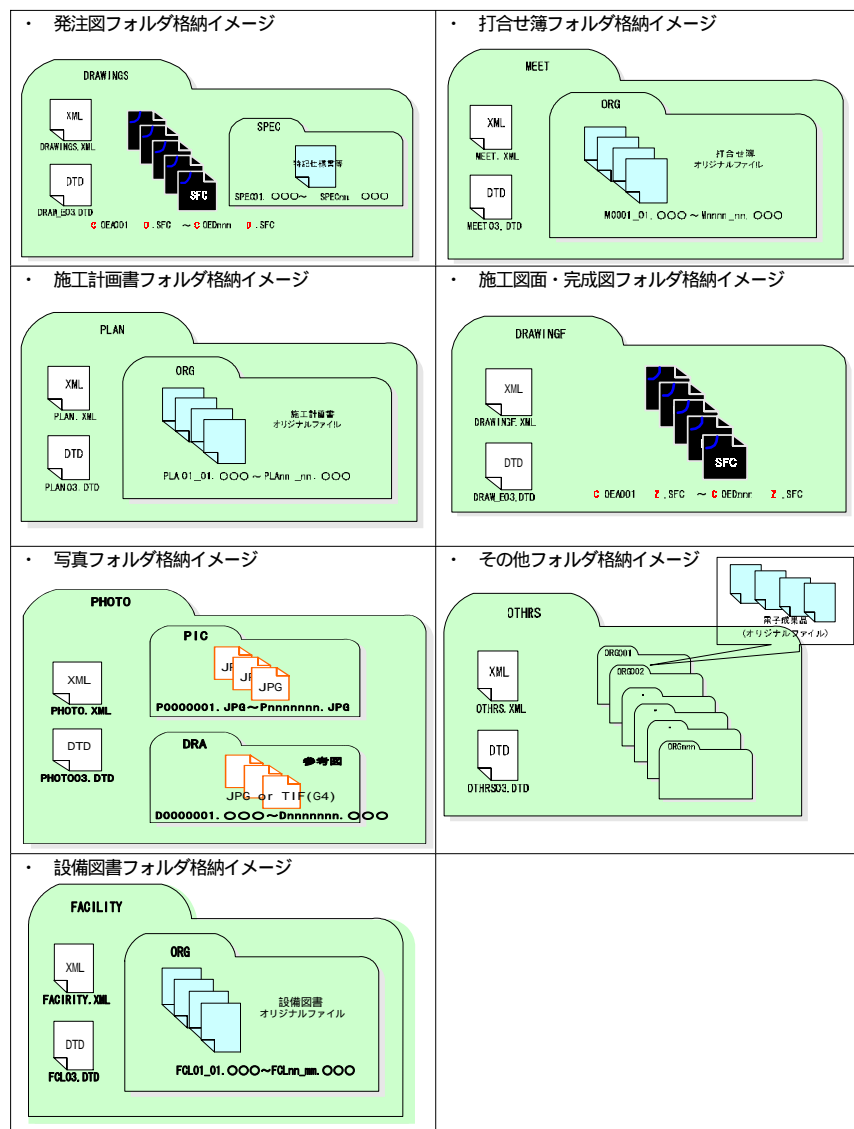


図 5.3 フォルダ構成 CD - R 及び各フォルダの格納・整理イメージ

5.6 ファイルの命名規則

ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。

ファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とする。

工事管理ファイルは「INDEX_EC.XML」とし、工事管理ファイルのDTDは「IND_EC03.DTD」(03は版番号)とする。

打合せ簿管理ファイルは「MEET.XML」とし、DTDは「MEET03.DTD」(03は版番号)とする。

施工計画書管理ファイルは「PLAN.XML」とし、DTDは「PLAN03.DTD」（03は版番号）とする。

その他管理ファイルは「OTHR.XML」とし、DTDは「OTHR03.DTD」(03は版番号)とする。

設備図書管理ファイルは「FACILITY.XML」とし、DTDは「FCL03.DTD」(03は版番号)とする。

図面管理ファイルは「DRAWINGS.XML」(発注図フォルダ)・「DRAWINGF.XML」(完成図フォルダ)とし、DTDは「DRAW_E03.DTD」(03は版番号)とする。

写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とし、DTDは「PHOTO04.DTD」(04は版番号)とする。

各管理ファイルのスタイルシート作成は任意とする。

なお、作成する場合のファイル名は、「INDEX_EC.XSL」、「MEET.XSL」、「PLAN.XSL」、「OTHR.XSL」、「DRAW_E03.XSL」、「PHOTO04.XSL」とする。

打合せ簿ファイルの命名規則は次のとおりとする。

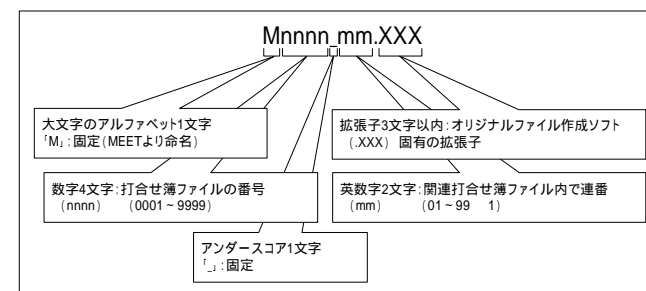


図5.4 打合せ簿オリジナルファイルの命名規則

施工計画書オリジナルファイルの命名規則は次のとおりとする。

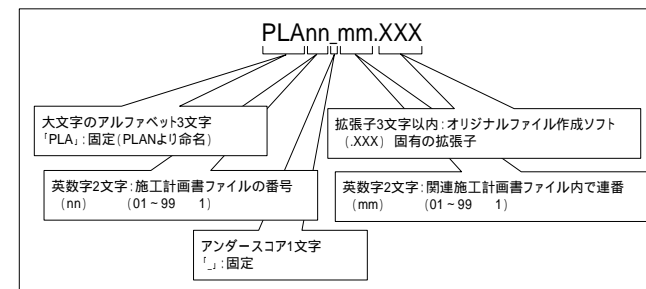
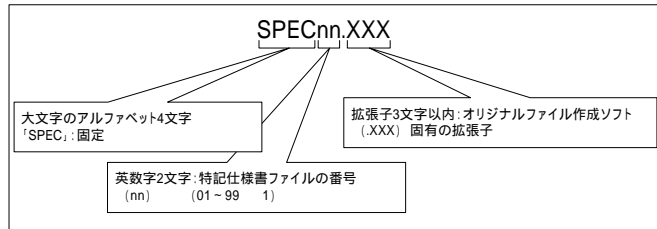
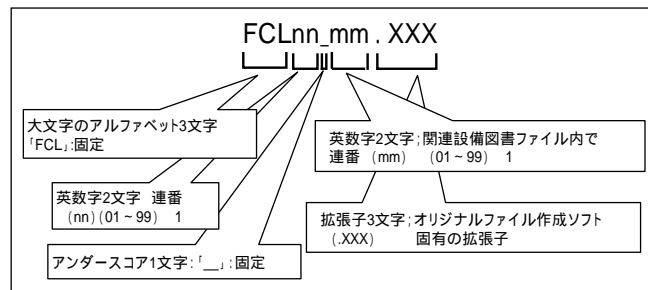


図5.5 施工計画書オリジナルファイルの命名規則

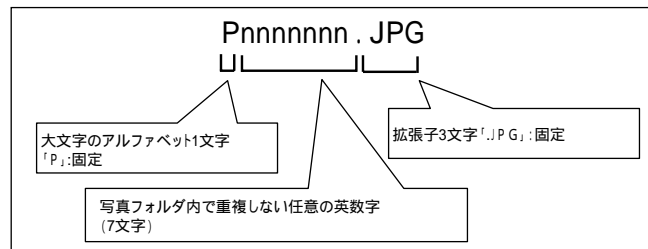
特記仕様書オリジナルファイルの命名規則は次のとおりとする。



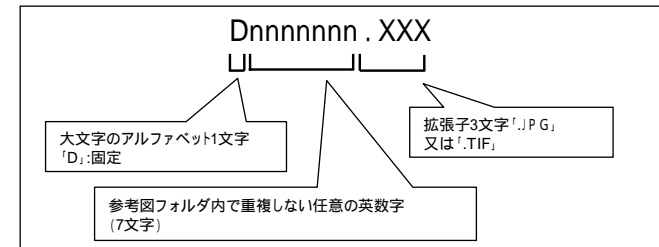
設備図書オリジナルファイルの命名規則は次のとおりとする。



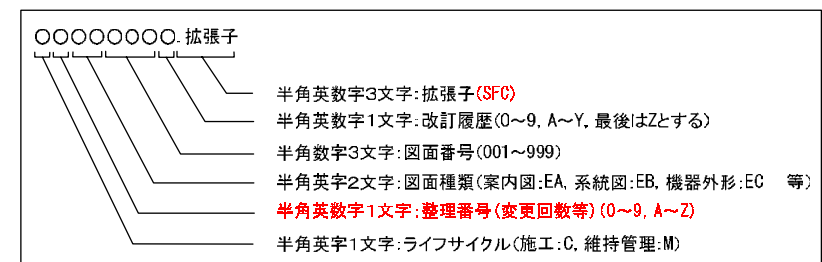
写真ファイルの命名規則は次のとおりとする。



参考図ファイルの命名規則は次のとおりとする。



CAD ファイルの命名規則は次のとおりとする。



【解説】

(1) 共通規則

ファイル名の文字数は、半角(1 バイト文字)で 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。ファイル名に使用する文字は、半角(1 バイト文字)で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。

オリジナルファイルの通し番号は、工事の経緯がわかるように日付昇順に付番号することを基本とする。

「ORGnn」サブフォルダに格納するファイル名は、5.6 オリジナルファイルの規則に準じ、発注者と協議する。

(2) 報告書オリジナルファイル

施工計画書等の文書は、複数のオリジナルファイルから構成されることがある。この場合、文書の構成が想定できるように、オリジナルファイルの 01(例: 図 5.5 施工計画書オリジナルファイルの命名規則「mm」)からの連番により、ファイルを区別することを基本とする。なお、欠番があっても構わない。

例) ワープロソフトファイル: M0001_01.doc

ワープロソフトファイル: M0001_02.doc

表計算ソフトファイル: M0001_03.xls

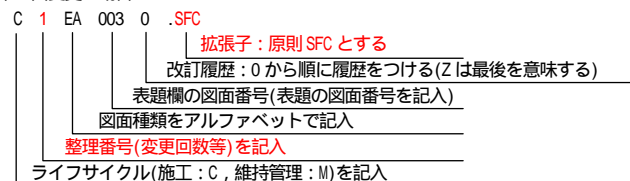
(3) 連番の扱い (1 について)

連番が 100 を超える場合は、以下のようにアルファベットを用いる。

- 例) 100～109 の場合...A0～A9 110～119 の場合...B0～B9
120～129 の場合...C0～C9

(4) CAD ファイルの命名規則

例) 第 1 回変更の場合



ア 拡張子は、広島県の CAD 図面のフォーマット形式である「SFC」となる。

イ 改訂履歴は、完成図(DRAWING フォルダ)は最後を意味する「Z」となる。発注図(変更設計を含む(DRAWINGS フォルダ))及び工事途中に請負・発注者間でファイルのやりとりをする場合は、「0」から順に履歴をつけて行うこと。ちなみに、「0」は、実施設計、変更設計時に請負者に提示する図面を意味する。

ウ 表題欄の図面番号は、CD-R に格納する図面の通し番号を記入する。(表題の図面番号ではないので注意のこと。)通し番号「葉之内 3」であれば、半角数字 3 文字「003」の記入となる。

エ 図面種類は、CAD 製図基準(案)に記載されているとおり、半角英字 2 文字で記入する。(案内図：EA，系統図：EB，機器外形：EC 等)

オ 整理番号は、変更回数等を半角英数字で記入する。変更設計の回数を記入は、設計変更回数 1 文字を記入する。変更設計とは、契約上の変更設計(第 1 回変更の場合は、「1」となる)を意味する。

カ ライフサイクルは、ライフサイクルを表す半角英字 1 文字を記入する。工事の場合は、「施工：C」，「維持管理：M」のいずれかとなる。

5.7 CAD ファイルに関する運用

原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。

また、該当工種がない場合は、類似した工種を準用することとし、準用する要領・基準および工種を事前協議において決定するものとする。

【解説】

工種の選定については、原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。

表 5.5 CAD ファイルに関する要領・基準とその工種一覧

要領・基準名称	対象工種
CAD 製図基準(案)電気通信設備編	電気通信設備工

- ・ 農林水産部所管事業において該当工種がない場合は、「電子化図面データの作成要領(案)電気通信設備編平成 17 年 4 月」を参考として事前協議において決定するものとする。

下水道事業の取扱いは、受発注者協議により定めるものとするが、参考として表 5.6 を示す。

表 5.6 下水道事業が準用する工種

事業(工種)種別	適用	
	要領・基準等	工種
下水道事業	CAD 製図基準(案)水処理施設編	下水道事業
	下水道施設 CAD 製図基準(案)	

5.8 発注用ファイル(発注図)の作成

発注者は、電子手段で発注する場合(電子データの提供)は、工事完成図書の電子納品要領(案)電気通信設備編による発注図フォルダに、CAD 製図基準(案)電気通信設備編に基づきファイルを作成・格納して請負者に提供する。

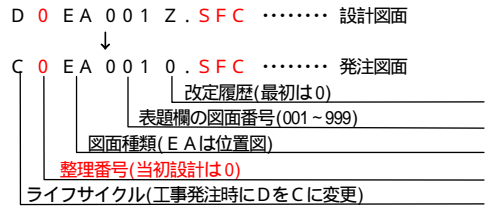
【解説】

- (1) ファイル形式
特記仕様書：オリジナルファイル(Word, Excel)
発注図面：SXF(SFC)形式

(2) 発注図の作成

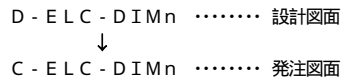
ア ファイル名の変更

設計図面を発注図面として提供する場合には、ファイル名称を変更する必要がある。
CAD データファイル名の先頭の文字を、発注する際のライフサイクル(業務段階：S-測量, D-設計, C-施工, M-維持管理)にあわせて「D(設計)」から「C(施工)」に付け替え、改訂履歴も「Z」から「0」に変更すること。



イ レイヤ名の変更

レイヤは、設計(業務)や工事の内容によって必要となるレイヤが異なる。このため、CAD 製図基準(案)に示した以外のレイヤが必要となる場合がある。CAD 製図基準(案)で示しているレイヤは、標準的に使用されているレイヤを示している。
設計図面を加工して、発注図面とする場合において、レイヤの図形要素を加工した場合は、そのレイヤ名の責任主体を、「D(設計)」から「C(施工)」に変更する必要がある。責任主体は該当するレイヤの図形要素を加工したときのみ変更し、レイヤの図形要素を加工しない場合は、責任主体を変更しない。
また、新規にレイヤを追加する場合は、図面管理項目の「新規レイヤ名(略語)」、「新規レイヤ名(概要)」に記述すること。



上記は、発注図面の作成において、レイヤに修正を加えたため、[設計] - [電気・通信系統] - [寸法]を、[施工] - [電気・通信系統] - [寸法]に変更したものである。

ウ 作業レイヤの作成

発注図面に記入する作業線は、作業レイヤを追加作成し記入すること。また、作業線はCAD 製図基準(案)電気通信設備編に基づき作図すること。

C - W O R K - 1 作業レイヤ1
(工事範囲等の旗揚げ、色塗り(赤ハッチ)、見え消し線(×, =),
工事の暫定計画線等の記入)

- (3) 特記仕様書の文章取り込み
特記仕様書を「DRAWINGS-SPEC」フォルダに格納すること。

5.9 請負・発注者間でのCAD ファイルの交換

請負・発注者間で CAD ファイルの交換・共有を行う場合等は、表 5.7 及び表 5.8 CAD ファイル命名参考例を参考にして、履歴管理を適切に行うこと。

【解説】

表 5.7 CAD ファイル命名参考例(電気通信設備)1/2

当初									
図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納フォルダ	作成者
	COEB0010.SFC	施工	0	系統図	1/4	0	当初発注図面「系統図」1/4	DRAWINGS	発注者
	COED0020.SFC	施工	0	詳細図	2/4	0	当初発注図面「詳細図」2/4		
	COED0030.SFC	施工	0	詳細図	3/4	0	当初発注図面「詳細図」3/4		
	COEF0040.SFC	施工	0	その他	4/4	0	当初発注図面「その他図面」4/4		

</

表 5.8 CAD ファイル命名参考例(電気通信設備)2/2

・工事打合せ、図面改訂

図面改訂その2

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納フォルダ	作成者
-2	COEB0015.SFC	施工	0	系統図	1/4	5	当初発注後、5回の図面改訂 「系統図」1/4	DRAWINGF	発注者 請負者
-2	COED0022.SFC	施工	0	詳細図	2/4	2	当初発注後、2回の図面改訂 「詳細図」2/4		
	COEF0030.SFC	施工	0	その他	3/4	0	新規に図面を追加 「その他図面」3/4		
-1	COEF0041.SFC	施工	0	その他	4/4	1	当初発注後、1回の図面改訂 「その他図面」4/4		

・完成図を作成

完成図

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納フォルダ	作成者
-3	COEB001Z.SFC	施工	0	系統図	1/4	Z	完成図 「系統図」1/4	DRAWINGF	請負者
-3	COED002Z.SFC	施工	0	詳細図	2/4	Z	完成図 「詳細図」2/4		
-1	COEF003Z.SFC	施工	0	その他	3/4	Z	完成図 「その他図面」3/4		
-2	COEF004Z.SFC	施工	0	その他	4/4	Z	完成図 「その他図面」4/4		

図面番号は完成図作成時に通し番号を付け直す。

納品するCD-R
DRAWINGFフォルダ内訳

DRAWINGF.XML

DRAW_E03.DTD

-3 COEB001Z.SFC

-3 COED002Z.SFC

-1 COEF003Z.SFC

-2 COEF004Z.SFC

5.10 電子媒体仕様及び納品

成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

CD-R の使用を原則とする。

CD-R は、ISO9660 フォーマット(レベル1)を標準とする。

基本的には、1 枚の CD-R に格納する。

複数枚の CD-R に格納する場合には、国土交通省の電子納品運用ガイドライン(案)【電気通信設備編】に従う。

納品時には、CD-R 3 部(正 1 部、副 2 部)納品するほか、次の書類も提出する。

- ・ 押印書類等の紙納品 1 部
- ・ 写真帳(ダイジェスト版) 1 部

【解説】

(1) 使用する媒体

ア 電子媒体に格納する成果品の真正性、見読性及び保存性を確保するため、CD-R を原則とする。

イ 本県においては、媒体(CD-R)で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。

(2) CD-R の論理フォーマット

CD-R の論理フォーマットは、ISO9660(レベル1)を標準とする。「ISO9660」は、汎用性が高い CD-R/RW 用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じてレベル1～3 が規定されている。最も多くの OS に対応可能なレベル1は、ファイル名 8 文字 + 拡張子 3 文字、使用できる文字は半角の英数文字(A～Z, 0～9)及び、_(アンダースコア)のみと、制限が厳しくなっている。

(3) CD-R の枚数

CD 枚数が増えないように、写真の画素数等を協議して決定すること。

(4) 複数枚の CD-R

提出する CD-R が複数枚になった場合は、参考資料 5 を参考にして作成すること。

(5) CD-R 以外に提出する書類

ア 押印書類等の紙納品 1 部

イ 写真帳(ダイジェスト版) 1 部

ウ その他、特に紙による納品の必要があるものについては、請負・発注者間で協議するものとする。

5.11 電子媒体の標記規則

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。

媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 工事名
- ・ 工事場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 請負者名
- ・ ウィルスチェックソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式：ISO9660(レベル1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 工事名

【解説】

(1) 項目の説明

ア 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載(発注者から通知)

イ 「工事名」 契約書に記載されている工事名を記載

ウ 「工事場所」 契約図書に記載されている工事場所を記載

エ 「作成年月」 工期の完成の年月を記載

オ 「何枚目 / 全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載

カ 「発注者名」 発注者の名称を記載(表記例参照)

キ 「請負者名」 請負者の名称を記載(表記例参照)

(2) 留意事項

ア CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成する。

イ CD-R は、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。

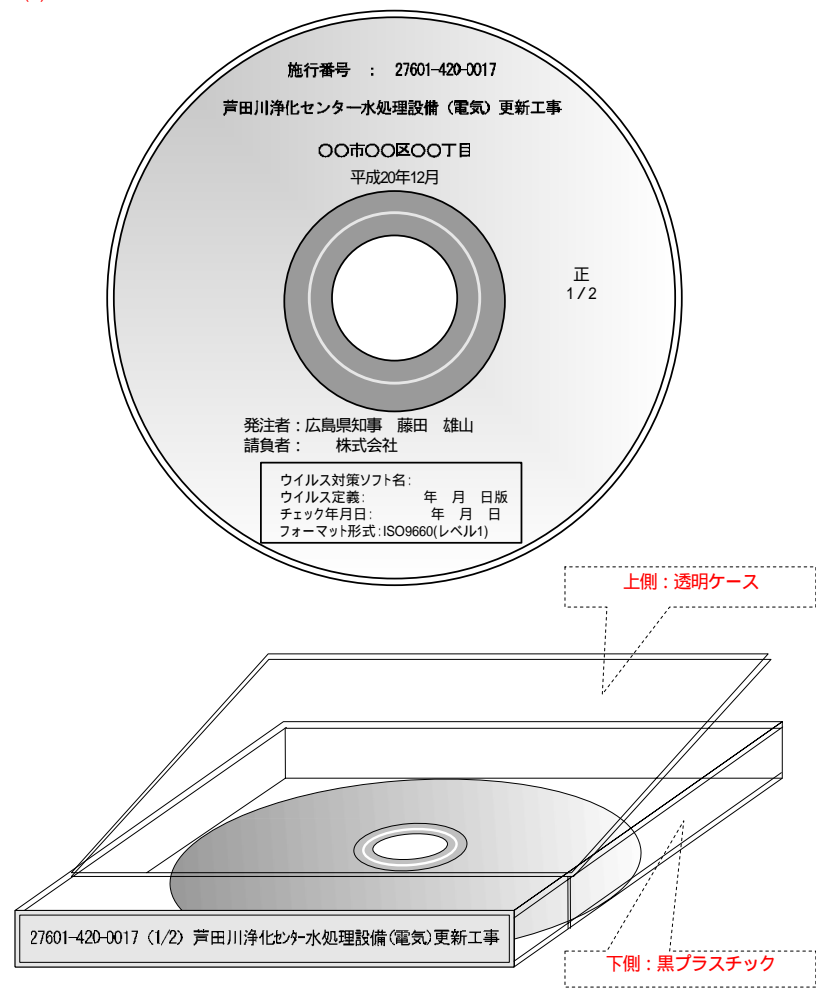
ウ CD-R へ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-R に損傷を与えることがあるので使用しないこと。

エ CD-R ケースは、薄型ケースは使用しないこと。(標準厚さのケースを使用すること)

オ CD-R ケースの底面は、CD-R を光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。

カ CD-R ケースの背表紙には、1 行で書けるところまで記入し、路線河川名等が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入すること。

(3) 標記例



CD-R ケースへの表記(例)

(通 常)	27601-420-0017(1/2) 芦田川浄化センター水処理設備(電気)更新工事
(長い場合)	27601-420-0017(1/2) 川 水処理設備(電気)

図 5.11 CD-R 表面及び CD-R ケースへの表記(例)

5.12 電子媒体の原本性の確保

請負者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

【解説】

請負者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日

電 子 媒 体 納 品 書

広島県知事 藤田 雄山 様

請負者 (所在地) 市 区 丁目
(商号又は名称) 株式会社 印

次のとおり電子媒体を納品します。

施行番号	27601-420-0017
工事名	芦田川浄化センター水処理設備(電気)更新工事
路線河川名等 (地区名)	-
工事場所	市 区 丁目
工期	着 手 平成 年 月 日 完 成 平成 年 月 日
電子媒体の全体枚数	枚 × 3部(正 1部, 副 2部)
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日
備考	1/2 : DRAWINGS, PLAN, MEET を格納 2/2 : DRAWINGF, PHOTO, OTHERS, FACILITY を格納

電子媒体は、CD-R(フォーマット「ISO9660」)のみとする。

図 5.12 電子媒体納品書の記載(例)

5.13 電子成果の確認

発注者は、電子成果品(CD-R)が広島県電子納品実施要領に従って正しく管理項目等が作成されているか、電子納品の対象書類が漏れなく格納されているかを電子媒体受領時に確認すること。

電子成果品(CD-R)の確認に当たっては、参考資料3 納品時チェックシートを使用し、チェックを行うこと。
また、納品時チェックシートは電子成果品と合わせて保管すること。

【解説】

(1) 電子媒体の外観確認

発注者は、電子媒体に破損のないこと、ラベルが正しく作成されていることを目視で確認すること。

(2) ウィルスチェック

発注者は、電子媒体に対しウィルスチェックを行うこと。

最新のウィルスも検出できるようにウィルスチェックソフトは常に最新のデータに更新(アップデート)しておくこと。

(3) 電子成果品の基本構成の確認

発注者は、電子成果品の基本的な構成が「広島県電子納品実施要領」に基づき作成されていることを、広島県のチェックシステムにより確認すること。

確認事項は次のとおり。

ア フォルダ構成(画面上での確認)

イ 工事管理ファイルについて、施行番号、工事名等の工事の基本的な情報の確認

(4) 電子成果品の内容の確認

発注者は、電子成果品の内容を確認すること。確認事項は次のとおり。

ア CADデータの確認

CADデータの電子成果品は、SXF(SFC)形式で納品するため、変換によるデータ欠落や表現の違いが生じることはないよう、目視確認及び広島県のCADチェックシステムによるデータチェックを行うこと。

発注者は、受取ったCADデータが事前に確認した図面の内容と同じであることを確認すること。

イ CADデータ以外の確認

CADデータ以外の電子成果品について確認を行うこと。

打合せ事項と電子成果品の内容との比較等を行い、内容に相違がないか確認すること。

6 検査(中間検査・完成検査)

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。

電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、請負・発注者間の協議により取り決めるものとする。

書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

6.1 中間検査の取扱い

中間検査の検査書類については、施工途中で電子納品作成段階であることも考慮し、請負者がどのように書類整理するかを判断し、検査前に監督員に報告することとする。

中間検査を電子データで行う際は、セキュリティの観点から請負・発注者双方において事前にウィルスチェックを行っておくこと。

6.2 書類検査

工事完成検査では、工事目的物を対象に工事の出来形、施工管理状況等について、契約書、設計図書と照合して検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。

【解説】

(1) 工事記録写真

写真データは、請負者の持つデータで検査を行ってもよいものとする。

(2) 出来形管理資料、工事関係図及び工事報告書等

発注図・完成図・出来形管理図等を検査する際には、請負者がCADデータをA3版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。

施工計画書、打合せ簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。

(3) 機器の操作

検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として請負者が行う。請負者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。

また、検査を効率的に行うために請負者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を監督員との協議により準備する。



図6.1 対象資料のイメージ(例)

6.3 現場検査

現場検査では、書類検査で利用した資料を基に受検すること。

【解説】

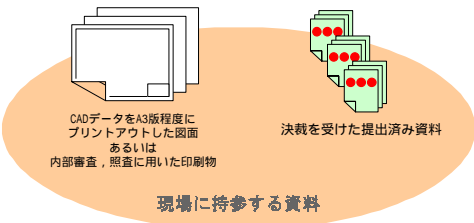


図 6.2 現場に持参する資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

7.1 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される基礎情報、ソフトウェア情報、工事情報からなる各管理項目を記入する。
ただし、一部広島県が定めた事項があるため、各管理項目の記入には留意すること。

【解説】

各管理項目(基礎情報、業務情報)を次頁以降に示す。

- (1) 記入者
 - : CORINS から出力される CSV ファイルから取り込むことが可能な項目 (CORINS 情報の記入に当たって、CORINS の規則に従うこと)
 - : 電子媒体作成者が記入する項目
 - : 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- (2) 必要度
 - : 必須記入項目(必ず記入する)
 - : 条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
 - : 任意記入項目(原則として空欄・特記すべき事項があれば記入する)
- (3) 摘要の記述
 - 空欄 = 国土交通省と同じ見解
 - 斜字 = 国土交通省の記載事項の具体的な説明
 - 太字下線 = 広島県が定めた事項
- (4) 記入上の注意
 - 全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角 1 文字に相当する。
データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては次のルールに従う。
 - ア 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。
例) 082-228-2111・・・・・・
0 8 2 - 2 2 8 - 2 1 1 1・・・・・・x
 - イ 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。
例) 契約図書：広島市中区基町 10 番 52 号・・・・・・
広島市中区基町 10-52・・・・・・x
広島市中区基町 1 0 番 5 2 号・・・・・・x
 - ウ 年月日の間にハイフン()を挿入すること。
例) 2007-03-26・・・・・・
20070326・・・・・・x

7.2 工事管理項目

電子媒体に格納する工事管理ファイル(INDEX_EC.XML)に記入する工事管理項目は、表7.1及び表7.2に示すとおりとする。

表7.1 工事管理項目(1/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県 摘要 記入例		データ 表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報	メディア番号	提出した電子媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。	1		半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した電子媒体の総枚数を記入する。	2		半角数字	8		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版 (「電通200406-01」で固定)を記入する。 (分野・電通・西暦年:2004_月・06_版・01)	電通200406-01		全角文字 半角英数字	30		
	発注図フォルダ名	発注図を格納するために「DRAWINGS」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「DRAWINGS」で固定)を記入する。	DRAWINGS		半角英数 大文字	127		
	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	特記仕様書を格納するために「SPEC」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「DRAWINGS/SPEC」で固定)を記入する。	DRAWINGS/SPEC		半角英数 大文字	127		
	打合せ簿フォルダ名	打合せ簿を格納するために「MEET」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「MEET」を記入する。	MEET		半角英数 大文字	127		
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	打合せ簿オリジナルファイルを格納するフォルダ名称「MEET/ORG」で固定)を記入する。	MEET/ORG		半角英数 大文字	127		
	施工計画書フォルダ名	施工計画書を格納するために「PLAN」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「PLAN」で固定)を記入する。	PLAN		半角英数 大文字	127		
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	施工計画書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称「PLAN/ORG」で固定)を記入する。	PLAN/ORG		半角英数 大文字	127		
	完成図フォルダ名	完成図を格納するために「DRAWINGF」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「DRAWINGF」で固定)を記入する。	DRAWINGF		半角英数 大文字	127		
	写真フォルダ名	写真を格納するために「PHOTO」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「PHOTO」で固定)を記入する。	PHOTO		半角英数 大文字	127		
	その他フォルダ名	その他資料を格納するために「OTHERS」フォルダを作成した場合はフォルダ名称「OTHERS」で固定)を記入する。	OTHERS		半角英数 大文字	127		
	その他オリジナルファイルフォルダ名	その他オリジナルファイルを格納するフォルダ名称「OTHERS/ORG001」で固定)を記入する。	OTHERS/ORG001		半角英数 大文字	127		
	その他オリジナルファイルフォルダ名	その他オリジナルファイルを格納するフォルダ名称「OTHERS/ORG001」で固定)を記入する。	OTHERS/ORG001		半角英数 大文字	127		
	設備図書フォルダ名	設備図書管理ファイルと設備図書オリジナルファイルフォルダを格納するフォルダ名称「FACILITY」で固定)を記入する。	FACILITY		半角英数 大文字	127		
	設備図書オリジナルファイルフォルダ名	設備図書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称「FACILITY/ORG」で固定)を記入する。	FACILITY/ORG		半角英数 大文字	127		
工事件名等	発注年度	工事の発注年度を西暦4桁で記入する。	2007		半角数字	4		
	工事番号	地方整備局単位で設定しているCCMS設計書番号を記入する。 契約図書の発行番号12桁を記入	276014200017		半角英数字	127		
	工事名称	契約図書に記載されている正式の工事名称を記入する。 契約図書の工事名を記入	施設 設備(電気)工事		全角文字 半角英数字	127		
	工事実績システム(バージョン)番号	管理項目の記入で参照しているCORINSのマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。	5.0		半角数字	12		
	工事分野	CORINSの「工事」の分類に従って記入する。	電気		全角文字 半角英数字	16		
	工事業種	CORINSの「工事」の業種に従って記入する。	電気工事		全角文字 半角英数字	16		
	工種	CORINSの「工種・工法・型式」の「工種」を記入する。(複数記入可)	電気設備工事		全角文字 半角英数字	127		
	工法型式	CORINSの「工種・工法・型式」の「工法・型式」を記入する(複数記入可)。	建設電気設備工		全角文字 半角英数字	127		
	住所コード	該当地域の住所コードをCORINSの表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。(複数記入可)	34223		半角数字	5		
	住所	該当地域の住所を記入する。(複数記入可)	必ず「広島県」を記入し、 契約図書の工事場所を記入 広島県広島市中区基町10番62号		全角文字 半角英数字	127		
	工期開始日	工期の開始日の年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成16年1月1日→2004-01-01	2007-10-01		半角数字 (-HYPHEN-MINUS)	10		
	工期終了日	工期の終了日の年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成16年12月3日→2004-12-03	2007-12-20		半角数字 (-HYPHEN-MINUS)	10		
	工事内容	工事概要及び主工種とその数量を記入する。 契約図書の工事概要を記入	受変電設備:1500KVA 自家発電設備:500KVA		全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要回数繰り返す。

表7.2 工事管理項目(2/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県 摘要 記入例		データ 表現	文字数	記入者	必要度
測量情報	測地系	日本測地系、世界測地系(日本測地系2000)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(日本測地系2000)は「01」を記入する。	01		半角数字	2		
	対象水系路線名	CORINSの路線・水系名等に従って記入する。複数の路線水系にまたがる工事の場合、関連する路線・水系名を記入する。当該情報が複数ある場合の記入方法は付属資料3を参照のこと。	太田川流域		全角文字 半角英数字	127		
	現道・旧道区分	「現道:1」、「旧道:2」、「新道:3」、「未調査:0」のいずれかを記入する。	1		半角数字	1		
	対象河川コード	「河川コード仕様書(案)」に準拠し発注者が指示する河川コードを記入する。	原則として空欄		半角数字	10		
	左右岸上下線コード	河川の左岸・右岸の別または道路の上下線の別を示す左右岸上下線コードを記入する。(複数記入可)	原則として空欄		半角数字	2		
	測点情報	起点側測点-n	(自)n+m nを4桁で記入する。	0015	半角数字	4		
		起点側測点-m	(自)n+m mを3桁で記入する。	008	半角数字	3		
		終点側測点-n	(至)n+m nを4桁で記入する。	0016	半角数字	4		
		終点側測点-m	(至)n+m mを3桁で記入する。	005	半角数字	3		
		起点側距離標-n	(自)n+m nを3桁で記入する。	原則として空欄	半角数字	3		
		起点側距離標-m	(自)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄	半角数字	3		
	境界座標情報	終点側距離標-n	(至)n+m nを3桁で記入する。	原則として空欄	半角数字	3		
		終点側距離標-m	(至)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄	半角数字	3		
		西側境界座標緯度	対象領域の最西端の外部境界の緯度を記入する。 (度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料4により記入 1322710	半角数字 (-HYPHEN-MINUS)	8		
		東側境界座標緯度	対象領域の最東端の外部境界の緯度を記入する。 (度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料4により記入 1323510	半角数字 (-HYPHEN-MINUS)	8		
		北側境界座標緯度	対象領域の最北端の外部境界の緯度を記入する。 (度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料4により記入 0342400	半角数字 (-HYPHEN-MINUS)	8		
		南側境界座標緯度	対象領域の最南端の外部境界の緯度を記入する。 (度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料4により記入 0342000	半角数字 (-HYPHEN-MINUS)	8		
発注者情報	施設名称	施設名称を記入する。	東部浄化センター		全角文字 半角英数字	127		
	発注者・大分類	CORINSの「発注機関名・中分類」に従い、発注者の番号名、団体名等を記入する。	「広島県」と記入 広島県		全角文字 半角英数字	16		
	発注者・中分類	CORINSの「発注機関名・小分類」に従い、発注者の局名、支社名等を記入する。	CORINSの「発注機関名・小分類」とは該当する名称を記入 都市部都市事業局下水道室		全角文字 半角英数字	32		
	発注者・小分類	CORINSの「発注機関名・細分類」に従い、記入する。	CORINSの「発注機関名・細分類」とは該当する名称を記入 都市部都市事業局下水道室		全角文字 半角英数字	30		
	発注者コード	CORINSの「発注機関コード」に従い、発注者のコードを記入する。大分類(1桁)、中分類(2桁)、小分類(2桁)、細分類(3桁)をあわせ、8桁で取り扱う。	33401007		半角数字	8		
	請負者名	請負者の正式名称を記入する。請負者の正式名称を記入する。JVの場合には、JVの正式名称及び代表会社名を続けて記入する。	株式会社		全角文字 半角英数字	127		
予備	請負者コード	発注者が定める請負者コードを記入する。国土交通省では、各地方整備局で請負者コードを数値化している。	施設建設許可番号を記入 34012345		半角数字	127		
	ソフトウェア用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要回数繰り返す。

7.2 打合せ簿管理項目

電子媒体に格納する打合せ簿管理ファイル(MEET.XML)に記入する管理項目は、表 7.3 に示すとおりとする。

表 7.3 打合せ簿管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
打合せ簿情報	シリアル番号	打合せ簿の通し番号を記入する。連番を原則とするが、やむを得ない理由である場合は中抜け(欠番)してもよい。(12番目を「00012」の様に0を付けて表現してはならない。)		1	半角数字	15		
	上位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿が派生した上位にあたる打合せ簿のシリアル番号を記入する。(本項目はシリアル番号の属性として保持)		3	半角英数字	15		
	下位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿から派生した下位にあたる打合せ簿のシリアル番号を記入する。(本項目はシリアル番号の属性として保持)		2	半角英数字	15		
	打合せ簿種類	打合せ簿の種類を記入する。 (「指示」「承諾」「協議」「提出」「提示」「報告」「通知」)	指示		全角文字 半角英数字	16		
	打合せ簿名称	打合せ簿の種類もしくは打合せ簿の内容を簡潔に記入する。	工程に関する打合せ		全角文字 半角英数字	127		
	管理区分	「施工管理」「安全管理」「出来形管理」「品質管理」「出来高管理」「原価管理」「工程管理」「写真管理」等の管理区分を記入する。	施工管理		全角文字 半角英数字	127		
	関連資料	関連する図面がある場合は、図面管理項目の(関連ファイル名)を記入する。(複数記入可)	C0PL00300.SFC		半角英大文字	12		
	シリアル番号	関連する写真がある場合は、写真管理項目の(シリアル番号)を記入する。(複数記入可)	100		半角数字	7		
	作成者	打合せ簿の作成者を記入する。(請負者、現場代理人、請負者、主任技術者、発注者、現場監督員など)	建設株式会社 広島一郎		全角文字 半角英数字	127		
	提出先	打合せ簿の提出先(発注者、請負者)を記入する。	発注者		全角文字 半角英数字	127		
1	発行日付	発行元が打合せ簿を発行した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成16年1月1日→2004-01-01	2007-10-01		半角数字 (-HYPHEN-MINUS)	10		
	受理日付	提出先担当者が打合せ簿を受理した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成16年4月20日→2004-04-20	2007-10-02		半角数字 (-HYPHEN-MINUS)	10		
	完了日付	発注者又は請負者が処理・回答した年月日がある場合はCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成16年6月9日→2004-06-09	2007-10-05		半角数字 (-HYPHEN-MINUS)	10		
	オリジナルファイル名	打合せ簿のファイル名を記入する。(拡張子を含む)	M0001_01.DOC		半角英大文字	12		
	打合せ簿オリジナルファイル日本語名	打合せ簿ファイルに関する日本語名を記入する。	に関する打合せ簿 0001_01.DOC		全角文字 半角英数字	127		
	打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報	打合せ簿オリジナルファイルを作成したソフトウェア名とバージョンを記入する。	Microsoft Word 98		全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは打合せ簿オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。	の協議に関する事項の鏡		全角文字 半角英数字	127		
	請負者説明文	請負者側で打合せ簿に関して特記すべき事項がある場合は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	発注者説明文	発注者側で打合せ簿に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	予備	電子化が困難等の理由により請負・発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

1 打合せ簿情報以下は、打合せ簿の数を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの打合せ簿に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.3 施工計画書管理項目

電子媒体に格納する施工計画書管理ファイル(PLAN.XML)に記入する管理項目は、表 7.4 に示すとおりとする。

表 7.4 施工計画書管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
1	シリアル番号	施工計画書の通し番号を記入する。提出時の電子媒体を通して、一通のまとまった施工計画書についてユニークであれば、中抜けしてもよい。(12番目を「00012」の様に0を付けて表現してはならない。)		1	半角数字	15		
	施工計画書名称	施工計画書の標題を記入する。		施工計画書	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル名	施工計画書の文書、図面等オリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)	PLA01_01.DOC		半角英大文字	12		
	施工計画書オリジナルファイル日本語名	施工計画書ファイルに関する日本語名を記入する。	施工計画書.DOC		全角文字 半角英数字	127		
	施工計画書オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報	施工計画書オリジナルファイルの作成ソフトウェア名とバージョン情報を記入する。	Microsoft Word 98		全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは施工計画書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。	工事概要、現場組織図、安全管理		全角文字 半角英数字	127		
	請負者説明文	請負者側で施工計画書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	発注者説明文	発注者側で施工計画書に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	予備	電子化が困難等の理由により請負・発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)	紙資料： 施工手順書		全角文字 半角英数字	127		
	ソフトウェア用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

1 施工計画書情報以下は、施工計画書の数を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの施工計画書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.4 その他資料管理項目

電子媒体に格納するその他管理情報ファイル(OTHERS.XML)に記入する管理項目は、表 7.5 に示すとおりとする。

表 7.5 その他資料管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
サブ フォル ダ 情 報 1	その他サブフォルダ名	作成したその他サブフォルダ名 (ORG001～nnn)を記入する。		ORG002	半角英数 大文字	6		
	その他サブフォルダ日本語名	格納している資料の内容がわかるよう にフォルダの日本語名を記入する。		段階確認書	全角文字 半角英数字	127		
	資料名	その他サブフォルダ名に格納している 資料名を記入する。		に関する段階確認書	同上	127		
	オリジナル ファイル 情報 1	シリアル番号はより開始する。提出時 の電子媒体を通して、一連のまとま った資料についてユニークであれば、 中抜けしても良い。2番目を、"00002" の様に0を付けて表現してはいいけ ない。		1	半角数字	15		
		オリジナルファイル名を記入する。(括 弧付きを含む)		CHK01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
		オリジナルファイル日本語名を記入 する。		20071109段階確認書.DOC	全角文字 半角英数字	127		
		オリジナルファイルの作成ソフトウェ ア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft_Word_2000	同上	127		
		オリジナルファイルの内容、もしくはオ リジナルファイルに示されていることを 記入する。		に関する段階確認書	同上	127		
	2	電子化が困難等の理由により読取・発 注者で協議した結果、紙で納品する 添付資料がある場合は資料名を記入 する。説明文以外で特記すべき事項 があれば記入する。(複数記入可)			同上	127		
		読負者側で特記すべき事項がある場 合は記入する。			同上	127		
		発注者側で特記すべき事項がある場 合(発注者から指示を受けた場合)は 記入する。		段階確認書が重要書類である ことから格納する	同上	127		
	その他	読負者側で特記すべき事項がある場 合は記入する。			同上	127		
	発注者側で特記すべき事項がある場 合(発注者から指示を受けた場合)は 記入する。			段階確認書が重要書類である ことから格納する	同上	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使 用する。(複数記入可)			同上	127		

- 1 その他資料情報以下は、その他資料情報の数分を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの工事履行報告書又は段階確認書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.5 設備図書管理項目

電子媒体に格納する設備図書管理情報ファイル(FACILITY.XML)に記入する管理項目は、表 7.6 に示すとおりとする。

表 7.6 設備図書管理項目

分類・項目名		国 土 交 通 省 記入内容	広 島 県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
設備図書情報	シリアル番号		設備図書の通し番号を記入する。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった設備図書についてユニークであれば、中抜けしても良い。12番目を、"00012"の様に0を付けて表現してはいいけない。	1	半角数字	15		
	設備図書名称		設備図書の標題を記入する。	施工図	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル情報	設備図書オリジナルファイル名	設備図書の文書、図面等のオリジナルファイル名を記入する。(括弧子を含む)	FCL01_01.DWG	半角英数 大文字	12		
		設備図書オリジナルファイル日本語名	設備図書ファイルに関する日本語名を記入する。	設備据付詳細図.DWG	全角文字 半角英数字	127		
		設備図書オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報	設備図書オリジナルファイルの作成ソフトウェア名とバージョン情報を記入する。	CAD Ver2005	全角文字 半角英数字	127		
		オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは設備図書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。	設備据付詳細図	全角文字 半角英数字	127		
	その他	読負者説明文	読負者側で設備図書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。		全角文字 半角英数字	127		
		発注者説明文	発注者側で設備図書に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。		全角文字 半角英数字	127		
		予備	電子化が困難等の理由により読負・発注者で協議した結果、紙納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)	紙資料： 図	全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

- 1 その他資料情報以下は、その他資料情報の数分を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの工事履行報告書又は段階確認書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.6 図面管理項目

電子媒体に格納する図面管理情報ファイル(DRAWING.XML)に記入する管理項目は、表 7.7 及び表 7.8 に示すとおりとする。

表 7.7 図面管理項目(1/2)

分類・項目名			国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
				摘 要	記入例				
共通情報 *2)	1	適用要領基準 *A)	図面作成時に適用した「本基準(案)」を電通 2004 06-01 等の記入例に従い記入する。 (分野:電通、西暦年:2004、月:06、版:01)		電通200406-01	全角文字 半角英数字	30		
	2	対象工種(数値) *B)	「本基準(案)」で対象とする24工種と地質を 001～025の数値で記入する。その他の追加工種があるときは、追加工種を100～999の数値で記入する。なお、100～999の数値を記入した場合には、3、4を必ず記入する。		001	半角数字	3		
	3	追加対象工種(数値)	「本基準(案)」で定義していない工種を追加する場合は、100～999の数値を記入する。			半角数字	3		
	4	追加対象工種 *1)	上記の追加工種の概要を具体的に記入する。(3とセットで複数入力可)			全角文字 半角英数字	127		
	5	サブフォルダ名称	サブフォルダを作成したときのサブフォルダ名称を、記入する。重複名称は不可。			半角英数字	8		
	6	追加サブフォルダ名称の概要	上記のサブフォルダの概要を具体的に記入する。(5とセットで複数入力可)			全角文字 半角英数字	127		
図面情報 *2)	7	図面名	表題欄に記述する図面名を記入する。		系統図	全角文字 半角英数字	64		
	8	図面ファイル名	図面ファイルのファイル名の拡張子を含めて記入する。		DOEB001Z.SFC	半角英数字 大文字	12		
	9	作成者名	表題欄に記述する会社名を記入する。		電気株式会社	全角文字 半角英数字	32		
	10	図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。		CAD Ver2005	全角文字 半角英数字	64		
	11	縮尺	縮尺を記入する。 複数の縮尺が混在する場合は、代表縮尺を記入する。		1/	半角英数字	16		
	12	図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入する。		1	半角数字	3		
	13	対象工種 *B)(数値)	「本基準(案)」で対象とする24工種と地質を 001～025の数値で記入する。その他追加工種があるときは、追加工種を100～999の数値を昇順で記入する。		001	半角数字	3		
	14	格納サブフォルダ	図面を格納した追加サブフォルダ名を記入する。			半角英数字	8		

1 その他資料情報以下は、その他資料情報の数分を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの工事履行報告書又は段階確認書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

表 7.8 図面管理項目(2/2)

分類・項目名			国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
				摘 要	記入例				
図面情報 *2)	15	測地系	日本測地系(旧測地系)、世界測地系(新測地系)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系は「01」を記入する。		01	半角数字	2		
	16	基準点情報 緯度	図面中の1点の緯度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「-」 (HYPHEN-MINUS)を記入する。		1384115	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		() *3)
	17	基準点情報 経度	図面中の1点の経度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」 (HYPHEN-MINUS)を記入する。		352250	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
	18	基準点情報 平面直角座標 系番号	図面中の1点の平面直角座標(19系)の系番号で記入する。			半角英数字	2		() *3)
	19	基準点情報 平面直角座標 X座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をX座標で記入する。			半角英数字	11		
	20	基準点情報 平面直角座標 Y座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をY座標で記入する。			半角英数字	11		
	21	新規レイヤ *C)	「本基準(案)」で定義していないレイヤを追加する場合に、基準(案)に準じたレイヤ名称11文字以内の半角英数字で記入する。		D-ELC-FRAM	半角英数字	11		
	22	新規レイヤ名 *4)	上記23で追加した新規レイヤに関する内容を記入する。		系統図の凡例図枠	全角文字 半角英数字	127		
	23	請負者説明文	請負者側で図面に付けるコメントを記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	24	発注者説明文	発注者側で図面に付けるコメントを記入する。			全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG			ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

7.7 写真管理項目

電子媒体に格納する写真管理情報ファイル(PHOTO.XML)に記入する管理項目は、表 7.9 及び表 7.10 に示すとおりとする。

表 7.9 写真管理項目(1/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
基礎情報	写真フォルダ名	写真ファイルを格納するフォルダ名称(PHOTO/PICで固定)を記入する。		POTO/PIC	半角英大文字	127		
	参考図フォルダ名	参考図ファイルを格納するために「DRA」サブフォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTO/DRAで固定)を記入する。		POTO/DRA	半角英大文字	127		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「土木 200601-01」で固定)を記入する。 (分野:土木、西暦年:2006、月:01、版:01)		電通200601-01	全角文字 半角英数字	30		
写真 フ ィ ー ル 情 報	シリアル番号	写真通し番号、提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真についてユニークであれば、中接けしてもよい、123枚目を、「000123」の様に0を付けて記入してはいいない。		1	半角数字	7		
	写真ファイル名	写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する。		P0000001.JPG	半角英数大文字	12		
	写真ファイル 日本語名	写真ファイルに関する日本語名簿を記入する。		出来形0001.JPG	全角文字 半角英数字	127		
	メディア番号	一連のまとまった写真について、保存されている電子媒体番号を記入する。単一の電子媒体であれば全て「1」となる。		1	半角数字	8		
	写真・大分類	写真を撮影した業務の種類を「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」から選択して記入する。工事写真は常に「工事」と記入する。		工事	全角文字 半角英数字	8		
	写真区分	写真管理基準(案)の分類に準じ、「着事前及び完成写真」「既設部分写真等を含む」「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」「その他(公害、環境、補償等)」の区分のいずれかを記入する。大分類が「工事」でない場合は、自由記入とする。		出来形管理写真	全角文字 半角英数字	127		
	工種	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着事前及び完成写真:×」「施工状況写真:」」「安全管理写真:」」「使用材料写真:」」「品質管理写真:」」「出来形管理写真:」」「災害写真:×」「その他:×」とする。 (「」:記入、「」:記入可能な場合は記入、×:記入は不要とし空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		運転操作設備工	全角文字 半角英数字	127		
	種別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着事前及び完成写真:×」「施工状況写真:」」「安全管理写真:×」「使用材料写真:」」「品質管理写真:×」「出来形管理写真:」」「災害写真:×」「その他:×」とする。 (「」:記入、「」:記入可能な場合は記入、×:記入は不要とし空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		盤据付工	全角文字 半角英数字	127		
	細別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着事前及び完成写真:×」「施工状況写真:」」「安全管理写真:×」「使用材料写真:」」「品質管理写真:×」「出来形管理写真:」」「災害写真:×」「その他:×」とする。 (「」:記入、「」:記入可能な場合は記入、×:記入は不要とし空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		架台据付工	全角文字 半角英数字	127		
	写真タイトル	写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、撮影時期に相当する内容を記入する。		盤架台出来形測定	全角文字 半角英数字	127		
	工種区分予備	工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.10 写真管理項目(2/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
写真 情 報	参考図ファイル名	撮影位置図、凡例図等の参考図のファイル名を記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に同じ、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を読取者が作成している場合に記入する。		D0000001.JPG	半角英数大文字	12		
	参考図ファイル 日本語名	参考図ファイルに関する日本語名等を記入する。		位置平面図00001.JPG	全角文字 半角英数字	127		
	参考図タイトル	参考図の内容が判るようなタイトルを記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に同じ、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を読取者が作成している場合に記入する。		位置平面図	全角文字 半角英数字	127		
	付加情報予備	参考図、撮影箇所等に関して特殊事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
	撮影箇所	当該写真に関する測点位置、撮影対象までの距離、撮影内容等を簡潔に記入する。撮影位置図上に複数撮影位置が記載されている場合には、位置図上の記号等を記入する。	機 室		全角文字 半角英数字	127		
	撮影年月日	写真を撮影した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が桁の数の場合、「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成18年02月28日 →2006-02-06		2007-11-30	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)-	10		
代表写真		工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入する。		1	半角数字	1		
施工管理値		黒板の判読が困難な場合、設計寸法及び実測寸法等の補足事項を記入する。			全角文字 半角英数字	127		
読取者説明文		読取者側で検査立会者、特筆事項があれば記入する。			全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。 (複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

参考資料 1 着手前協議チェックシート(広島県様式)

電気通信設備編

着手前(変更)協議チェックシート

実施日平成 年 月 日

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

施行番号	-	
工事名		
工事場所		
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
	連絡先(e-mail)	@ pref.hiroshima.lg.jp
請負者	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
	連絡先(e-mail)	@

2 電子納品データ作成ソフトの確認

文書ファイル(ワープロ)	(Ver.)
表計算ファイル(表計算ソフト)	(Ver.)
図面ファイル(CADソフト)	(Ver.)
写真ファイル	(Ver.)
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)	(Ver.)
その他	(Ver.)
その他	(Ver.)
その他	(Ver.)

電気通信設備編

着手前(変更)協議チェックシート

3 電子納品対象項目

	電子納品	紙	備考
工事管理情報ファイル			
必須			
発注図面フォルダ(DRAWINGS)			
図面管理ファイル	XML		条件付必須
発注図面	SXF(SFC)		条件付必須
特記仕様書	WORD EXCEL		条件付必須
オリジナルファイル	その他()		条件付必須
打合せ簿フォルダ(MEET)			
打合せ簿管理ファイル	XML		
打合せ簿	WORD EXCEL		
	その他()		
施工計画書フォルダ(PLAN)			
施工計画書管理ファイル	XML		
施工計画書	WORD EXCEL		
オリジナルファイル	その他()		
完成図面フォルダ(DRAWINGF)			
図面管理ファイル	XML		条件付必須
図面ファイル	SXF(SFC)		条件付必須
写真フォルダ(PHOTO)			
写真情報管理ファイル	XML		必須
写真ファイル	JPEG		必須
参考図ファイル	JPEG TIFF		必須
その他フォルダ(OTHR)			
その他管理ファイル	XML		
工事履行報告書	WORD EXCEL		
	その他()		
段階確認書	WORD EXCEL		
	その他()		
施設台帳	WORD EXCEL		必須
	その他()		
完成図	CAD()		必須
その他オリジナル	WORD EXCEL		
	その他()		
設備図書フォルダ(FACILITY)			
設備図書管理ファイル	XML		
設備図書	WORD EXCEL		
オリジナルファイル	その他()		

他の書類は、紙媒体での納品とする。

電気通信設備編

着手前(変更)協議チェックシート

4 遵守するべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。
準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	広島県電子納品実施要領【電気通信設備編】	平成20年●月	広島県
	工事完成図書の電子納品要領(案)電気通信設備編	平成16年6月	国土交通省
図面	CAD製図基準(案)電気通信設備編	平成16年6月	
	CAD製図基準(案)処理施設編(参考)	平成17年3月	社団法人全国上下水道 コンサルタント協会
	下水道施設CAD製図基準(案)(参考)	平成19年8月	日本下水道事業団
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	国土交通省

なお、次に国土交通省等がまとめた要領・ガイドラインを参考として示す。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	電子納品運用ガイドライン(案)電気通信設備編	平成16年5月	国土交通省

5 コンピュータウイルス対策(請負者側)

使用ソフトウェア名	Norton AntiVirus (Ver.)
	ウイルスバスター (Ver.)
	Virus Scan (Ver.)
	その他()
ウイルスチェックソフトの常駐	インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウイルスチェックソフトを常駐させる。
ウイルスチェックの実施	外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。
ウイルスパターン定義データの更新	管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウイルス発見・駆除時の対応	ウイルスが発見された場合には、管理責任者がウイルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制(請負者側)

バックアップ頻度	バックアップ作業を1日1回以上行う その他()
バックアップ媒体	MO(光磁気ディスク)
	CD-RW(追記可能コンパクトディスク)
	外付けハードディスク
	その他()
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業者名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

参考資料2 検査前協議チェックシート(広島県様式)

電気通信設備編

検査前協議チェックシート

実 施 日 平成 年 月 日

施行番号	- -
工事名	
工事場所	
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
発注担当者	
請負担当者	

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所	
検査実施予定日時	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分
検査機器準備担当	発注者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()
	請負者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()

2 電子納品の検査方法

書 類 名	印刷物による検査	電子データによる検査	書 類 名	印刷物による検査	電子データによる検査
発注図面			施工体系図		
打合せ簿			再生資源利用計画書(実施書)		
品質管理表			再生資源利用促進計画書(実施書)		
測定結果総括表			安全管理資料		
測定結果一覧表			材料確認書		
品質管理図表			立会書		
品質管理図			段階確認書		
測定結果一覧表			工事履行報告書		
出来形管理図表			施工計画書		
出来形管理図					
工事写真					
施工台帳					

3 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	請負者	
文書ファイル(ワープロ)			
表計算ファイル(表計算ソフト)			
図面ファイル(CADソフト)			
写真ファイル			
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)			
その他			
その他			
その他			

4 その他

参考資料 3 納品時チェックシート(広島県様式)

電気通信設備編

納品時チェックシート

実施日平成年月日

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

施行番号	-	
工事名		
工事場所		
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	課
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
請負者	連絡先(e-mail)	@ pref.hiroshima.lg.jp
	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
	連絡先(e-mail)	@

2 電子媒体の確認

電子媒体	問題なし→特記仕様書どおり 問題あり()
ラベル	問題なし→正しく作成されている 問題あり()
電子媒体納品書の受領	問題なし→正しく作成されている 問題あり()

3 ウイルスチェック等電子媒体の確認

ウイルスチェックの実施	実施できた 実施できなかった()
ウイルスチェックの結果	異常なし→ウイルスは検出されなかった 異常あり()
電子納品チェックツールによる 検査結果	エラーなし エラーあり()

4 フォルダ構成/ファイル名

電子媒体内のフォルダ構成	問題なし→正しく作成されている 問題あり()
ファイル名 (命名規則に従っているか)	問題なし→正しく作成されている 問題あり()

電気通信設備編

納品時チェックシート

5 管理ファイルのデータ項目内容チェック

電子納品対象項目	内容チェックの実施	内容チェックの結果
工事管理ファイル INDEX_EC.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
発注図管理ファイル DRAWINGS.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
打合せ簿管理ファイル MEET.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
施工計画書管理ファイル PALN.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
完成図管理ファイル DRAWINGF.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
写真管理ファイル PHOTO.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
その他管理ファイル OTHR.S.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
設備図管理ファイル FACILITY.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()

参考資料 6 電子化対照書類一覧表に基づきチェックをすること。

電気通信設備編

納品時チェックシート

6 電子データ内容と印刷出力との内容照合チェック

電子納品対象項目	内容照合チェックの実施	内容照合チェックの結果
発注図面ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
特記仕様書 オリジナルファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
打合せ簿 オリジナルファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
施工計画書 オリジナルファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
完成図ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
写真ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
参考図ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
その他 オリジナルファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
設備図書 オリジナルファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
品質ファイル 出来形ファイル 工程ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()

7 その他

参考資料6 電子化対照書類一覧表に基づきチェックをすること。

参考資料4 境界座標の記入

「境界座標」の測地系は、世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。

「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ¹

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

境界座標を取得する方法は次のとおりである。



参資図1 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。

工事対象が離れた地点に数箇所点にある場合または広域の場合は、請負・発注者間で協議し、[場所情報]を工事範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、工事範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましい。

¹境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

参考資料 5 CD-R が複数枚になる場合の処置

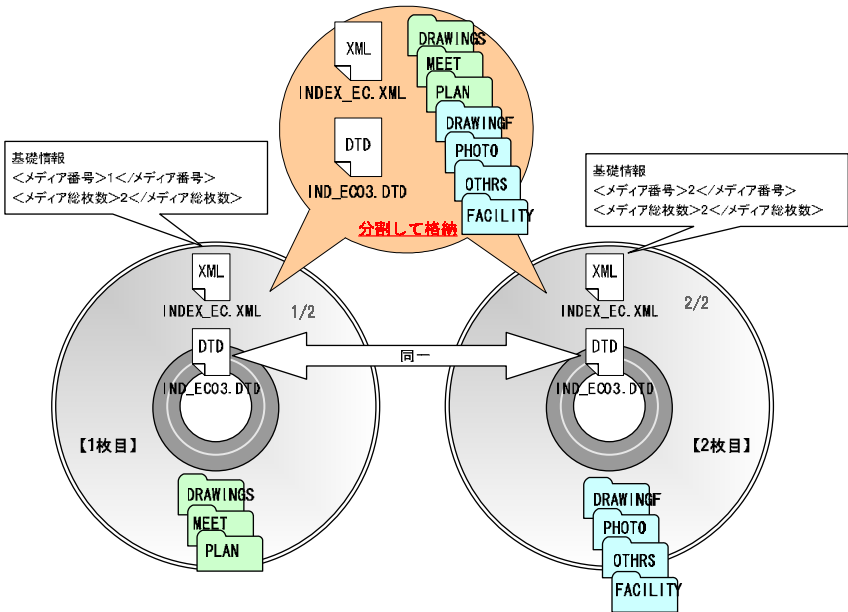
格納するデータの容量が大きく、1 枚の CD-R に納まらず複数枚になる場合は、同一の工事管理ファイル (INDEX_EC.XML) を各 CD-R に格納する。

この場合、基礎情報の「メディア番号」には、各 CD-R に該当する番号を記入すること。

各フォルダにおいても同様に、同一の管理ファイルを各 CD-R に格納する。

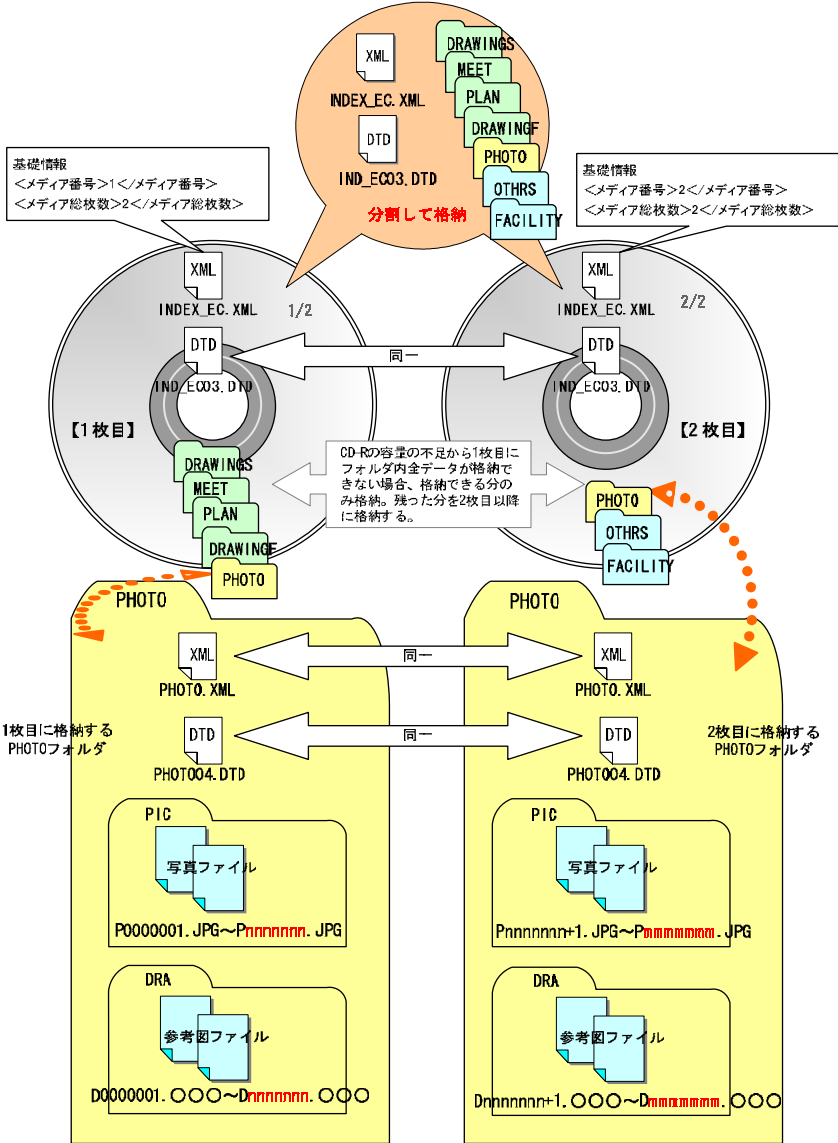
また、工事管理ファイルの基礎情報の「メディア番号」は、ラベルに明記してある何枚目 / 全体枚数と整合を図ること。

CD-R が 2 枚になる場合の例を参資図 2.1 に示す。



参資図 2.1 CD-R が 2 枚になる場合の作成例

なお、各フォルダで分割できず、やむを得ない場合は、参資図 2.2 CD-R が 2 枚になる場合の作成例 によるものとする。



参資図 2.2 CD-R が 2 枚になる場合の作成例【フォルダ内も分割する必要がある場合】¹

¹ 「PIC」フォルダに格納される写真ファイルと「DRA」フォルダに格納される参考図ファイルとも、最後のファイル添え字が「mmmmmm」となっていますが、あくまで例示であり一致するものではありません。

参考資料 6 電子化対象書類一覧表

成果品の種類	フォルダ名	ファイル形式	関係する要領・基準類等		格納書類例
工事情報	電子媒体ルート	XML	工事管理ファイル	工事完成図書の電子納品要領(案)電気通信設備編	・INDEX_EC.XML ・IND_EC03.DTD
発注図面	DRAWINGS	XML	図面管理ファイル	CAD製図基準(案)電気通信設備編	・DRAWINGS.XML ・DRAW_E03.DTD
		SXF(SFC)	発注図ファイル		・発注図
	DRAWINGS/SPEC	オリジナル	特記仕様書オリジナルファイル		・現場説明書(技術的事項)
工事打合せ簿	MEET	XML	打合せ簿管理ファイル	工事完成図書の電子納品要領(案)電気通信設備編	・MEET.XML ・MEET03.DTD
	MEET/ORG	オリジナル	打合せ簿オリジナルファイル		・工事打合せ簿 (指示、承諾、協議等の文書(鏡)及び添付資料(文書、図面、写真)) ・品質管理資料 (承諾仕様比較表、機器材料搬入検査(簿)、材料確認書、検査試験成績表、各種計算書、品質管理図 等) ・出来形管理資料 (測定結果総括表・一覧表、出来形管理図表 等)
施工計画書	PLAN	XML	施工計画書管理ファイル		・PLAN.XML ・PRAN03.DTD
	PLAN/ORG	オリジナル	施工計画書オリジナルファイル		・施工計画書
完成図面	DRAWINGF	XML	図面管理ファイル	CAD製図基準(案)電気通信設備編	・DRAWINGF.XML ・DRAW_E03.DTD
		SXF(SFC)	完成図ファイル		・完成図
写真	PHOTO	XML	写真管理ファイル	デジタル写真管理情報基準(案)	・PHOTO.XML ・PHOTO04.DTD
	PHOTO/PIC	JPEG	写真ファイル		・完成写真 ・工事写真 (施工前・中・後、施工状況、安全管理、品質管理、出来形管理 等)
	PHOTO/DRA	JPEG又はTIFF	参考図ファイル		・撮影場所・方向図 等
その他	OTHR	XML	その他管理ファイル		・OTHR.XML ・OTHR_03.DTD
	OTHR/ORGnnn	オリジナル	その他オリジナルファイル		・工事履行報告書 ・段階確認書 等
設備図書	FACILITY	XML	設備図書管理ファイル	工事完成図書の電子納品要領(案)電気通信設備編	・FACILITY.XML ・FCL_03.DTD
	FACILITY/ORG	オリジナル	設備図書オリジナルファイル		・諸官庁届出書類 ・機器製作図 ・取扱説明書 ・試験成績書 ・施工図 ・設備台帳 等

(案)

広島県電子納品実施要領 [機械設備工事編]

平成 20 年 月

広 島 県

- 目 次 -

1	広島県電子納品実施要領 [機械設備工事編] の位置付け	3
1.1	はじめに	3
1.2	適用	3
1.3	国土交通省の要領・基準との差異とその取扱い	4
1.4	問合せ	5
2	電子納品の定義と適用	6
2.1	電子納品の定義	6
2.2	広島県の電子納品適用範囲	6
2.3	適用基準	7
3	電子納品実施に必要な環境・準備	9
3.1	機器及びソフトウェア	9
3.2	発注時の特記仕様書への記載	10
4	電子納品の手順・事前協議	11
4.1	電子納品手順	11
4.2	事前協議	12
5	電子成果品の作成	13
5.1	広島県の電子データ作成の基本的な考え方	13
5.2	工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類	15
5.3	データの管理	15
5.4	フォルダ構成	16
5.5	ファイル形式	21
5.6	ファイルの命名規則	25
5.7	CAD ファイルに関する運用	31
5.8	発注用ファイル(発注図)の作成	32
5.9	請負・発注者間での CAD ファイルの交換	34
5.10	電子媒体の仕様及び納品	36
5.11	電子媒体の標記規則	37
5.12	電子媒体の原本性の確保	39
5.13	電子成果の確認	40
6	検査(中間検査・完成検査)	41
6.1	中間検査の取扱い	41
6.2	書類検査	41
6.3	現場検査	42
7	成果品の管理項目	43
7.1	成果品の管理項目	43
7.2	工事管理項目	44
7.3	打合せ簿管理項目	47
7.4	施工計画書管理項目	48
7.5	その他資料管理項目	49
7.6	実施仕様書管理項目	50
7.7	計算書管理項目	51
7.8	施工図管理項目	52
7.9	機器図管理項目	53
7.10	施工管理記録書管理項目	54
7.11	取扱説明書管理項目	55
7.12	図面管理項目	56
7.13	写真管理項目	58

参考資料 1	着手前協議チェックシート(広島県様式)	60
参考資料 2	検査前協議チェックシート(広島県様式)	63
参考資料 3	納品時チェックシート(広島県様式)	64
参考資料 4	境界座標の記入	67
参考資料 5	CD-R が複数枚になる場合の処置	68
参考資料 6	電子化対象書類一覧表	70

1 広島県電子納品実施要領〔機械設備工事編〕の位置付け

1.1 はじめに

「広島県電子納品実施要領〔機械設備工事編〕」(以下、「本要領」という。)は、広島県が実施する機械設備工事における、電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものである。

【解説】

本要領は、既存の国土交通省等の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。

広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおりに電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが請負・発注者双方にとって非効率的である場合については、適宜、請負・発注者間において協議するものとする。

電子納品の実施にあたっては、請負・発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえ、発注者としては請負者に過度の負担を強いることなく、請負者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとることとする。

1.2 適用

本要領は、工事請負契約書および設計図書において定められる成果品を電子的手段により引き渡す場合に適用する。

【解説】

本要領は、表 1.1 共通仕様書及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称	備 考
機械工事共通仕様書(案)	国土交通省
機械工事完成図書作成要領(案)	国土交通省
機械設備 標準仕様書	日本下水道事業団

1.3 国土交通省の要領・基準との差異とその取扱い

本要領は、請負者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省が策定した要領・基準等を準拠している。しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。

【解説】
本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
オリジナルファイルの形式	請負・発注者間で協議し決定	原則、次の形式による Word・Excel・JPEG・TIFF・PDF	5.1
CAD 図面のファイルの形式	原則として、SXF(P21)	原則として、SXF(SFC)	5.1(3)
有効画素数(デジタル写真)	100万画素程度	100万画素以上かつ、CD枚数が増えないように、協議して決定する。	5.1(4)
CAD ファイル命名規則の整理番号	請負・発注者間で協議し決定	整理番号は設計変更回数 の数値等を記入	5.6
納品物	CD-R 2部	CD-R 3部(正1部 副2部) 押印書類等の紙納品 1部 写真帳(ダイジェスト版) 1部	5.10
電子媒体等の表記	8項目について記載	9項目について記載 「工事場所」を追加 請負・発注者の署名欄は不要	5.11
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.12
管理ファイルの記載内容	「7 成果品の管理項目」記載例参照		7.2～7.13

1.4 問合せ

電子納品に関する問い合わせは、事前に国土交通省の Web サイト「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」の Q&A ページを参照すること。
また、本要領及び電子納品の運用等に関する問合せは、電子納品担当主管室に行うこと。

【解説】
(1) 国土交通省の Web サイトには次のとおり、これまでに寄せられた電子納品に関する質問・回答が掲載してある。
ア 「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト
http://www.cals-ed.jp/
イ 「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト Q&A ページ
http://www.cals-ed.jp/qa_sys/admin/q_a_index.htm
(2) 本要領及び電子納品実施上の運用等に関する問合せ先は、次のとおり。

電子納品全般に係る事項		機械設備工事に係る事項	
土木部総務管理局技術指導室 IT 推進グループ		都市部都市事業局下水道室 特殊設備グループ	
TEL	082-513-3861	TEL	082-513-4141
FAX	082-223-3593	FAX	082-228-2397
E-mail	dogishidou@pref.hiroshima.ig.jp	E-mail	togesui@pref.hiroshima.ig.jp

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

工事完成図書の電子納品(以下、「電子納品」という。)とは、機械設備工事の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省が策定している各種の電子納品要領(案)、基準(案)に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。
ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。
発注者が発注図を CAD ファイル(SXF(SFC))で保有しているもの。
請負者より電子納品の申し出があったもの(部分的な電子納品含む)及び請負・発注者間で協議が整ったもの。

【解説】
電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。
「広島県電子納品」Web サイト
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/cals/nouhin/nouhin.html>

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、国土交通省が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

- 【解説】
- (1) 国土交通省の要領・基準等の改訂の取扱い
本要領が準拠する国土交通省の要領・基準等が年度途中で改訂されることがあるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。
- (2) 本要領が準拠する要領・基準等は、次のとおり

表 2.1 広島県が準拠する要領・基準等			
種別	要領・基準等	策定年月	策定者
全般	工事完成図書の電子納品要領(案) 機械設備工事編	平成 18 年 3 月	国土交通省
図面	CAD 製図基準(案) 機械設備工事編	平成 18 年 3 月	
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成 18 年 1 月	
その他	電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード	平成 18 年 3 月	

- (3) 国土交通省がまとめたガイドラインは、次のとおり。

表 2.2 電子納品関連ガイドライン		
名称	策定年月	策定者
電子納品運用ガイドライン(案) 機械設備工事編【工事】	平成 18 年 3 月	国土交通省
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案) 機械設備工事編	平成 18 年 3 月	

- (4) 下水道事業の取扱い
国土交通省が策定している要領・基準等の CAD 製図に関する項目について、下水道事業への適用が困難であり、請負・発注者協議により、その取り扱いを定めるものとする。

表 2.3 下水道事業の取扱い		
名 称	策定年月	策定者
CAD 製図基準(案)水処理施設編	平成 17 年 3 月	(社)全国上下水道工務組合協会
下水道施設 CAD 製図基準(案)	平成 19 年 8 月	日本下水道事業団

(5) 要領・基準等及び電子納品成果(フォルダ)等の関連イメージ

図2.1は、国土交通省が策定した要領・基準及びガイドラインから電子納品の基本事項を抜粋し、広島県の取組の考え方・運用を示したものである。

広島県における電子納品は本要領に基づき実施することとし、記載する内容を確認のうえ、次に示す要領・基準及びガイドラインに準拠して電子納品を作成すること。

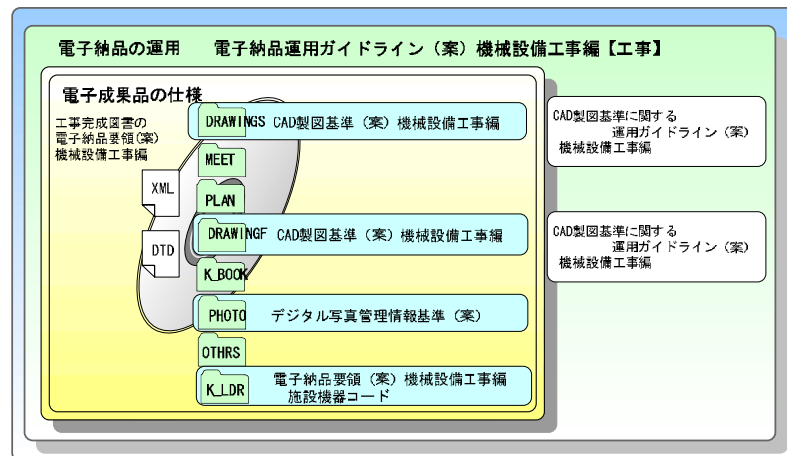


図2.1 要領・基準等の関連イメージ

国の要領・基準等の概要

- ・ 電子納品運用ガイドライン(案)機械設備工事編【工事】
公共工事の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載したもの。(請負・発注者間の協議、電子成果品作成、検査等)
- ・ 工事完成図書の電子納品要領(案)機械設備工事編
工事の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。
- ・ CAD 製図基準(案)機械設備工事編
CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。
- ・ デジタル写真管理情報基準(案)
写真等の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたもの。
- ・ 電子納品要領(案)機械設備工事編施設機器コード
工事完成図書の電子納品要領(案)機械設備工事編において、必要に応じて任意扱いとする「K_LDR」(台帳)フォルダに格納する台帳管理ファイルや施設台帳ファイルに関する電子データ形式の標準を定めている。
- ・ CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)機械設備工事編
CAD データの取扱いについて、請負・発注者が留意すべき事項及び参考となる事項を示し、統一的な運用を図ることを目的に作成したもの。

(6) 国土交通省の要領・基準及びガイドラインは、次のホームページからダウンロードできます。

国土交通省HP <http://www.cals-ed.jp/>

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類	ソフト類
・ パソコン	・ ワープロソフト
・ プリンタ	・ 表計算ソフト
・ CD-R ドライブ	・ CAD ソフト(SXF 対応)
・ デジタルカメラ	・ PDF 作成ソフト
	・ ウィルスチェックソフト
	・ 電子納品作成支援ソフト
	・ 圧縮解凍ソフト

【解説】

(1) 機器類

ア デジタルカメラについては、100 万画素以上とすること。

(黒板の文字が確認できることを指標とする。)

イ その他は、特に仕様を設けない。

(2) ソフト類

ア ワープロ及び表計算ソフトは、Word、Excel とする。

イ CAD ソフトは、SXF 対応のものとする。

ウ PDF 作成ソフトのバージョンは、Acrobat5.0(PDF1.4)日本語版を基本とする。

エ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及び LZH とする。

オ その他は、特に仕様を設けない。

(3) CAD ソフトについて

ア 本要領で対象とする SXF(SFC)形式のバージョンとレベルは、Ver2.0、レベル2 とする。

イ SXF 対応の CAD ソフトは、オープン CAD フォーマット評議会のホームページを参照すること。
<http://www.ocf.or.jp/>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

発注者は、対象とする工事の特記仕様書に電子納品に関する事項を記載することとする。

【解説】
電子納品を実施するにあたって、電子納品に関する事項を特記仕様所に記述しておく必要がある。次に特記仕様書記載例を示す。

- 第 条（電子納品）
本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領〔機械設備工事編〕平成20年 月版〔以下、「要領」という。〕」に基づいて作成されたものを指す。
- 第 条(工事完成図書の提出)
成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で3部(正1部、副2部)提出する。
「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督員と協議の上、電子化の是非を決定する。
なお、「紙」による報告書の提出は監督員と協議の上、決定する。
また、成果品提出の際には、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順

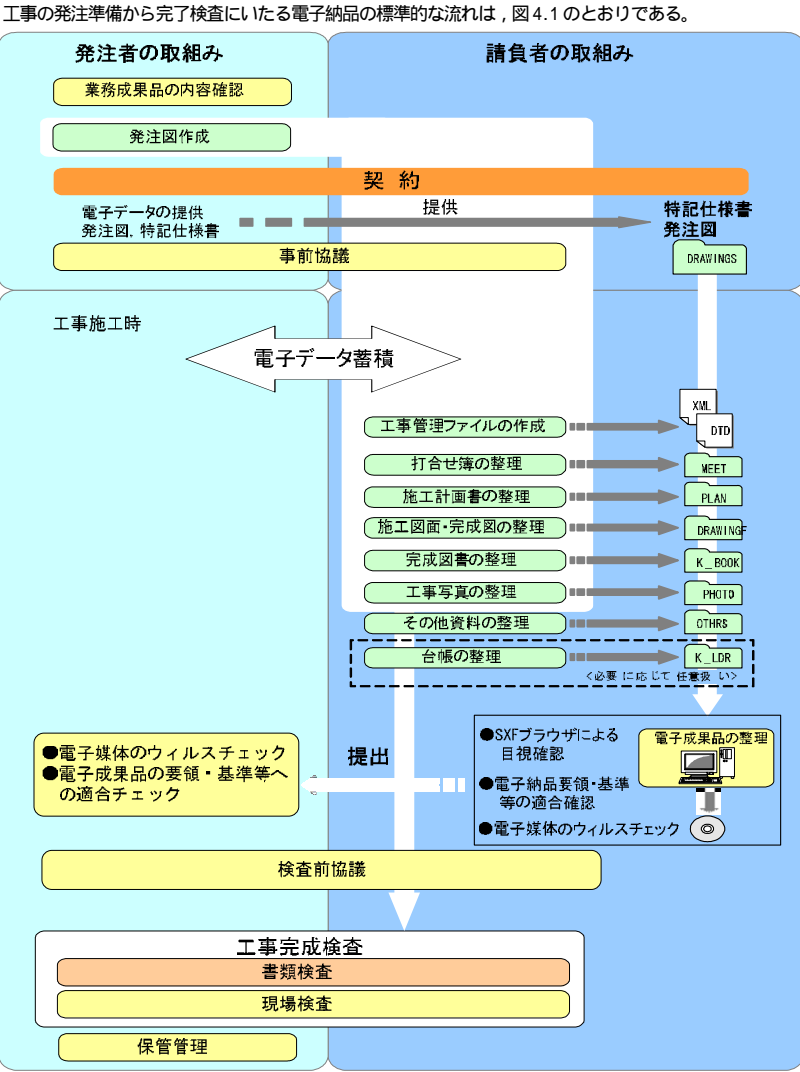


図 4.1 電子納品の流れ

4.2 事前協議

施工期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、請負・発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。

また、電子成果品に係る検査方法及び円滑な検査進行等の観点から、検査前にも再度協議するものとする。

なお、事前協議については、工事打合せ簿により協議すること。

【解説】

本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ請負・発注者間で取り決めておくこと(事前協議)が必要である。

事前協議は、工事施工中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。なお、施工中等に疑義が生じた場合は、随時、請負・発注者間で協議・確認を行うこととする。

(1) 着手前協議

着手前協議は、「参考資料1 着手前(変更)協議チェックシート」に基づいて協議を行うものとする。

なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。

- ア 電子納品の対象範囲
- イ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ウ 電子化が困難な書類の取扱い
- エ CAD 作図の工種に関する作図基準及び適用工種(サブフォルダの有無及びファイル命名等含む)
- オ 基準にない項目の取扱い

(2) 検査前協議

検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、「参考資料2 検査前協議チェックシート」に基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。

- ア 検査日時・場所
- イ 検査に使用する機器の準備
- ウ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- エ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

成果品のファイル形式は、次のとおりとする。

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

- ・工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

オリジナルファイル

- ・打合せ簿オリジナルファイル

打合せ簿オリジナルファイルは、基本的には、Word ファイル、Excel ファイル、画像ファイル(JPEG、TIFF)、図面ファイル(SXF(SFC)形式)、PDF 形式とする。

- ・施工計画書オリジナルファイル

施工計画書オリジナルファイルは、基本的には、Word ファイル、Excel ファイル、画像ファイル(JPEG、TIFF)とする。

- ・その他のオリジナルファイル

その他のオリジナルファイルは、Word ファイル、Excel ファイル、画像ファイル(JPEG、TIFF)とする。

発注図・施工図面・完成図ファイル

- ・図面ファイルのファイル形式については、SXF(SFC)形式とする。

写真ファイル

- ・写真ファイルのファイル形式については、JPEG とする。ただし、参考図ファイルは、JPEG 又は TIFF 形式とする。

【解説】

(1) 工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

(2) オリジナルファイル

ア オリジナルファイルのファイル形式は次のとおりとする。

ワープロソフト	Word ファイル
表計算ソフト	Excel ファイル
画像ファイル	JPEG、TIFF

イ 用紙サイズは、A4 縦を基本とする。

ウ セキュリティの設定は行わない。

エ 特記仕様書・発注図・完成図は、発注者からデータ受領した場合のみ電子納品の対象とする。

オ 品質・出来形管理資料を電子納品する場合は、Word、Excel 及び PDF ファイルにより提出することとし、請負者等の押印は不要とする。

カ 発注者・請負者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。(ファイル形式等は各フォルダの規定に従う。)

キ 押印された書類は従来どおり紙納品とする。

ク 印刷・押印後の書類をスキャナにより、電子化し、電子納品する必要はない。

ケ スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。

コ 工事着手時に電子データを発注者から受領していないもの、電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。

サ 工事打合せ簿等に含まれる写真は、デジタル写真管理情報基準(案)の適用外とする。

シ Word、Excel のオリジナルファイルは、容量の縮小に努めること。

画像ファイルを Word、Excel ファイルに貼り付けた場合、ファイルの容量が大きくなる傾向がある。容量が大きくなると、CD-R の枚数が増える要因となることから、画像を貼り付けるファイル作成には次の点に留意をすること。

- (ア) 画像の貼り付けは、コピー貼り付けでは行わず、ファイルの挿入で行うこと。
- (イ) 画像ファイルは、トリミング、画素数の縮小、画像サイズの縮小及び圧縮率の変更等を行い、画像ファイルの容量を小さくして報告書ファイルに挿入すること。ただし、写真の内容に係る修正は認めない。

(3) 発注図・施工図面・完成図ファイル

ア SXF(SFC)形式とする。

イ SXF 形式とは、CAD データ交換仕様に基づくファイル形式で、P21 形式と SFC 形式があるが、広島県ではSFC 形式を採用する。

ウ 各種 CAD ソフトで作成された図面を SXF(SFC)形式に変換して納品する場合、SXF ブラウザにて必ず図面チェックし、文字化けがないか等の確認行為を行うこと。

(4) 写真ファイル

黒板の文字等が確認できることを指標とし、100 万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。

また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。

なお、写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画 素 数			容 量 / 枚	備 考
80 万画素	1024	× 768	200KB 程度	× 不可
120 万画素	1280	× 960	300KB 程度	
200 万画素	1600	× 1200	500KB 程度	
300 万画素	2048	× 1536	800KB 程度	

5.2 工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類

電子納品対象データは、次の図書を基本とし、契約に係る書類(特記仕様書を除く)については対象外とし、次のとおり実施する。

【解説】

表 5.2 電子成果品の対象範囲

項目	作成者	フォルダ	電子納品対象
管理ファイル	請負者	-	必須
発注図面	発注者	DRAWINGS	条件付必須
特記仕様書	発注者	DRAWINGS-SPEC	条件付必須
施工計画書	請負者	PLAN	協議
工事打合せ簿	発注者・請負者	MEET	協議
施工図面・完成図	請負者	DRAWINGF	条件付必須
完成図書	請負者	K_BOOK	必須
写真 ¹	請負者	PHOTO	必須
工事履行報告書	請負者	OTHR	協議
段階確認書	請負者	OTHR	協議
台帳	請負者	K_LDR	必須

¹ 完成写真含む

必 須 : 電子納品を必須とする書類

条件付必須 : 発注者が請負者へ電子データを提供した場合に電子納品を必須とする書類

協 議 : 電子納品必須書類ではないが、積極的な電子化の取組みとして請負者からの申し出及び請負・発注者間で着手前協議が整った場合に対象とする書類

5.3 データの管理

電子納品対象データは定期的にバックアップを行うこと。

【解説】

電子納品対象の電子データは、工事着手から納品までの長期間にわたり、請負者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。

このようなトラブルからデータを守るため、定期的に電子媒体等(MO、CD-RW、DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこととする。

5.4 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「DRAWINGS」、「MEET」、「PLAN」、「DRAWINGF」、「K_BOOK」、「PHOTO」、「OTHS」、「K_LDR」のフォルダ及び工事管理ファイルを置く。また「MEET」、「PLAN」、「OTHS」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを、「K_BOOK」フォルダの下に「B_SPC」、「B_CHECK」、「B_INNST」、「B_DEVICE」、「B_EXAM」、「B_MANUAL」サブフォルダを置く。ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

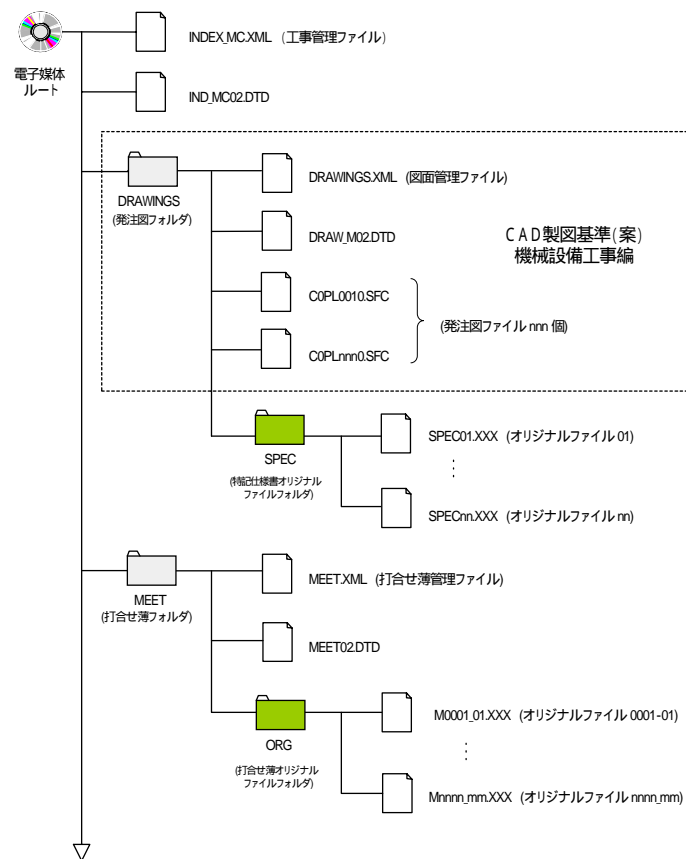


図 5.1 フォルダ構成(1/5)

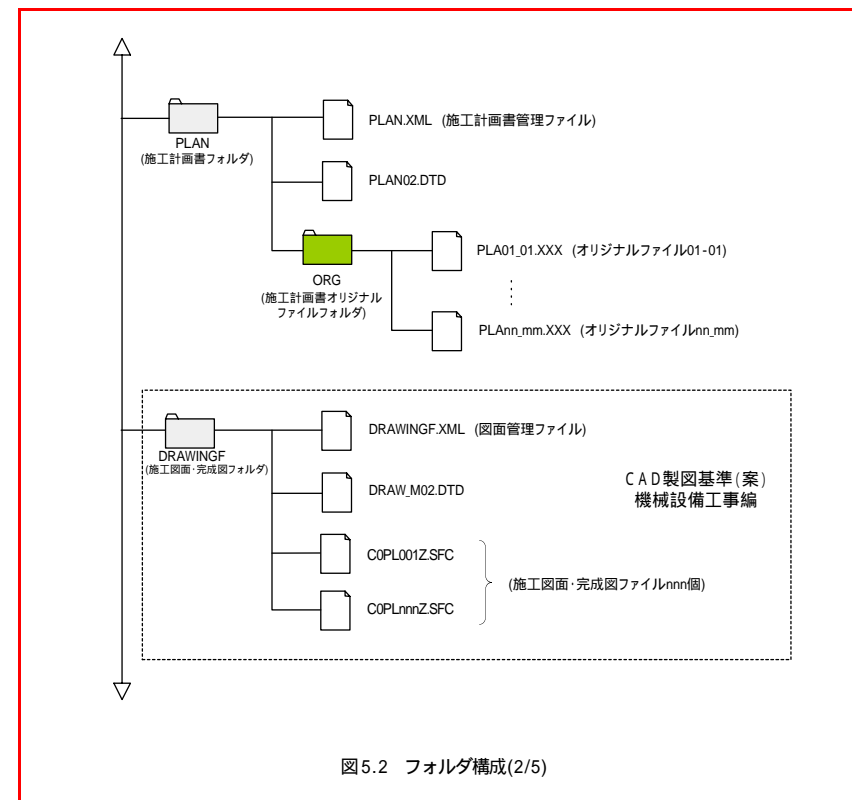


図 5.2 フォルダ構成(2/5)

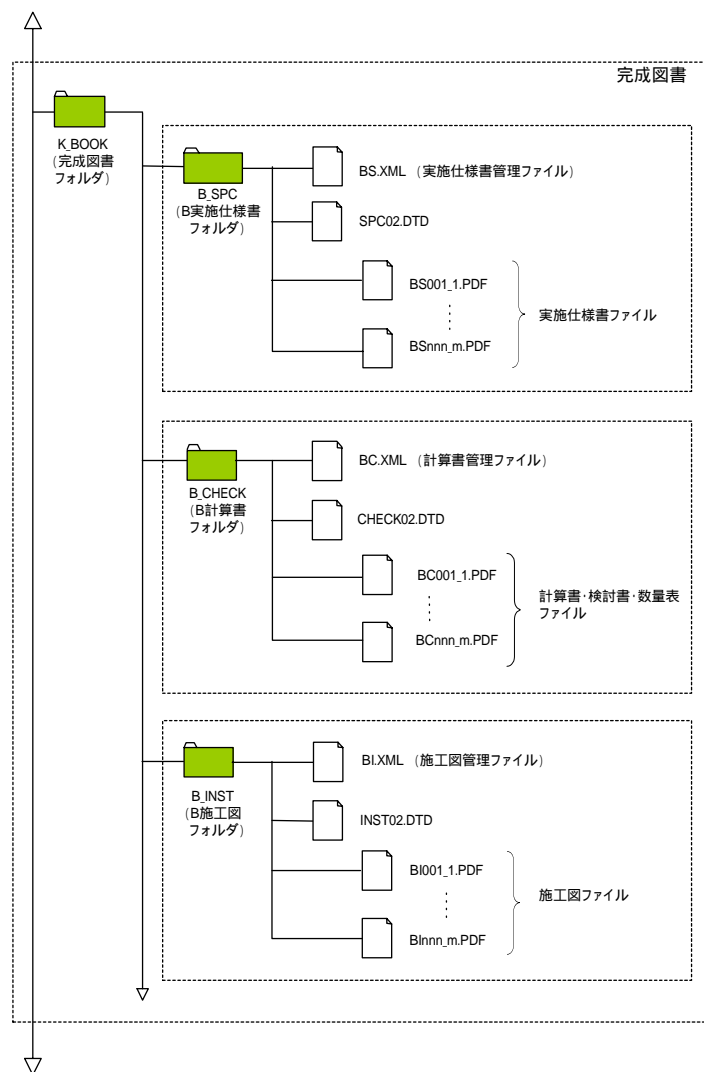


図5.3 フォルダ構成(3/5)

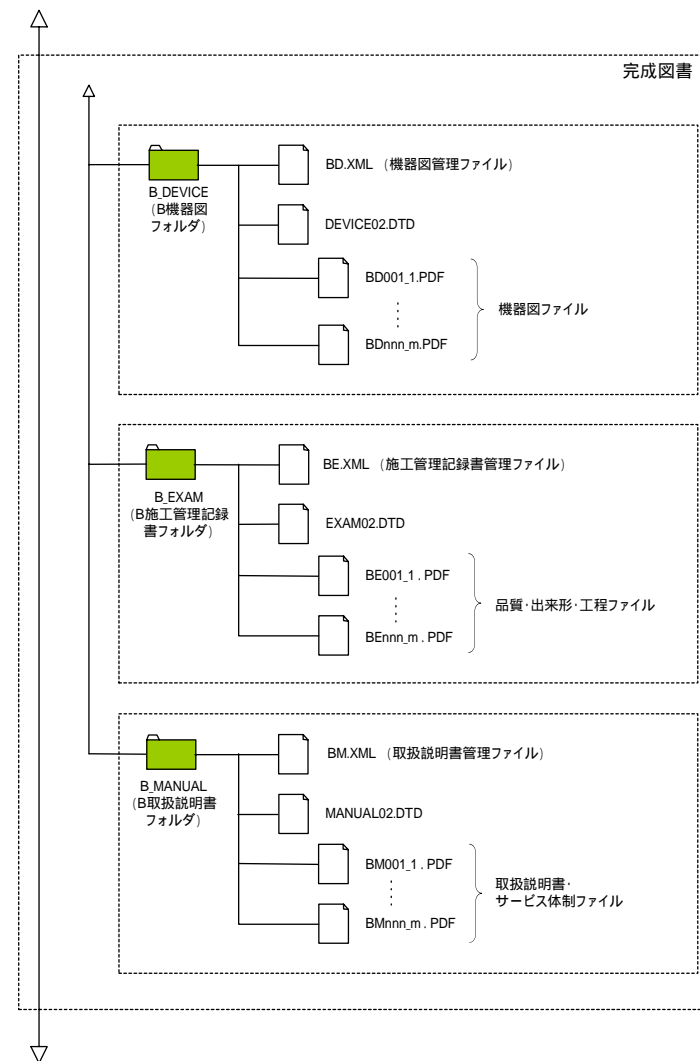


図5.4 フォルダ構成(4/5)

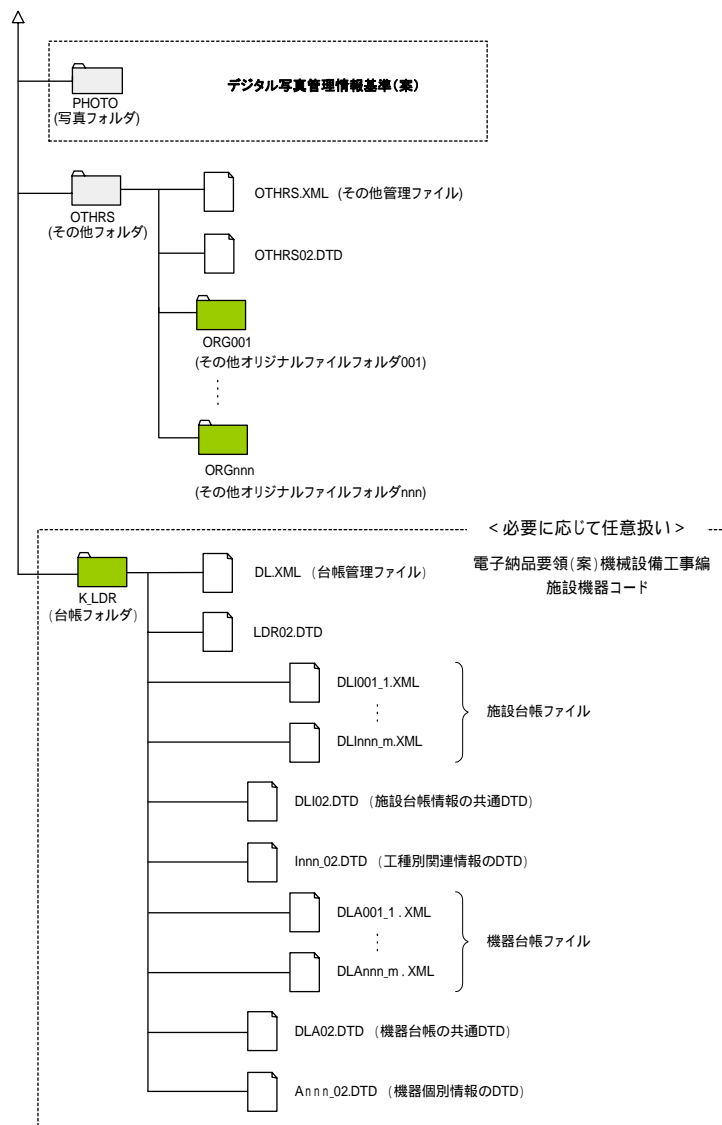






















図 5.5 フォルダ構成(5/5)

5.5 ファイル形式


























電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。
機械設備工事に係る「発注図フォルダ」「打合せ簿フォルダ」「施工計画書フォルダ」「施工図面・完成図フォルダ」「写真フォルダ」「その他フォルダ」

表 5.3 機械設備工事におけるフォルダ及び格納するファイル形式等(1/3)

フォルダ	サブフォルダ	格納する電子成果品	ファイル形式	
<div>DRAWINGS</div> <div>発注図フォルダ</div> <div>契約関係に関する電子成果品を格納します。</div>		図面管理ファイル DTD 発注図・変更図CADデータ	<div> DRAWINGS.XML (図面管理ファイル)</div> <div> DRAW_M02.DTD (発注図等)</div> <div> SFCファイル (発注図等)</div>	
	<div>SPEC</div> <div>特記仕様書オリジナル ファイルフォルダ</div>	特記仕様書等	<div> (オリジナルファイル)</div>	
<div>MEET</div> <div>打合せ簿フォルダ</div> <div>工事打合せ簿に関する電子成果品を格納します。</div>		打合せ簿管理ファイル DTD	<div> MEET.XML (打合せ簿管理ファイル)</div> <div> MEET02.DTD</div>	
	<div>ORG</div> <div>打合せ簿オリジナル ファイルフォルダ</div>	打合せ簿	<div> (オリジナルファイル)</div>	
<div>PLAN</div> <div>施工計画書フォルダ</div> <div>施工計画書に関する電子成果品を格納します。</div>		施工計画書管理ファイル DTD	<div> PLAN.XML (施工計画書ファイル)</div> <div> PLAN02.DTD</div>	
	<div>ORG</div> <div>施工計画書オリジナル ファイルフォルダ</div>	施工計画書	<div> (オリジナルファイル)</div>	
<div>DRAWINGF</div> <div>施工図面・完成図フォルダ</div> <div>施工図面・完成図に関する電子成果品を格納します。</div>		図面管理ファイル DTD 施工図面・完成図 CADデータ	<div> DRAWINGF.XML (図面管理ファイル)</div> <div> DRAW_M02.DTD (完成図)</div> <div> SFCファイル (完成図)</div>	






















機械設備工事に係る「完成図書フォルダ」

表 5.4 機械設備工事におけるフォルダ及び格納するファイル形式等(2/3)

フォルダ	サブフォルダ	格納する電子成果品	ファイル形式
 K_BOOK 完成図書フォルダ 完成図書に関する電子成果品を格納します。			
	 B実施仕様書フォルダ	実施仕様書管理ファイル DTD 実施仕様書ファイル	   BS.XML SPC02.DTD PDFファイル (実施仕様書管理ファイル) (実施仕様書ファイル)
	 B計算書フォルダ	計算書管理ファイル DTD 計算書・検討書・数量表 ファイル	   BC.XML CHECK02.DTD PDFファイル (計算書管理ファイル) (計算書・検討書・数量表ファイル)
	 B施工図フォルダ	施工図管理ファイル DTD 施工図ファイル	   BT.XML INST02.DTD PDFファイル (施工図管理ファイル) (施工図ファイル)
	 B機器図フォルダ	機器図管理ファイル DTD 機器図ファイル	   BD.XML DEVICE02.DTD PDFファイル (機器図管理ファイル) (機器図ファイル)
	 B施工管理記録書 フォルダ	施工管理記録書 管理ファイル DTD 品質・出来形・工程 ファイル	   BE.XML EXAM02.DTD PDFファイル (施工管理記録書管理ファイル) (品質・出来形・工程ファイル)
	 B取扱説明書フォルダ	取扱説明書管理ファイル DTD 取扱説明書・サービス体制 ファイル	   BM.XML MANUAL02.DTD PDFファイル (取扱説明書管理ファイル) (取扱説明書・サービス体制ファイル)

機械設備工事に係る「写真フォルダ」「その他フォルダ」「台帳フォルダ」

表 5.5 機械設備工事におけるフォルダ及び格納するファイル形式等(3/3)

フォルダ	サブフォルダ	格納する電子成果品	ファイル形式
 PHOTO 写真フォルダ 写真に関する電子成果品を格納します。		写真管理ファイル DTD	  PHOTO.XML PHOTO04.DTD (写真管理ファイル)
	 写真フォルダ	写真ファイル	 JPEGファイル(デジタル写真)
	 参考図フォルダ	参考図ファイル	 JPG or TIFF JPEGまたはTIFFファイル(参考図)
 OTHERS その他フォルダ その他、工事に関する電子成果品を格納します。		その他管理ファイル DTD	  OTHERS.XML OTHERS02.DTD (その他管理ファイル)
	 その他オリジナル ファイルフォルダ	その他データ	 (オリジナルファイル)
 K_LDR 台帳フォルダ 施設台帳・機器台帳に関する電子成果品を格納します。	<必要に応じて任意扱い>	台帳管理ファイル 台帳管理ファイルのDTD	  DL.XML LDR02.DTD (台帳管理ファイル)
		施設台帳ファイル 施設台帳情報の共通DTD 工種別関連情報のDTD	   (施設台帳ファイル) (施設台帳情報の 共通DTD) (工種別関連情 報のDTD)
		機器台帳ファイル 機器台帳の共通DTD 機器個別情報のDTD	   (機器台帳ファイル) (機器台帳の 共通DTD) (機器個別情報 のDTD)

【解説】

CD - R 内の各フォルダの格納・整理イメージを参考として次に示す。

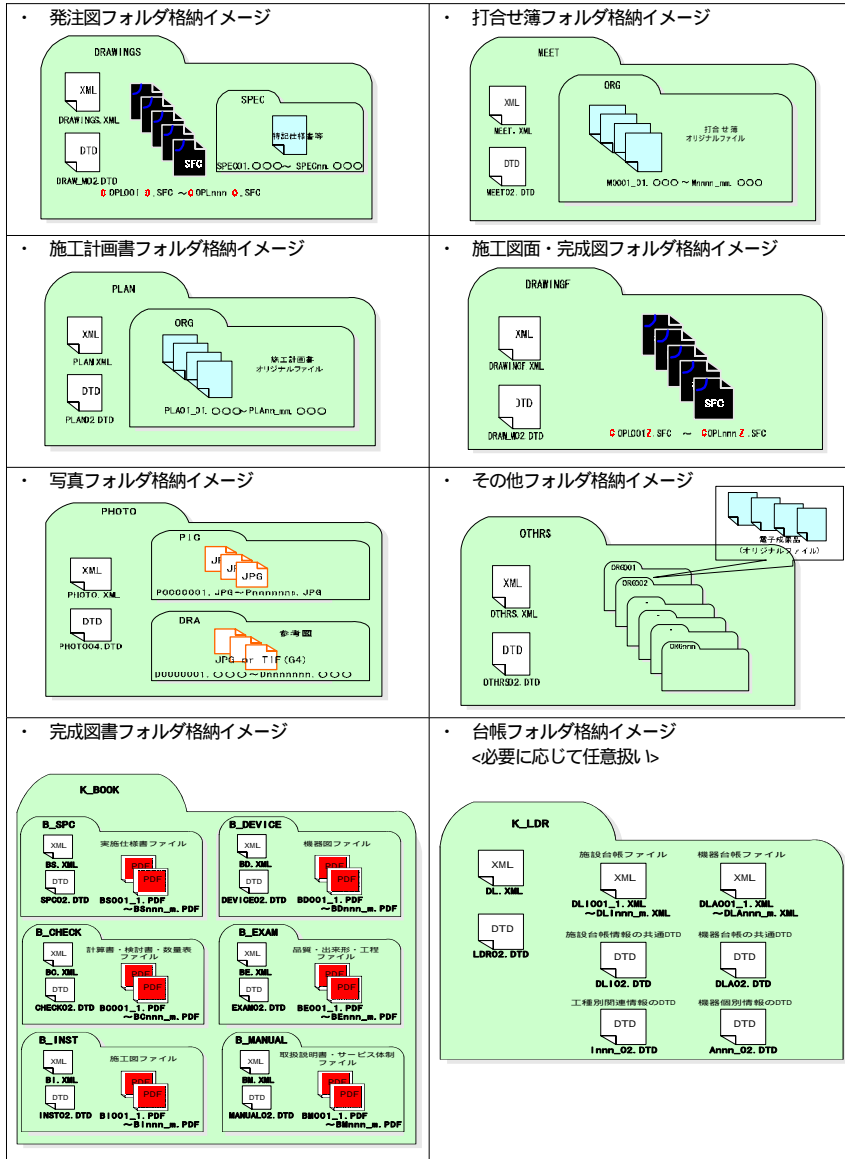


図5.6 フォルダ構成 CD - R 及び各フォルダの格納・整理イメージ

5.6 ファイルの命名規則

ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。

ファイル名 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。

工事管理ファイルは「INDEX_MC.XML」とし、工事管理ファイルの DTD は「IND_MC02.DTD」(02 は版番号)とする。

打合せ簿管理ファイルは「MEET.XML」とし、DTD は「MEET02.DTD」(02 は版番号)とする。

施工計画書管理ファイルは「PLAN.XML」とし、DTD は「PLAN02.DTD」(02 は版番号)とする。

完成図書フォルダのサブフォルダに格納する管理ファイルは次のとおり。

- ・ B 実施仕様書管理ファイルは「BS.XML」とし、DTD は「SPC02.DTD」(02 は版番号)とする。
- ・ B 計算書管理ファイルは「BC.XML」とし、DTD は「CHECK02.DTD」(02 は版番号)とする。
- ・ B 施工図管理ファイルは「BI.XML」とし、DTD は「INST02.DTD」(02 は版番号)とする。
- ・ B 機器図管理ファイルは「BD.XML」とし、DTD は「DEVICE02.DTD」(02 は版番号)とする。
- ・ B 施工管理記録書管理ファイルは「BE.XML」とし、DTD は「EXAM02.DTD」(02 は版番号)とする。
- ・ B 取扱説明書管理ファイルは「BM.XML」とし、DTD は「MANUAL02.DTD」(02 は版番号)とする。

その他管理ファイルは「OTHERS.XML」とし、DTD は「OTHERS02.DTD」(02 は版番号)とする。

図面管理ファイルは「DRAWINGS.XML」(発注図フォルダ)・「DRAWING.XML」(完成図フォルダ)とし、DTD は「DRAW_M02.DTD」(02 は版番号)とする。

写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とし、DTD は「PHOTO04.DTD」(04 は版番号)とする。

各管理ファイルのスタイルシート作成は任意とする。

なお、作成する場合のファイル名は、「IND_MC02.XML」、「MEET02.XML」、「PLAN02.XML」、「SPC02.XML」、「CHECK02.XML」、「INST02.XML」、「DEVICE02.XML」、「EXAM02.XML」、「MANUAL02.XML」、「LDR02.XML」、「OTHERS02.XML」、「DRAW_M02.XML」、「PHOTO04.XML」とする。

打合せ簿オリジナルファイルの命名規則は次のとおりとする。

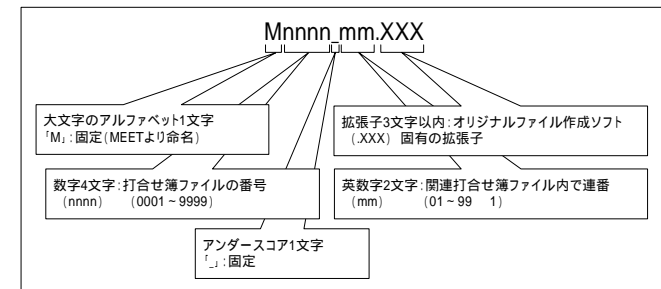


図 5.7 打合せ簿オリジナルファイルの命名規則

施工計画書オリジナルファイルの命名規則は次のとおりとする。

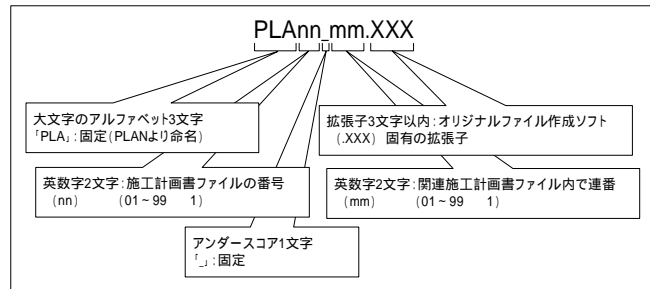


図 5.8 施工計画書オリジナルファイルの命名規則

特記仕様書オリジナルファイルの命名規則は次のとおりとする。

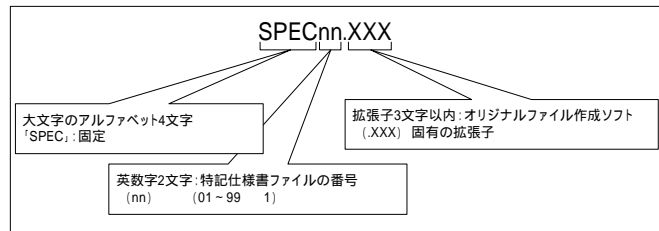


図 5.9 特記仕様書オリジナルファイルの命名規則

B 実施仕様書ファイルの命名規則は次のとおりとする。

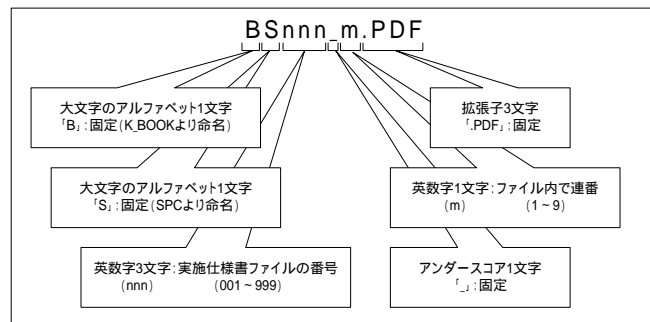


図 5.10 B 実施仕様書ファイルの命名規則

B 計算書・検討書・数量表ファイルの命名規則は次のとおりとする。

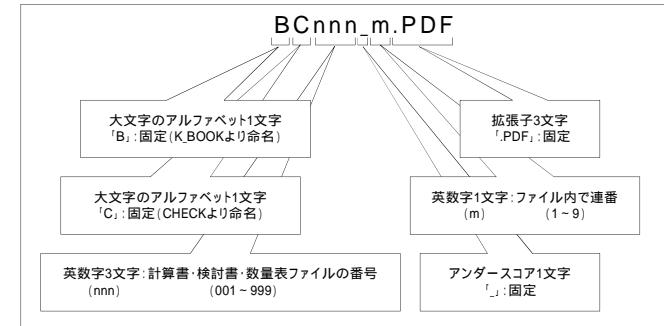


図 5.11 B 計算書・検討書・数量表ファイルの命名規則

B 施工図ファイルの命名規則は次のとおりとする。

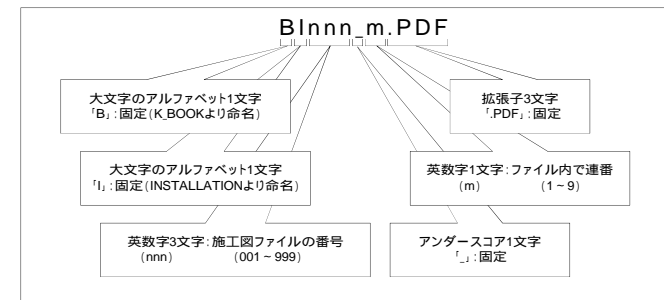


図 5.12 B 施工図ファイルの命名規則

B 機器図ファイルの命名規則は次のとおりとする。

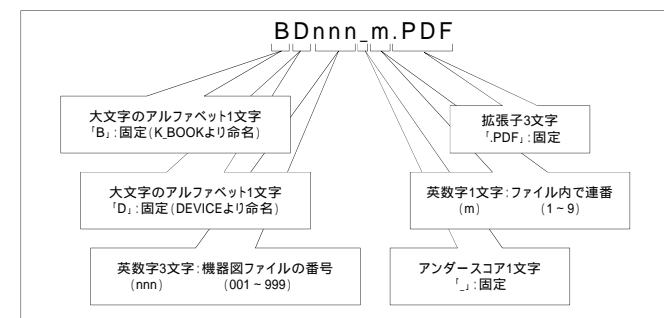


図 5.13 B 機器図ファイルの命名規則

B施工管理記録書ファイルの命名規則は次のとおりとする。

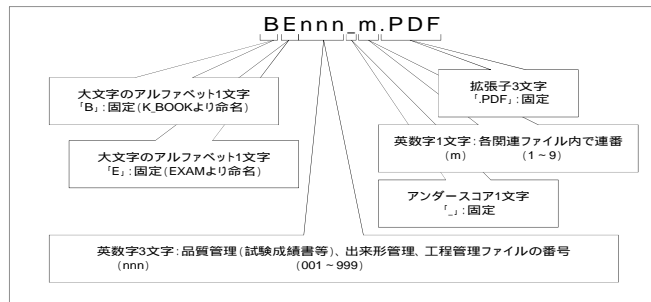


図 5.14 B施工管理記録書ファイルの命名規則

B取扱説明書ファイルの命名規則は次のとおりとする。

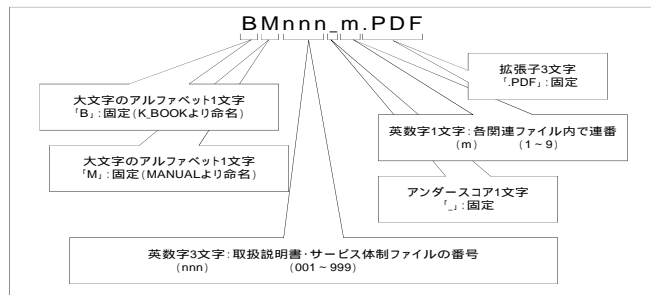


図 5.15 B取扱説明書ファイルの命名規則

写真ファイルの命名規則は次のとおりとする。

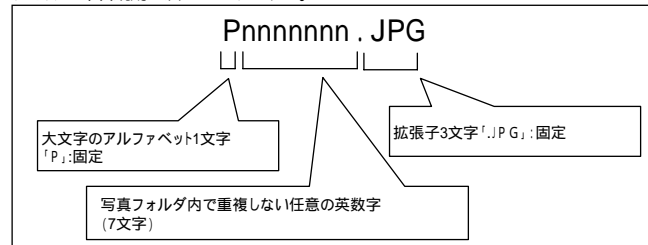


図 5.16 写真ファイルの命名規則

参考図ファイルの命名規則は次のとおりとする。

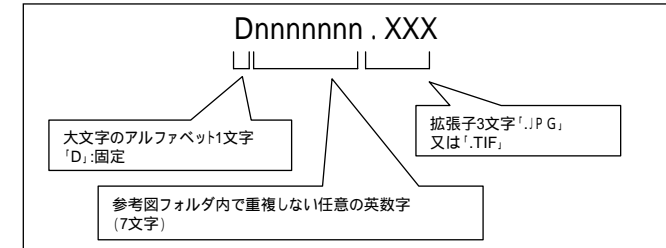


図 5.17 参考図ファイルの命名規則

CAD ファイルの命名規則は次のとおりとする。

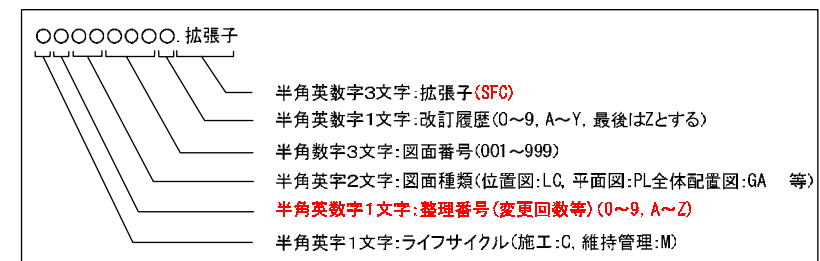


図 5.18 CAD ファイルの命名規則 (CAD 製図基準 (案) 機械設備工事編)

【解説】

(1) 共通規則

ファイル名の文字数は、半角 (1 バイト文字) で 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。ファイル名に使用する文字は、半角 (1 バイト文字) で、大文字のアルファベット「A~Z」、数字「0~9」、アンダースコア「_」とする。

オリジナルファイルの通し番号は、工事の経緯がわかるように日付昇順に付番号することを基本とする。

「ORGnnn」サブフォルダに格納するファイル名は、5.6 オリジナルファイルの規則に準じ、発注者と協議する。

(2) 報告書オリジナルファイル

施工計画書等の文書は、複数のオリジナルファイルから構成されることがある。この場合、文書の構成が想定できるように、オリジナルファイルの 01 (例: 図 5.8 施工計画書オリジナルファイルの命名規則「mm」) からの連番により、ファイルを区別することを基本とする。なお、欠番があっても構わない。

例) ワープロソフトファイル: M0001_01.doc

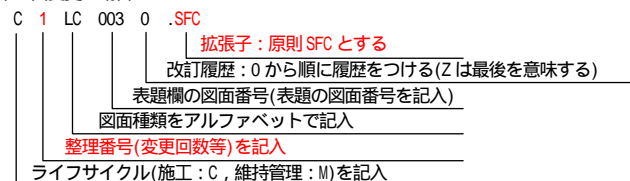
ワープロソフトファイル: M0001_02.doc

表計算ソフトファイル: M0001_03.xls

- (3) 連番の扱い (1 について)
 連番が 100 を超える場合は、以下のようにアルファベットを用いる。
 例) 100～109 の場合...A0～A9 110～119 の場合...B0～B9
 120～129 の場合...C0～C9

(4) CAD ファイルの命名規則

例) 第 1 回変更の場合



ア 拡張子は、広島県の CAD 図面のフォーマット形式である「SFC」となる。

イ 改訂履歴は、完成図(DRAWING フォルダ)は最後を意味する「Z」となる。発注図(変更設計を含む(DRAWINGS フォルダ))及び工事途中に請負・発注者間でファイルのやりとりをする場合は、「0」から順に履歴をつけて行うこと。ちなみに、「0」は、実施設計、変更設計時に請負者に提示する図面を意味する。

ウ 表題欄の図面番号は、CD-R に格納する図面の通し番号を記入する。(表題の図面番号ではないので注意のこと。)通し番号「 葉之内 3 」であれば、半角数字 3 文字「003」の記入となる。

エ 図面種類は、CAD 製図基準(案)に記載されているとおり、半角英字 2 文字で記入する。(位置図：LC，平面図：PL，全体配置図：GA 等)

オ 整理番号は、変更回数等を半角英数字で記入する。変更設計の回数を記入は、設計変更回数 1 文字を記入する。変更設計とは、契約上の変更設計(第 1 回変更の場合は、「1」となる)を意味する。

カ ライフサイクルは、ライフサイクルを表す半角英字 1 文字を記入する。工事の場合は、「施工：C」，「維持管理：M」のいずれかとなる。

5.7 CAD ファイルに関する運用

原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。
 また、該当工種がない場合は、類似した工種を準用することとし、準用する要領・基準および工種を事前協議において決定するものとする。

【解説】

工種の選定については、原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。

表 5.6 CAD ファイルに関する要領・基準とその工種一覧

要領・基準名称	対象工事
CAD 製図基準(案)機械設備工事	機械設備工

- ・ 農林水産部所管事業において該当工種がない場合は、「電子化図面データの作成要領(案)機械設備工事 編平成 19 年 4 月」を参考として事前協議において決定するものとする。

下水道事業の取扱いは、請負・発注者協議により定めるものとするが、参考として表 5.7 を示す。

表 5.7 下水道事業が準用する工種

事業(工種)種別	適用	
	要領・基準等	工種
下水道事業	CAD 製図基準(案)水処理施設編	下水道事業
	下水道施設 CAD 製図基準(案)	

5.8 発注用ファイル(発注図)の作成

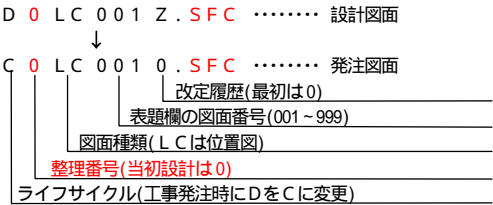
発注者は、電子手段で発注する場合(電子データの提供)は、工事完成図書の電子納品要領(案)機械設備工事編による発注図フォルダに、CAD 製図基準(案)機械設備工事編に基づきファイルを作成・格納して請負者に提供すること。

【解説】

- (1) ファイル形式
特記仕様書：オリジナルファイル(Word, Excel)
発注図面：SXF(SFC)形式

(2) 発注図の作成

ア ファイル名の変更
設計図面を発注図面として提供する場合には、ファイル名称を変更する必要がある。
CAD データファイル名の先頭の文字を、発注する際のライフサイクル(業務段階：S-測量, D-設計, C-施工, M-維持管理)にあわせて「D(設計)」から「C(施工)」に付け替え、改訂履歴も「Z」から「0」に変更すること。



イ レイヤ名の変更

レイヤは、設計(業務)や工事の内容によって必要となるレイヤが異なる。このため、CAD 製図基準(案)に示した以外のレイヤが必要となる場合がある。CAD 製図基準(案)で示しているレイヤは、標準的に使用されているレイヤを示している。
設計図面を加工して、発注図面とする場合において、レイヤの図形要素を加工した場合は、そのレイヤ名の責任主体を、「D(設計)」から「C(施工)」に変更する必要がある。責任主体は該当するレイヤの図形要素を加工したときのみ変更し、レイヤの図形要素を加工しない場合は、責任主体を変更しない。
また、新規にレイヤを追加する場合は、図面管理項目の「新規レイヤ名(略語)」、「新規レイヤ名(概要)」に記述すること。



上記は、発注図面の作成において、レイヤに修正を加えたため、[設計] - [機械] - [取付部品]を、[施工] - [機械] - [取付部品]に変更したものである。

ウ 作業レイヤの作成

発注図面に記入する作業線は、作業レイヤを追加作成し記入すること。また、作業線はCAD 製図基準(案)機械設備工事編に基づき作図すること。

X - MCH - WORK 作業レイヤ
(工事範囲等の旗揚げ,色塗り(赤ハッチ),見え消し線(×,=),
工事の暫定計画線等の記入)

- (3) 特記仕様書の文章取り込み
特記仕様書を「DRAWINGS-SPEC」フォルダに格納すること。


5.9 請負・発注者間でのCAD ファイルの交換

請負・発注者間でCAD ファイルの交換・共有を行う場合等は、表 5.8 及び表 5.9 CAD ファイル命名参考例を参考にして、履歴管理を適切に行うこと。

【解説】

表 5.8 CAD ファイル命名参考例(水門設備)1/2

当初									納品するCD-R DRAWINGSファイル内訳	
図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納ファイル	作成者	
	CORD0010.SFC	施工	0	関係寸法図	1/4	0	当初発注図面「関係寸法図」1/4	DRAWINGS	発注者	DRAWINGS.XML DRAW_M02.DTD CORD0010.SFC COSD0020.SFC COSD0030.SFC COMD0040.SFC SPEC(ファイル)
	COSD0020.SFC	施工	0	構造詳細図	2/4	0	当初発注図面「構造詳細図」2/4			
	COSD0030.SFC	施工	0	構造詳細図	3/4	0	当初発注図面「構造詳細図」3/4			
	COMD0040.SFC	施工	0	機械詳細図	4/4	0	当初発注図面「機械詳細図」4/4			


・工事打合せ、図面改訂

図面改訂その1									
図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納ファイル	作成者
-1	CORD0013.SFC	施工	0	関係寸法図	1/4	3	当初発注後、3回の図面改訂「関係寸法図」1/4		発注者 請負者
-1	COSD0022.SFC	施工	0	構造詳細図	2/4	2	当初発注後、2回の図面改訂「構造詳細図」2/4		
-1	COSD003Z.SFC	施工	0	構造詳細図	3/4	Z	工事打合せにより当初の図面を削除する場合、改訂履歴は「Z」とする。		
	COMD0040.SFC	施工	0	機械詳細図	4/4	0	当初発注図のままで、図面改訂なし「機械詳細図」4/4		



・工事打合せ、図面改訂

表 5.9 CAD ファイル命名参考例(水門設備)2/2

↓ 工事打合せ、図面改訂

図面改訂その2

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納ファイル	作成者
-2	CORD0015.SFC	施工	0	関係寸法図	1/4	5	当初発注後、5回の図面改訂 「関係寸法図」1/4	DRAWINGF	発注者 請負者
-2	COSD0022.SFC	施工	0	構造詳細図	2/4	2	当初発注後、2回の図面改訂 「構造詳細図」2/4		
	COMD0030.SFC	施工	0	機械詳細図	3/4	0	新規に図面を追加 「機械詳細図」3/4		
-1	COMD0041.SFC	施工	0	機械詳細図	4/4	1	当初発注後、1回の図面改訂 「機械詳細図」4/4		

↓ 完成図を作成

完成図

図面区分番号	ファイル名	ライフサイクル	整理番号	図面種類	表題欄の図面番号	改訂履歴	解 説	格納ファイル	作成者
-3	CORD001Z.SFC	施工	0	関係寸法図	1/4	Z	完成図 「関係寸法図」1/4	DRAWINGF	請負者
-3	COSD002Z.SFC	施工	0	構造詳細図	2/4	Z	完成図 「構造詳細図」2/4		
-1	COSD003Z.SFC	施工	0	機械詳細図	3/4	Z	完成図 「機械詳細図」3/4		
-2	COMD004Z.SFC	施工	0	機械詳細図	4/4	Z	完成図 「機械詳細図」4/4		

納品するCD-R
DRAWINGF.zip 内訳

DRAWINGF.XML

DRAWINGF.DTD

-3 CORD001Z.SFC

-3 COSD002Z.SFC

-1 COMD003Z.SFC

-2 COMD004Z.SFC

図面番号は完成図作成時に通し番号を付け直す。

図面番号は完成図作成時に通し番号を付け直す。

5.10 電子媒体の仕様及び納品

成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

CD-Rの使用を原則とする。

CD-Rは、ISO9660フォーマット(レベル1)を標準とする。

基本的には、1枚のCD-Rに格納する。

複数枚のCD-Rに格納する場合には、国土交通省の電子納品運用ガイドライン(案)【機械設備工事編】に従う。

納品時には、CD-R 3部(正1部、副2部)納品するほか、次の書類も提出する。

- ・ 押印書類等の紙納品 1部
- ・ 写真帳(ダイジェスト版) 1部

【解説】

(1) 使用する媒体

ア 電子媒体に格納する成果品の真正性、見読性及び保存性を確保するため、CD-Rを原則とする。

イ 本県においては、媒体(CD-R)で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。

(2) CD-Rの論理フォーマット

CD-Rの論理フォーマットは、ISO9660(レベル1)を標準とする。「ISO9660」は、汎用性が高いCD-R/RW用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じてレベル1～3が規定されている。最も多くのOSに対応可能なレベル1は、ファイル名8文字+拡張子3文字、使用できる文字は半角の英数文字(A～Z, 0～9)及び、_(アンダースコア)のみと、制限が厳しくなっている。

(3) CD-Rの枚数

CD枚数が増えないように、写真の画素数等を協議して決定すること。

(4) 複数枚のCD-R

提出するCD-Rが複数枚になった場合は、参考資料5を参考にして作成すること。

(5) CD-R以外に提出する書類

ア 押印書類等の紙納品 1部

イ 写真帳(ダイジェスト版) 1部

ウ その他、特に紙による納品の必要があるものについては、請負・発注者間で協議するものとする。

5.11 電子媒体の標記規則

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。

媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 工事名
- ・ 工事場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目/全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 請負者名
- ・ ウィルスチェックソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式：ISO9660(レベル1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目/全体枚数
- ・ 工事名

【解説】

(1) 項目の説明

ア 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載(発注者から通知)

イ 「工事名」 契約書に記載されている工事名を記載

ウ 「工事場所」 契約図書に記載されている工事場所を記載

エ 「作成年月」 工期の完成の年月を記載

オ 「何枚目/全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載

カ 「発注者名」 発注者の名称を記載(表記例参照)

キ 「請負者名」 請負者の名称を記載(表記例参照)

(2) 留意事項

ア CD-R表面へのプリンタ直接印字により作成する。

イ CD-Rは、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。

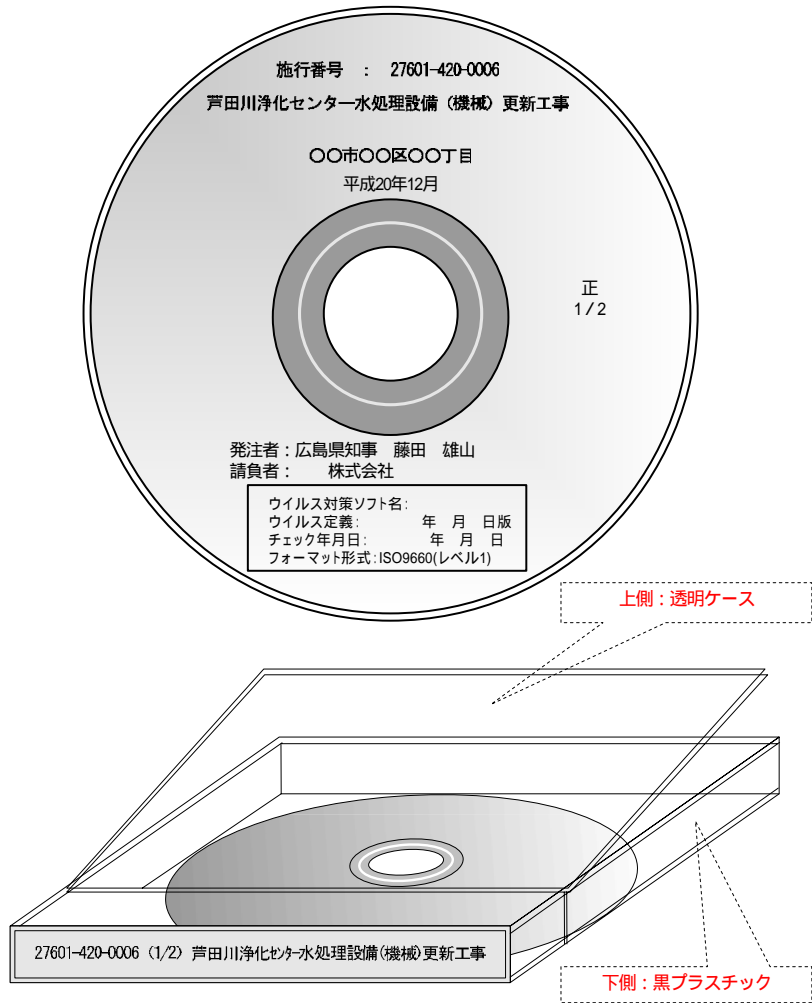
ウ CD-Rへ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-Rに損傷を与えることがあるので使用しないこと。

エ CD-Rケースは、薄型ケースは使用しないこと。(標準厚さのケースを使用すること)

オ CD-Rケースの底面は、CD-Rを光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。

カ CD-Rケースの背表紙には、1行で書けるところまで記入し、工事名等が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入すること。

(3) 標記例



CD-R ケースへの表記(例)

(通 常)	27601-420-0006(1/2) 芦田川浄化センター水処理設備(機械)更新工事
(長い場合)	27601-420-0006(1/2) 川 水処理設備(機械)

図 5.19 CD-R 表面及び CD-R ケースへの表記(例)

5.12 電子媒体の原本性の確保

請負者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

【解説】

請負者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日

電 子 媒 体 納 品 書

広島県知事 藤田 雄山 様

請負者 (所在地) 市 区 丁目
(商号又は名称) 株式会社 印

次のとおり電子媒体を納品します。

施行番号	27601-420-0006
工事名	芦田川浄化センター水処理設備(機械)更新工事
路線河川名等 (地区名)	-
工事場所	市 区 丁目
工期	着 手 平成 年 月 日 完 成 平成 年 月 日
電子媒体の全体枚数	枚 × 3部(正 1部, 副 2部)
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日
備考	1/2 : DRAWINGS, PLAN, MEET, DRAWINGF を格納 2/2 : B_BOOK, PHOTO, OTHERS, K_LDR を格納

電子媒体は、CD-R(フォーマット「ISO9660」)のみとする。

図 5.20 電子媒体納品書の記載(例)

5.13 電子成果の確認

発注者は、電子成果品(CD-R)が広島県電子納品実施要領に従って正しく管理項目等が作成されているか、電子納品の対象書類が漏れなく格納されているかを電子媒体受領時に確認すること。
電子成果品(CD-R)の確認に当たっては、参考資料3 納品時チェックシートを使用し、チェックを行うこと。
また、納品時チェックシートは電子成果品と合わせて保管すること。

【解説】

- (1) 電子媒体の外観確認
発注者は、電子媒体に破損のないこと、ラベルが正しく作成されていることを目視で確認すること。
- (2) ウィルスチェック
発注者は、電子媒体に対しウィルスチェックを行うこと。
最新のウィルスも検出できるようにウィルスチェックソフトは常に最新のデータに更新（アップデート）しておくこと。
- (3) 電子成果品の基本構成の確認
発注者は、電子成果品の基本的な構成が「広島県電子納品実施要領」に基づき作成されていることを、広島県のチェックシステムにより確認すること。
確認事項は次のとおり。
ア フォルダ構成（画面上での確認）
イ 工事管理ファイルについて、施行番号、工事名等の工事の基本的な情報の確認
- (4) 電子成果品の内容の確認
発注者は、電子成果品の内容を確認すること。確認事項は次のとおり。
ア CAD データの確認
CAD データの電子成果品は、SXF(SFC)形式で納品するため、変換によるデータ欠落や表現の違いが生じることはないよう、目視確認及び広島県のCAD チェックシステムによるデータチェックを行うこと。
発注者は、受取ったCAD データが事前に確認した図面の内容と同じであることを確認すること。
イ CAD データ以外の確認
CAD データ以外の電子成果品について確認を行うこと。
打合せ事項と電子成果品の内容との比較等を行い、内容に相違がないか確認すること。

6 検査(中間検査・完成検査)

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。
電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、請負・発注者間の協議により取り決めるものとする。
書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

6.1 中間検査の取扱い

中間検査の検査書類については、施工途中で電子納品作成段階であることも考慮し、請負者がどのように書類整理するかを判断し、検査前に監督員に報告することとする。
中間検査を電子データで行う際は、セキュリティの観点から請負・発注者双方において事前にウィルスチェックを行っておくこと。

6.2 書類検査

工事完成検査では、工事目的物を対象に工事の出来形、施工管理状況等について、契約書、設計図書と照合して検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。

【解説】

- (1) 工事記録写真
写真データは、請負者の持つデータで検査を行ってもよいものとする。
- (2) 出来形管理資料、工事関係図及び工事報告書等
発注図・完成図・出来形管理図等を検査する際には、請負者がCAD データをA3 版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。
施工計画書、打合せ簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。
- (3) 機器の操作
検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として請負者が行う。請負者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。
また、検査を効率的に行うために請負者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を監督員との協議により準備する。

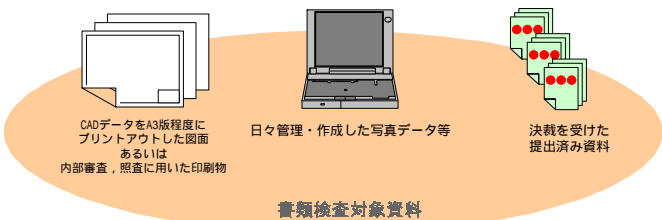


図 6.1 対象資料のイメージ(例)

6.3 現場検査

現場検査では、書類検査で利用した資料を基に受検すること。

【解説】

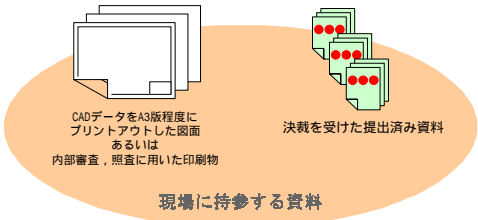


図 6.2 現場に持参する資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

7.1 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される基礎情報、ソフトウェア情報、工事情報からなる各管理項目を記入する。
ただし、一部広島県が定めた事項があるため、各管理項目の記入には留意すること。

【解説】

各管理項目(基礎情報、業務情報)を次頁以降に示す。

- (1) 記入者
 - : CORINS から出力される CSV ファイルから取り込むことが可能な項目 (CORINS 情報の記入に当たって、CORINS の規則に従うこと)
 - : 電子媒体作成者が記入する項目
 - : 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- (2) 必要度
 - : 必須記入項目(必ず記入する)
 - : 条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
 - : 任意記入項目(原則として空欄・特記すべき事項があれば記入する)
- (3) 摘要の記述
 - 空欄 = 国土交通省と同じ見解
 - 斜字 = 国土交通省の記載事項の具体的な説明
 - 太字下線 = 広島県が定めた事項
- (4) 記入上の注意
 - 全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角 1 文字に相当する。
データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては次のルールに従う。
 - ア 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。
例) 082-228-2111・・・・・・
0 8 2 - 2 2 8 - 2 1 1 1・・・・・・x
 - イ 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。
例) 契約図書：広島市中区基町 10 番 52 号・・・・・・
広島市中区基町 10-52・・・・・・x
広島市中区基町 1 0 番 5 2 号・・・・・・x
 - ウ 年月日の間にハイフン()を挿入すること。
例) 2007-03-26・・・・・・
20070326・・・・・・x

7.2 工事管理項目

電子媒体に格納する工事管理ファイル(INDEX_MC.XML)に記入する工事管理項目は、表7.1～表7.3に示すとおりとする。

表7.1 工事管理項目(1/3)

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		摘 要	記入例				
基礎情報	メディア番号	提出した電子媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。	1	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した電子媒体の総枚数を記入する。	2	半角数字	8		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版 ('機械200603-01'で固定)を記入する。 (分野:機械, 西暦年:2006, 月:03, 版:01)	機械200603-01	全角文字 半角英数字	30		
	発注図フォルダ名	発注図を格納するために'DRAWINGS'フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGSで固定)を記入する。	DRAWINGS	半角英数 大文字	127		
	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	特記仕様書を格納するために'SPEC'フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGS/SPECで固定)を記入する。	DRAWINGS/SPEC	半角英数 大文字	127		
	打合せ簿フォルダ名	打合せ簿を格納するために'MEET'フォルダを作成した場合はフォルダ名称(MEETで固定)を記入する。	MEET	半角英数 大文字	127		
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	打合せ簿オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(MEET/ORGで固定)を記入する。	MEET/ORG	半角英数 大文字	127		
	施工計画書フォルダ名	施工計画書を格納するために'PLAN'フォルダを作成した場合はフォルダ名称(PLANで固定)を記入する。	PLAN	半角英数 大文字	127		
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	施工計画書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(PLAN/ORGで固定)を記入する。	PLAN/ORG	半角英数 大文字	127		
	施工図面・完成図フォルダ名	施工図面・完成図を格納するために'DRAWINGF'フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGFで固定)を記入する。	DRAWINGF	半角英数 大文字	127		
	完成図書フォルダ名	完成図書を格納するために'K BOOK'フォルダを作成した場合はフォルダ名称(K BOOKで固定)を記入する。	K BOOK	半角英数 大文字	127		
	B実施仕様書フォルダ名	B実施仕様書管理ファイルと実施仕様書ファイルを格納するフォルダ名称(K BOOK/B SPCで固定)を記入する。	K BOOK/B SPC	半角英数 大文字	127		
	B計算書フォルダ名	B計算書ファイルと計算書・検討書・数量表ファイルを格納するフォルダ名称(K BOOK/B CHECKで固定)を記入する。	K BOOK/B CHECK	半角英数 大文字	127		
	B施工図フォルダ名	B施工図書管理ファイルと施工図ファイルを格納するフォルダ名称(K BOOK/B INSTで固定)を記入する。	K BOOK/B INST	半角英数 大文字	127		
	B機器図フォルダ名	B機器図書管理ファイルと機器図ファイルを格納するフォルダ名称(K BOOK/B DEVICEで固定)を記入する。	K BOOK/B DEVICE	半角英数 大文字	127		
	B施工管理記録書フォルダ名	B施工管理記録書管理ファイルと施工管理記録書ファイルを格納するフォルダ名称(K BOOK/B EXAMで固定)を記入する。	K BOOK/B EXAM	半角英数 大文字	127		
	B取扱説明書フォルダ名	B取扱説明書管理ファイルと取扱説明書・サービス体制ファイルを格納するフォルダ名称(K BOOK/B MANUALで固定)を記入する。	K BOOK/B MANUAL	半角英数 大文字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表7.2 工事管理項目(2/3)

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		摘 要	記入例				
基礎情報	写真フォルダ名	写真を格納するために'PHOTO'フォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTOで固定)を記入する。	PHOTO	半角英数 大文字	127		
	その他フォルダ名	その他資料を格納するために'OTHERS'フォルダを作成した場合はフォルダ名称(OTHERSで固定)を記入する。	OTHERS	半角英数 大文字	127		
	その他オリジナルファイルフォルダ名	その他オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(OTHERS/ORG001 ~ nnn)を記入する(nnnは連番を示す)。その他オリジナルフォルダがある場合は必ず記入する。	OTHERS/ORG001 ~ nnn	半角英数 大文字	127		
	その他オリジナルファイルフォルダ日本語名	その他オリジナルファイルを格納するフォルダの日本語名称を記入する。	構造計算書	全角文字 半角英数字	127		
	台帳フォルダ名	台帳管理ファイルと施設台帳・機器台帳ファイルを格納するフォルダ名称(K_LDRで固定)を記入する。	K_LDR	半角英数 大文字	127		
工事事件等	発注年度	工事の発注年度を西暦4桁で記入する。	2007	半角数字	4		
	工事番号	地方整備局単位で設定しているCCMS設計書番号を記入する。 契約図書の旅行番号12桁を記入	276014200006	半角英数字	127		
	工事名称	契約図書に記載されている正式の工事名称を記入する。 契約図書の工事名を記入	施設 設備(機械)工事	全角文字 半角英数字	127		
	施工金額	CORINSの「請負金額」に従って記入する。	152340000	半角数字	16		
	工事実績システムバージョン番号	管理項目の記入で参照しているCORINSのマニュアル「コード表」のバージョン(システムのバージョン)を記入する。	5.0	半角数字	12		
	工事分野	CORINSの「工事の分野」に従って記入する。	下水道	全角文字 半角英数字	16		
	工事業種	CORINSの「工事の業種」に従って記入する。	機械器具設置工事	全角文字 半角英数字	16		
	工 程 式 ・ 工 法 型	工種	CORINSの「工種・工法・型式」の「工種」を記入する。 (複数記入可)	下水道処理施設工	全角文字 半角英数字	127	
		工法型式	CORINSの「工種・工法・型式」の「工法・型式」を記入する。 (複数記入可)		全角文字 半角英数字	127	
	住 所 情 報	住所コード	該当地域の住所コードをCORINSの表より選択し記入する。該当がない場合は'99999'とする。(複数記入可)	34223	半角数字	5	
		住所	該当地域の住所を記入する。(複数記入可) 必ず「広島県」を記入後、 契約図書の工事場所を記入	広島県広島市中区基町 10番52号	全角文字 半角英数字	127	
	工期開始日	工期の開始日の年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合'0'を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例)平成18年4月1日→2006-04-01	2007-10-01	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	工期終了日	工期の終了日の年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合'0'を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例)平成18年12月3日→2006-12-03	2007-12-20	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	工事内容	工事概要及び主工種とその数量を記入する。 複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。	契約図書の工事概要を記入 汚泥濃縮タンク(内径14m)	全角文字 半角英数字	127		

表 7.3 工事管理項目(3/3)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	橋 要	記入例	データ 表現	文字数	記入者	必要度
測地系	測地系	日本測地系、世界測地系(日本測地系2000)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(日本測地系2000)は「01」を記入する。		01	半角数字	2		
	対象水系路線名	CORINSの路線・水系名等に従って記入する。複数の路線水系にまたがる工事の場合、関連する路線水系名を記入する。当該路線が複数ある場合は記入方法は付属資料3を参照のこと。			全角文字 半角英数字	127		
	現道・旧道区分	「現道」1, 「旧道」2, 「新道」3, 「未調査」0のいずれかを記入する。			半角数字	1		
	対象河川コード	「河川コード仕様書(案)」に準拠し発注者が指示する河川コードを記入する。(複数記入可)	原拠として変更		半角数字	10		
	左右岸上下線コード	河川の左岸・右岸の別または道路の上下線の別を示す左右岸上下線コードを記入する。(複数記入可)	原拠として変更		半角数字	2		
	測点情報	起点側測点-n	(自)n+m nを4桁で記入する。	0015	半角数字	4		
		起点側測点-m	(自)n+m mを3桁で記入する。	008	半角数字	3		
		終点側測点-n	(至)n+m nを4桁で記入する。	0016	半角数字	4		
		終点側測点-m	(至)n+m mを3桁で記入する。	005	半角数字	3		
		起点側距離標-n	(自)n+m nを3桁で記入する。		半角数字	3		
		起点側距離標-m	(自)n+m mを3桁で記入する。		半角数字	3		
	終点側距離標-n	終点側距離標-n	(至)n+m nを3桁で記入する。		半角数字	3		
		終点側距離標-m	(至)n+m mを3桁で記入する。		半角数字	3		
	境界座標情報	西側境界座標緯度	対象領域の最西端の外側境界の緯度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。	参考資料4により記入	1322710	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	
		東側境界座標緯度	対象領域の最東端の外側境界の緯度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。	参考資料4により記入	1323510	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	
		北側境界座標緯度	対象領域の最北端の外側境界の緯度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。	参考資料4により記入	0342400	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	
		南側境界座標緯度	対象領域の最南端の外側境界の緯度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。	参考資料4により記入	0342000	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	
施設情報	台帳フォルダ	台帳フォルダ(施設機器コード)の有無について記入する。(0なし 1あり) (1あり)に記入した場合は詳細の記入は「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」を参照する。		0	半角数字	1		
	発注者・大分類	CORINSの「発注機関名・中分類」に従い、発注者の官庁名、団体名等を記入する。	「広島県」と記入	広島県	全角文字 半角英数字	16		
発注者情報	発注者・中分類	CORINSの「発注機関名・小分類」に従い、発注者の局名、支社名等を記入する。	CORINSの「発注機関名・小分類」より該当する名称を記入	都市部都市事業局下水道室	全角文字 半角英数字	32		
	発注者・小分類	CORINSの「発注機関名・細分類」に従い、記入する。	CORINSの「発注機関名・細分類」より該当する名称を記入	都市部都市事業局下水道室	全角文字 半角英数字	30		
	発注者コード	CORINSの「発注機関コード」に従い、発注者のコードを記入する。大分類(1桁)、中分類(2桁)、小分類(2桁)、細分類(3桁)をあわせ、6桁で取り扱う。	334XXXXX (CORINSのコード8桁)	33401999	半角数字	8		
請負者情報	請負者名	請負者の正式名称を記入する。請負者名の正式名称を記入する。JVの場合には、JVの正式名称及び代表会社名を続けて記入する。		株式会社	全角文字 半角英数字	127		
	請負者コード	発注者が定める請負者コードを記入する。国土交通省では、各地方整備局で請負者コードを整備している。	施設発注許可番号を記入	34012345	半角数字	127		
予備	特記事項	特記事項がある場合に記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)				全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要回数繰り返す。

7.3 打合せ簿管理項目

電子媒体に格納する打合せ簿管理ファイル(MEET.XML)に記入する管理項目は、表 7.4 に示すとおりとする。

表 7.4 打合せ簿管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	橋 要	記入例	データ 表現	文字数	記入者	必要度
打合せ簿情報	シリアル番号	打合せ簿の通し番号を記入する。連番を原則とするが、やむを得ない理由である場合は中抜け(欠番)してもよい。12番目を「00012」の様に0を付けず表現してはいけぬ。		1	半角数字	15		
		上位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿が派生した上位にあたる打合せ簿のシリアル番号を記入する。(本項目はシリアル番号の属性として保持)	3	半角英数字	15		
		下位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿から派生した下位にあたる打合せ簿のシリアル番号を記入する。(本項目はシリアル番号の属性として保持)	2	半角英数字	15		
	打合せ簿種類	打合せ簿の種類を記入する。 (「指示」「承諾」「協議」「提出」「提示」「報告」「通知」)	指示		全角文字 半角英数字	16		
	打合せ簿名称	打合せ簿の標題もしくは打合せ簿の内容を簡潔に記入する。	工程に関する打合せ		全角文字 半角英数字	127		
	管理区分	「施工管理」「安全管理」「出来形管理」「品質管理」「出来高管理」「原価管理」「工程管理」「写真管理」等の管理区分を記入する。	施工管理		全角文字 半角英数字	127		
	関連資料	図面ファイル名	図面ファイル名を記入する。(複数記入可)	C0PL003Z.SFC	半角英数字 大文字	12		
	シリアル番号	関連する写真がある場合は、写真管理項目のシリアル番号を記入する。(複数記入可)	100		半角数字	7		
	作成者	打合せ簿の作成者を記入する。(請負者:現場代理人、請負者:主任技術者、発注者:現場監督員など)	建設株式会社 広島一部		全角文字 半角英数字	127		
	提出先	打合せ簿の提出先(発注者、請負者)を記入する。	発注者		全角文字 半角英数字	127		
1	発行日付	発行元が打合せ簿を発行した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成18年4月1日→2006-04-01		2007-10-01	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	受理日付	提出先(発注者)が打合せ簿を受理した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成18年4月20日→2006-04-20		2007-10-02	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	完了日付	発注者又は請負者が処理、回収した年月日がある場合CCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成18年6月9日→2006-06-09		2007-10-05	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	オリジナルファイル名	打合せ簿のオリジナルファイル名を登録する。(拡張子を含む)	M0001_01.DOC		半角英数字 大文字	12		
2	打合せ簿オリジナルファイル日本語名	打合せ簿ファイルに関する日本語名を記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	打合せ簿オリジナルファイルバージョン情報	打合せ簿オリジナルファイルを作成したソフトウェア名とバージョンを記入する。	Microsoft Word 98		全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは打合せ簿オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。	工程表		全角文字 半角英数字	127		
	請負者説明文	請負者側で打合せ簿に関して特記すべき事項がある場合は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
その他	発注者説明文	発注者側で打合せ簿に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	予備	電子化が困難等の理由により請負・発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は添付資料を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

1 打合せ簿情報以下は、打合せ簿の数を複数繰り返して登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの打合せ簿に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返して登録する。

7.4 施工計画書管理項目

電子媒体に格納する施工計画書管理ファイル(PLAN.XML)に記入する管理項目は、表 7.5 に示すとおりとする。

表 7.5 施工計画書管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
1	施工計画書情報	シリアル番号	施工計画書の通し番号を記入する。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった施工計画書について、やむを得ない理由である場合は、中抜けしてもよい。12番目を、"00012"の様に0を付けて表現してはならない。	1	半角数字	15		
		施工計画書名称	施工計画書の標題を記入する。	機械用基礎施工計画書	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル情報	施工計画書オリジナルファイル名	施工計画書の文書、図面等のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)	PLA01.01.DOC	半角英数 大文字	12		
		施工計画書オリジナルファイル日本語名	施工計画書ファイルに関する日本語名を記入する。	機械用基礎施工計画書	全角文字 半角英数字	127		
		施工計画書オリジナルファイル作成ソフトウェア名とバージョン情報	施工計画書オリジナルファイルの作成ソフトウェア名とバージョン情報を記入する。	Microsoft_Word_98	全角文字 半角英数字	127		
		オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは施工計画書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。	機械用基礎施工計画	全角文字 半角英数字	127		
	その他	請負者説明文	請負者側で施工計画書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。		全角文字 半角英数字	127		
		発注者説明文	発注者側で施工計画書に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。		全角文字 半角英数字	127		
		予備	電子化が困難等の理由により請負・発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)	ケミカルアンカ・カタログ	全角文字 半角英数字	127		
	ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)		全角文字 半角英数字	127		

1 施工計画書情報以下は、施工計画書の数分を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの施工計画書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.5 その他資料管理項目

電子媒体に格納するその他管理情報ファイル(OTHERS.XML)に記入する管理項目は、表 7.6 に示すとおりとする。

表 7.6 その他資料管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
サブフォルダ情報 2 1	その他サブフォルダ名	作成したその他サブフォルダ名 (ORG001～nnn)を記入する。		ORG002	半角英数 大文字	6		
	その他サブフォルダ 日本語名	格納している資料の内容がわかるように フォルダの日本語名を記入する。		段階確認書	全角文字 半角英数字	127		
	その他資料名称	その他サブフォルダ名に格納している 資料名を記入する。		機械基礎に関する段階 確認書	全角文字 半角英数字	127		
	シリアル番号	シリアル番号はより開始する。提出時 の電子媒体を通して、一連のまとまっ た資料についてユニークであれば、 中抜けしても良い。2番目を、"00002" の様に0を付けて表現してはいいな い。	1		半角数字	15		
	オリジナル ファイル名	その他資料のオリジナルファイル名を 記入する。(拡張子を含む)		CHK01.01.DOC	半角英数 大文字	12		
	オリジナルファ イル日本語名	オリジナルファイルに関する日本語名 を記入する。		機械基礎に関する段階 確認書	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファ イル作成ソフト	オリジナルファイルを作成したソフト ウェア名とバージョン情報を記入す る。		Microsoft_Word_98	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナル ファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは その他資料のオリジナルファイルに記 載されている内容を簡潔に記入する。		機械基礎に関する段階 確認書	全角文字 半角英数字	127		
	予備	電子化が困難等の理由により請負・発 注者で協議した結果、紙で納品する 添付資料がある場合は資料名を記入 する。説明文以外で特記すべき事項 があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
	請負者説明文	請負者側で特記すべき事項がある場 合は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	発注者説明文	発注者側で特記すべき事項がある場 合(発注者から指示を受けた場合)は 記入する。			全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のため使 用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

1 その他資料情報以下は、その他資料情報の数分を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの工事履行報告書又は段階確認書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.6 実施仕様書管理項目

電子媒体に格納する実施仕様書管理ファイル(BS.XML)に記入する管理項目は、表 7.7 に示すとおりとする。

表 7.7 実施仕様書管理項目

分類・項目名		国土交通省	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		記入内容	摘 要	記入例				
1	実施仕様書情報	実施仕様書の標題を記入する。		実施仕様書	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナル ファイル情報	実施仕様書 オリジナル ファイル名	実施仕様書のオリジナルファイル名を 記入する。(拡張子を含む)	BS001_01.PDF	半角英数 大文字	12		
		実施仕様書オリジナル ファイル日本語名	実施仕様書ファイルに関する日本語名 を記入する。	水中汚泥ポンプ実施仕 様書	全角文字 半角英数字	127		
		実施仕様書 オリジナル ファイル作成ソフト バージョン情報	実施仕様書オリジナルファイルを作成した ソフトウェア名(バージョン)情報を記入 する。	Microsoft Word 98	全角文字 半角英数字	127		
		オリジナル ファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは実 施仕様書オリジナルファイルに記載さ れている内容を簡潔に記入する。	水中汚泥ポンプ実施仕 様書	全角文字 半角英数字	127		
	2	施設コード 3			半角英数字	17		
	その他	請負者説明文	請負者側で実施仕様書に関して特記 すべき事項がある場合は記入する。		全角文字 半角英数字	127		
		発注者説明文	発注者側で実施仕様書に関して特記 すべき事項がある場合(発注者から指 示を受けた場合)は記入する。		全角文字 半角英数字	127		
		予備	電子化が困難等の理由により請負・発 注者で協議した結果、紙で納品する添 付資料がある場合は資料名を記入す る。説明文以外で特記すべき事項があ れば記入する。(複数記入可)	水中汚泥ポンプ能力線 図	全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用 する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

1 実施仕様書情報以下は、実施仕様書の数分を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの実施仕様書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.7 計算書管理項目

電子媒体に格納する計算書管理ファイル(BC.XML)に記入する管理項目は、表 7.8 に示すとおりとする。

表 7.8 計算書管理項目

分類・項目名		国土交通省	広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度	
		記入内容	摘 要	記入例					
計算書情報	計算書名称		計算書・検討書・数量表の標題を記入する。	水中汚泥ポンプ能力計算書	全角文字 半角英数字	127			
	オリジナルファイル情報	計算書オリジナルファイル名	計算書・検討書・数量表のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)	PLA01_01.DOC	半角英数 大文字	12			
		計算書オリジナルファイル日本語名	計算書・検討書・数量表のファイルに関する日本語名を記入する。	水中汚泥ポンプ能力計算書	全角文字 半角英数字	127			
		計算書オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報	計算書・検討書・数量表を作成したソフトウェア名とバージョン情報を記入する。	Microsoft Word 98	全角文字 半角英数字	127			
		オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは計算書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。	水中汚泥ポンプ能力計算書	全角文字 半角英数字	127			
	2	施設コード 3							
			施設コードの記入は任意扱いとするため、施設コードが発生しない場合は「Z」を記入する。 施設コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	17		
	その他	請負者説明文		請負者側で計算書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。		全角文字 半角英数字	127		
		発注者説明文		発注者側で計算書に関して特記すべき事項がある場合（発注者から指示を受けた場合）は記入する。		全角文字 半角英数字	127		
		予備		電子化が困難等の理由により請負・発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。（複数記入可）	水中汚泥ポンプ系統配置スケルトン図	全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。（複数記入可）			全角文字 半角英数字	127			

1 計算書情報以下は、計算書の数分を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの計算書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.8 施工図管理項目

電子媒体に格納する施工図管理ファイル(BI.XML)に記入する管理項目は、表 7.9 に示すとおりとする。

表 7.9 施工図管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
1	施工図名称	施工図の標題を記入する。		機器用点検歩廊施工図	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナル ファイル 情報	施工図オリジナル ファイル名		PLA01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
		施工図オリジナル ファイル日本語名		機器用点検歩廊施工図	全角文字 半角英数字	127		
		施工図オリジナル ファイル作成ソフト バージョン情報		Microsoft Word 98	全角文字 半角英数字	127		
		オリジナル ファイル内容		機器用点検歩廊施工図	全角文字 半角英数字	127		
	3	施設コード			半角英数字	17		
		読負者説明文			全角文字 半角英数字	127		
	その他	発注者説明文			全角文字 半角英数字	127		
		予備			全角文字 半角英数字	127		
	ソフトウェア用TAG				全角文字 半角英数字	127		

1 施工図情報以下は、施工図の数を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの施工図に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.9 機器図管理項目

電子媒体に格納する機器図管理ファイル(BD.XML)に記入する管理項目は、表 7.10 に示すとおりとする。

表 7.10 機器図管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
1	機器図名称	機器図の標題を記入する。		水中汚泥ポンプ機器図	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナル ファイル 情報	機器図オリジナル ファイル名		PLA01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
		機器図オリジナル ファイル日本語名		水中汚泥ポンプ機器図	全角文字 半角英数字	127		
		機器図オリジナル ファイル作成ソフト バージョン情報		Microsoft Word 98	全角文字 半角英数字	127		
		オリジナル ファイル内容		水中汚泥ポンプ機器図	全角文字 半角英数字	127		
	2	施設コード			半角英数字	17		
		機器コード			半角英数字	14		
	その他	読負者説明文			全角文字 半角英数字	127		
		発注者説明文			全角文字 半角英数字	127		
	予備				全角文字 半角英数字	127		
	ソフトウェア用TAG				全角文字 半角英数字	127		

1 機器図情報以下は、機器図の数を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの機器図に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.10 施工管理記録書管理項目

電子媒体に格納する施工管理記録書管理ファイル(BF.XML)に記入する管理項目は、表 7.11 に示すとおりとする。

表 7.11 施工管理記録書管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
1 2 その他	施工管理記録書名称	品質管理(試験成績書等)、出来形管理、工程管理の標題を記入する。		水中汚泥ポンプ試験成績書	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル名	施工管理記録書のオリジナルファイル名を記入する。(括弧子を含む)		PLA01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
	施工管理記録書オリジナルファイル日本語名	施工管理記録書のファイルに関する日本語名を記入する。		水中汚泥ポンプ試験成績書	全角文字 半角英数字	127		
	施工管理記録書オリジナルファイル作成ソフトウェア名とバージョン情報	施工管理記録書オリジナルファイルを作成したソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft Word 98	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは施工管理記録書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		水中汚泥ポンプ試験成績書	全角文字 半角英数字	127		
	施設コード	施設コードの記入は任意扱いとするため、施設コードが発生しない場合は「Z」を記入する。 施設コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	17		
	機器コード	機器コードの記入は任意扱いとするため、機器コードが発生しない場合は「ZZ」を記入する。 機器コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	14		
	請負者説明文	請負者側で施工管理記録書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	発注者説明文	発注者側で施工管理記録書に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	予備	電子化が困難等の理由により請負・発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

- 1 施工管理記録書情報以下は、施工管理記録書の数分を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの施工管理記録書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.11 取扱説明書管理項目

電子媒体に格納する取扱説明書管理ファイル(BM.XML)に記入する管理項目は、表 7.12 に示すとおりとする。

表 7.12 取扱説明書管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
1 2 その他	取扱説明書名称	取扱説明書、サービス体制ファイルの標題を記入する。		水中汚泥ポンプ取扱説明書	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル名	取扱説明書のオリジナルファイル名を記入する。(括弧子を含む)		PLA01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
	取扱説明書オリジナルファイル日本語名	取扱説明書のファイルに関する日本語名を記入する。		水中汚泥ポンプ取扱説明書	全角文字 半角英数字	127		
	取扱説明書オリジナルファイル作成ソフトウェア名とバージョン情報	取扱説明書オリジナルファイルを作成したソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft Word 98	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは取扱説明書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		水中汚泥ポンプ取扱説明書	全角文字 半角英数字	127		
	施設コード	施設コードの記入は任意扱いとするため、施設コードが発生しない場合は「Z」を記入する。 施設コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	17		
	機器コード	機器コードの記入は任意扱いとするため、機器コードが発生しない場合は「ZZ」を記入する。 機器コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	14		
	請負者説明文	請負者側で取扱説明書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	発注者説明文	発注者側で取扱説明書に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	予備	電子化が困難等の理由により請負・発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

- 1 取扱説明書情報以下は、取扱説明書の数分を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの取扱説明書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.12 図面管理項目

電子媒体に格納する図面管理ファイル(DRAWINGS.XML及びDRAWINGF.XML)に記入する管理項目は、表7.13及び表7.14に示すとおりとする。

表 7.13 図面管理項目(1/2)

			国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
				摘 要	記入例				
共通情報	1	通用要領基準 *A)	図面作成時に適用した「本基準(案)」を機械2006 03-01等の記入例に従い記入する。 (分野:機械, 西暦年:2006, 月:03, 版:01)	機械200603-01	全角文字 半角英数字	30			
	2	対象工種(数値) *B)	「本基準(案)」で対象とする10工種と地質を001～011の数値で記入する。その他の追加工種があるときは、追加工種を100～999の数値で記入する。なお、100～999の数値を記入した場合には、3, 4を必ず記入する。	001	半角数字	3			
	3	追加対象工種(数値)	「本基準(案)」で定義していない工種を追加する場合は、100～999の数値を記入する。		半角数字	3			
	4	追加対象工種(概要)	上記の追加工種の概要を具体的に記入する。(3とセットで複数入力可)		全角文字 半角英数字	127			
	5	追加サブフォルダ名称	サブフォルダを作成したときのサブフォルダ名称を、記入する。重複名称は不可。		半角英数字	8			
	6	追加サブフォルダ名称の概要	上記のサブフォルダの概要を具体的に記入する。(5とセットで複数入力可)		全角文字 半角英数字	127			
図面情報 *2)	7	図面名	表題欄に記述する図面名を記入する。	機械棟1階機器据付図	全角文字 半角英数字	64			
	8	図面ファイル名	図面ファイルのファイル名の拡張子を含めて記入する。	D0PL001Z.SFC	半角英数字	12			
	9	作成者名	表題欄に記述する会社名を記入する。	株式会社 設備設計事務所	全角文字 半角英数字	32			
	10	図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。	CADVer6.3	全角文字 半角英数字	64			
	11	縮尺	縮尺を記入する。 複数の縮尺が存在する場合は、代表縮尺を記入する。	1:100	半角英数字	16			
	12	図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入する。	1	半角数字	3			
	13	施設コード *3	施設コードを記入する。施設コードが発生しない場合は「2」を記入する。	0210500511000D001	半角英数字	17			
	14	機器コード *3	機器コードを記入する。機器コードが発生しない場合は「ZZ」を記入する。	DD010101010000	半角英数字	14			*3
	15	工期終了日	工期の終了年月日をCC-YY-MM-DD方式(西暦年月日)で記入する。月日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY: 西暦の年数, MM: 月, DD: 日)	2008-3-10	半角英数字	10			
	16	対象工種 *B)(数値)	「本基準(案)」で対象とする10工種と地質を001～011の数値で記入する。その他追加工種があるときは、追加工種を100～999の数値を併記で記入する。	001	半角数字	3			
	17	追加図面種類(略語)	「本基準(案)」で定義していない図面種類を追加する場合に、基準(案)に準じた半角英数字2文字の略語で記入する。(ただし、同一工種による略語の重複は認めていません。)		半角英数字 大文字	2			
	18	追加図面種類(概要)	上記の追加図面種類の概要を具体的に記入する。		全角文字 半角英数字	127			
	19	格納サブフォルダ	図面を格納した追加サブフォルダ名を記入する。		半角英数字	8			

1 その他資料情報以下は、その他資料情報の数分を複数繰り返し登録する。
2 オリジナルファイル情報は一つの工事履行報告書又は段階確認書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

表 7.14 図面管理項目(2/2)

			国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
				摘 要	記入例				
図面情報	20	測地系	日本測地系(旧測地系)、世界測地系(新測地系)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系は「01」を記入する。	01	半角数字	2			
	21	基準点情報緯度	図面中の1点の緯度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が海域の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。		半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8			() *3
	22	基準点情報経度	図面中の1点の経度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。		半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8			
	23	基準点情報平面直角座標系番号	図面中の1点の平面直角座標(19系)の系番号で記入する。		半角英数字	2			() *3
	24	基準点情報平面直角座標X座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をX座標で記入する。		半角英数字	11			
	25	基準点情報平面直角座標Y座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をY座標で記入する。		半角英数字	11			
	26	新規レイヤ名(略語) *C)	「本基準(案)」で定義していないレイヤを追加する場合に、基準(案)に準じたレイヤ名称11文字以内の半角英数字で記入する。	D-MCH-XXXX	半角英数字	11			
	27	新規レイヤ名(概要)	上記26で追加した新規レイヤに関する内容を記入する。	設計図面背景の社章に関するレイヤ	全角文字 半角英数字	127			
	28	請負者説明文	請負者側で図面に付けるコメントを記入する。	制御システムのシステム図をシステムFLに追加した	全角文字 半角英数字	127			
	29	発注者説明文	発注者側で図面に付けるコメントを記入する。		全角文字 半角英数字	127			
	30	予備	その他予備項目を記入する。 (複数入力可)		全角文字 半角英数字	127			
	ソフトウェア用TAG		ソフトウェアマーカが管理のために使用する。 (複数記入可)		全角文字 半角英数字	127			

7.13 写真管理項目

電子媒体に格納する写真管理ファイル(PHOTO.XML)に記入する管理項目は、表 7.15 及び表 7.16 に示すとおりとする。

表 7.15 写真管理項目(1/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		記入内容	摘 要	記入例				
基礎情報	写真フォルダ名	写真ファイルを格納するフォルダ名称(PHOTO/PICで固定)を記入する。		PHOTO/PIC	半角英 大文字	127		
	参考図フォルダ名	参考図ファイルを格納するために「DRA」サブフォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTO/DRAで固定)を記入する。			半角英 大文字	127		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「土木 200601-01」で固定)を記入する。 (分野:土木, 西暦年:2006, 月:01, 版:01)	土木 200601-01		全角文字 半角英数字	30		
	写真 ファイル 情報	シリアル番号	写真通し番号。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真についてユニークであれば、中抜けてもよい。123枚目を、「000123」の様に0を付けて記入してはいいけない。	1		半角数字	7	
写真ファイル名		写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する。	P0000001.JPG		半角英 大文字	12		
写真ファイル日本語名		写真ファイルに関する日本語名等を記入する。	塗装品質管理0001.JPG		全角文字 半角英数字	127		
メディア番号		一連のまとまった写真について、保存されている電子媒体番号を記入する。単一の電子媒体であれば全て「1」となる。	1		半角数字	8		
写真・大分類	写真・大分類	写真を撮影した業務の種類を「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」から選択して記入する。工事写真は常に「工事」と記入する。	工事		全角文字 半角英数字	8		
	写真区分	写真管理基準(案)の分類に準じ、「着手前及び完成写真」(既済部分写真等を含む)「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」「その他(公害・環境・補償等)」の区分のいずれかを記入する。大分類が「工事」でない場合は、自由記入とする。	品質管理写真		全角文字 半角英数字	127		
	工種	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種・種別・細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:」安全管理写真:」使用材料写真:」品質管理写真:」出来形管理写真:」災害写真:×」「その他:×」とする。(「記入」:記入可能な場合は記入、×:記入は不要とし、空欄とする)大分類が「工事」でない場合は、自由記入とする。	下水道処理施設工		全角文字 半角英数字	127		
		種別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種・種別・細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:」安全管理写真:×」「使用材料写真:」品質管理写真:×」「出来形管理写真:」災害写真:×」「その他:×」とする。(「記入」:記入可能な場合は記入、×:記入は不要とし、空欄とする)大分類が「工事」でない場合は、自由記入とする。			全角文字 半角英数字	127	
	細別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。写真分類ごとに工種・種別・細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:」安全管理写真:×」「使用材料写真:」品質管理写真:×」「出来形管理写真:×」「災害写真:×」「その他:×」とする。(「記入」:記入可能な場合は記入、×:記入は不要とし、空欄とする)大分類が「工事」でない場合は、自由記入とする。			全角文字 半角英数字	127		
	写真タイトル	写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、撮影時期に相当する内容を記入する。				全角文字 半角英数字	127	
工種区分予備		工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

表 7.16 写真管理項目(2/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘 要	記入例				
写真情報	付加情報	参考図ファイル名	撮影位置図、凡例図等の参考図のファイル名を記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に關し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。	D0000001.JPG	半角英数 大文字	12		
		参考図ファイル日本語名	参考図ファイルに関する日本語名等を記入する。	機械棟1階平面図.JPG	全角文字 半角英数字	127		
		参考図タイトル	参考図の内容が判るようなタイトルを記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に關し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。	機械棟1階平面図	全角文字 半角英数字	127		
		付加情報予備	参考図、撮影箇所等に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)		全角文字 半角英数字	127		
撮影情報	撮影箇所	当該写真に関する測点位置、撮影対象までの距離、撮影内容等を簡潔に記入する。撮影位置図上に複数撮影位置が記載されている場合には、位置図上の記号等を記入する。	点検歩廊A 測点2		全角文字 半角英数字	127		
	撮影年月日	写真を撮影した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例)平成18年02月26日 →2006-02-06	2007-09-01		半角数字 -(HYPHEN-MINUS)-	10		
	代表写真	工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入する。代表写真でない場合は未記入とする。			半角数字	1		
	施工管理値	黒板の判読が困難な場合、設計寸法及び実測寸法等の補足事項を記入する。	中塗り(第1層):設計厚40μm・実測厚:45μm		全角文字 半角英数字	127		
	請負者説明文	請負者側で検査立会者、特筆事項等があれば記入する。	検査立会者: 主任 監査員		全角文字 半角英数字	127		
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

参考資料 1 着手前協議チェックシート(広島県様式)

機械設備工事編
着手前(変更)協議チェックシート

実施日 平成 年 月 日

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

施行番号	-	
工事名		
工事場所		
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
	連絡先(e-mail)	@ pref.hiroshima.lg.jp
請負者	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
	連絡先(e-mail)	@

2 電子納品データ作成ソフトの確認

文書ファイル(ワープロ)	(Ver.)
表計算ファイル(表計算ソフト)	(Ver.)
図面ファイル(CADソフト)	(Ver.)
写真ファイル	(Ver.)
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)	(Ver.)
その他	(Ver.)
その他	(Ver.)
その他	(Ver.)

機械設備工事編
着手前(変更)協議チェックシート

3 電子納品対象項目

		電子納品	紙	備考
工事管理情報ファイル				必須
発注図面フォルダ(DRAWINGS)				条件付必須
図面管理ファイル	XML			条件付必須
発注図面	SXF(SFC)			条件付必須
特記仕様書	WORD EXCEL			条件付必須
オリジナルファイル	その他()			条件付必須
打合せ簿フォルダ(MEET)				
打合せ簿管理ファイル	XML			
打合せ簿	WORD EXCEL その他()			
施工計画書フォルダ(PLAN)				
施工計画書管理ファイル	XML			
施工計画書	WORD EXCEL			
オリジナルファイル	その他()			
完成図面フォルダ(DRAWINGF)				条件付必須
図面管理ファイル	XML			条件付必須
図面ファイル	SXF(SFC)			条件付必須
完成図書フォルダ(K BOOK)				必須
B_SPC実施仕様書	XML PDF			必須
B_CHECK計算書	XML PDF			必須
B_INST施工図	XML PDF			必須
B_DEVICE機器図	XML PDF			必須
B_EXAM施工管理記録書	XML PDF			必須
B_MANUAL取扱説明書	XML PDF			必須
写真フォルダ(PHOTO)				必須
写真情報管理ファイル	XML			必須
写真ファイル	JPEG			必須
参考図ファイル	JPEG TIFF			必須
その他フォルダ(OTHR)				
その他管理ファイル	XML			
工事履行報告書	WORD EXCEL その他()			
段階確認書	WORD EXCEL その他()			
完成図	CAD()			必須
その他オリジナル	WORD EXCEL その他()			
台帳フォルダ(K_LDR)				必須
台帳管理ファイル	XML			必須
施設台帳ファイル	XML			必須
機器台帳ファイル	XML			必須

他の書類は、紙媒体での納品とする。

着手前(変更)協議チェックシート

機械設備工事編

4 遵守するべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。
準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	広島県電子納品実施要領【機械設備工事編】	平成20年●月	広島県
	工事完成図書の電子納品要領(案)機械設備工事編	平成18年3月	国土交通省
図面	CAD製図基準(案)機械設備工事編	平成18年3月	
	CAD製図基準(案)処理施設編(参考)	平成17年3月	社団法人全国上下水道 コンサルタント協会
	下水道施設CAD製図基準(案)(参考)	平成19年8月	日本下水道事業団
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	国土交通省

なお、次に国土交通省等がまとめた要領・ガイドラインを参考として示す。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	電子納品運用ガイドライン(案)機械設備工事編【工事】	平成18年3月	国土交通省
図面	CAD製図基準に関する運用ガイドライン(案) 機械設備工事編	平成17年8月	
その他	電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード	平成18年3月	

5 コンピュータウィルス対策(請負者側)

使用ソフトウェア名	Norton AntiVirus (Ver.)
	ウィルスバスター (Ver.)
	Virus Scan (Ver.)
	その他()
ウィルスチェックソフトの常駐	インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウィルスチェックソフトを常駐させる。
ウィルスチェックの実施	外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウィルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウィルスチェックを行う。
ウィルスパターン定義データの更新	管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウィルス発見・駆除時の対応	ウィルスが発見された場合には、管理責任者がウィルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制(請負者側)

バックアップ頻度	バックアップ作業を1日1回以上行う
	その他()
バックアップ媒体	MO(光磁気ディスク)
	CD-RW(追記可能コンパクトディスク)
	外付けハードディスク
	その他()
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業者名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

参考資料2 検査前協議チェックシート(広島県様式)

機械設備工事編

検査前協議チェックシート

実施日 平成 年 月 日

施行番号	- -
工事名	
工事場所	
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
発注担当者	
請負担当者	

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所	
検査実施予定日時	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分
検査機器準備担当	発注者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()
	請負者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()

2 電子納品の検査方法

書 類 名	印刷物による検査	電子データによる検査	書 類 名	印刷物による検査	電子データによる検査
発注図面			施工体系図		
打合せ簿			再生資源利用計画書(実施書)		
品質管理表			再生資源利用促進計画書(実施書)		
測定結果総括表			安全管理資料		
測定結果一覧表			材料確認書		
品質管理図表			立会書		
品質管理図			段階確認書		
測定結果一覧表			工事履行報告書		
出来形管理図表			施工計画書		
出来形管理図					
工事写真					
施工台帳					

3 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	請負者	
文書ファイル(ワープロ)			
表計算ファイル(表計算ソフト)			
図面ファイル(CADソフト)			
写真ファイル			
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)			
その他			
その他			
その他			

4 その他

参考資料3 納品時チェックシート(広島県様式)

機械設備工事編

納品時チェックシート

実施日平成 年 月 日

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

施行番号		
工事名		
工事場所		
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 課	
発注者	事務所名・課名	
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
請負者	連絡先(e-mail)	@ pref.hiroshima.lg.jp
	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	() - 内線 ()
	連絡先(FAX)	() -
	連絡先(e-mail)	@

2 電子媒体の確認

電子媒体	問題なし→特記仕様書どおり 問題あり()
ラベル	問題なし→正しく作成されている 問題あり()
電子媒体納品書の受領	問題なし→正しく作成されている 問題あり()

3 ウイルスチェック等電子媒体の確認

ウイルスチェックの実施	実施できた 実施できなかった()
ウイルスチェックの結果	異常なし→ウイルスは検出されなかった 異常あり()
電子納品チェックツールによる 検査結果	エラーなし エラーあり()

4 フォルダ構成/ファイル名

電子媒体内のフォルダ構成	問題なし→正しく作成されている 問題あり()
ファイル名 (命名規則に従っているか)	問題なし→正しく作成されている 問題あり()

機械設備工事編

納品時チェックシート

5 管理ファイルのデータ項目内容チェック

電子納品対象項目	内容チェックの実施	内容チェックの結果
工事管理ファイル INDEX_MC.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
発注図面管理ファイル DRAWINGS.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
打合せ簿管理ファイル MEET.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
施工計画書管理ファイル PLAN.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
完成図面管理ファイル DRAWINGF.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
実施仕様書管理ファイル BS.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
計算書管理ファイル BC.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
施工図管理ファイル B1.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
機器図管理ファイル BD.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
施工管理記録書管理ファイル BE.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
取扱説明書管理ファイル BM.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
写真管理ファイル PHOTO.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
その他管理ファイル OHR.S.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
台帳管理ファイル DL.XML	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()

参考資料6 電子化対照書類一覧表に基づきチェックをすること。

機械設備工事編

納品時チェックシート

6 電子データ内容と印刷出力との内容照合チェック

電子納品対象項目	内容照合チェックの実施	内容照合チェックの結果
発注図ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
特記仕様書 オリジナルファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
打合せ簿 オリジナルファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
施工計画書 オリジナルファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
完成図ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
実施仕様書ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
計算書ファイル 検討書ファイル 数量表ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
施工図ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
機器図ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
品質ファイル 出来形ファイル 工程ファイル 等	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
取扱説明書ファイル サービス体制ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
写真ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
参考図ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
その他 オリジナルファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()

7 その他

参考資料 6 電子化対照書類一覧表に基づきチェックをすること。

参考資料 4 境界座標の記入

「境界座標」の測地系は、世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。

「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ¹

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

境界座標を取得する方法は次のとおりである。



参図 1 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。

工事対象が離れた地点に数箇所点在する場合または広域の場合は、請負・発注者間で協議し、[場所情報]を工事範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、工事範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましい。

¹境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

参考資料 5 CD-R が複数枚になる場合の処置

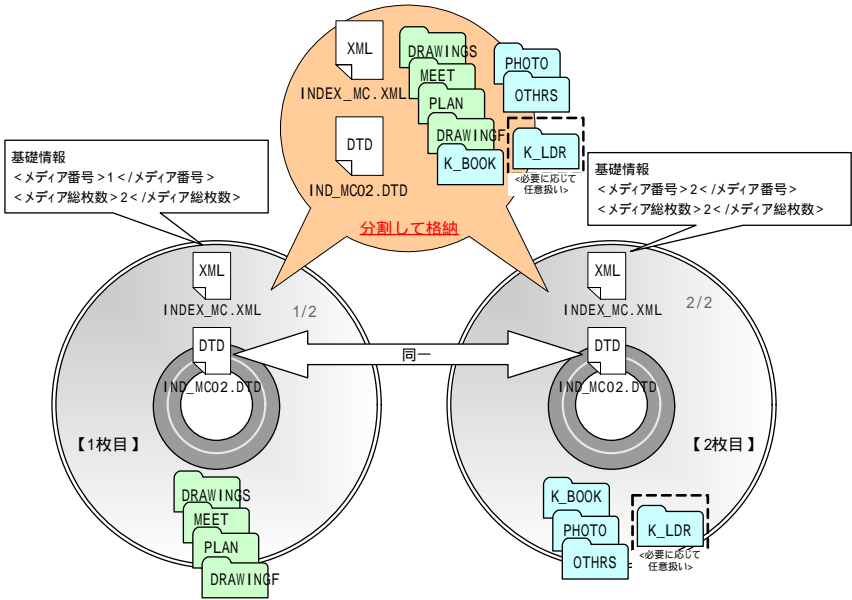
格納するデータの容量が大きく、1 枚の CD-R に納まらず複数枚になる場合は、同一の工事管理ファイル (INDEX_MC.XML) を各 CD-R に格納する。

この場合、基礎情報の「メディア番号」には、各 CD-R に該当する番号を記入すること。

各フォルダにおいても同様に、同一の管理ファイルを各 CD-R に格納する。

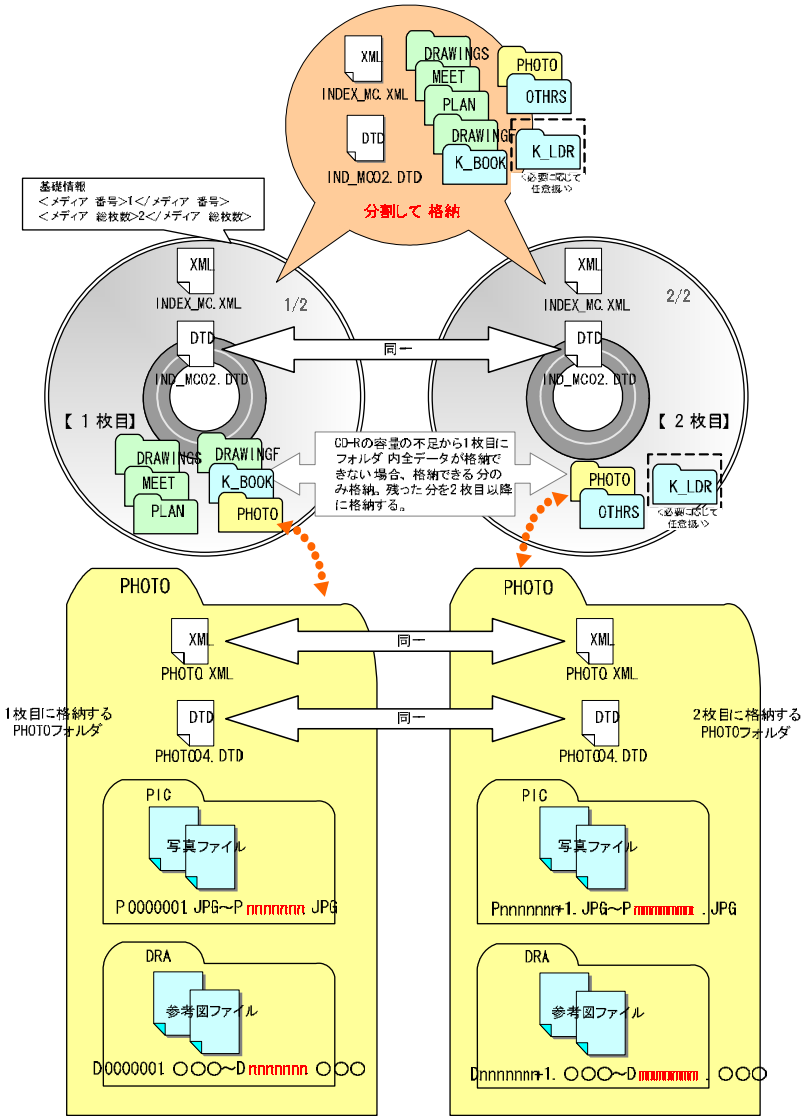
また、工事管理ファイルの基礎情報の「メディア番号」は、ラベルに明記してある何枚目 / 全体枚数と整合を図ること。

CD-R が 2 枚になる場合の例を参資図 2.1 に示す。



参資図 2.1 CD-R が 2 枚になる場合の作成例

なお、各フォルダで分割できず、やむを得ない場合は、参資図 2.2 CD-R が 2 枚になる場合の作成例 によるものとする。



参資図 2.2 CD-R が 2 枚になる場合の作成例【フォルダ内も分割する必要がある場合】¹

¹ 「PIC」フォルダに格納される写真ファイルと「DRA」フォルダに格納される参考図ファイルとも、最後のファイル添え字が「mmmmmm」となっていますが、あくまで例示であり一致するものではありません。

参考資料 6 電子化対象書類一覧表

成果品の種類	フォルダ名	ファイル形式	関係する要領・基準類等		格納書類例
工事情報	電子媒体ルート	XML	工事管理ファイル	工事完成図書の電子納品要領(案)機械設備工事編	・INDEX_MC.XML ・IND_MC02.DTD
発注図	DRAWINGS	XML	図面管理ファイル	CAD製図基準(案)機械設備工事編	・DRAWINGS.XML ・DRAW_M02.DTD
		SXF(SFC)	発注図ファイル		・発注図
	DRAWINGS/SPEC	オリジナル	特記仕様書オリジナルファイル		・特記仕様書 ・現場説明書(技術的事項)
打合せ簿	MEET	XML	打合せ簿管理ファイル	工事完成図書(案)電子納品要領(案)機械設備工事編	・MEET.XML ・MEET02.DTD
	MEET/ORG	オリジナル	打合せ簿オリジナルファイル		・工事打合せ簿 (指示、承諾、協議等の文書(鏡)及び添付資料(文書、図面、写真)) ・品質管理資料 (承諾仕様比較表、機器材料搬入検査(簿)、材料確認書、検査試験成績表、各種計算書、品質管理図等) ・出来形管理資料 (測定結果総括表・一覧表、出来形管理図表等)
施工計画書	PLAN	XML	施工計画書管理ファイル		・PLAN.XML ・PRAN02.DTD
	PLAN/ORG	オリジナル	施工計画書オリジナルファイル		・施工計画書
施工図面・完成図	DRAWINGF	XML	図面管理ファイル	CAD製図基準(案)機械設備工事編	・DRAWINGF.XML ・DRAW_M02.DTD
		SXF(SFC)	施工図面・完成図ファイル		・施工図面 ・完成図
完成図書	K_BOOK/B_SPC	XML	実施仕様書管理ファイル	工事完成図書(案)電子納品要領(案)機械設備工事編	・BS.XML ・SPC02.DTD
		PDF	実施仕様書ファイル		・実施仕様書
	K_BOOK/B_CHECK	XML	計算書管理ファイル		・BC.XML ・CHECK.02.DTD
		PDF	計算書ファイル 検討書ファイル 数量表ファイル		・実施計算書 ・実施検討書 ・実施数量表
	K_BOOK/B_INST	XML	施工図管理ファイル		・BI.XML ・INST02.DTD
		PDF	施工図ファイル		・施工図
	K_BOOK/B_DEVICE	XML	機器図管理ファイル		・BD.XML ・DEVICE02.DTD
		PDF	機器図ファイル		・機器図
	K_BOOK/B_EXAM	XML	施工管理記録書管理ファイル		・BE.XML ・EXAM02.DTD
		PDF	品質ファイル(試験成績書等) 出来形ファイル 工程ファイル 等		・品質管理書 (機器材料搬入検査(簿)、材料確認書、検査試験成績表、品質管理図等) ・出来形管理書 (測定結果総括表・一覧表、出来形管理図表等) ・工程表
	K_BOOK/B_MANUA	XML	取扱説明書管理ファイル		・BM.XML ・MANUAL.02.DTD
		PDF	取扱説明書ファイル サ - ビス体制ファイル		・取扱説明書 ・サ - ビス体制表 ・緊急連絡先表
写真	PHOTO	XML	写真管理ファイル	デジタル写真管理情報基準(案)	・PHOTO.XML ・PHOTO04.DTD
	PHOTO/PIC	JPEG	写真ファイル		・完成写真 ・工事写真 (施工前・中・後、施工状況、安全管理、品質管理、出来形管理等)
	PHOTO/DRA	JPEG又はTIFF	参考図ファイル		・撮影場所・方向図 等
その他	OTHR	XML	その他管理ファイル		・OTHR.XML ・OTHR02.DTD
	OTHR/ORGnnn	オリジナル	その他オリジナルファイル		・工事履行報告書 ・段階確認書 等
台帳	K_LDR	XML	・台帳管理ファイル	電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード	・DL.XML ・LDR02.DTD